

報告事項 No. 3 資料

令和5年度 川崎市学習状況調査 報告

目次

第1章 川崎市学習状況調査の概要・・・3

I 調査の概要・・・3

- 1 調査の目的・・・3 2 調査の内容・・・3 3 調査の特色・・・4

II 育成を目指す資質・能力・・・6

- 1 かわさき教育プランから・・・6 2 育成を目指す資質・能力・・・7

第2章 カリキュラムセンター、分析委員会による分析・・・8

I 小学校の全市結果と分析、手立て・・・8

- 1 各教科の結果概要・・・8 2 小学校国語・・・9 3 小学校算数・・・22
4 小学校全般を通して～観点別分析～・・・35 5 他教科等の分析と手立て・・・39

II 中学校の全市結果と分析、手立て・・・49

- 1 各教科の結果概要・・・49 2 中学校国語・・・51 3 中学校社会・・・67 4 中学校数学・・・82
5 中学校理科・・・95 6 中学校英語・・・108 7 中学校全般を通して～観点別分析～・・・124
8 他教科等の分析と手立て・・・132

III 学習意識調査の結果から大切にしたい視点について・・・140

- 1 教科の理解度・・・140 2 教科の好感度・・・140 3 学習への主体性・・・141 4 学習に関する達成感・・・142
5 学習の理解に関する児童生徒の認識・・・143 6 結果一覧・・・144

IV 今後の各種事業の取組について・・・189

- 1 研究会、研究部会の各事業・・・189 2 教育委員会の各事業・・・193

第3章 教育委員会事務局各部署による分析・・・196

I 政策推進・・・196

II 人権・多文化共生教育・・・197

III 情報・視聴覚センター・・・198

第4章 9月29日担当者説明会とモデル校の取組より・・・202

I 事前アンケートより・・・202

II モデル校の事例・・・204

III グループ協議から・・・206

IV 経年比較の事例・・・208

第1章 川崎市学習状況調査の概要

I 調査の概要

1 調査の目的

- 児童生徒・保護者は、学習の取組を振り返り、課題を的確に把握し、学習改善に生かす。
- 学校は、学校教育目標等で示した資質・能力の育成に向けて、調査結果を分析し、個に応じた指導や学校(学年)での授業改善、教育課程編成等に生かす。
- 校長会、各研究(部)会は、教育委員会と連携して全市的な結果の分析と授業改善の具体的な手立て、個に応じた指導の手立て等を研究し、説明会や各研究(部)会の事業等で教員に伝達する。
- 教育委員会は、全市的な児童生徒の学習状況を経年調査することにより、学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。

2 調査の内容

- 小学校：国語・算数 中学校：国語・社会・数学・理科・英語

調査の目的に基づき、学習指導要領に定める内容のうち、ペーパーテストで調査を行うことが適当な項目について調査を実施した。

- 学習意識調査

児童生徒の学習や生活に対する意識等について明らかにするために、児童生徒を対象とする調査を実施した。

- 調査の対象及び人数

市内全市立小学校の第4学年 11,688 名、第5学年 11,893 名、第6学年 11,805 名

市内全市立中学校の第1学年 9,482 名、第2学年 9,217 名、第3学年 8,998 名

○調査実施期間

令和5年度4月11日(火)～14日(金)

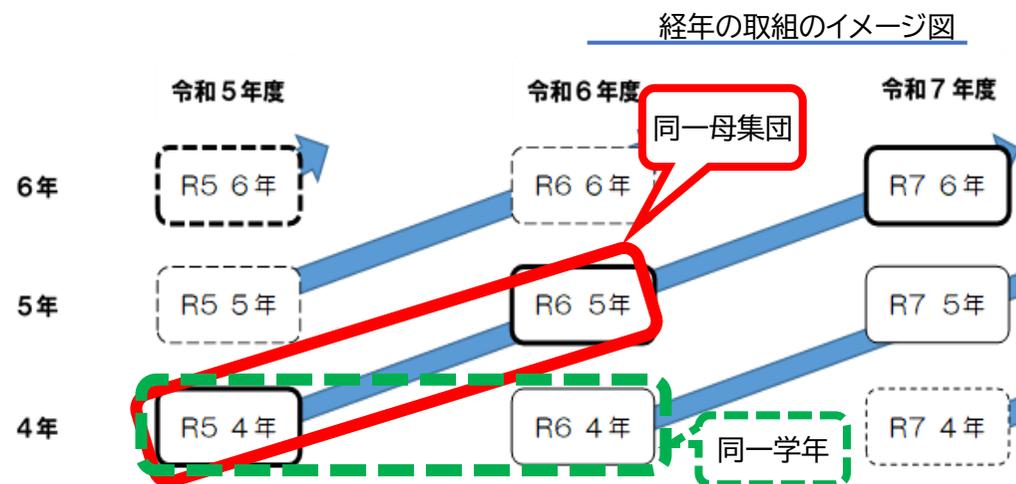
3 調査の特色

○IRTに基づく出題

川崎市学習状況調査は、令和4年度まで小学校第5学年及び中学校第2学年が対象として実施していました。令和5年度からは、小学校第4学年から中学校第3学年までの6学年を対象を拡充し、児童生徒一人ひとりや学年、学校の実態について経年で比較することが可能となります。

これは、IRT(項目反応理論)に基づく問題で、毎年同程度の難易度で新しい問題を作成するため、児童生徒一人ひとり、学年の過年度との比較が可能となります。

例えば、令和5年度の小学校第4学年の結果から授業改善や学習改善を図り、次年度に同一母集団である令和6年度の小学校第5学年の結果を4年次と比較し、さらなる手立てを考えるなど、児童生徒一人ひとりや学年、学校の実態に応じた指導が行いやすくなります。また、令和5、6年度の小学校第4学年のように同一学年の比較も可能です。調査結果については、各教科の結果と学習意識調査の結果について、**経年的に学習状況が「見える化」**されるので、学校や学年、児童生徒の実態に応じた手立てが、より行いやすくなります。



○WeBシステム(SYEN)について

WeB分析システム「SYEN」からは、多様なデータを読み取ることができます。

示されるデータ例

- ・調査結果を出題形式や「知識・技能」「思考・判断・表現」の観点別に集計したデータ
- ・設問ごとの各正答率のデータ
- ・各設問において全市の受検者の上位から25%ずつをA～D層の4層に分けたA～D層の正答率 など

川崎市学習状況調査の概要

調査対象	○小学校第4学年～中学校第3学年
調査教科	○小：国・算 学習意識調査 中：国・社・数・理・英 学習意識調査
実施時期	○小中ともに4月始業式翌週の火曜日～金曜日のうち各学校が設定する。学校の実態に応じて複数日での実施や学年ごとの実施なども考えられる。 令和5年度は4月11日(火)～14日(金)
作問・採点	○業者がIRT(項目反応理論)に基づく問題を作成し採点する。 →問題の難易度などについて事前調査を行い、検証を経て出題する。毎年新しい問題でありながら同程度の難易度となり、経年で比較・分析が可能になる。
意識調査	○業者が提供する、学習と相関の高い項目と、川崎市独自の項目として、自己肯定感や地域への愛情等の項目
配布資料等	○児童生徒に個人票、学校に学年票(ともに紙帳票)配布 ○weBシステムから、個に応じた復習用プリント出力可能 ○個人の結果とGIGA端末の学習ソフトが連携
学校報告書	○これまでの学校報告書の取組を受け継ぎつつ、川崎市学習状況調査を中心に作成する。3つの学年(小学校は4・5・6年、中学校は1・2・3年)の結果を掲載し、それぞれの学年での取組、「(教科が)分かる」の数値を掲載する。併せて、全国学力・学習状況調査の結果(小6・中3)も該当学年で掲載する。

○GIGA端末との連携

調査結果のデータはGIGA端末内の学習ソフトと連携します。児童生徒一人ひとりの調査結果に応じて、**学習ソフトから児童生徒に適した問題が自動生成され**、学習改善に生かすことができるようになります。

II 育成を目指す資質・能力

1 かわさき教育プランから

本市ではかわさき教育プランの基本政策Ⅱの「施策1」に学習状況に係る目標等が示されています。川崎市学習状況調査の結果を基に、プランで示されている資質・能力の育成に向け、授業改善や各種事業の改善に取り組んでいきます。カリキュラムセンターでは、各教科の分析を基に、複数の教科に関わる資質・能力の視点での授業改善の視点等をお示しします。

○かわさき教育プラン

基本理念 「夢や希望を抱いて生きがいのある人生を送るための礎を築く」

基本目標 「自主・自立」 変化の激しい社会の中で、誰もが多様な個性、能力を伸ばし、充実した人生を主体的に切り拓いていくことができるよう、将来に向けた社会的自立に必要な能力・態度を培うこと「共生・協働」 個人や社会の多様性を尊重し、それぞれの強みを生かし、ともに支え、高め合える社会をめざし、共生・協働の精神を育むこと

基本政策Ⅱ 学ぶ意欲を育て、「生きる力」を伸ばす

政策目標:子どもたちの学ぶ意欲を高め、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな心身」をバランスよく育み、将来の予測が難しい社会を生き抜くために必要な「生きる力」を確実に身につけることをめざします。

施策1. 確かな学力の育成

「確かな学力」を育成するには、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」をバランスよく育み、主体的に学習に取り組む意欲を養うことが必要となります。

2 育成を目指す資質・能力

教育委員会

資質・能力の3つの柱に基づき、学習状況について次のような点をバランスよく育成することを目指して、川崎市学習状況調査の調査結果を活用してまいります。

学ぶ意欲を育て「生きる力」を伸ばすために、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」をバランスよく育み、主体的に学習に取り組む意欲を養う。

「知識及び技能」

個別の知識および技能を取得するとともに、既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で概念等として理解したり、技能を習得したりして、生きて働く知識・技能を習得する

「思考力、判断力、表現力等」

知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付ける

「学びに向かう力、人間性等」

知識及び技能、思考力、判断力、表現力等を身に付けることに向けた粘り強い取組の中で、自らの学習を調整しようとする意欲を高める。

特に、川崎市学習状況調査では、学習状況の観点である「知識・技能」、「思考・判断・表現」に係る調査結果も示されますので、この2つの点を中心に、質問紙結果も踏まえながら分析しました。

第2章 カリキュラムセンター、分析委員会による分析

I 小学校の全市結果と分析、手立て

1 各教科の結果概要 国語・算数 ※値は平均正答率(%)

【小学校第4学年】

集計項目	国語	算数
教科総合	72.6	69.3
知識・技能	83.3	75.1
思考・判断・表現	66.1	47.8

【小学校第5学年】

集計項目	国語	算数
教科総合	70.9	64.6
知識・技能	73.0	71.1
思考・判断・表現	69.2	34.6

【小学校第6学年】

集計項目	国語	算数
教科総合	70.6	62.7
知識・技能	69.7	67.5
思考・判断・表現	71.3	46.1

【経年比較表】

国語

学年	R5	R6	R7
第4学年	72.6		
第5学年	70.9		
第6学年	70.6		

算数

学年	R5	R6	R7
第4学年	69.3		
第5学年	64.6		
第6学年	62.7		

2 小学校国語

【第4学年】

集計項目	川崎市	川崎市学力層別						判定
		A層	B層	C層	D層	層Aの差D	層Dの差A	
教科総合	72.6	93.2	82.3	70.4	44.7	48.5		
知識・技能	83.3	98.3	93.1	84.4	57.4	40.9		
思考・判断・表現	66.1	90.0	75.7	61.7	36.9	53.1	Ⅲ	

設問番号		設問内容	基礎 応用	出題 形式	観点1 知識・ 技能	観点2 断・思 考・表 現・判	川崎市	川崎市学力層別					
大問	小問							A層	B層	C層	D層	の層A の差D	判定
1	1	放送された内容のテーマを選ぶ	基礎	選択式		●	73.0	92.7	81.9	69.6	47.8	44.9	
1	2	森山さんが集中してやっていたことを選ぶ	基礎	選択式		●	93.9	99.7	98.4	96.9	80.7	19.0	
1	3	森山さんが集中してよかったと思ったときを選ぶ	基礎	選択式		●	81.3	96.3	89.8	81.5	57.5	38.8	
1	4	森山さんの発表の工夫を選ぶ	基礎	選択式		●	63.0	88.6	71.2	56.7	35.4	53.2	Ⅲ
1	5	森山さんの発表に対する質問の意図を選ぶ	応用	選択式		●	84.7	99.1	95.4	88.1	56.3	42.8	
2	1	ア 漢字を読む(予定どおりに出かける。)	基礎	短答式	●		92.1	99.7	98.9	96.8	73.1	26.6	
2	1	イ 漢字を読む(りょう理をテーブルに運ぶ。)	基礎	短答式	●		93.7	100.0	99.4	98.5	76.8	23.2	
2	2	ア 漢字の書き(おつりをけいさんする。)	基礎	短答式	●		82.4	97.4	90.7	84.2	57.1	40.3	
2	2	イ 漢字の書き(きたへ向かって歩く。)	基礎	短答式	●		80.8	97.2	90.6	82.2	53.2	44.0	
2	3	文意に沿って正しい指示語を選ぶ	基礎	選択式	●		94.7	99.8	99.4	98.0	81.7	18.1	
2	4	正しいローマ字の表記を選ぶ	基礎	選択式	●		72.5	93.9	83.5	70.2	42.3	51.6	Ⅲ
2	5	文章の中心となる話題を選ぶ	基礎	選択式	●		81.3	98.9	94.7	85.5	46.0	52.9	Ⅲ
3	1	事例を示す段落として正しいものを選ぶ	基礎	選択式		●	72.4	88.7	80.8	72.7	47.3	41.4	
3	2	文章の内容と合う短文を選ぶ	基礎	選択式		●	72.2	93.1	84.9	71.2	39.6	53.5	Ⅲ
3	3	文章の内容をまとめた表の空欄に入る言葉を書く	応用	記述式		●	66.4	98.8	88.0	59.9	19.0	79.8	Ⅲ
4	1	登場人物の行動の理由としてあてはまるものを選ぶ	基礎	選択式		●	78.0	99.3	96.1	81.6	34.9	64.4	Ⅲ
4	2	登場人物の心情の理由としてあてはまらないものを選ぶ	基礎	選択式		●	45.3	68.5	48.8	40.2	23.8	44.7	
4	3	文章の内容をまとめた表の空欄に入る言葉を書く	応用	記述式		●	61.4	97.8	81.3	49.5	17.1	80.7	Ⅲ
5	1	作文の下書きに見られる工夫を選ぶ	基礎	選択式		●	49.9	87.2	59.6	32.9	19.7	67.5	I
5	2	反対の意味の言葉を選ぶ	基礎	選択式	●		68.9	99.2	87.6	59.9	29.0	70.2	Ⅲ
5	3	思ったことを理由を明らかにして書く	応用	記述式		●	17.7	60.7	7.7	1.7	0.5	60.2	I

【観点別分析】

知識・技能について

大問2(3)は正答率が94.7%であり、ほとんどの児童が文意に沿って正しい指示語を選ぶことができます。(5)に関しても正答率81.3%と高く、「なぜ」や「～ために」という理由を表す言葉の役割について理解し、文章の中心となる話題をつかむことができます。文量が増えたり、多様な構造の文章に出会ったりしても、この知識・技能が生きるよう指導の積み重ねが必要であると考えます。

大問2(2)の結果からは、漢字を読むことはできますが、書くことには課題があるといえます。学習指導要領に示されているように、国語の時間だけでなく、各教科等域において当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使う学習場面や活動を設定し、日常的に指導を継続することが大切になってきます。日々活用することが力を着実につけていくことにつながっていきます。

思考・判断・表現について

大問1「話すこと・聞くこと」では、内容のテーマを聞き取り、話し手が伝えたいことの内容の中心を捉えることに関して、高い正答率が出ています。国語科の学習で得た知識・技能を、いろいろな場面で活用していることが、よい結果をもたらしていると考えられます。説明や報告など調べたことを話したり、それらを聞いたりする活動を通して、発表の工夫についての指導がなされ、力をつけてきていることがうかがえます。

記述式の問題は、いずれも無回答率が高く、D層は50%を超えています。特に大問5(3)は、D層83.4% C層70.8%と高く、どのように考えたらよいのか思考の順序が組み立てられずにいることが見とれます。このような児童の困り感に対して、文章の内容をまとめたり、文章の中の「なぜなら」「だから」と理由を明らかにする言葉に着目して情報を理解したりする指導が必要となってきます。言葉の役割としては理解していても、活用には課題があることが見えてきました。D層へは学習意欲の低下を避けられるよう特に書くことに対しての個別の支援の在り方を考え、学びを楽しむ児童を増やしていきたいと考えます。

【授業づくりのアイデア例】

設問内容: 思ったことを理由を明らかにして書く。

<実際の設問> 大問5(3)

(3) 山中山さんは、先生から次のアドバイスを受けてました。

アドバイス
つけ物やジャムを作っている理由を農さん物加工センターの人に聞いて、山中山さんが思ったことも書くこと、社会科見学で何を学んだかが、みんなによくつたわりますよ。

このアドバイスにしたがって、山中山さんは、下書きのさい後に次のような文章を書きました。

「あとの(じょうけん)に書いたがって書きましよう。」

書き足した文章
わたしはこれから、
と農さん物加工センターの人に聞いたからです。

(じょうけん)「なぜなら、……」という形で書くこと。
(じょうけん) 六十字から八十字まで書くこと。(ただし、丸()や点()は字数にふくめません)

<正答率と4層分析データ>

川崎市	川崎市学力層別					層の差 A I D	ン 判 定 バ タ ー
	A層	B層	C層	D層			
17.7	60.7	7.7	1.7	0.5	60.2	I	

<分析結果>

4層分析データからA層とD層の差が60.2ポイント開いています。このことから、多くの児童が自分の考えとそれを支える理由の関係を明確にして、書き表すことができていないと考えられます。そこで、文章中の「なぜなら」「だから」と理由を明らかにする言葉に着目して文章の内容をまとめる指導が必要です。

<実態に応じた授業づくりの工夫>

分析結果から、児童に自分の考えとそれを支える理由の関係を明確にして、書き表す力を身に付けさせる授業づくりが必要だと考えます。また、大問5(3)は、無解答率も53.4ポイントと多かったことから、**普段の指導の中で、「(自分の考え)。なぜなら、(それを支える理由)。」などの、理由を明らかにする言葉を使った書き方に、書き慣れておく**ことが必要です。指導の工夫として、(自分の考え)を赤色、(それを支える理由)を青色で線を引かせることで、児童生徒は自分の考えとそれを支える理由の関係を明確にして、書き表す力を意識して書くことができます。

例えば、第3学年の「引用するとき」の学習で、「こまを楽しむ」から引用して、興味をもったこまとその遊び方を紹介する文章を書く活動の際に、「(自分の考え)。なぜなら、(それを支える理由)。」の書き方で書かせることができます。

また、他教科でも自分の考えとそれを支える理由の関係を明確にして書く活動はあります。例えば、体育の振り返りを書く時や、理科の観察をまとめる時なども「(自分の考え)。なぜなら、(それを支える理由)。」の書き方で書かせることができます。

ただし、児童に自分の考えとそれを支える理由の関係を明確にして、書き表す型は「(自分の考え)。なぜなら、(それを支える理由)。」だけではないので、型を抜く指導も必要です。

【主体的に学習に取り組む態度 質問別回答状況一覧】

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合(%)	平均到達スコア			選択肢別回答割合(%)					学力層別 肯定群回答割合(%)				
				肯定群	否定群	肯-否の差	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答	A層	B層	C層	D層	A-D層の差
1	友だちが書いた文章や話したことを参考にして、自分にはない新しい考えや自分とは違う考えを持つようとしている。	川崎市	87.8	60.0	52.1	7.9	35.9	47.9	10.0	1.6	4.6	93.1	90.6	87.4	79.3	13.8
2	自分の考えをはっきりと正確に伝えるために、より良い言葉を探したりあてはめたりして工夫している。	川崎市	86.1	60.3	51.8	8.5	41.3	40.7	11.7	1.6	4.7	92.6	89.7	85.1	76.0	16.6
3	自分で目標を決めて、こつこつ読書をしている。	川崎市	61.2	61.7	55.1	6.6	25.6	32.6	28.2	8.7	5.0	73.7	64.4	56.6	48.5	25.2
4	短歌や俳句、文章を詳しく読んで、どのような心や思いが込められているかを考えている。	川崎市	73.1	60.5	55.5	5.0	30.3	39.0	20.2	5.2	5.2	79.3	76.8	71.5	63.9	15.4
5	はっきりと正確に伝わるように、違う言葉を使ったり文章を書き直したりしている。	川崎市	84.3	60.6	52.1	8.5	42.2	37.3	12.0	2.7	5.7	91.6	88.1	83.6	72.6	19.0

質問1では、87.8%の児童が、肯定的な回答をしています。友だちが書いた文章や話したことを参考にして、新たな視点での見方や考え方をもちようとしているといえます。授業の中に交流する場が設定され、互いのよさを認め合い、受け入れていく温かな聞き方が各学校で取り組まれている成果となっています。

質問3では、A層は73.3%が肯定的な回答をしているのに対し、D層は48.5%と半数をきり、読書習慣の有無が学力に関わっているのではないかと考えられます。読むことへの抵抗感を持たずにいられるよう、**日常の読書活動や読み聞かせ等、本と触れ合う時間の確保に取り組み**、「読むこと」の学習が読書へとつながる授業展開の工夫が必要となってきます。

【第5学年】

集計項目	川崎市	川崎市学力層別						判定
		A層	B層	C層	D層	層Aの差D	ンパター	
教科総合	70.9	92.2	80.2	66.8	44.5	47.7		
知識・技能	73.0	90.5	80.8	70.8	49.8	40.7		
思考・判断・表現	69.2	93.7	79.7	63.5	39.9	53.8	Ⅲ	

大問	小問	設問番号	設問内容	基礎応用	出題形式	観点1 知識・技能	観点2 断・思考・表現判	川崎市	川崎市学力層別					
									A層	B層	C層	D層	の差	A I D
1	1		放送された内容のテーマを選ぶ	基礎	選択式		●	91.3	99.1	96.9	93.0	76.2	22.9	
1	2		高橋さんが一年生のとき困ったことを選ぶ	基礎	選択式		●	96.1	99.6	99.1	97.3	88.5	11.1	
1	3		高橋さんが考える高学年の行動のあり方を選ぶ	基礎	選択式		●	63.6	85.5	72.3	57.3	39.2	46.3	
1	4		高橋さんの発表の工夫を選ぶ	基礎	選択式		●	87.8	96.9	94.8	90.9	68.4	28.5	
1	5		高橋さんの発表に対する質問の意図を選ぶ	応用	選択式		●	87.3	99.0	96.2	90.1	63.9	35.1	
2	1	ア	漢字を読む(愛着のある服。)	基礎	短答式	●		93.2	99.8	99.3	97.6	76.2	23.6	
2	1	イ	漢字を読む(漢字を覚える。)	基礎	短答式	●		96.6	99.9	99.7	99.0	87.7	12.2	
2	1	ウ	漢字を読む(未完の作品。)	基礎	短答式	●		78.7	98.6	92.8	80.3	43.2	55.4	Ⅲ
2	2	ア	漢字の書き(都道府けんの名を書く。)	基礎	短答式	●		93.4	99.6	98.4	96.5	78.9	20.7	
2	2	イ	漢字の書き(体をそらす。)	基礎	短答式	●		34.5	72.4	41.1	19.1	5.2	67.2	I
2	2	ウ	漢字の書き(花のなえをうえる。)	基礎	短答式	●		77.7	97.7	90.6	77.1	45.4	52.3	Ⅲ
2	3		文意に沿って正しい接続語を選ぶ	基礎	選択式	●		96.6	99.7	99.4	99.0	88.5	11.2	
2	4		上の漢字が下の漢字を修飾している熟語を選ぶ	基礎	選択式	●		39.4	58.3	43.3	35.6	20.0	38.3	
2	5		「鼻が高い」を正しくつかっている文を選ぶ	基礎	選択式	●		83.3	98.7	93.5	84.4	56.6	42.1	
2	6		漢字辞典で漢字を調べるときの正しい使い方を選ぶ	基礎	選択式	●		51.6	83.5	60.5	40.0	22.2	61.3	I
3	1		具体的な内容を書いている段落を選ぶ	基礎	選択式		●	83.2	98.4	93.8	83.4	57.2	41.2	
3	2		文章の内容と合う短文を選ぶ	基礎	選択式		●	62.9	91.5	75.5	56.3	28.2	63.3	Ⅲ
3	3		文章についてまとめた文の空欄に入る言葉を書く	応用	記述式		●	31.9	75.0	36.3	14.0	2.2	72.8	I
4	1		登場人物の心情として正しいものを選ぶ	基礎	選択式		●	65.2	97.2	80.8	58.1	24.7	72.5	Ⅲ
4	2		登場人物の様子として正しいものを選ぶ	基礎	選択式		●	76.2	98.1	92.3	78.1	36.3	61.8	Ⅲ
4	3		文章についてまとめた文の空欄に入る言葉を書く	応用	記述式		●	37.8	90.6	47.6	11.4	1.2	89.4	I
5	1		漢字の音訓について正しく説明した文を選ぶ	基礎	選択式	●		57.9	87.0	70.1	49.9	24.4	62.6	Ⅲ
5	2		新聞記事の構成の工夫を選ぶ	基礎	選択式		●	62.7	93.7	78.8	55.3	22.9	70.8	Ⅲ
5	3		記事の原稿の空欄に入る言葉を書く	応用	記述式		●	53.9	93.8	71.5	39.7	10.5	83.3	Ⅱ

【観点別分析】

知識・技能について

大問2(1)漢字の読みを問う問題では、A～C層の正答率が90%を超え、とても良い傾向にあります。D層も正答率が約70%と、漢字の読みはかなり定着していることが分かります。一方、(2)漢字の書きを問う問題では、読みよりも正答率が10%近く低いです。さらに、A、B、C、Dと層が下がるにつれ、正答率が大きく下がっています。無解答率も高くなり「体を反らす」の漢字を書く問題では、B層でも37.5%が無解答でした。また、(6)漢字辞典の使い方を問う問題では、A層の正答率が83.5%、D層が22.2%と、約60ポイントの差があり、C層でも正答率が40.0%と、半分を切っています。

インターネットを使った調べ学習などで、多くの文章や言葉にふれ、習っていない字の読み方を学ぼうとすることはGIGA端末を扱う良さの1つです。ただ、漢字も辞典も使うことで知識や技能が定着していくので、教師も児童生徒も日常的に使う意識をつけるとともに、実際に漢字を書いたり辞典を使ったりする場を設定することが大切です。

(3)正しい接続語を選ぶ問題では、D層でも88.5%と高い正答率になっています。「読むこと」の学習における構造や内容を把握することとの関連を図ることができていると思われる。

思考・判断・表現について

大問1聞くことを問う問題では、A、B層の正答率は90%を上回り、D層でも67.2%と高い正答率です。学習活動の中で、ゲストティーチャーを招いたり校外学習へ行ったりするなど、国語の学習に限らず人の話を聞く場面が多くあります。その際に、何のために話を聞くのかという目的を児童にきちんと理解できるようにすることで、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えるなど、聞く力が定着してきていると考えられます。

大問3文学的な文章、4説明的な文章を読むことの問題では、A層とD層の差が大きく、66.8%の差が開いています(パターンⅢ)。中でも、(3)の文章の精査・解釈に関する問題の正答率が他よりもかなり低く、B層でも50%を下回り(パターンⅠ)、D層の児童においては正答率が1.2%(文)と2.2%(説)と、課題がある状況です。学習指導要領の「C読むこと」では、「ウ 目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約すること」が求められています。言語活動例にもあるように、文章を読んで分かったことや考えたことを説明する学習活動を設定し、要約する力をつけることが大切です。その際、要約する目的を意識して、内容の中心となる語や文を選んで要約することが重要です。

【授業づくりのアイデア例】

設問内容:

文章についてまとめた文の空欄に入る言葉を書く(思考・判断・表現)

<実際の設問> 大問4(3)

<正答率と4層分析データ>

川崎市	川崎市学力層別					判定層
	A層	B層	C層	D層	Aの差層	
37.8	90.6	47.6	11.4	1.2	89.4	I

<分析結果>

4層分析データからA層とD層の差が89.4ポイント離れていることが分かります。このことから、多くの児童生徒が文章全体から読み取ることができていないと考えられます。多くの児童生徒に、文章全体から読み取る力を身につけさせるための手立てが必要です。

<実態に応じた授業づくりの工夫>

場面の移り変わりとともに描かれる登場人物の気持ちの変化について、具体的に思い描きながら話し合っている学習場面です。文章全体から読み取る力を学級全ての児童に身につけさせることを考えると、読みの共有が必要になってきます。適切な読みを学級全体に広げる手立てが必要になります。また今回の結果から、一人読みをしたあとに学級全体で話し合いをして、最終的に自分の考えをノートにまとめていくという授業に慣れていないということも、実態としてあるのではないかと考えられます。

具体的な授業の流れとして次の①～④が考えられます。

- ①児童生徒の実態を鑑み、指導者が読みの学習課題を設定する
- ②課題についての自分の考えをノートに書く(一人読み)
- ③話し合いをして考えを出し合う
- ④話し合いを経て、改めて自分の考えをノートに書く

単元作りの留意点として、学習課題については児童任せにせず、実態を鑑みて指導者側で設定していくという点が挙げられます。文章全体から、登場人物の気持ちの変化に気づかせるために、**教師がしっかりと教材研究を行い、どんな課題が適切なのかを考えていくことが必要**です。また、話し合いの中で児童の多様な読みを大切に扱うことで、さまざまな考えを共有することができます。そのことが、日常の読書につながっていくという視点も必要です。

【主体的に学習に取り組む態度 質問別回答状況一覧】

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合 (%)	平均到達スコア			選択肢別回答割合 (%)					学力層別 肯定群回答割合 (%)				
				肯定群	否定群	肯-否の差	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答	A層	B層	C層	D層	A-D層の差
1	質問したりアドバイスし合ったりして思いや考えを伝え、先生や友だち、地域の人と進んで交流しようとしている。	川崎市	65.6	70.7	66.3	4.4	16.9	46.8	29.5	3.9	2.8	73.6	67.1	62.0	59.2	14.4
2	友だちが書いた文章や話したことを参考にして、自分にはない新しい考えや自分とは違う考えを持つようとしている。	川崎市	86.0	70.6	60.6	10.0	38.0	45.5	11.9	1.7	3.0	92.8	89.0	85.5	76.1	16.7
3	文章を読むとき、別々の段落で書かれていることを、考えとその事例、結論とその理由といった関係を考えながら読むようにしている。	川崎市	78.1	71.2	62.4	8.8	32.0	43.7	18.4	2.9	3.1	88.0	81.8	75.1	66.5	21.5
4	自分の考えをはっきりと正確に伝えるために、より良い言葉を探したりあてはめたりして工夫している。	川崎市	84.7	70.8	60.8	10.0	41.2	40.8	13.0	1.8	3.2	91.9	88.1	84.0	74.0	17.9
5	本で読んだことを参考にして、学校や家庭の学習や生活の場面で、より良くなるよう工夫している。	川崎市	71.6	71.4	63.9	7.5	34.6	34.6	21.7	5.8	3.4	83.6	73.4	67.6	60.7	22.9
6	同じような言葉でも細かな意味の違いがあることを、例文を作ったり文章を書き直したりして確かめている。	川崎市	80.6	70.8	63.8	7.0	33.0	44.2	16.3	2.3	4.1	87.6	82.7	78.9	72.2	15.4
7	はっきりと正確に伝わるように、違う言葉を使ったり文章を書き直したりしている。	川崎市	85.7	71.0	60.4	10.6	40.3	41.7	12.0	1.7	4.4	93.5	88.6	84.5	75.1	18.4

質問2において、肯定的に回答した児童の割合は、A層で92.8%、D層でも76.1%と高い割合でした。多くの児童が自分の考えを持つという意識で学習に取り組んでいます。一方、学習指導要領のC読むこと(1)「ア 段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えること」に関連している質問3では、肯定的に回答した割合がA層では88.0%、D層では66.5%でした。D層の児童の意識も低いわけではありませんが、実際の読む問題の正答率は低いです。その原因として、知識・技能の定着ができていないことが考えられます。**読んだ内容について伝え合い友達と読みの共有をすること**で、正しい知識・技能を身に付けていくことが大切です。

【第6学年】

集計項目	川崎市	川崎市学力層別					層Aの差D	ンパター判定
		A層	B層	C層	D層	層Aの差D		
教科総合	70.6	90.3	78.6	66.9	46.7	43.6		
知識・技能	69.7	90.4	78.2	64.5	45.8	44.6		
思考・判断・表現	71.3	90.2	78.9	68.7	47.3	42.9		

設問番号		設問内容	基礎 応用	出題 形式	観点1 知識・ 技能	観点2 断思 考・表 現判	川崎市	川崎市学力層別					の差	層Aの差D	判 定	ン パ ター
大問	小問							A層	B層	C層	D層					
1	1	放送された内容のテーマを選ぶ	基礎	選択式		●	95.0	99.0	97.8	96.5	86.9	12.1				
1	2	森下さんの発表の特徴を選ぶ	基礎	選択式		●	78.6	90.2	82.4	77.6	64.1	26.1				
1	3	森下さんが示した図を選ぶ	基礎	選択式		●	84.7	96.4	91.0	84.3	67.0	29.4				
1	4	森下さんの説明の理由を選ぶ	基礎	選択式		●	57.5	79.8	63.2	51.1	36.0	43.8				
1	5	竹田さんの考えから、想定される質問を選ぶ	応用	選択式		●	66.7	90.4	75.8	63.9	36.5	53.9	III			
2	1	ア 漢字の読み(応急手当てを行う。)	基礎	短答式	●		93.3	99.9	99.3	97.7	76.4	23.5				
2	1	イ 漢字の読み(答えを確かめる。)	基礎	短答式	●		97.9	99.4	99.3	98.9	94.0	5.4				
2	1	ウ 漢字の読み(友達に本を貸す。)	基礎	短答式	●		97.6	99.9	99.8	99.6	91.2	8.7				
2	2	ア 漢字の書き(ひょうこうの低い山。)	基礎	短答式	●		44.7	89.3	55.2	26.6	7.4	81.9	I			
2	2	イ 漢字の書き(せきせつが多い地方。)	基礎	短答式	●		46.9	90.9	60.6	29.3	6.6	84.3	II			
2	2	ウ 漢字の書き(チームの勝利をねがう。)	基礎	短答式	●		69.0	94.4	82.5	62.6	36.7	57.7	III			
2	3	和語と漢語の組み合わせを選ぶ	基礎	選択式	●		71.8	92.4	83.6	68.9	42.1	50.3	III			
2	4	正しい敬語を選ぶ	基礎	選択式	●		82.0	97.0	89.6	80.6	60.8	36.2				
2	5	正しくない同音異字を選ぶ	基礎	選択式	●		52.7	89.8	64.7	37.9	18.3	71.5	II			
2	6	結果に対応する正しい原因を選ぶ	基礎	選択式	●		75.5	95.9	86.7	75.0	44.6	51.3	III			
3	1	文章に関連する表の効果を選ぶ	基礎	選択式		●	84.4	98.2	93.7	84.5	61.2	37.0				
3	2	文章中の空欄にあてはまる言葉を選ぶ	基礎	選択式		●	88.8	99.3	98.4	93.6	64.1	35.2				
3	3	具体例を挙げている段落を選ぶ	基礎	選択式		●	85.4	99.2	96.0	89.3	57.2	42.0				
3	4	文章の一部をまとめた文にあてはまる言葉を書く	応用	記述式		●	86.5	99.6	97.5	93.4	55.3	44.3				
4	1	文章中の空欄にあてはまる言葉を選ぶ	基礎	選択式		●	74.0	94.5	84.1	71.4	46.0	48.5				
4	2	登場人物の様子について正しい説明を選ぶ	基礎	選択式		●	89.6	99.7	98.5	94.2	65.8	33.9				
4	3	文章について正しい説明を選ぶ	基礎	選択式		●	64.0	79.6	71.0	62.8	42.6	37.0				
4	4	登場人物についての会話文の空欄に合う言葉を書く	応用	記述式		●	32.0	66.4	40.3	17.7	3.7	62.7	I			
5	1	上の漢字が下の漢字を修飾している熟語を選ぶ	基礎	選択式	●		35.5	45.8	38.4	32.3	25.3	20.5				
5	2	企画書の一部に見られる書き方の工夫を選ぶ	基礎	選択式		●	55.0	89.7	66.3	42.4	21.5	68.2	II			
5	3	話し合いを参考に文章を詳しく書き直す	応用	記述式		●	27.3	71.3	27.6	8.2	2.2	69.1	I			

【観点別分析】

知識・技能について

漢字の読みを問う問題では、A～C層の正答率が97%を超え、とても良い傾向にあります。D層も平均87%と、漢字の読みはかなり定着していることが分かります。一方、漢字の書きを問う問題では、平均正答率は53.3%でした。いずれの漢字も第4学年までに学習している内容です。漢字の習得の際に、正しい字形を捉えることや熟語としての理解が不十分であることがうかがえます。同音異字の正答率も同様にA・B層の児童以外の正答率が低くなっています。漢字に対する興味をもって行う授業への改善が求められます。

学習指導要領の「言葉の特徴や使い方に関する事項」では、漢字を「文や文章の中で使うこと」が示されています。**日常的に文や文章の中で適切に使うことができるように指導を積み重ねることが大切**です。国語科での漢字の学習の場面だけでなく、各教科等の学習や日常で文章を書く様々な場面において意識的に漢字を使うように指導し、学習した漢字を使う習慣を身に付けさせたいです。また、熟語の使用が増える高学年では、漢字のもつ意味を考えて文や文章で使えるようにすることも大切です。

思考・判断・表現について

聞くことを問う問題では、内容のテーマを聞き取り、話し手が伝えたいことを想像しながら捉えることに関しての正答率が高く出ています。読むことを問う問題では、説明的な文章において86.3%と高い正答率を示しています。一方、書くことを問う問題では、A層と他の層との差が大きく、多くの児童に課題があるので、全体としての指導の見直しが必要となってきます。特にD層での無解答率が高くなっています。

大問4(4)は叙述をもとに登場人物の性格を二人の登場人物を対比することで読み取ることができるかを問う問題です。正答率は32.0%と低く、A層以外の正答率が低くなっています。また、D層は無解答率が44.8%と高く、読み取ることができていないことが分かります。

学習指導要領の「C 読むこと」では、「エ 人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること」が求められています。**登場人物の行動や会話、様子などを表している複数の叙述を結び付け、それらを基に性格や考え方などを総合して判断することが必要**となってきます。

【授業づくりのアイデア例】

設問内容:登場人物の会話文の空欄に合う言葉を書く(思考・判断・表現)

〈実際の設問〉大問4(4)

(4) 次は、大野さんと川口さんが、この文章について話合っている場面です。この中の□にあてはまる言葉を、五島さんに話しかけられて答えた時の佐久間さんの様子を表す文章中の言葉を使って書きましよう。

「わたし」と佐久間さんの人物像は、はつきりどちがっているね。

そうだね。なかでも五島さんと話をしているときの受け答えにそれが表れているね。最初に五島さんに話しかけられたときの「わたし」は言葉が出てこないよね。

大きくなったらなりたいものについて聞かれたときもそうだね。それに対して、佐久間さんは□ね。

〈正答率と4層分析データ〉

川崎市	川崎市学力層別					判定層
	A層	B層	C層	D層	Aの差層	
32	66.4	40.3	17.7	3.7	62.7	I

〈分析結果〉

4層分析データからA層とB層の差が約26ポイント離れ、A層とBCD層に開きがあることが分かります。またD層の無解答率は44%です。登場人物の人物像を表している叙述を引用できた児童生徒が31.1%と高くはないことから、全体的に叙述をもとに人物像を捉えるために、「どの言葉に着目して読むとよいか」という読む視点を身に付けさせていくことが必要です。また、自分の考えをまとめることが苦手な児童には、友達と考えを共有することを通して自分の考えを明らかにして書くことが効果的です。

〈実態に応じた授業づくりの工夫〉

これまでに身に付けた読み方の振り返り

登場人物の人物像を具体的に想像するためには、登場人物の行動や会話、様子などを表している複数の叙述を結び付け、それらを基に性格や考えなどを総合して判断することが必要です。そのために、低学年では、行動や会話に着目して読むことで具体的に想像することができる体験を積み重ねることが大切です。中学年では、さらに、性格や様子を表す言葉に着目して読むことで、具体的に想像できることに気付かせることができます。



低学年

中学年

「登場人物の人物像を捉えるには、どんなところに着目して読むと分かりそうかな。」と教師が問うことで、これまでの読み方を振り返りながら、児童自身が「行動に注目して読んでみよう。」「会話の様子から分かることはないかな。」と言葉に着目して読むことができるようになります。

多様な考えを共有し、自分の考えをまとめる

「この文章からこう考えた(想像した)。」というように、叙述を基に自分の考えを、まずは、一文からでも表現する場を設けることがポイントです。その際、GIGA端末や座席表等の一覧を活用することで、友達の考えや着目した叙述をもとに、自分の考えをまとめることができます。また、友達と考えを共有した後、再度、本文を読み返し、自分の考えをまとめるようにしていきましょう。

【主体的に学習に取り組む態度 質問別回答状況一覧】

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合 (%)	平均到達スコア			選択肢別回答割合 (%)					学力層別 肯定群回答割合 (%)				
				肯定群	否定群	肯-否の差	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答	A層	B層	C層	D層	A-D層の差
1	質問したりアドバイスし合ったりして思いや考えを伝え、先生や友だち、地域の人と進んで交流しようとしている。	川崎市	60.3	58.4	53.0	5.4	14.6	44.4	33.7	5.2	2.1	71.0	61.9	56.0	51.8	19.2
2	友だちが書いた文章や話したことを参考にして、自分にはない新しい考えや自分とは違う考えを持つようとしている。	川崎市	84.8	57.6	48.7	8.9	33.6	49.4	13.1	1.7	2.2	91.6	87.7	83.3	76.4	15.2
3	同じテーマや主題の作品を読み比べて、共通点や相違点を見つけたりして、自分の考えを持つようとしている。	川崎市	58.4	57.4	54.7	2.7	18.3	38.7	31.6	9.0	2.4	63.7	58.6	56.9	54.2	9.5
4	自分の考えをはっきりと正確に伝えるために、より良い言葉を探したりあてはめたりして工夫している。	川崎市	85.9	57.9	46.4	11.5	44.3	39.4	12.1	1.7	2.5	93.7	89.3	85.0	74.8	18.9
5	本で読んだことを参考にして、学校や家庭の学習や生活の場面で、より良くなるよう工夫している。	川崎市	71.5	58.7	50.3	8.4	34.0	35.5	22.0	5.7	2.7	84.7	74.2	66.5	59.7	25.0
6	短歌や俳句、文章を詳しく読んで、どのような心や思いが込められているかを考えている。	川崎市	72.9	57.4	53.4	4.0	28.2	42.5	21.1	5.1	3.1	77.6	74.7	71.8	67.3	10.3
7	はっきりと正確に伝わるように、違う言葉を使ったり文章を書き直したりしている。	川崎市	87.1	57.9	46.0	11.9	44.5	39.8	10.9	1.5	3.2	94.9	89.6	86.9	76.4	18.5

質問7「はっきりと正確に伝わるように、違う言葉を使ったり文章を書き直したりしている」を問う設問に、肯定的に回答した児童の割合は、A層で94.9%、D層でも76.4%と高い割合でした。多くの児童が相手意識をもって正確に伝わる方法を実践している成果として表れています。一方、質問5「本で読んだことを参考にして、学校や家庭の学習や生活の場面で、より良くなるよう工夫している」がA層とD層の差が25.0ポイントあり、明らかにD層に課題があります。また、意識調査の質問19「本やドラマなどを見て、人の生き方に感動することがある」もD層が他に比べて課題があり、**本などで疑似体験するなど機会を増やすことが必要**であると考えます。

【質問紙調査から】

質問項目:【45】
 質問内容:自分の意見や考えを相手にわかりやすく伝えることができる。

〈肯定的な回答率と4層分析データ〉

	川崎市	A層	B層	C層	D層	A-Dの差
第4学年	71.6	79.7	73.5	69.1	64.1	15.6
第5学年	68.7	80	72.6	65.6	56.8	23.2
第6学年	66.6	79.9	70.6	63.2	52.6	27.3
平均	68.9	79.8	72.2	65.9	57.8	22

〈分析結果〉

国語科の目標の(2)に「日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う」とされています。「自分の意見や考えを相手にわかりやすく伝えることができる」ことは、国語科の学習においても大切です。調査結果では、調査を実施した5、6年生ともにA層とD層の差が20ポイント以上あります。このことから「**自分の意見や考えを相手にわかりやすく伝えること**」に**苦手意識がある**ということがわかります。学習状況調査結果を見ると、「話すこと・聞くこと」では、A層とD層の差は少なく結果は良好です。しかし、「書くこと」では、A層とD層の差は大きく60ポイントを超える設問も多くあります。児童生徒がそれぞれの単元における、「**分かりやすい話し方や書き方**」について**理解できていない**ということや「**分かりやすい話し方や書き方**」が**できているか自覚できていない**ことが課題として考えられます。

〈実態に応じた授業づくりの工夫〉

児童が分かりやすく話したり、書いたりするためには、**どのような話や文章が分かりやすいのか具体的に理解できるように**授業を進めることが大切です。

単元の導入では、モデルとなる話を動画で見せたり文章を読んだりして分かりやすい点について考えることができるようにします。次に、学級内で伝え合い分かりやすい点を共有します。さらに、共有したことを「めあて」として児童に提示することで身に付ける力が明確になり、児童は主体的に学びに向かうことができます。

単元の途中では、お互いの話や文章を見て分かりやすい点を伝え合います。話や文章を完成させた後だけでなく、取材や構成を考えるような途中の段階でもよさを伝え合う場を設定することが大切です。ここでも「めあて」を意識できるようにします。チェック表などを作り、話や文章のどこを見るのか視点を明確にして友達の良さを見つけられるようにします。「話すこと」の学習では、GIGA端末を活用し、話の様子を録画しておくことで、振り返りに活用することもできます。

単元の最後では、完成した話や文章について感想を伝え合います。よさを伝えて終わるのではなく、それぞれの児童生徒が自分の話や文章の分かりやすい点を自覚できるようになることが大切です。

	R5	R6	R7
第4学年	71.6		
第5学年	68.7		
第6学年	66.6		

3 小学校算数

【第4学年】

集計項目	川崎市	川崎市学力層別					
		A層	B層	C層	D層	層の差 A-I D	ンパター判定
教科総合	69.3	91.1	79.5	66.7	39.8	51.3	Ⅲ
知識・技能	75.1	93.5	85.2	74.6	47.2	46.3	
思考・判断・表現	47.8	82.3	58.3	37.9	12.6	69.7	Ⅲ

設問番号		設問内容	基礎 応用	出題 形式	観点1 知識・ 技能	観点2 判断・ 思考・ 表現	川崎市	川崎市学力層別					
大問	小問							A層	B層	C層	D層	の層の差 A-I D	ンパター判定
1	1	ア 3位数+3位数の加法の計算をする(繰り上がりあり)	基礎	短答式	●		86.0	95.4	92.0	85.6	70.8	24.6	
1	1	イ 1000-3位数の減法の計算をする	基礎	短答式	●		79.1	96.2	89.3	78.6	52.4	43.8	
1	1	ウ 3位数×2位数=4位数の計算をする	基礎	短答式	●		66.3	91.4	79.5	62.9	31.5	59.9	Ⅲ
1	1	エ 2位数÷1位数=1位数(あまりあり)の計算をする	基礎	短答式	●		78.9	96.7	90.3	80.8	48.0	48.7	
1	1	オ 真分数-真分数=真分数の計算をする	基礎	短答式	●		90.8	98.9	97.0	92.9	74.4	24.5	
1	1	カ 小数+小数=小数の計算をする	基礎	短答式	●		92.6	99.1	96.9	94.9	79.5	19.6	
1	2	ア 数直線の目盛りが表す数を選ぶ	基礎	選択式	●		84.8	98.7	95.1	87.7	57.9	40.8	
1	2	イ 大きな数の表し方で正しいものを選ぶ	基礎	選択式	●		61.8	89.0	74.5	54.2	29.4	59.6	Ⅲ
1	3	かけ算の性質で正しいものを選ぶ	基礎	選択式	●		76.8	97.4	90.3	77.9	41.3	56.1	Ⅲ
2	1	円の中心から円周上までの距離を選ぶ	基礎	選択式	●		84.0	98.3	95.2	87.2	55.3	43.0	
2	2	ボールが入った箱の辺の長さで正しいものを選ぶ	応用	選択式	●		57.8	87.7	70.2	48.8	24.5	63.2	Ⅲ
2	3	角の大きさを大きい順に並べたものを選ぶ	基礎	選択式	●		39.4	68.3	43.3	28.5	17.6	50.7	I
2	4	正三角形の作図をする	基礎	短答式	●		43.5	75.5	51.4	34.2	13.0	62.5	I
3	1	公園に着いた時刻で正しいものを選ぶ	基礎	選択式	●		90.3	98.9	98.0	94.7	69.8	29.1	
3	2	駅から学校までの道のりを求める	基礎	短答式	●		76.2	97.8	91.5	78.7	36.9	60.9	Ⅲ
3	3	はかりの針が指している重さを読み取る	基礎	短答式	●		62.2	89.1	75.9	57.6	26.2	62.9	Ⅲ
3	4	m(ミリ)を何倍にすればよいかを選ぶ	基礎	選択式		●	41.8	65.7	43.5	33.0	25.1	40.6	
4	1	ア 棒グラフで目盛りが表している人数を答える	基礎	短答式	●		86.3	99.6	98.2	94.2	53.2	46.4	
4	1	イ 棒グラフを読み取り、一番多いものを選ぶ	基礎	選択式	●		95.3	99.9	99.8	99.5	81.9	18.0	
4	1	ウ 棒グラフから2つの項目の人数の差を選ぶ	基礎	選択式	●		78.8	96.1	91.9	82.7	44.6	51.5	Ⅲ
4	2	ア 表を読み取り、一番多いものを選ぶ	基礎	選択式	●		90.9	98.4	97.0	95.8	72.6	25.8	
4	2	イ 表の合計を表す位置を選ぶ	基礎	選択式	●		85.4	99.7	98.4	91.7	51.8	47.9	
5	1	数量の関係を表しに表し答えを求める(乗法の式)	応用	記述式		●	50.6	83.2	65.9	42.5	10.5	72.7	Ⅲ
5	2	数量の関係を表しに表し、答えを求める(減法の式)	応用	記述式		●	58.3	93.6	78.9	49.8	11.1	82.5	Ⅲ
5	3	場面を表す口を用いた式を選ぶ	基礎	短答式	●		45.8	85.5	60.0	32.2	5.5	80.0	Ⅱ
6	1	場面を表しに表し答えを求める	応用	記述式		●	75.3	99.6	95.8	79.8	26.0	73.6	Ⅲ
6	2	登場人物の考え方にあてはまる数を答える	応用	短答式		●	34.7	81.7	40.3	14.6	2.1	79.6	I
6	3	場面を表しに表し答えを求める	応用	記述式		●	26.0	70.2	25.4	7.8	0.6	69.6	I

【観点別分析】

知識・技能について

大問1(1)のアの正答率は86%でした。D層も70.8%と高い数値を示していることから、加法計算は概ね理解していることがわかります。しかし、大問1(1)のウの正答率は66.3%で、3位数×2位数の乗法の計算を半数以上の児童は解けていますが、D層の正答率は31.5%であり、4層分析のパターン判定はⅢでした。D層の児童は、筆算の位取りに課題があると考えられます。筆算の仕組みが定着するように位を意識した計算を繰り返し行っていく必要があります。

大問3(4)のm(ミリ)を何倍すると1mや1Lになるかを選択する問題の正答率は41.8%でした。補助単位の意味を理解するとともに、長さやかさの感覚について体験活動等を通して実感を伴いながら養っていくことが必要です。

大問5(3)の場面を表す□を用いた式を選択する問題の正答率は45.8%でした。A層、B層が85.5%、60%に対し、C層、D層は32.2%、5.5%であり、4層分析のパターン判定Ⅱでした。このことから、学習が苦手な児童ほど場面の様子を正しく把握し、正しく立式することが難しいことがわかります。未知数と既知数を明確にしたり、図や場面絵に表現したりと場面と式を関連付けることが大切です。

思考・判断・表現について

大問5(2)の正答率は58.3%でした。整数－小数の計算は半数以上が解けていますが、A層の93.6%に対して、D層は11.1%であり、4層分析のパターン判定はⅢであることから、位取りを意識し、位を揃えることや空位の0を付け足すことなどを、定着するまで個別に指導していく必要があると考えられます。

大問6(1)の正答率は75.3%と高い数値となっています。割り切れる除法の問題場面は正しく理解しており、それを式に表すこともできています。一方で、(2)の正答率は34.7%でA層とD層の差も79.6ポイントと高く、4層分析のパターン判定はⅠでした。このことから、多くの児童が未定着であることがわかります。余りのある除法の商や余りが、問題場面の何を表しているかなど、具体的な場面から考える活動が大切です。また、(3)の正答率は26.0%で、無解答も21.8%と高くなっています。C層・D層の無解答率はC層では22.6%で5人に1人以上、D層では58.1%で2人に1人以上であり、算数が苦手な児童ほど無解答率が高いです。学習した問題から、条件が変わったり、場面が変わったりする活用問題を通して、変わったことと変わらないことを整理し、筋道立てて考えていくことが大切です。

【授業づくりのアイデア例】

設問内容:場面を表す□を用いた式を選ぶ(知識・技能)

<実際の設問>

(3) 次の場面を、ひき算の式に表します。

画用紙が500まいありました。何まいか使ったので、のこりは280まいになりました。

わからない数を□として、ひき算の式に表したものはどれですか。次の1～3から1つえらんで、かい答用紙の番号に○をつけましょう。また、□にあてはまる数をもとめましょう。

- 1 $500 - \square = 280$
- 2 $\square - 280 = 500$
- 3 $\square - 500 = 280$

<正答率と4層分析データ>

川崎市	川崎市学力層別					
	A層	B層	C層	D層	Aの1層 の差D層	判定 イン
45.8	85.5	60	32.2	5.5	80	II

<分析結果>

4層分析からB層とC層の差が約30ポイントありました(A-D層の差は80ポイント)。また、川崎市全体の正答率も45.8%でした。このことから半数以上の児童が問題場面を把握できずに学習が進んでいると考えられます。

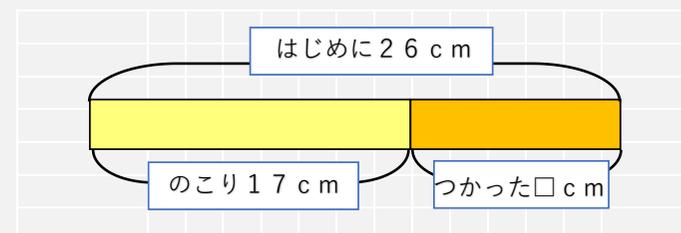
このような問題を苦手とする児童は、場面や数量関係を正しく把握することができていない場合が多いです。問題場面と式をつなげるには、既知数と未知数を明確にすることが大切です。問題場面を場面絵や図に表現するなど、具体化・視覚化して考える手立てが有効です。

<実態に応じた授業づくりの工夫>

言葉の式とテープ図や線分図、数直線の活用

問題場面を言葉の式に表現し、そこに既知数や未知数の□を当てはめたり、テープ図や線分図、数直線に表現したりすることで数量関係を整理することができます。数量関係が整理できると、立式しやすくなります。「言葉の式にしよう」「図で表そう」とする態度は、それらを活用して問題場面を整理できた体験を低学年から積み重ねることが大切です。

26cmのテープがありました。
何cmか つかったので、
のこりが17cmになりました。
つかったテープは何cmでしょうか。



この問題は第2学年で学習する「図をつかって考えよう」の単元にある問題です。求める数を□とおき、テープ図を用いて数量関係を整理し、立式につなげる学習です。適切に立式するには、文章から読み取れる情報を図に整理し、問題場面を明確にすることが大切です。「わかっているのはどこだろう」などと児童に問い、言葉や既知数、未知数をテープ図と関連づけ、正しい立式につなげていきましょう。

【主体的に学習に取り組む態度 質問別回答状況一覧】

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合 (%)	平均到達スコア			選択肢別回答割合 (%)					学力層別 肯定群回答割合 (%)				
				肯定群	否定群	肯-否の差	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答	A層	B層	C層	D層	A-D層の差
1	算数の授業で、図をかいたり動かしたり、大きさや長さを測ったりしながら考えるのは楽しい。	川崎市	85.5	56.1	43.2	12.9	54.0	28.8	10.4	3.7	3.2	92.9	90.4	84.3	73.3	19.6
2	解き方がわからない問題でも、これまでに学習したことを活用して、論理的に少しずつ解こうとしている。	川崎市	90.1	55.9	39.0	16.9	52.8	34.3	7.9	1.7	3.2	96.1	94.3	91.1	77.9	18.2
3	新しい問題を解くときに、これまでに習ったことをどうやって使えば解けそうか、考えるようにしている。	川崎市	86.8	56.1	42.3	13.8	47.8	36.2	10.7	2.0	3.3	93.5	91.3	86.8	74.7	18.8
4	自分の解き方を振り返って、良いところやわかりにくいところ、工夫しているところなどを考えるようにしている。	川崎市	81.9	56.1	46.6	9.5	41.6	37.4	14.0	3.5	3.6	88.2	85.2	81.3	72.1	16.1
5	友だちと、問題の解き方やより良い解き方を伝え合っている。	川崎市	80.0	56.4	46.6	9.8	42.0	34.9	14.7	4.5	3.9	87.1	85.1	78.8	68.0	19.1

質問番号5では、5問中、肯定群回答割合が最も低い結果となりました。また、D層の肯定的な回答をした割合も最も低い結果となりました。このことから、**集団思考時等に問題解決につながる自身または友だちの考え方について説明したり、説明を聞いたりするなどして**、より良い解き方を考える「対話的な学び」の充実が大切だと考えられます。その際、D層のような学習に苦手意識のある児童が中心となるよう展開を工夫することで学級全体の「伝え合う意識」の向上が期待できます。

【第5学年】

集計項目	川崎市	川崎市学力層別					
		A層	B層	C層	D層	層Aの差D	ンパター判定
教科総合	64.6	89.6	75.0	59.6	34.2	55.4	Ⅲ
知識・技能	71.1	92.5	82.5	69.0	40.4	52.1	Ⅲ
思考・判断・表現	34.6	76.1	40.3	16.2	5.5	70.6	I

設問番号		設問内容	基礎 応用	出題 形式	観点1 技能・知識	観点2 断・思 考・表 現・判	川崎市	川崎市学力層別						
大問	小問							A層	B層	C層	D層	の層Aの差D	判定	ンパター
1	1	小数の仕組みを理解し、正しいものを選ぶ	基礎	選択式	●		90.1	99.0	96.5	91.9	73.0	26.0		
1	2	ア 3位数÷2位数=2位数(余りあり)を計算する	基礎	短答式	●		60.4	88.9	74.7	55.5	22.7	66.2	Ⅲ	
1	2	イ 小数(小数第1位)-小数(小数第2位)を計算する	基礎	短答式	●		72.1	97.1	87.2	71.7	32.4	64.7	Ⅲ	
1	2	ウ 小数(小数第2位)×1位数を計算する	基礎	短答式	●		78.2	96.3	88.4	79.2	48.8	47.5		
1	2	エ 小数(第2位)÷1位数(割り切れるまで)を計算する	基礎	短答式	●		72.8	97.1	88.5	73.8	31.9	65.2	Ⅲ	
1	2	オ 帯分数-真分数を計算する(同分母分数)	基礎	短答式	●		78.7	99.2	95.0	84.3	36.4	62.8	Ⅲ	
1	3	数直線の目盛りが表す数を選ぶ	基礎	選択式	●		73.2	93.7	84.7	71.5	42.8	50.9	Ⅲ	
1	4	兆, 億を組み合わせた数を選ぶ	基礎	選択式	●		64.3	84.9	74.2	61.6	36.5	48.4		
1	5	四捨五入して, 5400になる数を選ぶ	基礎	選択式	●		66.5	89.2	77.1	62.8	37.1	52.1	Ⅲ	
1	6	上から2桁の概数で表す	基礎	短答式	●		57.8	90.6	73.8	50.6	16.3	74.3	Ⅲ	
2	1	180°より大きい角度を求める式を選ぶ	基礎	選択式	●		78.0	98.1	93.8	80.5	39.4	58.7	Ⅲ	
2	2	面積が120cm ² になる長方形を選ぶ	基礎	選択式	●		45.4	83.6	51.7	29.4	17.0	66.6	I	
2	3	1km ² が1m ² の何倍か選ぶ	基礎	選択式	●		17.8	42.8	16.3	6.6	5.4	37.4		
2	4	平行線と交わる直線が作る角度を求める	基礎	短答式	●		88.9	99.7	97.9	92.9	65.2	34.5		
2	5	対角線の端を順に結んでできる図形を選ぶ	基礎	選択式	●		84.5	97.8	91.4	84.8	64.0	33.8		
2	6	展開図を組み立てたときの平行になる面を選ぶ	基礎	選択式	●		90.8	99.0	97.8	95.3	71.0	28.0		
2	7	空間にある点の位置について, 正しいものを選ぶ	応用	選択式	●		73.7	96.5	89.3	72.9	36.2	60.3	Ⅲ	
3	1	伴って変わる2つの数量で, 変わり方を選ぶ	基礎	選択式	●		86.5	97.5	91.6	86.7	70.4	27.1		
3	2	伴って変わる2つの数量の関係を式に表したものを選ぶ	基礎	選択式	●		81.3	97.9	92.8	82.8	51.7	46.2		
3	3	伴って変わる2つの数量で, 一方を求める	基礎	短答式	●		70.5	98.1	91.6	68.7	23.6	74.5	Ⅲ	
4	1	気温の変化が最も大きい時間帯を選ぶ	基礎	選択式	●		88.0	98.7	97.0	92.9	63.4	35.3		
4	2	折れ線グラフをかく	基礎	記述式	●		41.3	84.9	54.6	21.5	4.2	80.7	Ⅱ	
5	1	減法と除法の計算を使って文章題に答える	応用	記述式		●	42.5	89.8	57.7	19.8	2.9	86.9	Ⅱ	
5	2	小数の除法の計算を使って文章題に答える	応用	記述式		●	31.6	81.4	33.3	9.9	1.8	79.6	I	
6	1	長方形を組み合わせた図形の面積を求める式を選ぶ	応用	選択式	●		75.1	97.8	92.0	70.0	40.5	57.3	Ⅲ	
6	2	長方形と正方形の面積のちがいを説明する	応用	記述式		●	24.2	65.0	24.6	6.3	0.8	64.2	I	
7	1	割合を表した図を選ぶ	基礎	選択式		●	39.9	64.6	44.4	31.0	19.7	44.9		
7	2	割合を用いて説明する	応用	記述式		●	34.5	79.9	41.7	14.0	2.4	77.5	I	

【観点別分析】

知識・技能について

大問2(2)の正答率は45.4%でした。A層の正答率が83.6%なのに対し、B層C層D層の正答率がそれぞれ51.7%、29.4%、17.0%であり、4層分析のパターン判定はIでした。このことから、多くの児童がこの問題が解けていないことがわかります。引き続き、面積から縦や横の長さを考える学習を取り入れることが必要です。また、(3)1kmが1mの何倍かを選択する問題の正答率は、17.8%でした。面積の意味を理解するとともに、面積の大きさについての感覚を具体的な教材を用いるなどして養っていくことが大切です。

大問4(1)の正答率は88.0%でした。それに対して、(2)の正答率は、41.3%でした。また、A層B層の正答率がそれぞれ84.9%、54.6%なのに対し、C層D層の正答率がそれぞれ21.5%、4.2%となっており、4層分析のパターン判定はIIで、学習が苦手な児童ほどこの問題が解けていないことがわかります。グラフから数値を正しく読み取ることはできていますが、変化がはっきりわかるように自分でめもりを設定し、グラフを作成する活動を多く取り入れていくことが大切です。

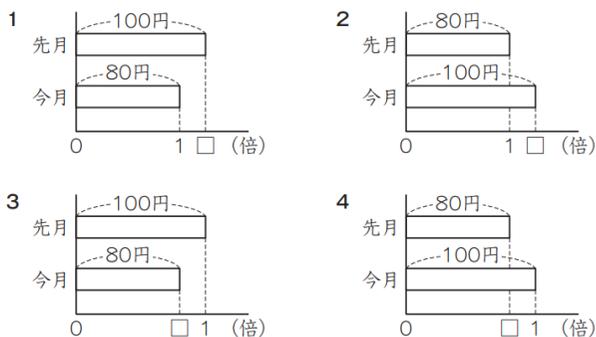
思考・判断・表現について

大問5(2)の正答率は42.5%でした。A層の正答率89.8%に対して、D層の正答率は2.9%で、その差は86.9ポイントあり、4層分析のパターン判定はIIでした。D層は無回答率も40.9%と高いことから、複雑な問題場面を把握し、立式するために簡単な図や数直線を用いることができるようにする必要があります。

大問7(1)は正答率が39.9%でした。基準量と比較量の判断や、数量関係のイメージを捉えることに課題があります。また、(2)の正答率は全体で34.5%であり、A層の正答率は79.9%でした。(1)のA層の正答率は64.6%でしたが、例を参照して値上がりを式に表し考えることができた児童が多いと考えられます。しかし、D層の正答率は2.4%であり、無回答率が39.3%と高く、4層分析のパターン判定はIでした。類似した回答例が示されていても、記述し説明することに苦手意識があることがうかがえます。児童が普段から数値の意味を考えたり、テープ図や数直線図を活用して表現したりする場面を大切にしながら指導していくことが大切だと考えられます。

【授業づくりのアイデア例】

(1) キャベツについて、今月のねだん 80 円が、先月のねだん 100 円の何倍になっているかを正しく表した図を、次の 1～4 から 1 つ選んで、かい答用紙の番号に○をつけましょう。



川崎市	川崎市学力層別					判定ライン
	A層	B層	C層	D層	Aの差D層	
39.9	64.6	44.4	31	19.7	44.9	

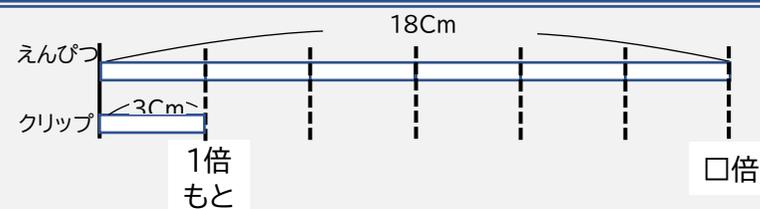
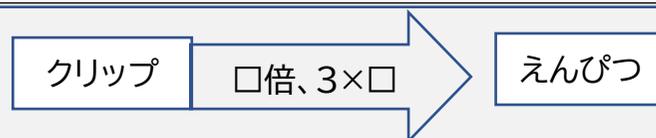
正答率が約40%であることや、D層の無回答率が32.4%とあることから、簡単な割合の学習について多くの児童が正しい理解をしていない状況で学習が進んでいることが考えられます。具体的には、数量関係のイメージが捉えられず、基準量と比較量の判断ができていないと考えられます。各学級、学年で、学習状況に応じて問題場面を場面絵や数直線図等を活用して整理するなどし、問題解決に取り組んでいくことが大切です。

<実態に応じた授業づくりの工夫>

問題場面における基準量と比較量の判断

倍については、第2学年において「〇〇のいくつ分」のことを「〇〇の何倍」と言うことや、何倍かに当たる数値を求める際には乗法の式に表すことを学習しています。そのことを基にして、倍(乗法)と除法の関係について、見方を拡張していく必要があります。

えんぴつの長さは18Cm、クリップの長さは3Cmです。
えんぴつの長さは、クリップの長さの何倍でしょうか。



上記の問題は3年生で学習する「わり算」の単元にある問題です。立式する際に、わり算のイメージから児童は「大きい方の数÷小さい方の数」と、安易に考えてしまいがちです。そこで、問題文がどちらを基準量としているのか上記のような関係を表す図を用いて整理していきたいです。「3を何倍すると18になるかな？」など、答えを求めるだけでなく、倍(乗法)と除法の見方から比較量と基準量の関係を意識させ、解決の道筋を児童から引き出す声かけをしていくことが大切です。

【主体的に学習に取り組む態度 質問別回答状況一覧】

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合(%)	平均到達スコア			選択肢別回答割合(%)					学力層別 肯定群回答割合(%)				
				肯定群	否定群	肯-否の差	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答	A層	B層	C層	D層	A-D層の差
1	算数・数学を使うと、複雑な問題でも簡単な式で表現できたり、わからない値が求められたりして便利だと思う。	川崎市	89.8	66.1	44.9	21.2	56.5	31.5	8.3	1.7	2.0	98.2	95.6	90.3	74.3	23.9
2	解き方がわからない問題でも、これまでに学習したことを活用して、論理的に少しずつ解こうとしている。	川崎市	89.2	65.8	48.9	16.9	50.2	37.2	9.0	1.6	2.1	96.9	93.1	89.4	76.6	20.3
3	新しい問題を解くときに、これまでに習ったことをどうやって使えば解けそうか、考えるようにしている。	川崎市	86.4	66.1	50.3	15.8	45.3	39.3	11.3	2.0	2.0	95.2	90.8	86.7	72.1	23.1
4	買い物や料理、工作など普段の生活でも、学校で習った分数や割合の考え方を使って考えようとしている。	川崎市	73.6	65.7	59.2	6.5	36.2	35.8	20.0	5.8	2.2	80.6	75.7	72.8	64.7	15.9
5	文章題で求められていることを、式に正しく表すことができたかどうかを振り返って検討するようにしている。	川崎市	77.6	66.3	56.1	10.2	31.5	44.3	18.3	3.6	2.2	87.2	81.0	76.5	64.7	22.5
6	問題を解いた後で、もっと他の解き方はないかと工夫して考えてみることもある。	川崎市	69.0	66.7	58.0	8.7	28.8	38.6	23.7	6.6	2.3	80.5	71.6	67.0	56.2	24.3
7	友だちと、問題の解き方やより良い解き方を伝え合っている。	川崎市	79.5	65.8	57.1	8.7	41.8	35.8	15.8	4.2	2.4	87.3	81.7	79.3	69.3	18.0

質問番号1について、A、B、C層の肯定群の回答割合が9割を超えているのに対し、D層だけが74.3%となっており、学習が**苦手な児童ほど算数を使う利便性を感じていない傾向がある**ことが分かります。また、質問番号6については、A層とD層の肯定群の回答割合の差は24.3ポイントで、D層においては、約半数の児童が問題に対してもっと他の解き方はないかと工夫して考えようとしていない傾向があることが分かります。このことから、集団思考の場面で多様な考えの中から共通点を見出したり、自分にとってよりよい解き方を見つけたりする活動を多く取り入れることで、学習が苦手な児童もよりよい解き方を見出し、算数の利便性を感じることができるようになります。

【第6学年】

集計項目	川崎市	川崎市学力層別					
		A層	B層	C層	D層	層Aの差D	ンパター判定
教科総合	62.7	90.9	74.1	55.5	30.2	60.7	Ⅲ
知識・技能	67.5	92.6	79.9	62.9	34.7	57.9	Ⅲ
思考・判断・表現	46.1	85.1	54.4	30.3	14.6	70.5	I

設問番号		設問内容	基礎応用	出題形式	観点1 知識・技能	観点2 断・思考・表現判	川崎市	川崎市学力層別					
大問	小問							A層	B層	C層	D層	の差	層Aの差D
1	1	ア	8.36×6.5を計算する	基礎	短答式	●	68.6	89.2	78.4	66.5	40.3	48.9	
1	1	イ	80.6÷4.2を計算する	基礎	短答式	●	26.7	59.3	33.4	12.6	1.6	57.7	I
1	1	ウ	2/3+5/12を計算する	基礎	短答式	●	84.6	98.9	96.3	91.6	51.6	47.3	
1	1	エ	1 2/15-3/10を計算する	基礎	短答式	●	67.1	95.3	84.3	67.9	20.8	74.5	Ⅲ
1	2		3/8を小数で表す	基礎	短答式	●	53.6	95.0	74.2	38.0	7.3	87.7	Ⅱ
1	3		36と60の最小公倍数を求める	基礎	短答式	●	64.1	93.9	79.9	59.1	23.6	70.3	Ⅲ
2	1		平行四辺形の面積を求める式を選ぶ	基礎	選択式	●	68.1	94.1	83.6	65.4	29.2	64.9	Ⅲ
2	2		直方体の高さを求める	基礎	短答式	●	66.1	99.0	89.8	60.9	14.6	84.4	Ⅲ
2	3	ア	合同な四角形で対応する辺を選ぶ	基礎	選択式	●	92.4	98.7	97.1	95.3	78.3	20.4	
2	3	イ	合同な四角形で対応する角を選ぶ	基礎	選択式	●	95.5	100.0	99.4	98.9	83.6	16.4	
2	4		三角形の角の大きさを求める	基礎	短答式	●	75.5	99.1	95.2	78.4	29.1	70.0	Ⅲ
2	5		三角柱の底面の図形を表したものを選ぶ	基礎	選択式	●	51.1	72.4	55.9	43.1	33.0	39.4	
2	6		円柱の展開図で、側面の辺ABの長さを求める式を選ぶ	基礎	選択式	●	66.3	95.0	79.4	58.1	32.7	62.3	Ⅲ
3	1		1m ² あたりの人数と1人あたりの面積を選ぶ	基礎	選択式	●	64.7	88.9	71.2	57.6	41.3	47.6	
3	2		定員に対する希望者の割合を選ぶ	基礎	選択式	●	61.7	89.3	75.0	57.4	25.0	64.3	Ⅲ
3	3		公園全体の面積を求める	基礎	記述式	●	42.3	89.6	55.7	21.1	2.7	86.9	Ⅱ
3	4		分速60mと同じ速さを選ぶ	基礎	選択式	●	51.8	91.1	59.3	35.1	21.7	69.4	I
3	5		自転車が進むのにかかった時間を求める	基礎	記述式	●	77.4	98.7	94.8	80.2	35.7	63.0	Ⅲ
4	1		読んだ本の数の平均を求める	基礎	短答式	●	81.0	98.1	94.5	86.8	44.5	53.6	Ⅲ
4	2		30日間で出たごみの量で正しいものを選ぶ	基礎	選択式	●	52.1	82.9	57.9	37.7	30.1	52.8	I
4	3	ア	ハムスターを飼いたい人の割合で正しいものを選ぶ	基礎	選択式	●	90.2	99.0	97.0	93.4	71.6	27.4	
4	3	イ	犬を飼いたい人の人数を求める	基礎	短答式	●	51.4	96.6	74.0	29.8	5.0	91.6	Ⅱ
4	4	ア	すりきずの件数が打ぼくの件数の何倍か求める	基礎	短答式	●	79.2	97.6	92.5	82.3	44.3	53.3	Ⅲ
4	4	イ	すりきずと切りきずの合計件数が全体の何%かを選ぶ	基礎	選択式	●	88.8	99.6	98.0	91.5	66.1	33.5	
5	1		ノートとえんぴつを最大何人に分けられるかを求める	応用	短答式		30.0	77.5	29.3	9.3	3.8	73.7	I
5	2		駅まで何mのところにいるかを求める	応用	記述式		45.4	94.9	62.1	22.4	2.2	92.7	Ⅱ
6	1		□にあてはまる文で正しいものを選ぶ	応用	選択式		51.7	91.3	63.4	35.7	16.1	75.2	I
6	2		セーターを安く買う買い方を求める	応用	記述式		31.3	84.1	34.5	6.4	0.3	83.8	I
7	1		あおいさんの表にあてはまる数を求める	基礎	短答式		80.6	97.9	91.5	78.0	54.8	43.1	
7	2		あおいさんの考え方についてあてはまる数を求める	応用	短答式		65.2	98.5	83.4	55.3	23.6	74.9	Ⅲ
7	3		おつりをもっとも少なくなる買い方を説明する	応用	記述式		18.5	51.6	16.3	5.0	1.2	50.4	I

【観点別分析】

知識・技能について

大問1の(1)イの正答率は26.7%でした。小数同士の除法に関して、定着が不十分であると言えます。位が増えても1桁または2桁の時と同じように位や小数点の位置に着目して計算することを確認したり、知識・技能の定着を図るための時間を十分に確保したりすることが大切です。

大問3の(3)基準量と割合から比較量を求める問題の正答率は42.3%でした。A層、B層の正答率はそれぞれ89.6%、55.7%に対してC層、D層の正答率はそれぞれ21.1%、2.7%と、この問題の4層分析のパターン判定はⅡでした。このことから学習の定着に開きがあることがわかります。問題文に書かれている言葉のみで求めるのではなく、数直線図や簡単な図などを使い、問題場면을正しく把握し、求める部分を明確にすることを普段の授業から意識して指導することが大切です。

大問4の(3)帯グラフから割合を読み取る問題アとその割合をもとに人数を求める問題イの正答率は、アが90.2%、イが51.4%でした。グラフから割合の数値を正しく読みとることはできていますが、その数値を基に、基準量や比較量を考えることに課題があります。

思考・判断・表現について

大問6(1)の正答率は51.7%であった。A層の正答率91.3%に対して、D層では16.1%と差は75.2ポイントでした。算数が苦手な児童ほど、基準量が違うと同じ割合でもその金額が変わるということを理解できていないと考えられます。(2)は割引後にどちらが安いかを考え、その理由を説明する問題で、正答率は31.3%であり、パターン判定Ⅰでした。割合を使って値引後の値段を求めることが難しかったり、その理由を説明したりすることに課題があると考えられます。

大問7(1)の正答率は80.6%で、表からきまりを見つけ、問題を解けています。一方で、(3)の正答率は18.5%まで下がり、パターン判定Ⅰでした。きまりを理解できても、そのきまりを他の場面で活用したり、言葉で表現したりすることが、難しいことがわかります。

大問6でも大問7でも、考えたことを言語化することに課題があることが分かります。学習の中で、「なぜその計算をしたのか」を書いたり、説明したりする場면을意図的に作っていくことが必要です。

【授業づくりのアイデア例】

<実際の設問>

(2) ちなつさんの家には、この洋服店で定価の500円引きになる買い物けんがありました。しかし、この買い物けんを使うか、特売日の割引を使うか、どちらか一方にしなければなりません。



セーター
定価 6000円

- 1 買い物けんを使うほうが安い。
- 2 特売日の割引を使うほうが安い。
- 3 どちらも同じ値段になる。

定価6000円のセーターを買う場合、買い物けんを使う場合と、特売日の割引を使う場合のどちらのほうが安く買うことができますか。次の1～3から1つで、解答用紙の番号に○をつけましょう。また、その理由を式と言葉を使って書きましょう。

<正答率と4層分析のデータ>

川崎市	川崎市学力層別					層の差 A-D	判定 パターン
	A層	B層	C層	D層			
31.3	84.1	34.5	6.4	0.3	83.8	I	

<分析結果>

川崎市全体の正答率は31.3%であり、多くの児童が割引後の値段が安くなるかを判断できていない、または、その理由を説明できていないことがわかります。

問題場面の数量関係を正しく把握するために、数直線や図を使って割引後の値段を正しく答えられるようにしていく必要があります。また、結果だけではなくそう考えた過程を式や言葉で表現できるようにすることが大切です。

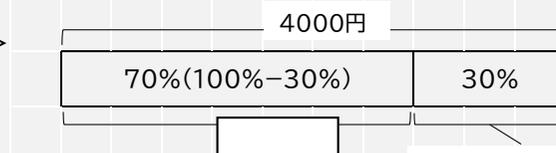
<実態に応じた授業づくりの工夫>

図や数直線の活用、言葉で表す

問題から立式することが難しい児童に対しては、基準量・比較量・割合の関係がどのようになっているのかを整理する必要があります。算数が苦手な児童ほどそれが難しい傾向にあるため、図や数直線を使って、問題場面を正しく把握することが大切だと言えます。

定価4000円の服が、30%引きの値段で売られています。
この服は何円で買えるでしょうか。

<テープ図>



<数直線>



この問題は5年生で学習する「割合」の単元にある問題です。これまで学習してきた問題と違い、問題文にある割合「30%」の額を求めても正しい答えは出すことができません。問題場面を正しく把握するには、図や数直線を使うことが有効ですが、**基準量や割合がどの部分なのかを問題文から読み取り、図に整理していく**必要があります。

図の中のどの部分が基準量に当たるのかを正しく把握するために、基準量という言葉の正しい理解が必要です。さらに、「30%」が図の中でどこを示しているのか、どの部分を求める問題であるかを問い返したり、集団思考で考えたりすることが大切です。

【主体的に学習に取り組む態度 質問別回答状況一覧】

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合 (%)	平均到達スコア			選択肢別回答割合 (%)					学力層別 肯定群回答割合 (%)				
				肯定群	否定群	肯-否の差	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答	A層	B層	C層	D層	A-D層の差
1	算数・数学を使うと、複雑な問題でも簡単な式で表現できたり、わからない値が求められたりして便利だと思う。	川崎市	89.4	66.0	48.5	17.5	57.9	30.0	8.4	2.0	1.7	98.2	95.6	88.8	74.7	23.5
2	解き方がわからない問題でも、これまでに学習したことを活用して、論理的に少しずつ解こうとしている。	川崎市	86.4	66.2	51.3	14.9	44.8	40.1	11.5	1.9	1.7	96.2	92.2	85.7	70.8	25.4
3	新しい問題を解くときに、これまでに習ったことをどうやって使えば解けそうか、考えるようにしている。	川崎市	86.4	66.0	52.0	14.0	45.7	39.3	11.4	1.9	1.8	95.7	91.8	86.0	71.8	23.9
4	買い物や料理、工作など普段の生活でも、学校で習った分数や割合の考え方をを使って考えようとしている。	川崎市	68.9	66.1	60.0	6.1	29.5	38.1	23.9	6.6	1.9	78.2	72.5	66.2	58.2	20.0
5	文章題で求められていることを、式に正しく表すことができたかどうかを振り返って検討するようにしている。	川崎市	72.8	66.7	57.3	9.4	26.6	44.7	22.4	4.3	1.9	85.9	77.1	69.4	58.0	27.9
6	1つの問題について、これまで習ったことを工夫して使えば、いろいろな解き方があると気づくことがある。	川崎市	76.0	66.9	55.4	11.5	34.9	39.6	19.4	4.1	2.0	90.6	82.1	71.4	59.2	31.4
7	問題を解いた後で、もう一度解き方を振り返って、良いところと間違っているところやもっと工夫ができることを見つけ出して、より良い解き方を考えるようにしている。	川崎市	64.1	67.4	58.4	9.0	25.7	37.1	26.9	8.2	2.1	79.7	68.9	58.8	48.4	31.3

質問番号6での肯定群回答割合は 76%、肯定群と否定群の差は 11.5%、またA層とD層の差は 31.4 ポイントでした。このことから、**算数を苦手としている児童ほど既習の考え方を生かして問題を解決しようとしていない傾向がある**ということがわかります。数学的な見方・考え方を大切にし、未知の課題に出会うときに既習を振り返り、活用できる表現方法や考え方の見通しをもてるようにしていくことが大切です。

【質問紙調査から】

質問番号:【84】

質問内容:算数・数学の授業で文章や式、図や表などを組み合わせて自分の考えを説明したことがある。

<肯定的な回答率と4層分析データ>

	川崎市	A層	B層	C層	D層	A-Dの差
第4学年	71.7	83.9	76.9	69.3	56.6	27.3
第5学年	69.2	87.1	77.4	65.9	46.6	40.5
第6学年	67.7	88.5	77.9	62.1	42.4	46.1
平均	69.5	86.5	77.4	65.8	48.5	37.9

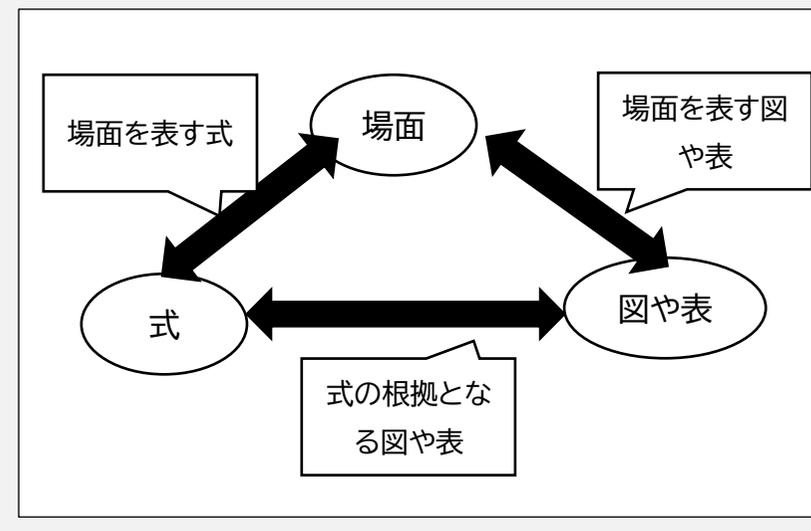
<分析結果>

質問番号84「算数・数学の授業で文章や式、図や表などを組み合わせて自分の考えを説明したことがある。」の肯定的な回答率の平均は69.5%でした。高学年になるにつれ肯定的な回答割合が減少していることがわかります。また、A層とD層の差も高学年になるほど開いており、第6学年では46ポイント以上の差があります。このことから、高学年になり、数や場面が複雑になっているにもかかわらず、文章や式、図や表などを組み合わせて考えていないこと、また算数を苦手としている児童ほど、そのような活動をしていないことが課題としてあげられます。問題場面が複雑になればなるほどに、文章だけ、式だけではなく、**文章、式、図などを関連付けて考えることができるようにしてい**
くことが必要です。

<実態に応じた授業づくりの工夫>

場面・式・図を関連付けて考える

低学年のうちから場面と式と、図を行き来しながら、この数は図で言うとどの部分にあたるのか、場面のどんな数なのかを明らかにしながら具体的な数のもつ意味を考えていくことが必要です。



	R5	R6	R7
第4学年	71.7		
第5学年	69.2		
第6学年	67.7		

4 小学校全般を通して～観点別分析～

【知識・技能について】

各教科の特徴

=国語=

漢字の読みの平均正答率は第4学年92.9%、第5学年89.5%、第6学年96.3%と、**漢字の読みはかなり定着**しています。しかし、知識・技能全体の平均正答率は第4学年83.3%、第5学年73.0%、第6学年69.7%で、D層の平均正答率は第4学年57.4%、第5学年49.8%、第6学年45.8%と、学年が上がるにつれて、減少傾向にあります。学年が上がるにつれて難しくなる、**漢字の書きや言葉の特徴や使い方、情報の扱い方などに課題**があることが分かります。日頃の学習を丁寧に進めていくこと、D層の児童への支援をしっかりと行うことが必要です。

=算数=

知識・技能において各学年の平均正答率が第4学年75.1%、第5学年71.1%、第6学年67.5%となり、**学年が進むにつれて平均正答率が下がって**います。また、4層分析に着目すると、**第5学年と第6学年においてパターン判定がⅢ**となっており、A-C層とD層との間に大きな差が生じています。さらに、各学年のD層の平均正答率を比較すると第6学年が最も低い値となっていることから、D層の児童に対して手立てを講じることが求められます。

授業改善の手立てについて

=国語=

- 習得した言語を定着できるように、繰り返し学習に取り組むこと。
- 漢字を読む力を高めながら、書く力を向上させていけるような工夫を日頃から行っていくこと。
- 定着だけでなく、単元の中で得た知識を次の単元で活用するための場面を設定したり、学習した言語を日常生活

に生かせるように、身近な教材の中で知識を活用する場面を設定したりすること。

=算数=

- 数と計算領域の四則計算において、基礎・基本となる整数同士の計算を確実に定着できるようにGIGA端末のドリルパークなど学習ソフト等に取り組むなど、計算練習を繰り返し行ったり、ブロックや図などを用いて視覚的に計算の過程を確認したりすること。
- 全ての学習で、既習を意識した授業を展開し、未習の学習内容に対して既習を活用しながら解決していくこと。

<授業改善のポイント>

- 知識・技能が習得できるようにするために、具体的で身近な教材を工夫したり、GIGA端末のドリルパークなど学習ソフト等に取り組むなど既習の知識や技能を繰り返し活用したりできるようにすることが大切です。
- 単元や題材など内容や時間のまとまりを見通して授業をデザインして、評価場面を明確にします。そのためには、単元の前に身に付けさせたい資質・能力を具体的な児童の姿でイメージしておくことが重要です。
- 知識・技能の定着を促すには理解することだけに留めず、学習したことを日常生活や他の学習で活用できる楽しさを実感させることが大切です。そのために、教員が学習内容を深く理解する事や日常や他の学習とのつながりを意識することなどが重要です。

【思考・判断・表現について】

各教科の特徴

=国語=

「話すこと・聞くこと」の領域において、A層とD層の差が第4学年39.8ポイント、第5年28.8ポイント、第6学年

33. 1ポイントであり、D層の平均正答率は第4学年55.5%、第5学年67.2%、第6学年58.1%です。いずれの学年も4層の差が少ないこと、D層の平均正答率が高いことから、日頃の授業でグループワークを通して意見交流を行ったり、発表の場や話を聞く場面を設けたりしてきた成果であると捉えております。課題としては、「書くこと」「読むこと」の領域において、ほぼ全ての学年でA層からD層の差が50ポイントを超えていること、記述式の平均正答率が低く、無解答率も高いことが挙げられます。「書くこと」「読むこと」の領域における授業改善が必要です。

=算数=

思考・判断・表現において各学年の平均正答率が第4学年47.8%、第5学年34.6%、第6学年46.1%となり、すべての学年において平均正答率が50.0%を下回っています。また、4層分析に着目すると、第4学年はパターン判定がⅢ、第5学年と第6学年はパターン判定がⅠとなっています。第4学年はパターン判定ⅢであるもののB層の平均正答率は、58.3%で約6割程度です。これらのことから、A層の児童が中心となった授業が展開されている可能性が考えられます。さらに、記述式の平均正答率に着目すると、第4学年52.5%、第5学年34.8%、第6学年43.0%で、自分の考えを頭の中で整理したり、文字にして表現したりすることに課題があると考えられます。

授業改善の手立てについて

=国語=

- 物語の学習において登場人物の行動や会話、様子などを表している複数の叙述を結び付け、それらを基に性格や考え方などを総合して判断すること。
- 文章を読んで分かったことや考えたことを説明する学習活動(ねらいを明確にしたペア学習やグループ学習等)を設定し、要約する力をつけること。その際、要約する目的を意識して、内容の中心となる語や文を選んで要約すること。

○複数の資料の情報を関連付けて、自分の言葉でまとめたり、自分の考えを表現したりすることにも課題があるため、日頃の授業から、様々な教材を比べて考察し、自分の考えを発信するような場面を設定すること。

=算数=

○授業における集団思考の際に「式のみ」で問題解決へつないだりせず、図と関連付けて確認をしたり、簡単な場面に置き換えて説明させたりすること。なお、すべての児童が学習に取り組みやすくするために、集団思考の前に、ねらいを明確にしたペア学習やグループ学習を必要に応じて取り入れること。

○A層の児童が表現する図や式は、抽象度が高い場合が多く、算数を苦手としている児童にとって理解が難しいと考えられる時もあるため、根拠を基に筋道立てて考える際の取り上げる表現方法を算数が苦手な児童の思考に寄り添い、より丁寧に段階を踏んでいくこと。

○既習事項を児童自らが活用する態度を育成するために、教員が既習事項を把握することや既習事項を活用した児童への価値づけること。

<授業改善のポイント>

○習得した知識・技能を活用して課題解決を図れるよう、教室掲示や学習ノートなどに残された既習事項を確認する態度を価値づけることなどが大切です。

○児童生徒が自身の考えをまとめたり表現したりする時間の確保が大切です。また、その際に、目的意識や相手意識をもって取り組めるよう指導することが重要です。

○教員は、児童同士をつなげる役割を十分理解し、授業に臨むことが必要です。そのために、学習が苦手な児童が何につまずいているのかを的確に把握し、問題解決につながる意見を取り上げ、学級全体で考えをつないでいくように授業を展開していくことが大切です。

○児童自身が自らの学びを振り返り、次の学びに向かうことができるようにする指導の充実を図ることが大切です。単元全体を見通して、振り返りをさせるタイミングや内容について計画的に位置づけることが大切です。また、その振り返りを教員が確認し、次の授業に生かしていくことも有効です。

小学校 社会

【質問紙調査から】

【教科の理解度】＜肯定的な回答率と4層分析データから＞

	A層	B層	C層	D層	A-Dの差	R5	R6	R7
第4学年	91.3	85.8	78.7	68.9	22.4	81.2		
第5学年	93.6	87.2	82.9	70.5	23.1	83.5		
第6学年	96.0	88.3	84.4	73.7	22.3	85.6		

＜分析結果＞

理解度では、肯定的な回答率は全学年で8割を超えているものの、各学年ともにA層からD層にかけて数値が低くなり、A-Dの差が20ポイント以上あることから、教科総合の結果が低い層にとっても「分かる」社会科の授業を工夫することが大切になります。

【教科の好感度】＜肯定的な回答率と4層分析データから＞

	A層	B層	C層	D層	A-Dの差	R5	R6	R7
第4学年	72.6	65.8	60.4	58.4	14.2	64.3		
第5学年	72.0	63.7	60.4	57.9	14.1	63.5		
第6学年	74.2	64.6	62.6	60.5	13.7	65.5		

＜分析結果＞

好感度では、肯定的な回答率は全学年で6割程度と理解度と比べて低い数値となっており、各学年ともにA層からD層にかけて数値が低くなっていることから、教科総合の結果を踏まえ、より多くの児童が興味関心をもてる授業を工夫することが大切になります。

【学習方略】＜肯定的な回答率と4層分析データから＞

社会の授業で、いま、世の中で起こっていることについて、資料をもとにして考えることがある。

	A層	B層	C層	D層	A-Dの差	R5	R6	R7
第4学年	55.9	55.6	54.6	53.1	2.8	54.8		
第5学年	69.2	67.6	62.7	54.4	14.8	63.5		
第6学年	80.6	77.6	74.8	64.0	16.6	74.2		

＜分析結果＞

肯定的な回答率は、第4、5、6学年の順に約10ポイントずつ高くなっているものの、A-Dの差は第4、5、6学年の順に大きくなっていることから、世の中で起きていることと学習内容を結び付け、資料をもとに考えられる授業を工夫することが大切になります。

＜実態に応じた授業づくりの工夫＞

社会科では、社会生活についての理解を図り、社会への関心を高めることを目標にしており、全ての児童にとって「分かる」授業を工夫し、社会への関心を高める授業を展開することが必要です。また、学習方略の調査結果を踏まえると、世の中で起きていることと学習内容を関連付けた授業づくりを工夫することも必要です。

例えば、世の中で起こっていることについて、地図帳で位置を調べたり、諸資料を基に学習内容と関連付けて考えたり表現したりする活動を取り入れ、社会科の授業といま世の中で起こっていることとのつながりを実感したり、社会科を学習する必要感を高めたりすることが考えられます。

小学校 理科

【質問紙調査から】

【教科の理解度】<肯定的な回答率と4層分析データから>

	A層	B層	C層	D層	A-Dの差	R5	R6	R7
第4学年	72.8	69.4	67.4	63.1	9.7	68.2		
第5学年	75.8	72.3	68.2	60.1	15.7	69.1		
第6学年	75.9	68.5	64.0	57.1	18.8	66.4		

<分析結果>

理解度では、肯定的な回答率における学年間の有意差はありませんが、4層分析を比較すると、D層では学年間の差が最大 18.4 ポイントあることがわかります。一人一人の児童が問題解決をするための手立てを講じる必要があると推測されます。

【教科の好感度】<肯定的な回答率と4層分析データから>

	A層	B層	C層	D層	A-Dの差	R5	R6	R7
第4学年	89.5	85.9	83.4	80.5	9.0	84.8		
第5学年	84.4	81.1	81.2	80.0	4.4	81.7		
第6学年	76.5	76.0	73.6	71.7	4.8	74.4		

<分析結果>

好感度では、肯定的な回答率は第4、第5、第6学年の順に低くなっています。一方で、4層分析を比較すると、各学年のD層の差よりもA層の差が大きいことがわかります。集団の特徴か学年の特徴か、次年度以降の回答率の推移を注視するとともに、児童が楽しみながら問題解決する授業づくりを充実させることが考えられます。

【学びの基礎力】<肯定的な回答率と4層分析データから>

授業で習ったことをふだんの生活と結びつけて考えている。

	A層	B層	C層	D層	A-Dの差	R5	R6	R7
第4学年	96.2	91.5	84.2	65.3	30.9	90.4		
第5学年	94.8	91.2	89.5	83.7	11.1	89.8		
第6学年	94.1	90.5	86.2	80.5	13.6	87.7		

<分析結果>

肯定的な回答率における学年間の有意差はありません。一方で、4層分析を比較すると、A—Dの差は第4、第5、第6学年の順に大きくなり、第4学年と第6学年では9.8ポイントの差があることがわかります。学習内容と生活を往還させ、理科を学ぶ有用性を実感できる授業づくりの大切さが推測されます。

<実態に応じた授業づくりの工夫>

理科では、児童が自然に親しみながら見いだした問題を、見通しをもって観察、実験を行うことを通して、概念的な理解を図ったり、科学的に問題解決する力を身に付けたりします。

全ての児童に対して、問題解決の過程を通して「わかる」授業を展開できるよう、理科の主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を充実させることが必要です。また、理科を学ぶ有用感を高めるために、日常生活や他教科との関連を図った学習活動や、ものづくりの活動の充実、自然災害との関連を図りながら理解を深める活動をすることで、理科の面白さを感じたり、理科を学ぶ有用性を認識したりする授業づくりの工夫が考えられます。

小学校 音楽

【質問紙調査から】

【教科の理解度】＜肯定的な回答率と4層分析データから＞

	A層	B層	C層	D層	A-Dの差	R5	R6	R7
第4学年	91.4	88.3	86.9	80.9	10.5	86.9		
第5学年	90.1	87.7	85.9	79.6	10.5	85.8		
第6学年	86.4	84.5	83.5	78.1	8.3	83.1		

＜分析結果＞

理解度については、A-D層の差が10ポイント程度開いており、特にC層とD層で約6ポイントの差が開いています。このことから特にD層の児童に対し、音楽科の学習の中で「わかった」と実感するための手立てが必要であることが推測されます。

【教科の好感度】＜肯定的な回答率と4層分析データから＞

	A層	B層	C層	D層	A-Dの差	R5	R6	R7
第4学年	82.7	81.3	80.1	76.8	5.9	80.3		
第5学年	79.4	78.1	76.7	72.6	6.8	76.7		
第6学年	75.0	73.7	72.3	69.2	5.8	72.5		

＜分析結果＞

好感度については、7割以上の児童が肯定的な回答をしており、さらにA-Dの差が少ないことがわかります。このことから、音楽科の目標にある、表現及び鑑賞の多様な活動を通して、音楽活動の楽しさを体験することができていると推測されます。

【問題解決力】＜肯定的な回答率と4層分析データから＞

自分の意見や考えを相手にわかりやすく伝えることができますか。

	A層	B層	C層	D層	A-Dの差	R5	R6	R7
第4学年	79.7	73.5	69.1	64.1	15.6	71.6		
第5学年	80.0	72.6	65.6	56.8	23.2	68.7		
第6学年	79.9	70.6	63.2	52.6	27.3	66.6		

＜分析結果＞

調査結果では、5.6年生ともにA層とD層の差が20ポイント以上あります。このことから「自分の意見や考えを相手にわかりやすく伝えること」に苦手意識があるということがわかります。音楽科においても、音や言葉によるコミュニケーションを図り、音楽科の特質に応じた言語活動を適切に位置づけることが大切です。

＜実態に応じた授業づくりの工夫＞

音楽科において、児童が音楽的な見方・考え方を働かせ、育成を目指す資質・能力を身に付けるためには、多様な活動を通して、音楽活動の楽しさを体験することが大切です。さらに、適切な時点での学習の見通しと振り返りを行うことで、児童が自分の学習状況を把握し、「わかった」と実感することにつながります。

また、音楽科の特質に応じた言語活動は、表現及び鑑賞を深めていく際に重要であり、理解度の向上にも資する活動です。特にD層の児童に向けた手立てとして、想像力を働かせて音楽と関わることができるよう、体を動かす活動を取り入れたり、音楽を聴いて感じ取ったことや想像したことなどを友達と伝え合ったりするなどの活動を取り入れることにより、自分の考えをもったり、それを表出したりする力の向上が期待できます。

小学校 図画工作

【質問紙調査から】

【教科の理解度】<肯定的な回答率と4層分析データから>

	A層	B層	C層	D層	A-Dの差	R5	R6	R7
第4学年	94.4	93.7	93.1	90.5	3.9	92.9		
第5学年	93.3	93.6	92.9	90.1	3.2	92.5		
第6学年	91.7	92.0	92.9	89.3	2.4	91.5		

<分析結果>

理解度では、学年が上がるにつれ、肯定的な回答率が僅かに低くなっていますが、全学年で9割を超えています。4層分析では、各学年ともA-Dの差が少ないことから、授業が「わかる」と感じていると考えられます。

【教科の好感度】<肯定的な回答率と4層分析データから>

	A層	B層	C層	D層	A-Dの差	R5	R6	R7
第4学年	88.3	89.4	90.2	90.3	-2.0	89.5		
第5学年	84.8	87.8	88.0	88.3	-3.5	87.3		
第6学年	78.7	82.1	85.0	85.3	-6.6	82.8		

<分析結果>

好感度では、肯定的な回答率は全学年で8割を超えています。4層分析では、各学年ともD層が最も高く、A-Dの差が、学年が上がるにつれ大きくなっています。肯定的な回答率が、学年が上がるにつれて低くなっていることから、誰もが好感を持ち、より主体的に取り組めるようにしていくことにやや課題があると考えられます。

【社会的実践力】<肯定的な回答率と4層分析データから>

いつも新しいアイデアを考えたり、工夫したりしている。

	A層	B層	C層	D層	A-Dの差	R5	R6	R7
第4学年	84.0	77.9	74.8	70.7	13.3	76.8		
第5学年	82.8	78.8	73.9	65.1	17.7	75.2		
第6学年	80.4	75.1	72.0	62.8	17.6	72.5		

<分析結果>

学年が上がるにつれ、肯定的な回答率が低くなりました。A-Dの差が、第4学年から第5学年で4.4ポイント大きくなっています。図画工作科では、表現する時に、表し方を考えたり工夫して表現することが求められることから、「いつも新しいアイデアを考えたり、工夫したりしている。」ことは重要です。

<実態に応じた授業づくりの工夫>

図画工作科では、作りだす喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養いながら、材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにすることを目標としています。

例えば、題材に取り組む必要感を感じながら楽しく主体的に学習に取り組めるよう、題材設定や題材との出会いを工夫することが考えられます。また、表し方を工夫できるよう、題材に取り組む際に、必要な技能の指導を工夫して、児童の表したい意図に応じて技能を選んだり組み合わせたりできるようにすることが考えられます。

小学校 体育

【質問紙調査から】

【教科の理解度】<肯定的な回答率と4層分析データから>

	A層	B層	C層	D層	A-Dの差	R5	R6	R7
第4学年	94.5	94.2	94.2	91.8	2.7	93.7		
第5学年	92.6	93.3	92.9	91.6	1.0	92.6		
第6学年	89.9	89.7	91.3	89.1	0.8	90.0		

<分析結果>

理解度では、肯定的な回答率は全学年で9割を超えています。A—Dの差も小さいため、多くの児童が「わかる」を実感できる授業が展開されていると推測されます。

【教科の好感度】<肯定的な回答率と4層分析データから>

	A層	B層	C層	D層	A-Dの差	R5	R6	R7
第4学年	87.8	89.4	91.2	90.2	-2.4	89.6		
第5学年	82.6	86.1	87.1	88.6	-6.0	86.1		
第6学年	78.6	81.9	83.0	85.3	-6.7	82.2		

<分析結果>

好感度では、肯定的な回答率は全学年で8割を超えています。運動に苦手意識をもっている児童への一層の配慮が必要です。A—Dの差は、どの学年においてもA層よりD層の数値が高い、という特徴がみられます。

<実態に応じた授業づくりの工夫>

体育科では、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することを目標としています。

授業では、各領域の特性に応じた楽しさを味わい(楽しみ方を知り)、その学習が好きになるような授業づくりを行います。特に、運動に苦手意識をもっている児童に配慮し、誰もが安心して学習できる場や用具の工夫、みんなが(みんなで)楽しめるルールの工夫などを行います。学習指導要領解説には、「運動が苦手な児童への配慮の例」や「運動に意欲的でない児童への配慮の例」が示されています。これらを参考に、単元をとおして学習への意欲が高まるような学習活動の設定や学習課題の提示を行います。例えば、易しい課題からスタートして最適な課題になるような学習課題を提示したり、規則やルールを児童やクラスの実態に応じてアレンジしたり、簡単に成功できる体験を繰り返しながら自然と動きが身に付くスモールステップを設定したりすることなどが考えられます。

運動やスポーツは「すること」だけでなく「みること」「支えること」「知ること」など多様な関わり方や楽しみ方があります。仲間の動きを見てアドバイスをしている姿、頑張っている仲間に声援を送る姿、チームの特徴を捉え作戦を提案する姿、ゲームの運営を進んで行う姿などを見逃さず、しっかり価値付けることが大切です。

小学校 家庭

【質問紙調査から】

【教科の理解度】＜肯定的な回答率と4層分析データから＞

	A層	B層	C層	D層	A-Dの差	R5	R6	R7
第6学年	89.7	89.2	87.9	81.9	7.8	87.2		

＜分析結果＞

理解度では、肯定的な回答率は 8 割を超えています。A層からD層にかけて肯定的な回答率が低くなっています。A-Dの差は7ポイント以上開いていることが分かり、D層への支援が必要となっています。

【教科の好感度】＜肯定的な回答率と4層分析データから＞

	A層	B層	C層	D層	A-Dの差	R5	R6	R7
第6学年	80.7	82.5	82.8	76.7	4.0	80.7		

＜分析結果＞

好感度では、肯定的な回答率は 8 割程度です。A-Dの差が少ないことが分かります。このことから、児童は家庭科の授業で、課題を解決できた達成感や、実践する喜びを味わい、主体的に取り組もうとしていることが推測されます。

【学習方略】＜肯定的な回答率と4層分析データから＞

授業で習ったことをふだんの生活と結びつけて考えている。

	A層	B層	C層	D層	A-Dの差	R5	R6	R7
第5学年	75.8	72.3	68.2	60.1	15.7	69.1		
第6学年	75.9	68.5	64.0	57.1	18.8	66.4		

＜分析結果＞

肯定的な回答率は第5、第6学年ともに7割程度で、学年が上がるにつれて低くなっています。各学年ともA層からD層にかけて肯定的な回答率が低くなっています。授業で学んだことを実生活で活用することが課題となっていることが分かります。

＜実態に応じた授業づくりの工夫＞

家庭科では、生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、よりよい生活の実現を目指しています。そのため、学習内容を日常生活と関連付け、何のために学習するのか、どんな資質・能力を身に付けることができるかをあらかじめ示すことで、家庭科を学習する必要感を高めることができます。

また、子どもが衣食住や家族の生活に関する調理、製作等の実習や観察、調査、実験などの実践的・体験的な活動を通して実感を伴って理解したり、子ども同士で協働したり、意見を共有して、互いの考えを深めたり、家族や身近な人々との会話を通して、考えを明確にすることにより、家庭科で身に付けた力を家庭生活で生かすことにつながることを期待できます。

支援が必要な児童へは、GIGA端末に動画や静止画の資料を用意することも効果的です。

小学校 外国語

【質問紙調査から】

【教科の好感度】<肯定的な回答率と4層分析データから>

	A層	B層	C層	D層	A-Dの差	R5	R6	R7
第6学年	67.8	68.4	64.3	55.3	12.5	63.9		

※第4・5学年は調査無し

<分析結果>

好感度では、A層からC層は大きな差はありませんが、C層とD層の差が9ポイントと大きくなっています。楽しく授業に取り組む児童に混ざり、英語を好きになれずにいる児童が見落とされやすい傾向にあることが考えられます。

【学習方略】<肯定的な回答率と4層分析データから>

新しく習ったことは、何度もくり返して練習している。

	A層	B層	C層	D層	A-Dの差	R5	R6	R7
第4学年	68.4	63.3	61.6	57.6	10.8	62.7		
第5学年	67.9	61.4	56.2	49.8	18.1	58.8		
第6学年	69.1	58.4	51.2	43.8	25.3	55.6		

<分析結果>

肯定的な回答率は、学年が上がるにつれ、A-Dの差が大きくなっています。英語では既習事項を繰り返しながら定着を図っていくことが大切ですが、そうした取組が不十分であることが考えられます。

<実態に応じた授業づくりの工夫>

外国語科では、言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を身に付けることを目標にしており、言語習得の特性から、繰り返しの学習で定着を図ることが重要です。

例えば、4月に「好きなもの・こと」、5月に「誕生日やほしいもの」、6月に「できること」について伝え合うような言語活動を計画した場合、それぞれを単発の活動として終わらせるのではなく、7月にこれらの活動すべてを生かし「自己紹介」の活動を行うなど、場面や活動などを替えて習ったことを何度も繰り返す場면을意図的に計画するような工夫が考えられます。

また、好感度の調査結果から、目立って発言をする児童など、特定の児童のみを中心に授業を進めてしまうことがないようにすることも大切です。児童同士のペアワークを行う際などには、教師はモニターとして教室全体を見渡し、活動にうまく取り組めていない児童をサポートしたり、上手なペアの活動を全体に共有したりするなど、適切に中間指導を行うことが必要です。

小学校 道徳

【質問紙調査から】

【教科の好感度】<肯定的な回答率と4層分析データから>

	A層	B層	C層	D層	A-Dの差	R5	R6	R7
第4学年	71.4	72.6	74.2	72.4	-1.0	72.7		
第5学年	71.5	74.4	76.4	73.7	-2.2	74.0		
第6学年	69.1	73.2	75.2	72.7	-3.6	72.5		

<分析結果>

好感度では、7割以上が肯定的な回答をしており、4層分析で見ると、どの学年もD層の児童の好感度が高い結果となっています。学習の得意不得意に関わらず、全ての児童が同じ土台で話し合う教科の特徴が表れています。

【社会的実践力】<肯定的な回答率と4層分析データから>

自分と違う意見も尊重している。

	A層	B層	C層	D層	A-Dの差	R5	R6	R7
第4学年	93.2	89.7	88.1	82.6	10.6	88.4		
第5学年	93.8	89.0	84.3	72.2	21.6	84.8		
第6学年	93.0	90.7	87.9	76.1	16.9	86.9		

<分析結果>

8割以上が肯定的な回答をしています。道徳科では、自分の体験や感じ方、考え方を交えながら話し合いを深める学習活動が多いため、「自分と違う意見を尊重する」態度の育成は重要です。今後も多様な考え方に触れる授業展開を継続していくことが大切です。

<実態に応じた授業づくりの工夫>

道徳科は「教える」「教えられる」という学習ではなく、内容項目（道徳性を養うための手掛かり）は、「教師と児童が人間としてのよりよい生き方を求め、共に考え、共に語り合い、その実行に努めるための共通の課題」であるという特質があります。好感度の結果からも分かるように、全ての児童が同じ土台に立ち、活躍できる授業を作っていくことができるのが道徳科の魅力の一つです。自分の考えを表出する手立てを挙手、ペア、グループ、書く活動、役割演技、端末活用など、様々な表現方法を取り入れ、多様な考えに触れることができるように授業を工夫することが大切です。

<道徳教育推進の工夫>

道徳教育の推進にあたっては、「全体計画」をもとに、各学校が重点目標を設定し、実施しています。質問項目の中には道徳教育目標や内容項目に関連するものが多数あります。例えば、「自分の力をできるだけ伸ばしたいと思う」は『個性の伸長』、「私は友だちのよいところやがんばりを認めて伝え合っている」は『相互理解、寛容』のように関連しています。自校の実態と照らし合わせ、データをもとに経年変化に着目することで、より道徳教育の推進について教職員の共通理解・共通実践が可能となります。

小学校 特別活動

【質問紙調査から】

【教科の好感度】<肯定的な回答率と4層分析データから>

	A層	B層	C層	D層	A-Dの差	R5	R6	R7
第4学年	91.3	89.5	87.8	79.2	12.1	86.9		
第5学年	90.4	87.2	87.2	78.8	11.6	85.9		
第6学年	88.8	87.1	84.2	79.8	9.0	84.9		

<分析結果>

好感度では、8割以上の児童が肯定的な回答をしており、学年による大きな差はありませんでした。このことから、児童が特別活動(学級活動)に楽しみながら参加していると推測されます。

【学級力】<肯定的な回答率と4層分析データから>

私は、自分たちの学習や生活をよりよくするための話合いや活動に、進んで取り組んでいる。

	A層	B層	C層	D層	A-Dの差	R5	R6	R7
第4学年	79.6	77.5	76.2	71.3	8.3	76.2		
第5学年	81.5	78.2	76.4	69.5	12.0	76.4		
第6学年	80.9	79.3	75.4	70.6	10.3	76.5		

<分析結果>

肯定的な回答率は、全学年で7割を超えており、学年による大きな差はありませんでした。各学年ともA層からD層にかけて肯定的な回答率が低くなっており、C層とD層の差が開いています。

【学級力】<肯定的な回答率と4層分析データから>

私は、友だちの話に賛成・反対・つけたしと、つなげるように発言している。

	A層	B層	C層	D層	A-Dの差	R5	R6	R7
第4学年	76.3	71.6	71.2	66.8	9.5	71.5		
第5学年	73.1	68.3	64.8	58.5	14.6	66.2		
第6学年	71.4	65.2	61.6	54.8	16.6	63.2		

<分析結果>

肯定的な回答率は、学年が上がるにつれて低くなりました。このことから、学年が上がるにつれて特別活動における対話的な学びを行うことに対する苦手意識が高まる傾向が伺えます。

<実態に応じた授業づくりの工夫>

3つの調査結果から、児童が特別活動(学級活動)へ肯定的な回答をしていても、話合いに進んで取り組んだり、意見をつなげるなど対話的に話し合ったりすることに苦手意識があることが分かります。特別活動(学級活動)の方法原理は「なすことによって学ぶ」です。教師は、児童が学級での生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意したことに実際に取り組めるよう適切な指導をすることが大切です。

例えば、学級に議題箱を設置し、児童が発見した学級生活に対する諸問題を提案できるようにしたり、話合いの前に進行を務める司会者等と教師と一緒に活動計画を作成したりして、児童が自分たちで話し合いを進められるよう支援することが考えられます。

小学校 総合的な学習の時間

【質問紙調査から】

【教科の好感度】<4層分析データと肯定的な回答率から>

	A層	B層	C層	D層	A-Dの差	R5	R6	R7
第4学年	84.2	82.6	80.6	76.3	7.9	80.9		
第5学年	82.3	80.0	78.8	72.8	9.5	78.5		
第6学年	77.2	76.6	75.0	68.7	8.5	74.3		

<分析結果>

好感度では、調査を実施した3学年ともに肯定的な回答が7割以上です。また、A-Dの差が10ポイント以内になっています。しかし、学年が上がるにつれて全ての層で好感度が下がっています。

【追加項目】<4層分析データと肯定的な回答率から>

社会や地域をよりよくするために、なにをすべきか考えたことがある。

	A層	B層	C層	D層	A-Dの差	R5	R6	R7
第4学年	71.0	69.0	68.4	68.2	2.8	69.1		
第5学年	72.6	68.9	67.3	61.2	11.4	67.5		
第6学年	66.5	65.5	63.5	59.7	6.8	63.8		

<分析結果>

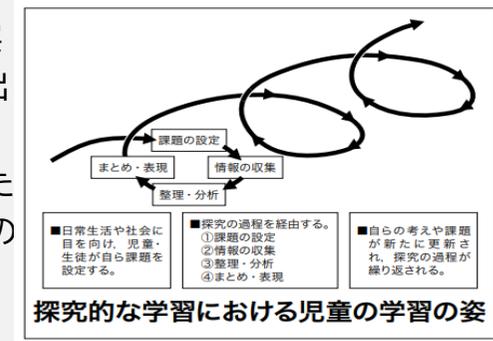
肯定的な回答は、全体的に7割近くの数値が出ています。一方で、好感度の調査に比べると、10ポイント近く低い数値が出ています。また、好感度と同様、学年が上がるにつれて、全ての層で数値が下がっています。

<実態に応じた授業づくりの工夫>

好感度の結果からわかるように、総合的な学習の時間は、A-D層の学習状況に関わらず、みんなが同じ土台で取り組めるというよさがあります。児童の目的意識を明確にし、実際に行動につなげる単元を構成することで、そのよさがさらに生かされます。

例えば、「地域に住む様々な国の人々との共生に向けて」「地域の高齢者の方々のために」「地域に流れる川的美しさを取り戻すために」「指導と評価の一体化のための評価に関する参考資料より」といった実生活や実社会から課題を見出し、そのために自分たちができることを考え、実行していくような単元を構成していくことで、総合的な学習の時間を通して社会に関わろうとする意思が徐々に育成されることが期待できます。また、実際に行動することで、その成果を手応えとして感じ、探究的な学習のよさを理解することにもつながっていきます。

そのために、教師は、児童の活動が実現可能なものかどうかなどを踏まえ、児童が課題の解決に向かう中でどのように情報を集め、どのように整理・分析し、どのようにまとめ・表現を行っていくかを見通しておく必要があります。そして、その活動が充実していくように、学習材との出会わせ方、ゲストティーチャーとの関わり、体験活動といった手立てを考え、それらを探究のプロセスの中で適切に位置付けていくことが大切です。



II 中学校の全市結果と分析、手立て

1 各教科の結果概要 国語・社会・数学・理科・英語 ※値は平均正答率(%)

【中学校第1学年】

集計項目	国語	社会	数学	理科	英語
教科総合	71.3	52.7	67.3	60.9	75.5
知識・技能	75.7	55.9	72.5	63.9	78.9
思考・判断・表現	68.0	42.3	42.3	53.1	68.7

【中学校第2学年】

集計項目	国語	社会	数学	理科	英語
教科総合	74.0	48.0	50.4	51.7	64.6
知識・技能	73.9	50.2	59.9	51.7	70.3
思考・判断・表現	74.1	39.3	24.9	51.6	59.9

【中学校第3学年】

集計項目	国語	社会	数学	理科	英語
教科総合	73.1	52.9	49.5	60.9	63.8
知識・技能	73.5	53.1	53.6	62.9	68.9
思考・判断・表現	72.9	52.1	31.6	53.7	59.2

【経年比較表】

国語

学年	R5	R6	R7
第1学年	71.3		
第2学年	74.0		
第3学年	73.1		

数学

学年	R5	R6	R7
第1学年	67.3		
第2学年	50.4		
第3学年	49.5		

英語

学年	R5	R6	R7
第1学年	75.5		
第2学年	64.6		
第3学年	63.8		

社会

学年	R5	R6	R7
第1学年	52.7		
第2学年	48.0		
第3学年	52.9		

理科

学年	R5	R6	R7
第1学年	60.9		
第2学年	51.7		
第3学年	60.9		

2 中学校国語

【第1学年】

集計項目	川崎市	川崎市学力層別					判定
		A層	B層	C層	D層	層A/Dの差	
教科総合	71.3	91.4	79.9	67.6	46.4	45.0	
知識・技能	75.7	92.5	83.9	73.1	53.2	39.3	
思考・判断・表現	68.0	90.5	76.9	63.5	41.3	49.2	

設問番号		設問内容	基礎 応用	出題 形式	観点1 知識・ 技能	観点2 断思 考・表 現判	川崎市	川崎市学力層別					判定	パ ン タ ー
大問	小問							A層	B層	C層	D層	の 差		
1	1	放送された内容のテーマを選ぶ	基礎	選択式		●	91.0	98.9	95.9	92.7	76.7	22.2		
1	2	山田さんの提案理由を選ぶ	基礎	選択式		●	77.1	92.2	83.9	75.0	57.4	34.8		
1	3	木村さんが発言で用いる資料として適切なものを選ぶ	基礎	選択式		●	89.0	96.4	93.1	90.1	76.4	20.0		
1	4	司会者の議論の進め方を選ぶ	基礎	選択式		●	80.9	97.6	90.1	80.3	55.8	41.8		
1	5	川口さんの考えから、考えられる発言を選ぶ	応用	選択式		●	71.8	97.1	86.9	69.1	34.1	63.0	III	
2	1	ア 漢字の読み(今のところ異常はない。)	基礎	短答式	●		97.6	100.0	99.9	99.7	90.8	9.2		III
2	1	イ 漢字の読み(映画を楽しむ。)	基礎	短答式	●		99.2	100.0	99.9	99.7	97.1	2.9		
2	1	ウ 漢字の読み(紙に穴をあける。)	基礎	短答式	●		99.2	99.9	99.9	99.9	97.3	2.6		
2	2	ア 漢字の書き(国語のじゅぎょうに出る。)	基礎	短答式	●		62.4	92.6	73.3	55.1	28.4	64.2	III	
2	2	イ 漢字の書き(ちよきんをする。)	基礎	短答式	●		44.7	75.0	51.9	34.6	17.5	57.5	I	
2	2	ウ 漢字の書き(学者をこころざす。)	基礎	短答式	●		68.4	93.0	79.5	64.4	36.7	56.3	III	
2	3	二つの言葉を組み合わせた言葉を書く(折り紙)	基礎	短答式	●		95.4	99.7	98.3	97.5	86.0	13.7		
2	4	前の二字が後ろの一字を修飾している構成の熟語を選ぶ	基礎	選択式	●		65.7	97.2	85.6	56.0	23.9	73.3	III	
2	5	二字＋二字の構成の四字熟語を選ぶ	基礎	選択式	●		78.7	99.7	97.1	83.4	34.8	64.9	III	
2	6	述語に対応する主語を選ぶ	基礎	選択式	●		83.8	97.0	91.4	81.6	65.4	31.6		
2	7	成り立ちが異なる漢字の組み合わせを選ぶ	基礎	選択式	●		35.8	59.4	38.8	26.7	18.3	41.1		
3	1	表に関係のある段落を答える	基礎	短答式		●	84.7	99.7	96.1	89.5	53.5	46.2		
3	2	文章中の空欄にあてはまる接続語を選ぶ	基礎	選択式		●	85.5	98.0	92.1	85.3	66.4	31.6		
3	3	問われた役割をしている段落の組み合わせを選ぶ	基礎	選択式		●	56.8	80.3	63.7	47.8	35.4	44.9		
3	4	文章をまとめたノートの中欄にあてはまる言葉を書く	応用	記述式		●	31.5	55.4	36.0	25.6	9.2	46.2		
4	1	心情を説明した文の中欄にあてはまる言葉を書きぬく	基礎	短答式		●	43.2	83.9	53.9	28.2	7.0	76.9	I	
4	2	登場人物の心情の理由を選ぶ	基礎	選択式		●	80.5	93.0	86.3	81.5	60.9	32.1		
4	3	文章の内容について、正しい説明を選ぶ	基礎	選択式		●	69.0	94.7	79.8	64.2	37.3	57.4	III	
4	4	心情をまとめたノートの中欄にあてはまる言葉を書く	応用	記述式		●	46.4	89.8	57.9	29.7	8.0	81.8	I	
5	1	上の漢字が下の漢字を修飾している熟語を選ぶ	基礎	選択式	●		77.0	97.1	90.9	78.2	41.9	55.2	III	
5	2	重複している表現を正しく書き直した文を選ぶ	基礎	選択式		●	79.7	98.7	93.8	80.8	45.3	53.4	III	
5	3	報告文の書き方の工夫について、正しい説明を選ぶ	基礎	選択式		●	61.0	88.7	71.0	53.3	31.1	57.6	III	
5	4	話し合いを参考に、調べた内容を文章に書き直す	応用	記述式		●	40.4	83.3	49.3	23.1	6.1	77.2	I	

【観点別分析】

知識・技能について

漢字を正しく読むことができるかを問う設問については、どの問題も正答率が97%以上となっています。また、述語に対応する主語を選ぶ問題の正答率も80%以上となっています。

漢字の書きを問う設問については、A層とD層の差が50ポイント以上と開きが大きだけでなく、D層の無解答率が約30%となっています。さらに、同じ構成の三字熟語を選ぶ設問については、A層とD層の差が70ポイント以上と開きが大きことがわかります。

既習の漢字を読むことは身に付いていますが、漢字を書くことや漢字に関する知識については、生徒に応じて課題が見られ、日頃の学習を丁寧に進めていく必要があります。文や文章の中で漢字を積極的に使うよう促すことで、より多くの知識を定着させていくことが大切です。

思考・判断・表現について

放送で聞き取ったことをもとに答える設問では、どの問題においても70%以上と高い正答率となっています。資料と報告文を読んで答える設問では、どの問題でもA層とD層の差が50ポイント以上と開きが大きことがわかります。

説明的な文章では、内容についてまとめたノートの空欄にあてはまる言葉を記述する問題の正答率が31%となっています。2つの内容を捉えるだけでなく、指定された字数に合わせてまとめることに課題があります。

文学的な文章では、登場人物の心情の理由を選ぶ問題の正答率が80%と高くなっています。しかし、心情をまとめたノートの空欄にあてはまる言葉を書く問題では、A層とD層の差が80ポイントと大きな開きが見られます。

記述式問題の正答率が低く、C層においても無解答率が20%を超える結果になった設問もあります。日頃の学習の中で、読み取ったことを自分の言葉で表現する活動を行っていくことが重要です。

【授業づくりのアイデア例】

設問内容:大問4(4) (思考・判断・表現 記述式)
 「心情をまとめたノートの空欄にあてはまる言葉を書く。」

《実際の設問》

(4) 次は、——線③「もっといいクラスにしたい」について、山川さんがまとめたノートで書きなさい。(ただし、句読点は字数に含めます。)

山川さんがまとめたノート

○照葉の考える「もっといいクラス」
 咲良のお客さまに対する考え方に共感
 ←だから

↓ 咲良の言葉と共通の言葉を使って言った
 にしたい。

《正答率と4層分析データ》

川崎市	川崎市学力層別					
	A層	B層	C層	D層	Aの差D層	バタイン
46.4	89.8	57.9	29.7	8	81.8	I

〈分析結果〉

正答は「みんながリラックスできるクラス」であり、共通の言葉として「リラックス」を使わなければなりません。

正答率は許容の「安心」という言葉を使っての説明も含めて46.4%でした。それ以外は無解答の25%、誤答は28.6%の割合でした。誤答した生徒の多くは、字数制限内で書いていませんでした。また、A層とD層の差は81.8ポイントもあります。物語の主旨を的確に読み取ることや、問題文で問われている内容を読み取ることに関心がかけられていたり、難しさを感じたりする生徒が多くいることがわかります。

(4)のような問題は、物語の要旨を的確に読み取り、問題文にある条件を理解して、書き表すことが必要です。

まずは、登場人物の関係を的確に捉え、第三者視点で物語を読むことが求められます。そのうえで、問題文にある接続語と「共通の言葉」という「山川さんがまとめたノート」をきっかけにすれば、適切に答えられるということに気づかせたいところです。

<実態に応じた授業づくりの工夫>

中学校学習指導要領解説国語編では、読むことの領域について「イ 場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えること。」と述べられています。

本問の場合は、登場人物の心情は、心の中を直接説明した文章だけではありません。登場人物の行動や会話を表す描写を通して表現されている場合もあります。

咲良の自然な笑顔をきっかけに、主人公の照葉が学級委員をやっていると話し、「もっといいクラスにしたい。」と話が展開しています。この咲良の自然な笑顔が契機になっていることに気づくことができると、訪問美容師としての咲良のやりがいと、照葉の学級委員としてのやりがいの共通点が導き出されると考えられます。このような小説の読み方は、登場人物の心情を根拠となる箇所をもとに考え、記録することで養われると考えられます。

小説を読み、登場人物の心情を根拠となる箇所をもとに記録する

中学校第1学年「星の花が降るころに」安東みきえ

「星の花が降るころに」は主人公の心の葛藤や、変化が情景描写や登場人物の言動に描かれています。例えば、比喩表現と主人公の「私」の行動に注目することで戸惑い、悲しさ、

決意を読み取ることができます。

授業で「気持ちが変わった瞬間」を問うことで、心情の根拠を捉えることができ、そしてそれを記録する活動を様々な単元で繰り返し行うことで、多面的な読みを獲得することができると思います。

その他にも、

中学校第1学年「大人になれなかった弟たちに……」米倉齊加年

中学校第1学年「シンシュン」西加奈子

この2作品も「星の花が降るころに」と同じように登場人物の心情の変化が描かれています。しかし、「シンシュン」ではシンタとシュンタの会話文で、そして「大人になれなかった弟たちに……」では、行間「…」に表されています。

この2作品でも心情の変化を読み取ることで、より一層、心情の変化とその根拠に注目して、小説を読み味わうことができるように展開していくことが大切です。

そのためにも普段の授業から、「なぜ、そう思ったのか。」「なぜ、そう感じたのか。」の問いを多く持つことで、根拠を明確に読む習慣が付き、物語の多面的な読みにつながると考えられます。

【主体的に学習に取り組む態度 質問別回答状況一覧】

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合 (%)	平均到達スコア			選択肢別回答割合 (%)					学力層別 肯定群回答割合 (%)				
				肯定群	否定群	肯-否の差	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答	A層	B層	C層	D層	A-D層の差
1	質問したりアドバイスし合ったりして思いや考えを伝え、先生や友だち、地域の人と進んで交流しようとしている。	川崎市	61.3	52.4	47.8	4.6	16.5	41.8	32.4	4.4	5.0	68.6	65.7	59.7	50.4	18.2
2	友だちが書いた文章や話したことを参考にして、自分にはない新しい考えや自分とは違う考えを持つようとしている。	川崎市	85.3	51.7	44.6	7.1	30.6	50.3	12.9	1.1	5.2	92.0	87.6	84.4	76.5	15.5
3	自分が書いた文章や話すときの原稿を見直して、理由が書けているか、もとの文章を踏まえているか、構成がしっかりしているかなどを振り返っている。	川崎市	80.5	52.7	42.3	10.4	33.6	42.4	16.3	2.1	5.6	92.2	86.4	77.9	64.4	27.8
4	言葉を選んだり工夫して使ったりして、きめ細かな心の様子や情景を伝えようとしている。	川崎市	84.3	52.0	43.6	8.4	33.6	45.6	13.4	1.4	6.1	91.7	87.4	84.6	72.5	19.2
5	本で読んだことを参考にして、学校や家庭の学習や生活の場面で、より良くなるよう工夫している。	川崎市	61.9	52.2	48.3	3.9	26.2	31.7	28.2	7.4	6.4	71.2	61.8	58.4	55.7	15.5
6	敬語や丁寧語に、どのような心が込められているかを考えている。	川崎市	84.9	51.2	48.2	3.0	36.3	42.9	12.4	1.7	6.7	87.0	86.4	85.7	80.4	6.6
7	はっきりと正確に伝わるように、違う言葉を使ったり文章を書き直したりしている。	川崎市	87.5	52.1	41.6	10.5	36.8	44.7	10.5	1.2	6.9	95.6	91.0	86.8	75.5	20.1

質問番号7では、肯定群が87%と、自らの学習に対して調整をしようとする生徒が多くみられます。一方で、質問番号1では、A層においても、68.6%という結果にとどまっています。語彙を増やしたり、さまざまな表現に触れたりしながら、**目的や場面に応じて伝え合うことができる課題設定が必要**だと考えられます。

【第2学年】

集計項目		川崎市	川崎市学力層別					平均判定
			A層	B層	C層	D層	層Aの差D	
教科総合		74.0	91.7	82.1	71.4	50.8	40.9	
知識・技能		73.9	89.1	80.0	71.1	55.5	33.6	
思考・判断・表現		74.1	93.7	83.8	71.6	47.3	46.4	

大問	小問	設問番号	設問内容	基礎応用	出題形式	観点1 知識・技能	観点2 断・思考・表現判	川崎市	川崎市学力層別					判定	パターン
									A層	B層	C層	D層	の差		
1	1		放送された内容のテーマを選ぶ	基礎	選択式		●	90.2	98.7	96.4	92.1	73.4	25.3		
1	2		加藤さんの意見の内容を選ぶ	基礎	選択式		●	92.9	99.6	97.5	94.4	79.9	19.7		
1	3		田中さんの意見の理由を選ぶ	基礎	選択式		●	88.7	98.7	95.5	89.3	71.4	27.3		
1	4		司会者の議論の進め方を選ぶ	基礎	選択式		●	79.0	96.2	88.6	78.2	53.1	43.1		
1	5		話し合いの続きの前提となる発言の共通点を選ぶ	応用	選択式		●	74.2	88.1	77.7	71.7	59.6	28.5		
2	1	ア	漢字の読み(割れ物の扱いに気をつける。)	基礎	短答式	●		96.8	99.9	99.4	98.9	88.9	11.0		
2	1	イ	漢字の読み(丈夫な体を作る。)	基礎	短答式	●		98.7	99.9	99.8	99.8	95.3	4.6		
2	1	ウ	漢字の読み(ごみをほうきで掃く。)	基礎	短答式	●		93.9	98.3	97.0	94.1	86.2	12.1		
2	2	ア	漢字の書き(高いビルをきずく。)	基礎	短答式	●		57.5	93.7	69.4	47.9	19.0	74.7	III	
2	2	イ	漢字の書き(消費ぜいを払う。)	基礎	短答式	●		75.5	96.8	87.9	74.2	43.0	53.8	III	
2	2	ウ	漢字の書き(迷子をほごする。)	基礎	短答式	●		65.3	92.3	77.9	60.2	30.8	61.5	III	
2	3		古語を現代仮名遣いに直す	基礎	短答式	●		50.5	83.3	60.8	39.4	18.3	65.0	I	
2	4		文を文節に分ける	基礎	選択式	●		92.1	99.4	96.5	92.0	80.4	19.0		
2	5		文の単語の数を選ぶ	基礎	選択式	●		60.3	88.4	70.0	52.3	30.5	57.9	III	
2	6		異なる部首の漢字を選ぶ	基礎	選択式	●		91.7	99.3	96.3	93.1	77.8	21.5		
2	7		正しい接続語を選ぶ	基礎	選択式	●		97.3	99.9	99.0	98.1	92.2	7.7		
3	1		文章の内容について、正しい説明を選ぶ	基礎	選択式		●	62.9	90.8	72.1	55.6	33.0	57.8	III	
3	2		文章の内容について、正しい説明を選ぶ	基礎	選択式		●	75.6	98.0	87.5	74.1	43.0	55.0	III	
3	3	い	文章中の空欄に入る言葉を書き抜く	基礎	短答式		●	64.8	96.7	82.8	59.0	20.6	76.1	III	
3	4		条件に従って、まとめの中の空欄に入る言葉を書く	応用	記述式		●	74.0	97.1	87.4	74.2	37.3	59.8	III	
4	1		文章の内容からわかることを選ぶ	基礎	選択式		●	83.3	98.4	94.6	83.9	56.3	42.1		
4	2		登場人物の発言の理由を選ぶ	基礎	選択式		●	68.1	90.8	78.4	63.1	40.2	50.6	III	
4	3		文章中の空欄に入る言葉を選ぶ	基礎	選択式		●	94.1	99.7	98.2	96.8	81.6	18.1		
4	4		条件に従って、話し合いの中の空欄に入る言葉を書く	応用	記述式		●	71.3	98.2	88.7	71.6	26.8	71.4	III	
5	1		修飾している語を選ぶ	基礎	選択式	●		7.2	17.4	5.4	3.2	3.0	14.4		
5	2		原稿の構成について正しく説明したものを選ぶ	基礎	選択式		●	66.3	88.8	74.3	59.9	42.2	46.6		
5	3		原稿の推敲について正しく説明したものを選ぶ	基礎	選択式		●	37.9	61.7	40.0	27.9	22.0	39.7		
5	4		資料を踏まえうえて自分の考えを書く	応用	記述式		●	62.3	97.7	80.9	53.8	16.7	81.0	III	

【観点別分析】

知識・技能について

漢字の読み、文の構成を問う設問は正答率が高く、A層とD層の差が小さい傾向にあります。特に漢字の読みを問う設問では、どの問題もD層の正答率が86%を超えていることから漢字の学習を日頃から指導してきた成果であると考えられます。

漢字の書き、古典、文の成分を問う設問でA層とD層の差が50ポイント以上あることから、D層の言葉に関する知識に課題があると考えられます。

授業改善の手立てとして、漢字を読む力を高めながら、書く力を向上させていけるような工夫を日頃から行っていくことが必要です。また、**単元の中で得た知識を次の単元で活用するための場面を設定**するなど、言葉に関する知識を定着させる工夫も必要です。

思考・判断・表現について

放送の内容から意見を聞き取る設問は正答率が高く、日頃からのグループワークでの意見共有を行ってきた成果であると考えられます。その中でも議論の進め方を選ぶ設問ではA層とD層の差が43ポイントと大きいことから、グループワークでの役割を生徒全員が行えるようにする工夫が必要であると考えられます。

また、資料を読み取り自分の意見を書く設問ではA層とD層の差が81ポイント、D層の無解答率が53%という結果になっています。D層の資料を読み取ること、自分の意見をもち自分の言葉で表現することができないところに課題があると考えられます。

日頃から**資料を読み取り、読み取った情報を自分の意見に生かすことができるようになる**授業の工夫が必要です。

【授業づくりのアイデア例】

設問内容:大問5(4) (思考・判断・表現、記述式)
「資料を踏まえたうえで自分の考えを書く」

(4) 呼びかけ文の——線の部分について、次のような指摘がありました。

目の不自由な方が、どのように点字ブロックを使用しているのかを、**資料②**の内容を使って示す、なぜ必要なのかをわかりやすいんじゃないかな。

点字ブロックを「使用しようとしてもできないことがあります」とあるけれど、なぜ使用できないのか、使用できないとどのような事態につながるか、**資料③**からわかる内容を書いたほうがいいよ。

松本さんは指摘を受け、——線部②を、次のように書き直すことにしました。□にあてはまる文を、あとの(条件1~3)に従って書きなさい。

目の不自由な方は、点字ブロックを必要としています。なぜなら、ブロックの突起を□とおそれがあります。また、ぶつかる危険もあり、白杖が折れる、転倒してけがをするなどの事例もあるのです。

(条件1) **資料②**から、
①目の不自由な方がどのように点字ブロックを使用しているか
②どのような状況が、どんな不便さにつながっているかを読み取って書くこと。
(条件2) 「」からです。しかし、「」という形で書くこと。
(条件3) 八十字以上、百字以内で書くこと。(ただし、句読点は字数に含めます。)

《正答率と4層分析データ》

■設問別正答率一覧(%)

川崎市	川崎市学力層別					A・D層の差	パターン判定
	A層	B層	C層	D層			
62.3	97.7	80.9	53.8	16.7	81.0	Ⅲ	

〈分析結果〉

設問内容は、「資料を踏まえたうえで自分の考えを書く」というものです。ここでは、条件に従い、自分の考えを書くことが求められます。しかし、本文や図から必要な情報を取り出すことに不慣れであったか、あるいは問題に取りかかる際につまずき、他の問題に時間を割いたのではないかと考察します。

A層とD層の差が81ポイントと差が大きく、またA層の正答率97.7%に対し、D層の無解答率が53.9%と高い数値が目立っています。当該問題は、書き直すために資料から複数の情報を取り出し、自分の考えをまとめ、書くことが必要です。

- ①資料から読み取った複数の情報を整理すること
 - ②自分の考えを他者に正しく伝わるように述べること
- の2つが求められると分析しました。

<実態に応じた授業づくりの工夫>

資料から読み取った複数の情報を整理する

●思考力, 判断力, 表現力等 B書くこと

(ア)「目的や意図に応じて, 社会生活の中から題材を決め, 多様な方法で集めた材料を整理し, 伝えたいことを明確にすること」

先で述べたように, 多くの資料から取捨選択し, 情報を整理することが求められています。そこで, いくつかの段階に分け, 一例として挙げてみました。

(例)

第2学年「クマゼミ増加の原因を探る」より

教科書 P.43,47 にあるような図表を, 本文の補助資料として活用するのではなく, D層が取り残されないために, まず図表だけを見て読み取れることを話し合わせ, 図表に慣れさせます。さらに, 図表で伝えなかったことも考えさせることで, 複数の情報を根拠に筆者の意図を読み取る力の向上を目指します。

自分の考えを他者に正しく伝えるように述べる

●思考力, 判断力, 表現力等 B書くこと

(ウ)「根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり, 表現の効果を考えて描写したりするなど, 自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。」

情報を整理することができるようになれば, 次は自らの思ったことや, 考えたことを正しく伝えることを目指します。

(例)

「思考の視覚化」 「[推敲]表現の効果を考える」より

川崎市は弁論が盛んに行われており, 夏休みの宿題として意見文に取り組んでいる学校も多いと思います。合わせて, P.32「思考の視覚化」では意見文の下書きの際に, 自分の考えが整理でき, 書く内容を吟味した上で, 文章作りに取り組めると思います。

P.116「[推敲]表現の効果を考える」では, 意見文の清書の際に, 他者を意識しながら, 下書きを遂行させることで, 自分の意見が正しく伝わるようになると考えます。

以上の二点により, 資料を読み取り, 自分の考えを言葉にする力を身につけさせたいです。

【主体的に学習に取り組む態度 質問別回答状況一覧】

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合 (%)	平均到達スコア			選択肢別回答割合 (%)					学力層別 肯定群回答割合 (%)				
				肯定群	否定群	肯-否の差	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答	A層	B層	C層	D層	A-D層の差
1	質問したりアドバイスし合ったりして思いや考えを伝え、先生や友だち、地域の人と進んで交流しようとしている。	川崎市	62.9	64.6	59.4	5.2	17.4	44.4	31.8	4.8	1.6	72.6	66.5	60.4	51.7	20.9
2	友だちが書いた文章や話したことを参考にして、自分にはない新しい考えや自分とは違う考えを持つようとしている。	川崎市	85.6	64.0	55.0	9.0	31.9	52.3	12.8	1.3	1.7	92.0	89.9	85.7	74.6	17.4
3	自分が書いた文章や話すときの原稿を見直して、理由が書けているか、もとの文章を踏まえているか、構成がしっかりしているかなどを振り返っている。	川崎市	78.4	64.7	55.7	9.0	31.1	45.8	18.6	2.7	1.8	88.4	84.7	76.4	63.7	24.7
4	言葉を選んだり工夫して使ったりして、きめ細かな心の様子や情景を伝えようとしている。	川崎市	83.7	64.1	55.7	8.4	31.5	50.4	14.4	1.6	2.0	90.9	87.4	83.5	72.6	18.3
5	本で読んだことを参考にして、学校や家庭の学習や生活の場面で、より良くなるよう工夫している。	川崎市	54.9	64.1	61.1	3.0	23.0	30.7	33.1	11.1	2.2	61.8	56.9	51.7	49.0	12.8
6	敬語や丁寧語に、どのような心が込められているかを考えている。	川崎市	83.7	63.3	60.1	3.2	36.0	45.8	13.9	2.0	2.4	85.5	85.9	84.1	79.4	6.1
7	はっきりと正確に伝わるように、違う言葉を使ったり文章を書き直したりしている。	川崎市	87.7	64.1	53.1	11.0	36.1	49.4	10.8	1.2	2.5	95.8	91.0	87.5	76.2	19.6

国語では自分の考えをもち他者の意見を受け入れながら考えを深めることが大切です。質問番号1、3では、A層とD層の差がそれぞれ20ポイントと大きいことがわかります。自分の意見をもち他者の意見を取り入れて自分の言葉で表現する点に課題があるといえます。また、質問番号5では全体的に肯定群回答割合が54パーセントと低くなっています。**本から学んだことを様々な場面で生かそうとする姿勢を身に付けられるような工夫**が必要だと考えられます。

【第3学年】

集計項目	川崎市	川崎市学力層別					層A の差 D	ン 判 定 パ ター ン
		A層	B層	C層	D層	層A の差 D		
教科総合	73.1	91.0	80.7	70.1	50.7	40.3		
知識・技能	73.5	89.2	79.1	69.5	56.2	33.0		
思考・判断・表現	72.9	92.4	81.9	70.6	46.5	45.9		

設問番号		設問内容	基礎 応用	出題 形式	観点1	観点2	川崎市	川崎市学力層別					層A の差 D	ン 判 定 パ ター ン
大問	小問				知識・ 技能	断 思 考 ・ 表 現 判 断		A層	B層	C層	D層	層A の差 D		
1	1	放送された内容のテーマを選ぶ	基礎	選択式		●	88.3	98.8	94.0	89.1	71.4	27.4		
1	2	坂本さんの発言の内容を選ぶ	基礎	選択式		●	92.2	98.7	95.8	92.4	82.0	16.7		
1	3	鳥山さんが用いた資料を選ぶ	基礎	選択式		●	85.2	95.6	89.8	84.4	71.0	24.6		
1	4	司会者の議論の進め方を選ぶ	基礎	選択式		●	79.2	94.5	87.3	78.6	56.4	38.1		
1	5	これからの話し合いの方向を選ぶ	応用	選択式		●	66.9	86.4	74.5	63.2	43.6	42.8		
2	1	ア 漢字の読み(奇跡が起こる。)	基礎	短答式	●		99.3	100.0	100.0	99.7	97.6	2.4		
2	1	イ 漢字の読み(観客の目を奪う演技。)	基礎	短答式	●		97.4	99.8	99.1	98.5	92.2	7.6		
2	1	ウ 漢字の読み(ピアノで練習曲を弾く。)	基礎	短答式	●		96.8	99.1	97.5	97.2	93.4	5.7		
2	2	ア 漢字の書き(会社につとめる。)	基礎	短答式	●		36.2	67.7	38.6	25.1	13.4	54.3	I	
2	2	イ 漢字の書き(ここは立ち入り禁止ください。)	基礎	短答式	●		66.7	96.1	84.1	60.5	26.3	69.8	III	
2	2	ウ 漢字の書き(プロジェクトをすいしんする。)	基礎	短答式	●		54.9	89.7	67.8	43.1	18.9	70.8	II	
2	3	同じ意味・用法の助動詞「られる」を選ぶ	基礎	選択式	●		77.2	92.4	82.2	72.3	61.5	30.9		
2	4	活用形が同じ動詞を選ぶ	基礎	選択式	●		46.9	60.6	48.2	43.9	34.8	25.8		
2	5	空欄にあてはまる副詞を選ぶ(「きっと」)	基礎	選択式	●		98.7	99.9	99.6	99.5	95.6	4.3		
2	6	正しい敬語を選ぶ	基礎	選択式	●		65.8	77.2	70.2	63.1	52.9	24.3		
2	7	指定された二つの部分の関係として適切なものを選ぶ	基礎	選択式	●		73.3	94.4	81.2	68.0	49.4	45.0		
3	1	場面の状況に合う説明を選ぶ	基礎	選択式		●	78.6	91.5	82.9	77.9	62.3	29.2		
3	2	文章中の空欄にあてはまる言葉を選ぶ	基礎	選択式		●	81.0	97.7	91.7	82.2	52.4	45.3		
3	3	文章中の表現を言い換えた言葉を書き抜く	基礎	短答式		●	59.1	95.3	73.8	49.7	17.5	77.8	III	
3	4	条件に従って、ノートの空欄に入る言葉を書く	応用	記述式		●	71.6	94.9	84.6	68.5	38.6	56.3	III	
4	1	登場人物の発言について正しく説明しているものを選ぶ	基礎	選択式		●	71.0	92.4	81.8	70.5	39.3	53.1	III	
4	2	登場人物の心情について正しく説明しているものを選ぶ	基礎	選択式		●	84.1	99.3	95.1	87.0	55.1	44.2		
4	3	文章中の空欄にあてはまる言葉を選ぶ	基礎	選択式		●	78.9	98.4	92.2	80.0	45.1	53.3	III	
4	4	話し合いと文章の内容をふまえて空欄に入る言葉を書く	応用	記述式		●	49.9	85.2	61.2	41.2	11.9	73.3	III	
5	1	同じ組み立ての熟語を選ぶ(温暖)	基礎	選択式	●		68.6	93.0	80.5	62.8	38.0	55.0	III	
5	2	文章を読みやすく整えた点を選ぶ	基礎	選択式		●	60.6	82.9	67.2	54.4	37.7	45.2		
5	3	呼びかけ文の構成について正しい説明を選ぶ	基礎	選択式		●	72.8	97.3	86.4	68.1	39.3	58.0	III	
5	4	複数の条件に従って自分の考えを書く	応用	記述式		●	46.2	69.9	52.5	41.5	21.0	48.9		

【第3学年】

知識・技能について

漢字の読みや、用言の活用、品詞の働き、敬語を捉えることができるかを問う設問については、正答率が95%以上と高く、A層とD層の差が小さい傾向にあります。特に漢字の読みを問う設問では差が10ポイント以下になっており、日頃から言葉を大切に、語句についての理解を図る指導の充実を進めてきた成果であると考えられます。

課題として、漢字の書きを問う設問では、平均正答率が低く、A層とD層の差が50ポイント以上あり、D層の無解答率も40%以上と高く出ている。言語の習得・活用に差があるため、日頃から個に応じた学習を丁寧に進めていくことが大切です。

知識・技能については習得した知識が定着するように、繰り返し学習に取り組むことが必要です。また、学習した言語を日常生活に生かせるように、身近な教材の中で知識を活用する場面を設定することが大切です。

思考・判断・表現について

場面の状況を捉える、心情を読み取って選択するといった内容理解の設問では正答率が高い傾向にあります。本文の描写から場面ごとの中心や、人物の心情を捉える表現を意識した指導を行った成果だと考えられます。

一方、短答式や記述式の設問で「文章中の表現を言い換える」「内容を踏まえてまとめる」設問においてA層とD層の差が70ポイント以上となっており、D層の無解答率は48%と高く出ている。多くの生徒にとって、捉えた言葉や内容を自分の言葉で表現できないところが課題であると考えられます。

「自分の言葉で説明したり記述したりすること」については学習の中で自分の考えを示し、読み取ったことを自分の言葉で表現できる場面を設定する必要があります。そのために、習得した語彙や知識を、普段の生活で活用していくことが大切です。

【授業づくりのアイデア例】

設問内容:大問4(4) (思考・判断・表現、記述式)
「話し合いと文章の内容をふまえて空欄に入る言葉を書く」

〈条件1〉「くらべて」という言葉を使って書くこと。
〈条件2〉文章の最後のところで、「私」が自分のことをどう感じているかが、わかるように書くこと。
〈条件3〉三十字以内で書くこと。(ただし、句読点は字数に含めず。)

遠藤さん 「私」は、この文章の最後のところで、自分のことをどう感じているのかな。
西島さん その前の場面で、メジャーな雑誌に載った志摩のレビューを読んで、自分を書いたものを読んで、「無様で、わかりづら」と思ったのだね。「私」は、
遠藤さん その後、自分が書いたものを読んで、「無様で、わかりづら」ということを強く感じて泣きなくなったのだね。

(4) 次は、この文章を読んだ生徒たちの話し合いです。これを読んで、
[]にあてはまる言葉を、本文を踏まえつつ、あとの〈条件1〜3〉に従って書きなさい。

〈正答率と4層分析データ〉

川崎市	川崎市学力層別					判定 パターン
	A層	B層	C層	D層	A-D層の差	
49.9	85.2	61.2	41.2	11.9	73.3	Ⅲ

〈分析結果〉

A-D層の差が73.3ポイントと、かなり大きな差となりました。また、解答に至らない生徒も多く見られ、無解答率はC層で11.4%、D層では48.0%となっています。

「私」の心情を問う小問2の正答率が84.1%、D層でも55.1%が正解していることから、「私」がショックを受けたこと自体は十分読み取れていると言えます。

「私」の心情は理解できているにもかかわらず、無解答率が多かった原因として、

1. 本文には「志摩のレビューが上手かった」という表現はあるが、「私」については書かれていないため、「私」のレビューが劣っている、とは捉えられなかった
2. 志摩と「私」のレビューの優劣については理解していたが、それを表す適切な言葉が思いつかなかった

以上の2点が推察できます。**直接書かれていない内容を文脈から読み取る力、また、その内容を自分の言葉で表現する力**が、今後の課題として見られました。

〈実態に応じた授業づくりの工夫〉

直接書かれていない内容を文脈から読み取る

- ・思考力, 判断力, 表現力等 C読むこと(イ)「文章を批判的に読みながら―」

〈教科書を用いた事例〉

- p.64～68 「報道文を比較して読もう」
- p.124～129 「人工知能との未来/人間と人工知能と創造性」
新聞記事の内容や同じ題材の説明文を比較することで、「どちらの筆者がどういう立場なのか」など、書かれていない内容を読み取り、まとめる力の育成を図ります。

説明する内容を自分の言葉で表現する

- ・知識及び技能 (イ)「語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語感を磨き語彙を豊かにする(中略)」
- ・思考力, 判断力, 表現力等 B書くこと(エ)「目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて―」

〈教科書を用いた事例〉

- p.130～133 「多角的に分析して書こう」
広告などからどんな情報が読み取れるか、込められたメッセージは何か、などを自分の言葉で表現させます。共通の題材で課題を設定し、生徒同士で比べさせることで、自分にはない表現の仕方に気づかせることもできます。

〈発展的な事例〉

生徒の身近にある類似商品のレビューを比較し、書かれていない内容から商品の特徴や優劣を読み取ることができれば、批判的に、多角的な視点から表現を捉える力に結びつけることができます。また、実際に商品のレビューを書かせたり、同じ商品の複数のレビューをまとめたりすることで、自分の言葉で表現する力を身につけられるとも考えられます。

最終的には本問のような、文学的な文章における登場人物の心情等にも応用できるようにすることが必要です。例えば「握手」では、ルロイ修道士との別れ際、「わたしの」手をとって、しっかりと握った」「それでも足りずに、腕を上下に激しく振った」という表現から、天使園に収容された際にルロイ修道士がしてくれた握手と似ているため、同様に「『安心してください』という思いを込めている」と読み取るなど、文学的な文章の読み取りにおいても、

直接書かれていない内容を文脈から読み取る

説明する内容を自分の言葉で表現する

以上の2点のポイントを意識しながら授業を構成・展開していくことが大切です。

【主体的に学習に取り組む態度 質問別回答状況一覧】

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合(%)	平均到達スコア			選択肢別回答割合(%)					学力層別 肯定群回答割合(%)				
				肯定群	否定群	肯-否の差	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答	A層	B層	C層	D層	A-D層の差
1	質問したりアドバイスし合ったりして思いや考えを伝え、先生や友だち、地域の人と進んで交流しようとしている。	川崎市	63.1	60.6	55.1	5.5	18.9	43.0	30.7	5.4	2.0	74.0	66.8	59.7	51.9	22.1
2	友だちが書いた文章や話したことを参考にして、自分にはない新しい考えや自分とは違う考えを持つようとしている。	川崎市	87.1	59.6	51.9	7.7	33.1	52.2	11.3	1.4	2.0	92.7	88.9	87.8	78.7	14.0
3	自分が書いた文章や話すときの原稿を見直して、理由が書いているか、もとの文章を踏まえているか、構成がしっかりしているかなどを振り返っている。	川崎市	80.4	60.6	50.6	10.0	32.9	45.8	16.6	2.6	2.1	91.6	85.0	78.5	66.1	25.5
4	言葉を選んだり工夫して使ったりして、きめ細かな心の様子や情景を伝えようとしている。	川崎市	84.5	59.7	52.5	7.2	31.3	51.3	13.7	1.4	2.2	91.2	86.3	85.0	75.3	15.9
5	本で読んだことを参考にして、学校や家庭の学習や生活の場面で、より良くなるよう工夫している。	川崎市	55.0	60.3	56.5	3.8	23.2	30.5	33.7	10.3	2.3	64.2	56.2	51.8	47.6	16.6
6	敬語や丁寧語に、どのような心が込められているかを考えている。	川崎市	79.2	58.8	58.0	0.8	31.4	45.9	17.4	2.8	2.4	79.7	78.6	80.8	77.9	1.8
7	はっきりと正確に伝わるように、違う言葉を使ったり文章を書き直したりしている。	川崎市	88.7	59.7	49.9	9.8	36.6	49.9	9.8	1.2	2.4	94.7	92.0	88.1	79.7	15.0

国語では自分の考えをもつことが大切ですが、**他者の意見を受け入れ、さらに考えを深めるということも大切**です。調査結果では質問番号1、質問番号3についてA層とD層に20ポイント以上の差があり、その点が課題であるといえます。また、他者の意見を聞き、それを自分の言葉で表現することに難しさを感じている生徒が一定数います。そのことから、自分の考えをわかりやすく表現できる語彙や知識を増やし、活用していくことが必要と考えられます。

【質問紙調査から】

質問番号【45】

自分の意見や考えを相手にわかりやすく伝えることができる。

〈肯定的な回答率と4層分析データ〉

	川崎市	A層	B層	C層	D層	A-Dの差
第1学年	65.6	76.7	68.5	64.1	53.2	23.5
第2学年	63.3	74.8	67.6	60.9	50.0	24.8
第3学年	63.0	74.6	66.9	59.8	50.8	23.8
平均	64.0	75.4	67.7	61.6	51.3	24.0

〈分析結果〉

「自分の意見や考えを相手にわかりやすく伝える」ことは、国語の学習においても大切です。調査結果では、調査を実施した3学年ともにA層とD層の差が20ポイント以上あることがわかります。わかりやすく伝えるためには、互いに必要な情報を誤りなく伝える正確さ、また相手が十分理解できるような表現の工夫が必要です。今後、言語コミュニケーションを円滑に図れる語彙力を身につけ、自分の言葉で伝えさせることが課題として考えられます。

〈実態に応じた授業づくりの工夫〉

先のとおり、各学年の分析では、第1学年は本文の要旨を読み取りまとめること、第2学年は資料を踏まえた上で自分の考えを書くこと、第3学年は文脈から読み取れる内容を捉え自分の言葉で表現することについて取り上げました。全学年の課題に共通するものとしては、**自分の意見を持ったり自分の言葉でまとめたりすることへの苦手意識があること**、さらにその根底にあるものとして語彙力の低さが挙げられます。

語彙力を高めるために、教科書を読む際、辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して語感を磨くこと、日頃からグループワークを積極的に取り入れること、身近なものを批評する活動などを工夫して取り入れたいものです。グループワークを行う際には、進行役や発表順が固定化しないよう注意しましょう。そのために、誰もが自分で考えられるような課題設定も必要となります。

語彙力が高まることで期待できるメリットとしては、①思考力が高まること、②読解力が高まること、③興味の対象が広がること、④相手や場面に応じて適切なコミュニケーションがとれること、などが挙げられます。日常生活を円滑に送れるようにするためにも、**語彙力を高める**授業を工夫していくことが大切です。

3 中学校社会

【第1学年】

集計項目	川崎市	川崎市学力層別					判定
		A層	B層	C層	D層	層Aの差D	
教科総合	52.7	76.9	58.5	45.8	29.7	47.2	
知識・技能	55.9	80.3	62.0	49.0	32.3	48.0	
思考・判断・表現	42.3	65.6	47.0	35.2	21.2	44.4	

設問番号		設問内容	基礎 応用	出題 形式	観点1 知識・ 技能	観点2 判断・ 思考・ 表現	川崎市	川崎市学力層別					判定	パター
大問	小問							A層	B層	C層	D層	の差		
1	1	国民の義務として正しいものを選ぶ	基礎	選択式	●		76.9	94.2	85.1	73.9	54.4	39.8		
1	2	選挙で投票する権利の名称を書く	基礎	短答式	●		24.8	46.7	28.3	17.3	6.7	40.0		
1	3	三権分立の関係図の空欄にあてはまるものを選ぶ	基礎	選択式	●		74.5	89.0	80.1	72.8	56.4	32.6		
1	4	国の予算の歳出のうち割合が最も高いものを選ぶ	基礎	選択式	●		27.9	43.1	26.9	22.4	19.2	23.9		
1	5	内閣と国の主な機関の関係図を見て正しいものを選ぶ	応用	選択式		●	85.8	98.7	94.5	86.4	63.6	35.1		
2	1	弥生時代の特徴を選ぶ	基礎	選択式	●		72.2	93.6	79.9	65.4	49.8	43.8		
2	2	豪族や王の墓の名称を書く	基礎	短答式	●		62.9	88.9	76.6	58.5	27.5	61.4	III	
2	3	奈良時代の文化の特徴について正しい文を選ぶ	基礎	選択式	●		54.3	79.1	56.6	47.5	33.8	45.3		
2	4	小野妹子が派遣された国名を選ぶ	基礎	選択式	●		46.2	68.3	49.3	38.8	28.6	39.7		
2	5	古代で起こった出来事について正しい順番を選ぶ	応用	選択式		●	40.2	77.0	44.5	25.1	14.0	63.0	I	
3	1	源頼朝が1192年に任じられた役職を選ぶ	基礎	選択式	●		77.8	93.0	84.2	77.2	57.0	36.0		
3	2	鎌倉時代の御家人にとっての土地の意味を考える	応用	記述式		●	9.5	24.4	8.4	4.1	1.3	23.1		
3	3	北条時宗について正しい文を選ぶ	基礎	選択式	●		42.9	77.2	46.2	28.6	19.3	57.9	I	
3	4	水墨画を大成した人物の名を選ぶ	基礎	選択式	●		80.6	98.9	95.9	82.6	45.0	53.9	III	
4	1	刀狩令を出した目的について適切な文を選ぶ	基礎	選択式		●	81.4	99.3	94.3	83.8	48.2	51.1	III	
4	2	徳川家康の業績について選ぶ	基礎	選択式	●		54.2	80.8	54.3	42.9	38.7	42.1		
4	3	大名が江戸と領地を行き来する制度の名称を選ぶ	基礎	選択式	●		82.0	98.9	93.5	80.6	55.0	43.9		
4	4	資料から江戸時代の城下町の様子を書くことができる	応用	記述式		●	11.8	29.7	11.5	4.9	1.1	28.6		
4	5	地図から鎖国下における貿易の窓口の位置を選ぶ	基礎	選択式	●		54.5	84.6	62.8	43.8	27.0	57.6	I	
4	6	資料を見て百姓一揆が増える時期として正しい文を選ぶ	基礎	選択式	●		81.5	98.2	94.1	83.1	50.5	47.7		
4	7	江戸時代の文化の特徴について正しいものを選ぶ	基礎	選択式	●		38.0	70.5	37.4	27.2	16.9	53.6	I	
5	1	自由民権運動の中心人物を選ぶ	基礎	選択式	●		52.9	85.4	59.7	42.3	24.1	61.3	I	
5	2	大日本帝国憲法をつくる際に特に参考にした国を選ぶ	基礎	選択式	●		44.0	73.0	47.4	33.4	22.3	50.7	I	
5	3	2つの年度の貿易品目の図を見て正しい文を選ぶ	基礎	選択式	●		61.0	81.0	67.5	56.9	38.7	42.3		
5	4	日清戦争後の条約について正しい文を選ぶ	基礎	選択式	●		60.8	89.0	72.1	53.8	28.4	60.6	III	
5	5	太平洋戦争中の国民の生活について正しい文を選ぶ	基礎	選択式	●		58.6	88.3	70.3	48.6	27.3	61.0	II	
5	6	太平洋戦争終結直後の出来事として正しい文を選ぶ	基礎	選択式	●		37.1	65.1	40.2	26.5	16.4	48.7		
5	7	戦後の急激な経済成長の名称を書く	基礎	短答式	●		20.3	59.6	17.1	3.8	0.5	59.1	I	
6	1	資料を見て、ふるさと納税の意義について考えて書く	応用	記述式		●	25.7	53.9	29.9	14.3	4.6	49.3		
6	2	荷札木簡を見て、正しい税の種類と運搬日数を選ぶ	応用	選択式		●	41.4	76.4	46.2	27.8	15.4	61.0	I	

【観点別分析】

知識・技能について

「江戸幕府の政治と人々の暮らし」のうち、資料を見て百姓一揆が増える時期として正しい文を選ぶ問題は、十分理解できていました。他にも、資料を読み取る技能を問う問題については比較的良い成果がみられました。

一方で、「戦争から平和の時代へ」のうち、戦時中の生活のようすについて正しいものを選ぶ問題は、とりわけ正答率が低い結果となりました。他にも文化の特徴として正しいものを選択する問題については、正答率が低くなっていました。

このようなことから、資料を読み取ることについては今後の授業でも継続し、政治史とともに、生活や文化、外交など、多くの面を結びつけて授業を展開し、**歴史の大きな流れが理解できるようにすることが必要**であると考えられます。

思考・判断・表現について

「わたしたちと憲法と政治」のうち、内閣と国の主な機関の関係図を見て正しいものを選ぶ問題は、十分理解できていました。この問いのように、資料から読み取って考え、選択する問題は正答率が高くなっていました。

一方で、資料を読み取り、文章を記述する問題については、不十分でした。また、無解答率も高くなっていました。とくに、「武士の政治の始まりと室町文化」のうち、鎌倉時代の御家人にとっての土地の意味を考える問題は、とりわけ正答率が低い結果となりました。

このようなことから、資料を読み取る技能については成果がみられるため、**読み取ったことをもとに言葉で表現する場面**を授業で大切にしていくことが必要であると考えられます。

【授業づくりのアイデア例】

設問内容: 地図から鎖国下における貿易の窓口の位置を選ぶ
(知識・技能)

〈実際の設問〉

4 次のカードを見て、あとの問いに答えなさい。

カードA

①豊臣秀吉が亡くなったあと、②徳川家康が勢力をのばした。

カードB

江戸時代には、③幕府が直接支配する幕府領と④大名が支配する藩によって全国の土地と人々が治められていた。

カードC

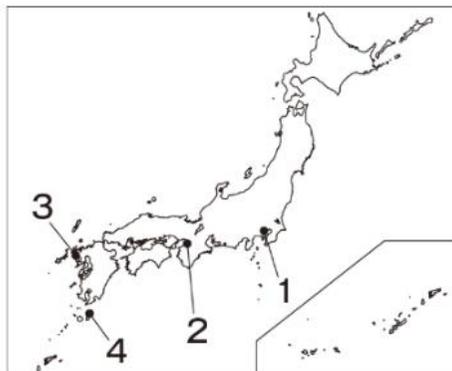
江戸幕府3代将軍徳川家光のときに、⑤鎖国が完成した。

カードD

江戸時代の後半になると⑥大きなきんが何度が起こり、社会が不安定になった。

(5) 下線部⑤について、鎖国下での、オランダと清との貿易の窓口となっていた場所を、資料3中の1~4から1つ選んで、解答用紙の番号に○をつけなさい。

資料3



〈正答率と4層分析データ〉

川崎市	川崎市学力層別					
	A層	B層	C層	D層	Aの差D層	パターン
54.5	84.6	62.8	43.8	27.0	57.6	I

〈分析結果〉

大問4(5)における平均正答率は54.5%であり、理解はやや不十分でした。A層の平均正答率は84.6%であり、十分に理解しているものと考えられます。しかし、D層の平均正答率は27.0%であり、A層-D層間には57.6ポイントの差がありました。さらに、A層-B層間には21.8ポイントの差があったため、学力層別パターンの分類はI類でした。これらのことから、B層~D層の幅広い範囲の生徒に鎖国下における貿易の窓口の位置や貿易をした相手国との空間的なつながりについての理解を促す指導が必要だと考えられます。

<実態に応じた授業づくりの工夫>

小学校学習指導要領解説社会編では、「鎖国などの幕府の政策」について、「キリスト教の信仰を禁止し、貿易を統制し渡航を禁止するなど海外との交流を制限する政策を進めたことが分かること」「出島などを通して交易があった国の名称と位置を日本地図や世界地図などの資料で調べ、まとめること」といった知識及び技能を習得させることが示されています。小学校でこうした指導がなされてきたことを踏まえ、中学校では次のような授業改善を図る必要があります。

交易をした位置と交易相手の位置を地図で調べ
空間的なつながりについての理解を促す

中学校ではより一層、空間的なつながりについての理解を促す指導が必要だと考えられます。中学校学習指導要領解説社会編では、「鎖国などの幕府の対外政策と対外関係」については、「オランダ、中国との交易のほか、朝鮮との交流や琉球の役割、北方との交易をしていたアイヌについて取り扱うようにすること」、「統制の中にも交易や交流が見られたことに気付くことができるようにすること」と示されています。長崎でのオランダ、中国との対外関係にとどまらず、さらに広い空間的なつながりを理解することができるよう、当時の日本とその周辺の地図を活用して、位置や名称を調べたり、関係を捉えたりする学習を行うことが考えられます。

【主体的に学習に取り組む態度 質問別回答状況一覧】

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合 (%)	平均到達スコア			選択肢別回答割合 (%)					学力層別 肯定群回答割合 (%)				
				肯定群	否定群	肯-否の差	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答	A層	B層	C層	D層	A-D層の差
1	世界が平和で争いがない社会になるには、どのようなことが必要か考えている。	川崎市	78.7	51.1	48.4	2.7	31.3	46.3	17.7	3.3	1.4	82.0	80.0	78.7	74.2	7.8
2	授業で設定した学習の問題(課題)を、進んで調べたり考えたりして解決しようとしている。	川崎市	77.1	52.3	44.9	7.4	27.7	48.3	19.8	2.8	1.4	87.4	80.4	74.5	66.0	21.4
3	インタビューや現地調査をするときには、自ら進んで取り組むようにしている。	川崎市	71.1	51.9	47.3	4.6	23.8	46.3	25.1	3.4	1.5	77.2	75.3	69.4	62.5	14.7
4	自分のふるさとを大切にしたり、より良くしたいという気持ちを持っている。	川崎市	88.8	50.7	49.7	1.0	51.1	36.3	9.2	1.8	1.5	89.1	89.5	89.7	86.9	2.2
5	日本のいろいろな地域の農業や工業、商業が発展することを願っている。	川崎市	89.3	51.0	47.1	3.9	52.0	35.8	9.2	1.3	1.5	91.2	90.7	89.7	85.5	5.7
6	社会の出来事を、いろいろな立場や視点から見るようにしている。	川崎市	76.9	51.9	46.2	5.7	30.0	45.7	20.0	2.7	1.7	85.0	79.1	75.4	68.1	16.9
7	異なる国のそれぞれの社会の出来事を関連づけて考えるようにしている。	川崎市	73.1	52.2	46.1	6.1	26.5	45.3	22.4	4.1	1.7	83.0	75.4	70.6	63.2	19.8

質問番号2では、A層とD層に属する生徒の割合はそれぞれ 87.4%と 66.0%であり、D層の生徒はA層の生徒よりも 21.4 ポイント下回っていました。このことから、全ての生徒が学習課題を見いだすことができるよう、身近な事象を教材化して進んで調べ考えることができるようにしたり、資料の提示や共有方法を工夫したりすることが必要だと考えられます。

【第2学年】

集計項目	川崎市	川崎市学力層別					判定
		A層	B層	C層	D層	層Aの差D	
教科総合	48.0	73.7	54.1	39.9	24.5	49.2	
知識・技能	50.2	75.6	56.0	42.5	26.7	48.9	
思考・判断・表現	39.3	66.4	46.3	29.2	15.4	51.0	I

設問番号		設問内容	基礎 応用	出題 形式	観点1	観点2	川崎市	川崎市学力層別					判定	パター
大問	小問				知識・技能	思考・判断・表現		A層	B層	C層	D層	層Aの差D		
1	1	マダガスカルが面する海洋を選ぶ	基礎	選択式	●		76.8	96.1	86.5	71.9	52.7	43.4		
1	2	日本の位置を正しく説明した文を選ぶ	基礎	選択式	●		60.7	90.6	71.5	51.0	29.7	60.9	III	
1	3	日本とニューヨークの時差を計算する	応用	選択式	●		51.0	74.1	52.8	42.9	34.2	39.9		
1	4	日付変更線の基準となっている経線を選ぶ	基礎	選択式	●		41.6	56.7	42.7	36.4	30.7	26.0		
2	1	気候帯の分布図を見て寒帯を選ぶ	基礎	選択式	●		45.8	64.6	46.4	39.4	33.0	31.6		
2	2	高山気候の地域の服装の写真を選ぶ	基礎	選択式	●		39.4	63.6	41.3	31.9	20.8	42.8		
2	3	サウジアラビアで信仰されている宗教の説明文を選ぶ	基礎	選択式	●		47.2	69.9	48.5	39.4	30.9	39.0		
3	1	東南アジアの気候を説明した文を選ぶ	基礎	選択式	●		50.0	82.7	55.1	38.4	23.7	59.0	I	
3	2	資料から中国の課題を考えて書く	応用	記述式		●	52.7	93.7	73.9	36.6	6.6	87.1	II	
3	3	EUを書く	基礎	短答式	●		67.2	98.4	87.8	62.7	19.9	78.5	III	
3	4	3か国の輸出品の資料に共通して読み取れることを選ぶ	基礎	選択式	●		81.0	99.3	96.2	84.7	43.7	55.6	III	
4	1	ア ロッキー山脈とミシシッピ川の組み合わせを選ぶ	基礎	選択式	●		56.9	79.6	62.0	51.1	34.9	44.7		
4	1	イ シリコンバレーを書く	基礎	短答式	●		29.6	67.2	33.5	14.7	2.7	64.5	I	
4	2	南アメリカ州の特色についての正しい説明を選ぶ	応用	選択式	●		65.1	93.3	78.6	58.6	29.7	63.6	III	
5	1	秦について説明した文を選ぶ	基礎	選択式	●		41.1	62.5	44.5	35.4	22.1	40.4		
5	2	邪馬台国を書く	基礎	短答式	●		25.0	57.4	28.2	11.1	3.2	54.2	I	
5	3	5世紀ごろの朝鮮半島の正しい地図を選ぶ	基礎	選択式	●		36.2	47.3	34.6	32.9	29.9	17.4		
5	4	古墳時代の様子について正しい文を選ぶ	基礎	選択式	●		45.8	67.9	47.3	39.3	28.8	39.1		
6	1	天智天皇が行ったことを選ぶ	基礎	選択式	●		26.9	45.6	27.6	18.6	15.9	29.7		
6	2	奈良時代の文化に関係が深い写真を選ぶ	基礎	選択式	●		82.8	97.6	91.5	83.2	58.9	38.7		
6	3	資料からわかる平城京と平安京の違いを答える	応用	記述式		●	41.5	76.1	53.0	29.9	7.1	69.0		
6	4	カードを年代の古い順に並べたものを選ぶ	応用	選択式		●	44.4	65.2	46.8	37.0	28.9	36.3		
7	1	保元の乱を選ぶ	基礎	選択式	●		38.8	64.1	37.8	29.8	23.6	40.5		
7	2	承久の乱後の鎌倉幕府の勢力についての説明文を選ぶ	基礎	選択式	●		51.6	85.8	56.8	40.5	23.3	62.5	I	
7	3	御成敗式目について正しい文を選ぶ	基礎	選択式		●	43.8	72.1	47.9	33.3	21.9	50.2	I	
7	4	鎌倉時代の仏教について正しい文を選ぶ	基礎	選択式	●		49.8	82.0	59.0	37.4	20.6	61.4	I	
7	5	足利義満を書く	基礎	短答式	●		43.7	85.1	53.8	29.2	6.8	78.3	I	
8	1	ア 資料からモンゴルの産業や経済の特色を選ぶ	基礎	選択式	●		51.0	82.5	59.9	39.8	21.8	60.7	I	
8	1	イ モンゴルで畜産業をが中心となっている理由を書く	応用	記述式		●	8.0	19.6	8.6	3.1	0.5	19.1		
8	2	モンゴル帝国が大陸に及ぼした影響について考える	応用	選択式		●	45.5	71.6	47.5	35.6	27.2	44.4		

【観点別分析】

知識・技能について

全体の正答率は50.2%で、記述式や短答式の問題で無解答率が高い傾向にありました。また、歴史的分野において正答率が高い問題をみると、その時代の大きな流れを時代の特色を踏まえて理解している生徒が多いことが分かります。一方で、外国に関する知識の理解が不十分であり、特に身近な国である朝鮮半島の国と地域の配置については、時代ごとの国の移り変わりに対しての理解が不十分でした。地理的分野については、大まかな国の様子や知識を理解している生徒が多いことが分かります。一方で、複数の資料を読み取ったり、地図を活用したりする技能が不十分でした。

授業の中では、多くの地図や資料に触れ、資料を読み取り考察する学習を行っていくことで、技能の定着を図ることが考えられます。また、**自分の生活と結び付け、身に付けた知識を活用する場面を設定**することで知識を定着させる工夫が必要になります。

思考・判断・表現について

全体の正答率は39.3%で、2つ以上の資料を比較して考察することがやや不十分でした。

「世界の諸地域」では、中国の課題について資料をもとにした適切な考察が、やや不十分でした。授業では、課題学習を通して、中国の経済の急速な成長を捉えるとともに、どのような地域で経済が発展しているのかを、地図や分布図などの資料を用いて調べる活動を取り入れることが考えられます。

「原始から古代まで」では、平城京と平安京の違いについて資料を基にした適切な考察が、やや不十分でした。授業では、東アジアから伝わった仏教をはじめとする文化が、どのように政治に影響していたのかを考えたり、天平文化から国風文化への変化について、なぜ変わったのかを考えたりする活動を取り入れることも大切です。

資料から**事象の背景を考えたり、時代の流れなどを捉えたりする授業の工夫**が必要です。そのために、生徒が主体的に学習に取り組めるような課題を設け、計画的に授業づくりを進めていくことが大切です。

【授業づくりのアイデア例】

設問内容:資料からわかる平城京と平安京の違いを答える
(思考・判断・表現)

〈実際の設問〉

6 次のカードA～カードDは、それぞれ古代の人物についてまとめたものです。これらを見て、あとの問いに答えなさい。

カードA

この人物は、中臣鎌足らとともに蘇我氏をたおしました。それまで豪族が支配していた土地と人民を国家が直接支配する公地・公民の方針を示すなど、天皇を中心とする国家のしくみをつくるための改革を進めました。

カードB

この人物は、仏教をあつく信仰し、仏教の力によって伝染病などから国を守ろうと考え、国ごとに国分寺と国分尼寺を建てました。この人物の時代に聖徳太子の遺言が実現され、開墾した土地の永久私有が認められました。

カードC

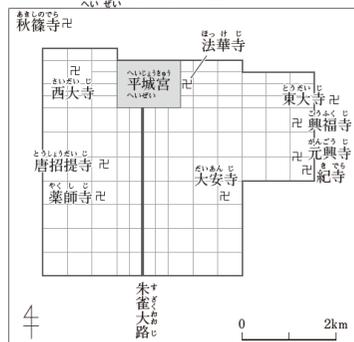
この人物は、政治の立て直しを目的に、都を平城京から長岡京、さらに平安京へと移しました。国司への監督をきびしくするなど、改革を行う一方で、坂上田村麻呂に命じて蝦夷を攻め、朝廷の勢力範囲を広げました。

カードD

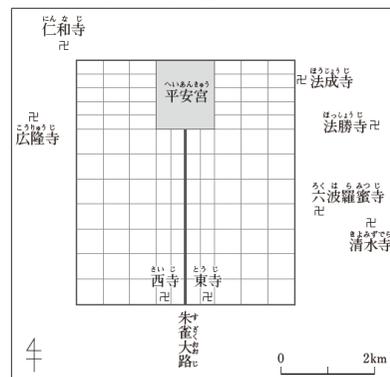
この人物は、兄であった天皇の死後、皇位をめぐる争いに勝利して天皇となりました。都を飛鳥地方へもどし、律令や歴史書をつくるように命じました。この人物の時代に、富本銭とよばれる貨幣もつくられました。

(3) カードCの下線部について、次の資料1と資料2を見て、ひなさんと先生が話し合っています。資料1は平城京、資料2は平安京の模式図です。平城京と平安京のちがいについて、資料1と資料2を参考にして、あとの会話文中の[]にあてはまる内容を書きなさい。

資料1 平城京の模式図



資料2 平安京の模式図



会話文

先生：平城京と平安京の模式図を比べてどんなことに気がきますか。
ひな：大きさはどちらも同じぐらいですね。それから東西方向と南北方向に走る道路で区画されているのも同じです。ただ平安京の方がきれいな長方形になっています。
先生：そうですね。ちがいについてはどうですか。
ひな：平安京は、[]という点が平城京とちがいます。これはどうしてですか。
先生：仏教勢力の影響を弱め、僧が政治に口出しするのを防ぐためではないかと考えられています。

〈正答率と4層分析データ〉

川崎市	川崎市学力層別					
	A層	B層	C層	D層	Aの1層 Dの1層	判定イン
41.5	76.1	53	29.9	7.1	69	I

〈分析結果〉

正答率は41.5%、無解答率は28.6%でした。この設問では、正答例の「都の中に寺院がほとんど置かれていない」など、奈良時代に仏教勢力が政治への影響を強めたことと都と寺院の位置関係が変化したことを関連付けて考え、表現できるかをみるものです。無解答率が高いことから、**知識を関連付けて考えることや表現することに課題**が見られます。また、天皇が宮殿で生活し、政治を行っていたことなどの基本的な事柄を理解できるようにすることも大切です。

<実態に応じた授業づくりの工夫>

中学校学習指導要領解説社会編では、古代までの日本について、「律令国家の確立に至るまでの過程、摂関政治などを基に、東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、その後、天皇や貴族による政治が展開したことを理解すること。」と述べられています。

天平文化と国風文化を比較し考える場を設定する

授業づくりの工夫として、文化が政治に与える影響を踏まえた上で、国風文化がなぜ平安時代に起こったのかを、天平文化と比較しながら生徒が考えることができるようにすることが大切です。

本問の場合では、平城京と平安京の模式図を比較し、生徒は都と寺院との位置関係に着目する必要があります。そこで生徒は、この時代の仏教の日本の社会に与えた影響力に気付かなければなりません。前の時代の天平文化では、東アジアから伝わった仏教文化が花開きます。東大寺、国分寺や唐招提寺など国の政治にも大きな影響を与えています。このような時代背景のあった奈良時代から、平安時代になると国風文化へと変わります。日本の貴族たちが朝廷を中心につくり上げた文化は、東アジアからの文化を発展させ、文字や建造物などを日本風につくりあげたものでした。

授業では、そのような国風文化に着目し、なぜこのような文化が起こったのかを考える場を設定することが大切になります。その際に、前の時代の文化である天平文化と比較することは、文化と政治の関係について理解するための手だての一つとして考えられます。例えば、仏教においては、大仏を造ることで国家を守ろうとしていた奈良時代と貴族の一部の浄土信仰のために寺院が建立されていた平安時代とでは、**仏教と政治の関係が異なることなどに気付けるようにすることが**必要です。生徒がそのようなことに気付けるような資料を用意すること、調べる時間を設けることや考え、話し合うことを授業に取り入れ、多面的・多角的に国風文化を捉えられるように指導することが考えられます。

【主体的に学習に取り組む態度 質問別回答状況一覧】

質問番号	質問内容	母集団	肯定群 回答割合 (%)	平均到達スコア			選択肢別回答割合(%)					学力層別 肯定群回答割合(%)				
				肯定群	否定群	肯-否の差	よくあては まる	ややあて はまる	あまりあて はまらない	まったくあて はまらない	その他 無回答	A層	B層	C層	D層	A-D層 の差
1	世界が平和で争いが無い社会になるには、どのようなことが必要か考えている。	川崎市	70.8	48.1	46.1	2.0	23.0	47.2	23.4	5.6	0.8	73.6	71.6	71.5	66.3	7.3
2	授業で設定した学習の問題(課題)を、進んで調べたり考えたりして解決しようとしている。	川崎市	70.8	50.4	40.6	9.8	21.5	48.7	24.7	4.2	0.8	85.6	76.3	65.4	55.8	29.8
3	社会で働いている人の話を聞いたり、最新の社会に関する資料を読んだりして、自分の考えを持つようとしている。	川崎市	59.6	49.5	44.7	4.8	17.9	41.2	33.1	6.9	0.8	68.4	62.6	55.9	51.6	16.8
4	自分のふるさとを大切にしたり、より良くしたいという気持ちを持っている。	川崎市	84.2	47.8	46.2	1.6	39.8	43.6	13.1	2.6	0.9	84.1	86.6	84.6	81.4	2.7
5	日本のいろいろな地域の農業や工業、商業が発展することを願っている。	川崎市	87.9	48.5	40.7	7.8	46.8	40.3	10.1	1.9	0.9	92.6	91.0	87.2	80.5	12.1
6	社会の出来事を、異なる意見や価値観を比べて深く考えるようにしている。	川崎市	70.6	50.1	41.4	8.7	23.4	46.6	25.1	4.0	0.9	82.9	76.0	66.8	56.6	26.3
7	異なる国のそれぞれの社会の出来事を関連づけて考えるようにしている。	川崎市	68.8	50.0	42.0	8.0	23.3	44.8	25.6	5.3	1.0	80.6	73.3	65.3	55.8	24.8

質問番号4では、学力層に関わらず、身近な地域に興味をもって生活している生徒が多くいることが分かります。質問番号2では、A-D層の差が29.8%開いており、否定群が40.6%(肯-否の差9.8%)と授業で設定した学習の課題に取り組もうとする生徒の差が大きいことが分かります。このことから、全ての生徒が自ら課題を設定し、課題について調べ、考える授業づくりが必要です。

【第3学年】

集計項目	川崎市	川崎市学力層別					
		A層	B層	C層	D層	層Aの差D	パターン判定
教科総合	52.9	80.1	61.1	44.5	25.7	54.4	I
知識・技能	53.1	79.0	60.9	45.8	26.8	52.2	Ⅲ
思考・判断・表現	52.1	83.1	61.7	41.0	22.6	60.5	I

設問番号			設問内容	基礎応用	出題形式	観点1 知識・技能	観点2 断・考・表現判	川崎市	川崎市学力層別						
大問	小問								A層	B層	C層	D層	の差	A層D	判定
1	1	ア	フォッサマグナを書く	基礎	短答式	●		43.7	88.7	55.9	25.1	5.2	83.5	I	
1	1	イ	リマン海流について正しく説明した文を選ぶ	基礎	選択式	●		55.7	90.0	64.9	44.3	23.6	66.4	I	
1	2		農業産出額の分布図について正しく説明した文を選ぶ	基礎	選択式	●		78.4	97.6	90.1	80.6	45.3	52.3	Ⅲ	
1	3		国内輸送の特徴を正しく説明した文を選ぶ	基礎	選択式	●		84.7	98.9	95.2	89.3	55.2	43.7		
2	1	ア	九州地方の特徴について正しいものを選ぶ	基礎	選択式	●		77.7	98.3	92.1	76.0	44.4	53.9	Ⅲ	
2	1	イ	宮崎県のきゅうり栽培の特徴を説明する	応用	記述式		●	34.2	76.0	43.2	15.4	2.3	73.7	I	
2	2		瀬戸内の地形と気候の特徴について正しいものを選ぶ	基礎	選択式	●		72.2	96.4	85.4	67.8	39.4	57.0	Ⅲ	
2	3	ア	近畿地方の雨温図の組み合わせを選ぶ	基礎	選択式	●		46.1	87.1	56.9	30.4	9.9	77.2	I	
2	3	イ	京都の店舗の外観が他の地域と異なる理由を選ぶ	基礎	選択式		●	89.1	99.7	98.8	95.7	62.0	37.7		
3	1		中部地方の県の産業の特徴から県の組み合わせを選ぶ	基礎	選択式	●		50.1	80.1	54.3	39.1	26.9	53.2	I	
3	2		関東ロームを書く	基礎	短答式	●		45.1	84.9	56.1	31.1	8.4	76.5	I	
3	3		関東地方の昼夜間人口の特徴を選ぶ	基礎	選択式	●		62.2	88.7	72.4	55.2	32.4	56.3	Ⅲ	
3	4	ア	東北地方の気候の特徴を選ぶ	応用	選択式		●	44.6	68.2	48.0	37.3	24.7	43.5		
3	4	イ	南部鉄器について正しく説明した文を選ぶ	基礎	選択式	●		62.4	88.9	72.9	53.9	34.1	54.8	Ⅲ	
4	1		朝鮮通信使を書く	基礎	短答式	●		23.0	63.8	20.8	6.7	0.6	63.2	I	
4	2		西廻り航路、東廻り航路について正しいものを選ぶ	基礎	選択式	●		38.7	53.6	44.3	35.7	21.2	32.4		
4	3		寛政の改革を行った人物を選ぶ	基礎	選択式	●		43.6	71.3	45.4	32.8	25.0	46.3		
4	4		江戸時代の文化について正しいものを選ぶ	基礎	選択式	●		19.0	32.3	16.4	13.0	14.1			
5	1		幕末の出来事を年代の古い順に並べたものを選ぶ	応用	選択式		●	50.6	75.9	56.2	40.9	29.3	46.6		
5	2		版籍奉還を選ぶ	基礎	選択式	●		73.9	95.2	87.0	72.6	40.6	54.6	Ⅲ	
5	3		地租改正を行った利点を考えて書く	応用	記述式		●	40.0	86.0	51.2	19.1	3.8	82.2	I	
5	4		文明開化について適切でないものを選ぶ	基礎	選択式	●		51.8	74.6	57.8	44.0	30.9	43.7		
5	5		伊藤博文を書く	基礎	短答式	●		69.6	96.2	85.7	66.4	30.1	66.1	Ⅲ	
6	1	ア	アヘン戦争前の貿易の変化について正しいものを選ぶ	基礎	選択式	●		57.3	82.1	66.2	50.1	31.0	51.1	Ⅲ	
6	1	イ	アヘン戦争の様子の正しい組み合わせを選ぶ	基礎	選択式	●		41.2	62.6	46.0	33.8	22.4	40.2		
6	2		異国船打払令が出された時期を選ぶ	基礎	選択式	●		25.0	34.7	21.7	20.9	22.7			
6	3		綿織物をめぐりイギリスとインドの関係を考える	応用	選択式		●	60.4	95.2	74.6	46.6	25.0	70.2	Ⅱ	
6	4		南北戦争について正しく説明した文を選ぶ	基礎	選択式	●		47.6	72.9	51.9	39.3	26.3	46.6		
7	1		明治時代初期の鉄道の役割について考える	応用	選択式		●	53.0	82.2	61.3	42.3	26.3	55.9	I	
7	2		ニュータウンの特徴について考えて書く	応用	記述式		●	45.1	81.6	60.7	30.7	7.4	74.2	Ⅱ	

【観点別分析】

知識・技能について

知識・技能は、表の読み取りや実生活に結びつく問題は十分にできていましたが、短答式・記述式の問題や複数の語句の組み合わせを選択する問題は理解が不十分でした。

「近畿地方」では、地図と気温図を関連付けて理解することがやや不十分でしたが、京都の店舗の外観が他の地域と異なる理由については十分理解できていました。授業で、気温図を活用し日本の気候について理解できるようにするとともに、生徒にとって身近な内容を取り上げることが今後続けていくことが必要です。

「江戸時代の日本」では、元禄文化と化政文化の特徴の理解が不十分でした。授業で、各時代の文化を比較して、共通点や相違点を資料から読み取るなど、文化の特徴の理解を深めていく必要があります。

全体を通して、**複数の資料や知識を組み合わせ活用する技能に課題**があります。授業で、資料や既習事項をもとに概念的な理解を促す活動が必要です。

思考・判断・表現について

思考・判断・表現は、記述式の問題の考察がやや不十分でした。

「欧米における近代社会の成立」では、綿織物をめぐるイギリスとインドの関係を適切に考察することが一応できていました。事象の因果関係を明らかにしながら授業づくりを行うことが今後も必要です。

「身近な地域調査」では、明治時代初期の鉄道の役割について、表と地図を組み合わせることがやや不十分でした。また、地図と表を読み取り、ニュータウンの特徴を記述することがやや不十分でした。授業で、資料から読み取ったことを社会的事象に関連付けることを丁寧に指導する必要があります。

全体を通して、資料を読み取って考察し、表現することに課題があります。授業で、**資料について他者と自分の意見を比較する等の話し合い活動や、資料からわかったことをレポートにまとめる等の表現する活動**を増やすことが必要です。

【授業づくりのアイデア例】

設問内容:ニュータウンの特徴について考えて書く
(思考・判断・表現)

<実際の設問>

(2) わかなさんは、次の資料3と資料4をもとに、自分たちの住む地域の特徴について、あとのようにまとめました。わかなさんのまとめ中の①、②にあてはまる内容を、簡潔に書きなさい。

資料3 首都圏の鉄道網とニュータウン



資料4 首都圏の1㎡あたりの住宅地の地価(公示地価)の比較

おもな地域 (ニュータウン名)	地価の平均(円)	おもな地域 (ニュータウン名)	地価の平均(円)
東京都23区	631,300	千葉県原市 (千葉市原ニュータウン)	47,600
東京都多摩市 (多摩ニュータウン)	184,400	千葉県成田市 (成田ニュータウン)	52,200
神奈川県横浜市都筑区 (港北ニュータウン)	273,300	茨城県守谷市 (常総ニュータウン)	85,300
千葉県船橋市 (千葉ニュータウン)	151,900	茨城県龍ヶ崎 (電ヶ崎ニュータウン)	27,500
千葉県千葉市美浜区 (海浜ニュータウン)	163,400		

(2020年)

(国土交通省資料より)

わかなさんのまとめ

わたしの住む横浜市の北部の都筑区には、港北ニュータウンとよばれる住宅街があります。資料3を見ると、ニュータウンとよばれる住宅街は東京都の23区の周辺にあり、23区とニュータウンを結ぶ鉄道が近くにあることから、①ことがわかります。資料4を見ると、東京都の23区と比較して、②ことから、住宅が建てやすいところにニュータウンがつけられたと考えられます。

<正答率と4層分析データ>

川崎市	川崎市学力層別					判定
	A層	B層	C層	D層	Aの差D層	
45.1	81.6	60.7	30.7	7.4	74.2	II

<分析結果>

市の平均正答率は、45.1%でした。A・B層の値が高く、C・D層と差があるパターンIIの傾向が見られました。市全体の無解答率は22.7%で、C層とD層が20%超の値となっていました。

<実態に応じた授業づくりの工夫>

中学校学習指導要領解説社会編では、C日本の様々な地域(3)日本の諸地域④交通や通信を中核とした考察の仕方イ(ア)『地域の広がりや地域内の結びつき、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連づけて多面的・多角的に考察し、表現すること』と述べられています。大問7(2)は、記述式の問題となっているのに対して、大問7(1)は選択式となっています。この2つを比較すると、A層とB層の値は同程度ですが、大問7(2)ではD層の正答率が低く無解答率が半数を超えていました。

課題を理解し自分の考えをもち表現する場を設ける

本問の場合では、文章中の空欄にあてはまる内容(課題)を理解し、それについて資料から読み取り表現する活動が考えられます。資料3から交通、資料4から地価について示された資料であると読み取る力が必要です。日ごろの授業から誰もが自分の考えをもつことが大切であり、単元の初めの予想を考える際や資料から読み取る際に、グループ活動で話し合いながら相互に読み取った内容について確認し合うような授業づくりが考えられます。その際、間違えていたとしても許容される雰囲気も大切です。また、そもそも資料の読み取りを苦手としている生徒に対して、生徒同士で教え合ったり教師が働きかけたりすることが必要な場合があります。**読み取る技能が身に付いていないのか、文章として表現する力が身に付いていないのか、指導に生かす評価を適切に行う授業づくり**の工夫をしていくことが考えられます。

【主体的に学習に取り組む態度 質問別回答状況一覧】

質問番号	質問内容	母集団	肯定群 回答割合 (%)	平均到達スコア			選択肢別回答割合(%)					学力層別 肯定群回答割合(%)				
				肯定群	否定群	肯-否の差	よくあては まる	ややあて はまる	あまりあて はまらない	まったくあ てはまらない	その他 無回答	A層	B層	C層	D層	A-D層 の差
1	世界が平和で争いが無い社会になるには、どのようなことが必要か考えている。	川崎市	66.4	56.5	55.9	0.6	19.6	46.4	26.6	6.8	0.7	68.3	65.6	67.0	64.6	3.7
2	授業で設定した学習の問題(課題)を、進んで調べたり考えたりして解決しようとしている。	川崎市	72.7	57.8	52.2	5.6	23.5	48.7	23.1	4.0	0.7	85.7	74.4	71.7	58.8	26.9
3	社会で働いている人の話を聞いたり、最新の社会に関する資料を読んだりして、自分の考えを持とうとしている。	川崎市	61.1	57.4	54.5	2.9	18.8	41.9	32.1	6.6	0.7	69.0	62.9	59.6	52.7	16.3
4	自分のふるさとを大切にしたり、より良くしたいという気持ちを持っている。	川崎市	79.9	56.4	56.0	0.4	32.5	46.8	16.4	3.6	0.7	79.4	81.4	80.8	77.9	1.5
5	日本のいろいろな地域の農業や工業、商業が発展することを願っている。	川崎市	86.4	56.8	53.0	3.8	44.0	41.8	11.2	2.3	0.7	90.7	88.0	86.6	80.3	10.4
6	社会の出来事を、異なる意見や価値観を比べて深く考えるようにしている。	川崎市	71.7	57.7	52.6	5.1	23.8	47.3	24.2	3.9	0.7	83.9	74.8	68.5	59.2	24.7
7	異なる国のそれぞれの社会の出来事を関連づけて考えるようにしている。	川崎市	70.4	57.7	52.9	4.8	24.3	45.6	24.5	4.9	0.8	83.0	72.5	67.3	58.7	24.3

質問番号6、質問番号7はA-D層の差が20ポイント以上あります。学習指導要領においても、資料から読み取った情報を比較したり関連付けたりして表現する力の育成は課題として挙げられています。このことから、社会的事象を多面的・多角的に考察する機会をつくり、自らすすんで異なる意見や価値観を比べたり、**社会の出来事を関連づけて考えたりする場面を設定**することが授業改善の一つとして考えられます。

【質問紙調査から】

質問番号【95】

「社会の授業で、いま、世の中で起こっていることについて、資料を基に考えることがある。」

<肯定的な回答率と4層分析データ>

	川崎市	A層	B層	C層	D層	A-Dの差
第1学年	67.3	77.0	72.2	65.0	54.8	22.2
第2学年	60.0	67.2	64.6	60.0	48.3	18.9
第3学年	56.0	61.9	57.8	56.5	48.0	13.9
平均	61.1	68.7	64.9	60.5	50.4	18.3

「世の中で起こっていることについて、資料を基に考える」ことは、授業と、生徒が生活している社会をつなげるために、とても大切なことです。3学年合わせた平均は61.1%であり、決して高くありません。また、1学年についてはA層とD層の差が20%以上と、大きく開いています。世の中で起こっていることに関して、機会を捉えて地図帳で場所を確認したり、統計資料を活用して考えたりする活動を行うことにより、授業で扱う社会的事象についても、主体的に資料を基に考えることができるようになります。また、世の中で起こっていることへの関心を高めることで、学習対象を自分事として捉えていくことができるようになることも期待されます。

<実態に応じた授業づくりの工夫>

地理の学習では、地図帳を活用することが多いと思います。地図帳には統計資料のページもあるため、1年生の地理で、教科書のみならず、世界の国々を比較するために統計資料を活用したり、世界の中でどこに国や都市があるかを調べたりすることができると思います。疑問に思ったことはその都度地図帳や統計資料、またはGIGA端末で調べる機会をつくり、習慣化していくことが大切です。また、歴史においても、出てきた地名や位置を調べるなど、地図帳を活用する機会を作ることができます。このように、統計資料やGIGA端末を活用する習慣を身に付けることで「知識・技能」が培われます。そして教師が世の中で起こっていること（ニュースで見る事象、気象情報、世界・日本の政治・経済・文化の報道など）を取り上げて考えさせたり、自分の意見を述べる（記述する）機会を作ったりすることで、「思考力・判断力・表現力」を高めていくことができます。このような学習を繰り返していくことで、**社会の授業と今生きている世の中とがつながっていき、学習することの必要感を高めることができる**と考えられます。

	R5	R6	R7
第1学年	67.3		
第2学年	60.0		
第3学年	56.0		

4 中学校数学

【第1学年】

集計項目	川崎市	川崎市学力層別					
		A層	B層	C層	D層	層Aの差D	ンパター判定
教科総合	67.3	91.5	78.0	63.0	36.9	54.6	Ⅲ
知識・技能	72.5	93.9	82.8	70.4	43.1	50.8	Ⅲ
思考・判断・表現	42.3	79.9	54.9	27.5	6.9	73.0	Ⅱ

設問番号		設問内容	基礎応用	出題形式	観点1 知識・技能	観点2 断・思考・表現	川崎市学力層別						
大問	小問						A層	B層	C層	D層	層Aの差D	ンパター判定	
1	1	1	5/12×9/20を計算する	基礎	短答式	●		97.9	93.5	85.9	50.2	47.7	
1	1	2	8/9÷2/15を計算する	基礎	短答式	●		99.1	95.0	90.5	50.3	48.8	
1	1	3	1 7/8×1 1/5を計算する	基礎	短答式	●		98.0	92.0	84.4	42.6	55.4	Ⅲ
1	1	4	5/6÷7/2÷10/21を計算する	基礎	短答式	●		96.6	89.3	81.0	38.3	58.3	Ⅲ
1	1	5	3÷0.9×0.25を計算する	基礎	短答式	●		89.1	72.3	56.0	19.4	69.7	Ⅲ
1	2		計算の見積もりで正しいものを選ぶ	基礎	短答式	●		96.6	87.0	74.8	37.0	59.6	Ⅲ
1	3		場面を表す文字式で正しいものを選ぶ	基礎	選択式	●		77.6	43.5	26.7	17.2	60.4	I
2	1		複数の半円を組み合わせた図形の面積を求める式を選ぶ	基礎	選択式	●		93.3	76.0	54.5	41.6	51.7	Ⅱ
2	2		三角柱の体積を求める式を選ぶ	基礎	選択式	●		96.6	86.8	68.9	35.5	61.1	Ⅲ
2	3		円柱の体積を求める	基礎	短答式	●		92.8	83.9	67.2	22.4	70.4	Ⅲ
2	4	1	線対称な図形の対応する点を選ぶ	基礎	選択式	●		81.4	55.8	34.6	13.9	67.5	I
2	4	2	点対称な図形の対称の中心を作図する	基礎	短答式	●		97.0	92.5	85.6	57.1	39.9	
2	4	3	点対称な図形の対応する辺を選ぶ	基礎	選択式	●		96.1	90.0	85.7	69.9	26.2	
2	5		拡大図の対応する辺の長さを選ぶ	基礎	選択式	●		93.2	76.6	56.6	34.8	58.4	Ⅲ
2	6		何分の一の縮図になっているかを選ぶ	基礎	選択式	●		94.3	78.9	58.2	34.6	59.7	Ⅲ
2	7		池のおよその図形を選ぶ	基礎	選択式	●		99.1	97.0	95.5	83.7	15.4	
3	1		8:6と等しい比を選ぶ	基礎	選択式	●		78.8	47.3	28.6	14.7	64.1	I
3	2		比例の関係を表す式を選ぶ	基礎	選択式	●		99.2	96.3	92.6	72.9	26.3	
3	3		反比例の関係を表した表のあてはまる数を求める	基礎	短答式	●		97.5	91.0	77.9	33.9	63.6	Ⅲ
4	1		4枚のカードを並べてできる4けたの整数の数を選ぶ	基礎	選択式	●		98.6	90.4	74.9	50.6	48.0	
4	2		セットの組み合わせは全部で何通りかを選ぶ	基礎	選択式	●		99.7	98.6	96.0	75.4	24.3	
4	3		通学時間の中央値を求める	基礎	短答式	●		92.3	82.0	70.8	39.6	52.7	Ⅲ
5	1		棒1kgあたりの長さを求める	応用	記述式		●	63.8	33.3	18.3	5.9	57.9	I
5	2		ビー玉の個数を求める	応用	記述式		●	95.6	77.0	39.5	7.6	88.0	Ⅱ
6	1		面積を表す文で正しいものを選ぶ	基礎	選択式	●		97.1	92.4	84.4	64.5	32.6	
6	2		草かりが完了できるかを説明する	応用	記述式		●	93.4	69.3	33.8	9.2	84.2	Ⅱ
7	1		面積の比で正しいものを選ぶ	基礎	選択式	●		92.7	78.1	58.0	34.2	58.5	Ⅲ
7	2		2つに分けた長方形の横の長さの比とアの長さを求める	応用	短答式		●	95.5	77.4	39.3	11.2	84.3	Ⅱ
7	3		花の苗の数について説明する	応用	記述式		●	51.5	17.6	6.5	0.8	50.7	I

【観点別分析】

知識・技能について

1年生では比例の関係を式で表す問題などで正答率が9割を超えており、D層の正答率も7割を超えています。しかしながら、小学校での数と計算領域の小数や分数の問題に苦手傾向がみられます。**計算の順序や原理・法則など既習を想起させながら丁寧に指導し**、定着させていくことが大切です。しかし、大問1(1)⑤の問題では、A層では正答率が9割なのに対し、D層では正答率が2割弱となっており、無解答率が4割を超えています。このことから、乗除の計算の順序、小数を含む計算を苦手になっている生徒が多いと考えられます。また、問題に応じて自分に合った解き方を考えさせる授業も大切です。大問1(3)の問題では、パターンIの判定であり、選択式の問題の中では最も正答率が低い問題です。2つの数量を文字で表す前に、**実際に式が何を表しているか考えさせる授業を取り入れる**必要があります。

思考・判断・表現について

1年生では、A-D層の差が50ポイント以上の設問が多く、パターン判定がIもしくはIIを示しています。大問5(2)では正答率が5割程度であり、A層が9割正答しているのに対し、D層の正答率が1割未満で、D層の無解答率が3割を超えています。授業内で問題を解くときに、何を求めたいのかを確認し、図や表、数直線などを活用してどのように式をたて、考える時間をとり、それを周りと共有・吟味するような場を設定することが大切です。大問7の(3)ではパターン判定Iであり、正答率2割弱です。A層が5割、D層も1割弱と全体的に理解が不足しているようです。また、C層とD層の無答率が2割、3割とみられることから理由を説明する問題を苦手としています。また、問題を見て飛ばしてしまう生徒の割合も多いのではないかと考えられます。

授業内で学び合いの活動の中で**考え方を共有・吟味する時間を設定し、日々説明する学習活動**を取り入れることが大切です。

【授業づくりのアイデア例】

設問内容:場面を表す文字式で正しいものを選ぶ(知識・技能)

<実際の設問>大問1(3)

(3) まわりの長さが30cmの長方形があります。縦の長さを x cm, 横の長さを y cmとするとき, x と y の関係を正しく表している式を, 次の1~4から1つ選んで, 解答用紙の番号に○をつけなさい。

- 1 $30 \div 2 - x = y$ 2 $30 - x = y$
 3 $(30 - x) \div 2 = y$ 4 $(30 + x) \div 2 = y$

<正答率と4層分析データ>

川 崎 市	川崎市学力層別					
	A 層	B 層	C 層	D 層	A-D 層の差	パター ン判定
41.3	77.6	43.5	26.7	17.2	60.4	I

<分析結果>

選択式の問題の中で、正答率は最も低く、無解答率も2番目に高かった問題です。パターン判定がIということで、A層とB・C・D層の差が大きく、多くの生徒に課題があることがわかります。()を使って先に計算すること、2つの数量を文字で表すこと、四則計算が2種類出てくること、式を変形することなど、様々なところにつまずきがあったことがわかります。

<実態に応じた授業づくりの工夫>

中学校の文字式や等式にも大きく関わる内容です。授業をつくるにあたって、以下のことが大切だと考えられます。

小学校では、第6学年で「文字を使った式」を中心に、数量を x などの文字を用いて表すことを学習します。その際、中学校の方程式のように未知数を文字で表すことを先に学習していて、文字にあてはまる数を考える学習があります。中学校第1学年の文字と式を取り扱う際にも、まずは**具体数で数量の関係を考えることが、数学を苦手と感じる生徒への手助けとなる**と考えられます。

また、縦・横・周といった3つの数量の関係を、様々な式の形で表すことにも課題があるように思われます。授業では答えを1つに限定せず、他の人が作った式の意味を考えたり、自分の解答と比べたりする活動を増やすことが課題改善につながると考えられます。

3つの数量の関係の式(例)

$$\begin{array}{ll}
 2 \times x + 2 \times y = 30 & 30 - 2 \times x = 2 \times y \\
 x + y = 15 & 15 - x = y \\
 15 - y = x & 30 \div 2 - x = y \\
 30 \div 2 - y = x & \text{など}
 \end{array}$$

【主体的に学習に取り組む態度 質問別回答状況一覧】

質問番号	質問内容	母集団	肯定群 回答割合 (%)	平均到達スコア			選択肢別回答割合(%)					学力層別 肯定群回答割合(%)				
				肯定群	否定群	肯-否の差	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答	A層	B層	C層	D層	A-D層の差
1	算数・数学を使うと、複雑な問題でも簡単な式で表現できたり、わからない値が求められたりして便利だと思う。	川崎市	86.6	54.9	35.9	19.0	46.2	39.2	11.0	2.1	1.4	96.8	92.8	85.9	70.7	26.1
2	解き方がわからない問題でも、これまでに学習したことを活用して、論理的に少しずつ解こうとしている。	川崎市	84.5	55.1	37.2	17.9	38.2	45.1	13.7	1.6	1.4	96.0	91.4	82.9	67.2	28.8
3	新しい問題を解くときに、これまでに習ったことをどうやって使えば解けそうか、考えるようにしている。	川崎市	86.2	54.6	38.4	16.2	41.5	43.4	11.9	1.7	1.6	95.8	91.1	85.0	72.6	23.2
4	アンケート結果をもとに自分たちで結果をまとめたり考察したりするときには、統計の考え方を生かしている。	川崎市	74.1	55.0	44.9	10.1	24.3	48.5	22.4	3.1	1.8	85.0	78.0	70.8	62.3	22.7
5	文章題で求められていることを、式に正しく表すことができたかどうかを振り返って検討するようにしている。	川崎市	75.2	55.2	43.8	11.4	29.4	44.4	21.0	3.3	1.8	86.3	80.6	72.4	60.9	25.4
6	1つの問題について、これまで習ったことを工夫して使えば、いろいろな解き方があると気づくことがある。	川崎市	77.0	55.1	43.3	11.8	31.9	43.6	19.7	2.9	2.0	87.4	81.4	76.2	62.4	25.0
7	問題を解いた後で、もう一度解き方を振り返って、良いところと間違っているところやもっと工夫ができることを見つけ出して、より良い解き方を考えるようにしている。	川崎市	72.9	55.0	45.6	9.4	26.5	44.9	22.4	4.1	2.1	82.9	76.6	70.7	61.2	21.7

質問2では、わからない問題もこれまでの学習を生かし、論理的に考えて答えに迫ろうとする生徒が多い結果となりました。質問5、質問7の結果を見ると問題を解き、振り返ってよりよい解き方を考えることに課題が見られます。様々な角度から考えることが大切だと思います。自分の考えた過程を上手いところや、上手いかなかったところ、そしてよりよく工夫ができる解き方を自ら見つけ出して、よりよい解き方を考えるように指導をしていくことが必要です。

【第2学年】

集計項目		川崎市	川崎市学力層別					層 A I の差 D	ン判ター
			A 層	B 層	C 層	D 層			
教科総合		50.4	78.3	59.8	42.8	20.9	57.4	Ⅲ	
知識・技能		59.9	86.9	72.2	53.5	26.8	60.1	Ⅲ	
思考・判断・表現		24.9	54.9	26.3	13.7	4.8	50.1	I	

大問	小問	設問内容	基礎 応用	出題 形式	観点1	観点2	川崎市	川崎市学力層別					層 A I の差 D	ン判ター
					知識・技能	断思考・表現判		A 層	B 層	C 層	D 層			
1	1	正負の数の大きさを正しく表したものを選ぶ	基礎	選択式	●		90.6	98.5	96.9	93.7	73.3	25.2		
1	2	正負の数の計算をする	基礎	短答式	●		76.0	96.0	91.7	79.5	36.7	59.3	Ⅲ	
1	3	正しい文字式を選ぶ	基礎	選択式	●		54.6	83.7	68.1	44.4	21.9	61.8	Ⅱ	
1	4	文字式の計算をする	基礎	短答式	●		62.8	97.8	86.8	56.1	10.4	87.4	Ⅲ	
1	5	方程式を解く	基礎	短答式	●		70.9	97.3	93.8	72.7	20.0	77.3	Ⅲ	
1	6	比例式を解く	基礎	短答式	●		76.4	98.4	94.4	79.2	33.5	64.9	Ⅲ	
2	1	正しい線対称な図形を選ぶ	基礎	選択式	●		87.9	99.2	97.0	90.1	65.2	34.0		
2	2	各点から等距離にある点を作図する	基礎	短答式	●		39.6	81.1	50.7	22.8	3.7	77.4	I	
2	3	投影図で表される立体について正しい展開図を選ぶ	基礎	選択式	●		85.9	97.9	93.7	85.8	66.5	31.4		
2	4	正六角柱においてねじれの位置にある辺の数を答える	基礎	短答式	●		24.7	45.7	26.9	17.7	8.4	37.3		
2	5	回転体の体積を答える	基礎	短答式	●		67.3	95.9	88.3	68.3	16.9	79.0	Ⅲ	
3	1	反比例の関係について正しいものを選ぶ	基礎	選択式	●		53.8	86.6	62.5	40.1	26.0	60.6	I	
3	2	比例の式を答える	基礎	短答式	●		33.4	83.1	42.0	8.1	0.3	82.8	I	
3	3	反比例のグラフを利用して座標を答える	基礎	短答式		●	38.5	86.7	49.1	14.8	3.3	83.4	I	
3	4	反比例の表の値を答える	基礎	短答式	●		46.1	93.2	67.2	22.4	1.6	91.6	Ⅱ	
4	1	最頻値を答える	基礎	短答式	●		44.8	63.1	50.7	42.7	22.6	40.5		
4	2	中央値を答える	基礎	短答式	●		36.1	65.1	41.9	27.5	10.0	55.1	I	
5	1	不等式の表す内容として正しいものを選ぶ	基礎	選択式	●		64.5	90.7	77.6	59.5	30.1	60.6	Ⅲ	
5	2	ア 【操作】の法則から基石の個数を答える	応用	短答式		●	40.7	60.5	45.5	37.5	19.4	41.1		
5	2	イ 【操作】の法則を一般化し、文字式で表す	応用	短答式		●	14.1	46.0	8.6	1.9	0.1	45.9		
6	1	正しい円錐の側面の展開図を選ぶ	基礎	選択式	●		75.1	93.5	78.7	71.1	57.0	36.5		
6	2	ア 円錐の底面の円周を答える	基礎	短答式	●		46.6	84.4	62.3	34.5	5.2	79.2	Ⅲ	
6	2	イウエ 円錐の底面と側面の関係について答える	応用	短答式		●	12.6	44.4	5.5	0.6	0.0	44.4		
6	3	円錐の側面積の求め方を説明する	応用	記述式		●	12.4	36.1	10.9	2.4	0.3	35.8		
7	1	階級の幅を答え、ヒストグラムをかきなおす	応用	記述式		●	27.1	54.8	31.1	17.4	5.0	49.8		
7	2	データ中の特定の値について、根拠を示しつつ説明する	応用	記述式		●	29.1	55.8	33.2	21.5	5.7	50.1	I	

【観点別分析】

知識・技能について

大問1(1)の3つの数の大小関係を「不等号」を使って表す問題は正答率9割、(2)の正負の四則計算や(5)の方程式を解く計算、(6)の比の計算も7割を超えています。

大問2(1)の線対称な図形を選ぶ問題や(3)の投影図から展開図を選ぶ問題では正答率が8割を超え、(5)の回転体の体積を求める問題は6割を超えました。(2)の3点を通る円の中心を求める問題では、正答率が4割弱となっており、作図の分野では垂直二等分線や角の二等分線など基本的な作図においての知識を丁寧に指導し、それにつながる活用問題に取り組み、日常生活や実社会におけるつながりも含め理解する必要もあります。(4)の六角柱のねじれの位置にある辺の数を答える問題では正答率が2割程度となり、A層での正答率も5割に満たない状況です。**状況に合わせ、実物や端末などを用いて指導していく**必要があります。

大問3の関数の問題では、反比例のグラフについて増減の様子を選ぶ問いは5割を超えたものの、(4)の表の穴埋めをする問いは4割強となりました。また、(2)の比例の式を求める問いは3割程度となりました。

思考・判断・表現について

大問3(3)の反比例のグラフ上に円が接し中心を求める問題では、正答率が4割弱、D層の無解答率は7割を超えています。関数のグラフを扱う際には、**視覚的に点の座標を捉える機会を増やす指導**を心掛けましょう。

大問5(2)の碁石を規則正しく並べていく問題では正答率4割程度、n回目の操作を問う問題になると1割強になっています。解法が複数出やすいものの課題に取り組む際に、グループ活動を取り入れ**生徒同士で意見交換をする時間を設け、他の人の考えを吟味するなど授業の展開を工夫すると良い**です。

大問7のデータ分析の問題で、ヒストグラムを条件に合うようにかき直す問いや、平均値、最頻値、中央値のどれかを使って説明する問いについて、正答率は3割程度となっています。データの分布について、**数学的活動を通した中でその必要性和意味を理解しながら代表値を確認し、指導していく必要性**があります。

【授業づくりのアイデア例】

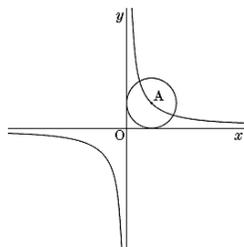
設問内容:反比例のグラフを利用して座標を答える

(思考・判断・表現)

〈実際の設問〉

3 次の問いに答えなさい。

(3) 関数 $y = \frac{4}{x}$ のグラフ上に点 A があります。点 A は、 x 座標が正で、 x 軸と y 軸の両方に接している円の中心です。点 A の座標を求めなさい。



〈正答率と4層分析データ〉

川崎市	川崎市学力層別					
	A層	B層	C層	D層	A-D層の差	パターン判定
38.5	86.7	49.1	14.8	3.3	83.4	I

〈分析結果〉

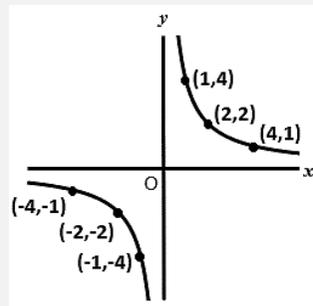
正答率はパターン判定が I となり、A層とB・C・D層との理解度の差が大きくなっています。

今回の問題に図が掲載されていることから、視覚的に点の座標を捉えきれていない生徒がいることが考えられます。また、関数領域の内容と図形領域の内容を関連づけた問題に慣れておらず困惑した生徒が多いと予想されます。

〈実態に応じた授業づくりの工夫〉

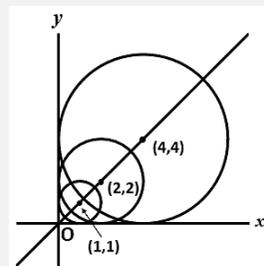
基本:点の座標を捉える

「視覚的に捉える場」を設定する

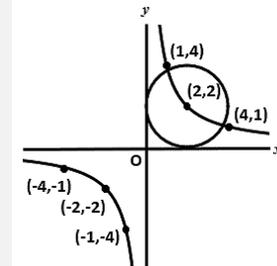


左図のように、視覚的に座標を捉える機会を増やすとよいと考えられます。

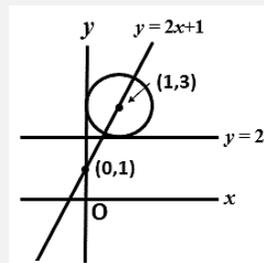
応用:関数領域の内容 + 図形領域の内容 (例. 円)



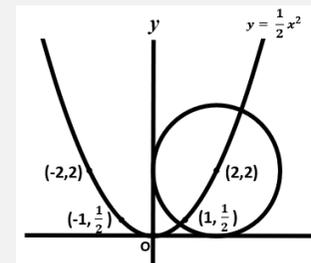
中1



中1



中2



中3

上図のように、関数と図形の両方の見方・考え方をを用いる題材について視覚的に捉える場を設定するとよいと考えられます。

【主体的に学習に取り組む態度 質問別回答状況一覧】

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合(%)	平均到達スコア			選択肢別回答割合(%)					学力層別 肯定群回答割合(%)				
				肯定群	否定群	肯-否の差	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答	A層	B層	C層	D層	A-D層の差
1	算数・数学を使うと、複雑な問題でも簡単な式で表現できたり、わからない値が求められたりして便利だと思う。	川崎市	75.9	66.4	48.9	17.5	31.1	43.3	18.6	5.0	2.0	92.6	83.7	71.6	55.7	36.9
2	解き方がわからない問題でも、これまでに学習したことを活用して、論理的に少しずつ解こうとしている。	川崎市	74.9	66.8	48.5	18.3	25.4	48.0	20.9	3.7	2.1	93.1	82.8	70.2	53.5	39.6
3	新しい問題を解くときに、これまでに習ったことをどうやって使えば解けそうか、考えるようにしている。	川崎市	79.2	65.8	48.6	17.2	29.8	47.7	17.1	3.2	2.1	93.5	86.2	75.6	61.5	32.0
4	アンケート結果をもとに自分たちで結果をまとめたり考察したりするときには、統計の考え方を生かしている。	川崎市	62.3	66.2	55.6	10.6	16.4	44.5	30.8	6.0	2.3	75.3	68.4	58.5	47.1	28.2
5	文章題で求められていることを、式に正しく表すことができたかどうかを振り返って検討するようにしている。	川崎市	66.9	66.5	53.5	13.0	21.4	43.9	26.7	5.7	2.3	81.9	73.7	62.6	49.2	32.7
6	1つの問題について、これまで習ったことを工夫して使えば、いろいろな解き方があると気づくことがある。	川崎市	66.5	66.4	53.8	12.6	21.5	43.4	27.0	5.6	2.4	81.4	73.5	61.6	49.5	31.9
7	問題を解いた後で、もう一度解き方を振り返って、良いところと間違っているところやもっと工夫ができることを見つけ出して、より良い解き方を考えるようにしている。	川崎市	66.7	66.3	54.1	12.2	21.3	43.8	26.0	6.4	2.6	80.2	73.1	63.3	50.3	29.9

質問番号1と3の調査結果から生徒の前向きな姿勢がみられます。特に、質問番号3では、D層でも 61.5%となっているのは、日頃から先生方の授業が課題解決型の授業になっているからではないでしょうか。さらに頑張りましょう。質問番号7では、1年生と比べて肯定群回答割合が-6.2%であることから再度、自分の学習過程を振り返る時間を設定することも大切です。

【第3学年】

集計項目	川崎市	川崎市学力層別					
		A層	B層	C層	D層	層Aの差D	パターン判定
教科総合	49.5	81.3	60.0	40.5	16.3	65.0	Ⅲ
知識・技能	53.6	85.3	65.7	45.3	18.0	67.3	Ⅲ
思考・判断・表現	31.6	63.9	34.5	19.4	8.5	55.4	I

設問番号		設問内容	基礎 応用	出題 形式	観点1 技能・ 知識	観点2 表現・ 判断・ 思考	川崎市	川崎市学力層別					
大問	小問							A層	B層	C層	D層	層Aの差D	パターン判定
1	1	四則・累乗の混じった計算をする	基礎	短答式	●		58.4	88.7	73.3	54.3	17.5	71.2	Ⅲ
1	2	式の値を求める	基礎	短答式	●		58.3	88.9	75.8	55.5	13.1	75.8	Ⅲ
1	3	文字式の除法の計算をする	基礎	短答式	●		57.4	86.3	72.1	53.5	17.7	68.6	Ⅲ
1	4	文字式の加減の計算をする	基礎	短答式	●		80.1	98.9	96.4	89.7	35.3	63.6	Ⅲ
1	5	連立方程式を解く	基礎	短答式	●		70.9	95.6	86.6	76.4	24.9	70.7	Ⅲ
1	6	正しい文字式を答える	基礎	短答式	●		70.6	99.1	93.0	71.3	18.9	80.2	Ⅲ
2	1	錯角を利用して角度を求める	基礎	短答式	●		74.0	96.0	90.4	79.2	30.5	65.5	Ⅲ
2	2	等積変形を利用して面積の等しい三角形を答える	基礎	短答式	●		61.0	91.2	74.5	55.9	22.5	68.7	Ⅲ
2	3	図形の性質を利用して角度を求める	基礎	短答式	●		64.6	94.0	82.7	63.6	17.8	76.2	Ⅲ
2	4	ア 二等辺三角形を選ぶ	基礎	選択式	●		82.8	94.3	86.5	82.8	67.5	26.8	
2	4	イ 平行四辺形の周の長さを答える	応用	短答式		●	45.7	84.0	56.6	33.4	8.9	75.1	I
3	1	特定の点を通る1次関数を選ぶ	基礎	選択式	●		53.9	97.0	75.7	33.3	9.6	87.4	Ⅱ
3	2	1次関数の通る点から傾きと切片を求める	基礎	短答式	●		16.8	43.7	15.3	6.1	2.1	41.6	
3	3	ア 2点から1次関数の式を求める	基礎	短答式	●		43.9	93.0	67.8	14.4	0.5	92.5	Ⅱ
3	3	イ 1点と傾きから1次関数の式を求める	基礎	短答式	●		39.9	91.8	57.7	10.1	0.2	91.6	Ⅱ
3	4	2直線の交点の座標を求める	基礎	短答式	●		39.4	91.7	55.2	10.3	0.2	91.5	Ⅱ
3	5	変域から1次関数の式を求める	基礎	短答式	●		19.6	64.7	12.8	0.8	0.0	64.7	I
4	1	場合の数を求める(さいころ)	基礎	短答式	●		50.1	75.9	59.1	44.8	20.4	55.5	Ⅲ
4	2	ア 確率を求める(硬貨)	基礎	短答式	●		52.5	88.8	65.8	42.9	12.3	76.5	Ⅲ
4	2	イ 確率を求める(硬貨)	基礎	短答式	●		45.4	74.7	48.4	35.9	22.6	52.1	I
4	3	正しい確率を選ぶ(玉)	基礎	選択式	●		53.1	88.1	61.6	41.8	20.9	67.2	I
4	4	確率を求める(カード)	基礎	短答式	●		22.6	50.5	24.3	12.4	3.1	47.4	
5		正しい数や文字式を入れ、説明を完成させる	応用	短答式		●	31.7	84.4	35.4	6.4	0.4	84.0	I
6	1	xとyの関係から、1次関数のグラフをかく	応用	記述式		●	19.9	50.2	21.2	7.1	1.0	49.2	
6	2	2つの1次関数を比較したうえで、自分の考えを答える	応用	記述式		●	6.7	23.7	2.6	0.4	0.0	23.7	
7	1	中央値を答える	基礎	短答式	●		63.6	83.5	70.9	60.8	39.1	44.4	
7	2	箱ひげ図を利用して自分の考えを述べる	応用	記述式		●	54.0	77.2	56.8	49.8	32.1	45.1	

【観点別分析】

知識・技能について

A-D層の正答率の差が50ポイント以上の設問が多く、パターン判定がⅢを示している設問が多いという結果となりました。大問1(1)の四則の混じった計算の問題は、A層の正答率は9割近くであったのに対し、D層では正答率が2割弱です。これは、符号のつけ間違い、()の外についた累乗や計算の順序など、気を付けなければいけない点が多くある問題だからだと考えられます。無解答率も低いので、**誤答の状況に合わせて既習事項とのつながりを意識し、できる問題を増やしていけるよう指導することが**大切です。また、大問3(5)の問題では、A層とB層に50ポイント以上の開きがあります。変域の両端の値と式との関係が理解できていない、 x と y の対応する値の組み合わせとグラフとが繋がらないことなどが考えられます。授業の中では「式をみて変域をもとめる」「変域をみて式を立てる」など、**1つの事柄をいろいろな方向からアプローチをするなどの工夫**が必要だと考えます。

思考・判断・表現について

今回の思考・判断・表現の問題は記述式の問題が多かったこともあり、説明したり表現したりすることが課題であることが改めてわかります。特にD層では無解答率が5割に迫る問題も多くありました。問題文が長いと苦手意識を感じて取り組ま(め)ない生徒も少なからずいると考えられます。例えば、大問5はカレンダーを使った式の穴埋め問題で、よく読めばシンプルな問いですが、D層の無解答率は4割強となっています。授業内で問題を解くときに、じっくりと問題を読み、何を求めるのか、どのように考えるのか「**考える時間**」を設定することも必要です。問題と対話する中で、聞かれていることは何か、どの内容とつながっているのか、など系統的に分析しながら考えていく力が身に付くような指導が大切です。そして同時に、**他生徒との対話的活動や1対多数での説明の場面などを設定した授業**を取り入れ、生徒の思考力・表現力の向上を目指していくことが求められます。

【授業づくりのアイデア例】

設問内容:変域から1次関数の式を求める(知識・技能)

〈実際の設問〉大問1

- (5) 1次関数 $y = ax + b$ のグラフにおいて、 x の変域が $1 \leq x \leq 3$ のとき、 y の変域が $2 \leq y \leq 8$ です。このような1次関数は2つあり、1つは $y = -3x + 11$ です。もう1つの1次関数の式を求めなさい。

〈正答率と4層分析データ〉

川崎市	川崎市学力層別					
	A層	B層	C層	D層	Aの1層 の差D層	判定イン
19.6	64.7	12.8	0.8	0	64.7	I

〈分析結果〉

正答は $y = 3x - 1$ であり、正答率は 19.6% でした。一方で無解答率が高く、60.4% の生徒が無解答でした。

問題の「このような1次関数は2つあり、」や「もう1つの1次関数の式を求めなさい。」の文章に、困惑した生徒が多いと予想されます。表、式、グラフの相互関係から、傾きの正、負によって、 x の変域と y の変域の対応する値が異なることに気付き、1次関数の式を条件に則して決定できる技能を身に付けさせたいところです。

〈実態に応じた授業づくりの工夫〉

1次関数の学習では、表、式、グラフの相互関係や関数の変化の仕方について理解することが重要です。1次関数 $y = Ax + B$ のグラフは直線であり、 A は直線の傾きを決めるものであるため、 y のとる値の増減については、傾き A の正、負によって判断することが重要であり、今回の問題のように y のとる値の増減と傾き

条件を捉えてすべての可能性について考察する場を設定する

変域の対応する値によって、傾きが正になる場合と負になる場合と、複数の場合があることを生徒自らも気付かせたいです。また、その根拠を既習の知識・技能と関連づけて考え、説明する学習も必要です。

生徒が条件から1次関数の式を立て、他と比べることで「自分と違う式だけど、どうやって考えたのかな。」「自分の式は間違っているのかな。」など、考え方の違いを知ること、複数の場合を見つけ出していく活動が考えられます。その際、ただ式を求めるだけでなく、表、式、グラフの相互の関係などから、自分の考えの根拠を表現し、伝え合う中で、知識をまとめていくことが大切です。このような活動を通して、学習した「1次関数の値の増減とグラフ」や「変域とグラフ」、「1次関数の式の求め方」での内容を関連づけて考えられるように指導する必要があります。

【主体的に学習に取り組む態度 質問別回答状況一覧】

質問番号	質問内容	母集団	肯定群 回答割合 (%)	平均到達スコア			選択肢別回答割合(%)					学力層別 肯定群回答割合(%)				
				肯定群	否定群	肯-否の差	よくあては まる	ややあて はまる	あまりあて はまらない	まったくあ てはまらない	その他 無回答	A層	B層	C層	D層	A-D層 の差
1	算数・数学を使うと、複雑な問題でも簡単な式で表現できたり、わからない値が求められたりして便利だと思う。	川崎市	75.2	58.7	44.4	14.3	29.7	43.8	18.5	5.7	2.3	92.6	83.3	70.9	54.1	38.5
2	解き方がわからない問題でも、これまでに学習したことを活用して、論理的に少しずつ解こうとしている。	川崎市	77.7	58.8	42.6	16.2	28.1	47.9	18.1	3.6	2.3	94.6	85.6	76.2	54.5	40.1
3	新しい問題を解くときに、これまでに習ったことをどうやって使えば解けそうか、考えるようにしている。	川崎市	81.2	58.2	42.2	16.0	32.4	46.9	15.1	3.3	2.3	95.2	88.1	81.0	60.5	34.7
4	アンケート結果をもとに自分たちで結果をまとめたり考察したりするときには、統計の考え方を生かしている。	川崎市	57.1	58.6	50.7	7.9	13.5	42.2	34.5	7.3	2.5	69.7	62.1	54.4	42.2	27.5
5	文章題で求められていることを、式に正しく表すことができたかどうかを振り返って検討するようにしている。	川崎市	68.8	58.8	47.4	11.4	23.0	44.1	25.0	5.4	2.4	85.3	75.5	64.0	50.3	35.0
6	1つの問題について、これまで習ったことを工夫して使えば、いろいろな解き方があると気づくことがある。	川崎市	67.5	58.8	47.6	11.2	22.9	42.9	26.0	5.7	2.5	84.3	72.5	65.2	47.8	36.5
7	問題を解いた後で、もう一度解き方を振り返って、良いところと間違っているところやもっと工夫ができることを見つけ出して、より良い解き方を考えるようにしている。	川崎市	68.8	58.6	47.8	10.8	22.5	44.5	24.4	6.0	2.6	82.8	76.4	65.3	50.5	32.3

算数・数学の有用性については、実感している生徒も多く、D層の生徒でも54%が肯定的な回答をしています。既習事項を使って解き方を考える習慣も身につけており、日頃の丁寧な指導の結果が表れているといえます。一方で、問題を解いたあとに解答を振り返り、よりよく解こうとする意識は改善の必要があります。特にA・B層の肯定群回答割合がほかの質問に比べて低い傾向にあります。授業の中で、**問題を解いた後でもう一度解き方を振り返って、もっと工夫できるところを見つけたり、よりよい解き方を考えたりする活動を取り入れていく**必要があります。

【質問紙調査から】

質問番号【44】

筋道立てて、ものごとを考えることができる。

<肯定的な回答率と4層分析データ>

	川崎市	A層	B層	C層	D層	A-D の差
第1学年	70.5	83.8	73.2	69.0	56.0	27.8
第2学年	68.4	83.1	71.6	64.4	54.6	28.5
第3学年	69.0	83.7	72.4	66.8	53.1	30.6
平均	69.3	83.5	72.4	66.7	54.6	28.9

<分析結果>

「筋道立てて考える」ことは、数学の学習においても大切です。調査結果では、調査を実施した3学年ともにA層とD層の差が30ポイント近くあることがわかります。また、D層の肯定的な回答率については、3学年ともに約5割前後にとどまっており、D層の生徒の半数近くが、「筋道立てて、ものごとを考えること」を苦手としていることが窺えます。このことから考えられる課題として、数学の学習場面において見いだしたことを伝えたり、見いだしたことが正しいことや妥当であることを説明したりする際に、根拠とすることを明らかにし、それをもとに考えることが挙げられます。

<実態に応じた授業づくりの工夫>

「筋道立てて、ものごとを考える機会」は授業の様々な局面で見られます。そこではまず、道具や手立てとして「操作や実験などの具体的な活動」や「図や表」、「用語や記号」を適切に用いることで、思考した過程や判断の根拠などを数学的に表現することができるよう、生徒の実態に応じて丁寧に指導することが大切です。また、説明し伝え合う活動を設けることも重要です。その際に、筋道が立っている場合と、そうでない場合とを対比することで、よりよく納得や説得ができるという実体験を重ねることも大切です。また、このような他者との関わりでは、一人では気付けなかった新しい視点をもたらすことや、理由を問われることで、根拠に基づいて、さらに筋道立てて説明する必要性も出てくると考えられます。

指導に当たっては、生徒の実態や学年に応じて、**数学的な表現を用い、筋道立てて説明することを通して、論理的に考察し表現する力**を養うことが求められます。

	R5	R6	R7
第1学年	70.5		
第2学年	68.4		
第3学年	69.0		

5 中学校理科

【第1学年】

集計項目	川崎市	川崎市学力層別					
		A層	B層	C層	D層	層A Iの差 D	ンパター判定 I
教科総合	60.9	83.6	68.7	55.6	35.7	47.9	
知識・技能	63.9	86.3	71.5	59.2	38.5	47.8	
思考・判断・表現	53.1	76.6	61.2	46.4	28.4	48.2	

設問番号		設問内容	基礎 応用	出題 形式	観点1	観点2	川崎市	川崎市学力層別					
大問	小問				知識・技能	断・考・表現・現判		A層	B層	C層	D層	層A Iの差 D	ンパター判定 I
1	1	呼吸について述べたものを選ぶ	基礎	選択式	●		62.0	81.8	61.7	57.5	46.9	34.9	
1	2	だ液の働きを調べる実験の結果を選ぶ	応用	選択式	●		30.5	61.2	25.7	17.0	18.0		
1	3	酸素を最も多く含む血液について述べたものを選ぶ	基礎	選択式	●		48.6	77.7	52.6	39.0	25.2	52.5	I
1	4	じん臓という名称を答える	基礎	短答式	●		41.1	79.4	50.5	25.5	8.9	70.5	I
2	1	月の形から太陽があった方向を選ぶ	基礎	選択式	●		82.3	96.6	89.7	82.1	60.8	35.8	
2	2	15日後に見られた月の形を選ぶ	応用	選択式		●	28.3	36.7	27.2	25.7	23.4	13.3	
2	3	月の形が日によって変わる理由を選ぶ	基礎	選択式	●		65.5	84.7	71.4	61.1	44.9	39.8	
3	1	気体検知管の名称を答える	基礎	短答式	●		37.0	70.7	44.0	24.2	9.1	61.6	I
3	2	ろうそくを燃やした後の空気中の気体の割合を選ぶ	基礎	選択式	●		82.7	99.4	94.9	82.1	54.2	45.2	
3	3	びんの上下のすき間付近の空気の流れを選ぶ	応用	選択式		●	81.0	93.8	86.7	80.2	63.5	30.3	
4	1	てこが水平につり合ったときのおもりの重さを選ぶ	基礎	選択式	●		55.1	84.5	63.9	47.4	24.5	60.0	III
4	2	支点という名称を答える	基礎	短答式	●		71.3	97.6	87.7	69.7	30.1	67.5	III
4	3	はさみの作用点とより小さな力で切る方法を選ぶ	基礎	選択式		●	30.2	49.7	31.3	23.4	16.4	33.3	
5	1	ア 日の当たらない場所に葉を一晩置いた理由を選ぶ	基礎	選択式		●	66.6	90.0	74.1	60.8	41.4	48.6	
5	1	イ ヨウ素液につけたときの葉の色の変化を選ぶ	基礎	選択式	●		66.7	88.9	73.7	60.8	43.2	45.7	
5	2	植物から水蒸気が主に出ていくつくりを選ぶ	基礎	選択式	●		85.8	99.7	97.7	91.3	54.4	45.3	
5	3	植物と気体の関係を調べる実験からわかることを選ぶ	基礎	選択式	●		85.9	99.1	95.7	87.2	61.4	37.7	
6	1	リトマス紙の色の変化を選ぶ	基礎	選択式	●		62.3	93.5	72.6	48.6	34.3	59.2	II
6	2	蒸発皿に固体が残った水溶液を選ぶ	基礎	選択式	●		76.1	96.5	86.1	73.0	49.0	47.5	
6	3	アルミニウムと白い物質を塩酸に入れた時の反応を選ぶ	基礎	選択式	●		59.0	89.4	67.1	50.8	28.7	60.7	I
7	1	化石という名称を答える	基礎	短答式	●		86.3	99.2	96.7	91.6	57.6	41.6	
7	2	岩石の作られ方と砂岩を選ぶ	基礎	選択式	●		48.1	67.9	49.6	42.8	32.2	35.7	
7	3	地震と火山についての説明として当てはまるものを選ぶ	基礎	選択式	●		72.7	94.9	85.3	70.7	40.1	54.8	III
8	1	懐中電灯とラジオが電気を主に何に変換しているか選ぶ	基礎	選択式	●		82.9	98.9	94.6	83.8	54.4	44.5	
8	2	火力発電のしくみの説明に当てはまる言葉を選ぶ	基礎	記述式		●	50.8	87.6	65.6	38.0	11.8	75.8	II
8	3	人工衛星の電源に光電池が使われる理由を書く	応用	記述式		●	59.9	93.0	80.1	50.6	15.6	77.4	III
9	1	食物連鎖の数の関係図から生物の組み合わせを選ぶ	応用	選択式	●		40.0	51.4	41.3	36.7	30.8	20.6	
9	2	食物連鎖の関係にある生物の数の変化を選ぶ	応用	選択式		●	49.6	71.2	50.6	40.7	36.0	35.2	
9	3	ブルーギルが大きく数を増やした理由を書く	応用	記述式		●	58.8	90.5	74.4	51.7	18.8	71.7	III

【観点別分析】

知識・技能について

光合成に関する設問(植物から水蒸気が出ていく主なつくりを選ぶ、植物と気体の関係を調べる実験からわかることを選ぶ)では、正答率が80%を超える結果でした。光合成のしくみや気体の出入りについての知識・技能が身についていると考えられます。

だ液の働きを調べる実験の結果を選ぶ設問では、正答率が30%程度にとどまりました。これについては、見通しをもった観察・実験や、個に応じた指導の充実を目指すことが大切です。

また、名称を答える設問においては「支点」、「化石」の正答率が70~80%であるのに対し、「じん臓」、「気体検知管」は正答率が40%程度にとどまっております。また、単元によって理科用語の定着度に差があることがわかります。

このことから、各単元において、**理科用語を使いながら概念的な理解を促す授業づくり**を目指していく必要があります。

思考・判断・表現について

びんの上下のすき間付近の空気の流れを選ぶ設問では、正答率が80%を超える結果でした。あたためられた空気の流れを視覚的に捉える思考・判断・表現が身についていると考えられます。

一方で、15日後に見られた月の形を選ぶ設問や、はさみの作用点とより小さな力で切る方法を選ぶ設問については正答率が30%程度にとどまりました。

加えて、てこに関する他の設問(てこが水平につり合ったときのおもりの重さを選ぶ、支点という名称を答える)については、A-D層の差が60ポイントでした。

このことから授業においては、**既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説、解決方法を発想し、より妥当な考えをつくりだす機会を充実**させることが大切です。

【授業づくりのアイデア例】

設問内容:はさみの作用点とより小さな力で切る方法を <分析結果>

4 選ぶ(思考・判断・表現)

3) 図2は、はさみを使って紙を切っているようすです。はさみは、てこのはたらきを利用した道具です。下の文章は、図2のはさみについて述べたものです。文章中の□A、□Bにあてはまる記号の組み合わせとして、最も適切なものを、あとの1～4から1つ選んで、解答用紙の番号に○をつきなさい。

図2

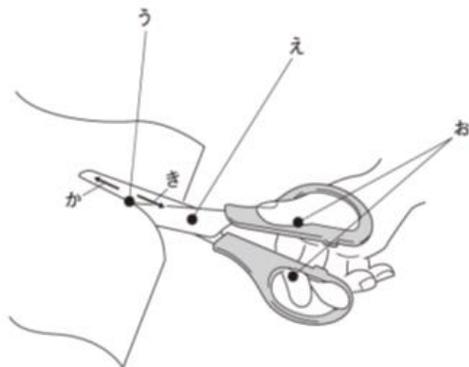


図2のはさみで、●で示したう～おのうち、てこの作用点にあたる位置を示しているのは□Aである。また、はさみと紙が接しているうの位置を、矢印の□Bの方向に動かすことで、より小さな力で紙を切ることができる。

- 1 A:う B:か 2 A:う B:き
3 A:え B:か 4 A:お B:き

<正答率と4層分析データ>

川崎市	川崎市学力層別					Aの1層とDの差	バタイン判定
	A層	B層	C層	D層	D層		
30.2	49.7	31.3	23.4	16.4	33.3		

正答は2であり、全体の正答率は30.2%、A層における正答率は49.7%で、A層についても課題が見られる問いとなっています。てこのはたらきは、「支点」「力点」「作用点」という理科用語の印象が強く、それらを覚えることが先行し、理解したつもりになってしまうことが考えられます。てこにはどのような量的関係があるのか、てこの規則性や関係性について考え、**身近な道具などにどのように応用されているかを当てはめて考える力が十分でない**ことがわかります。

得られた知識から概念的な理解を深めるとともに、日常生活との関わりの中でてこのはたらきについて当てはめて説明してみようとするような授業デザインが大切です。

<実態の応じた授業づくりの工夫>

<実態に応じた授業づくりの工夫>

【中学校第1学年 力の大きさとばねののびの関係】

ばねののびはばねを引く力の大きさに比例する(フックの法則)ことを見だし、力の大きさはばねののびで測ることができることを理解させるために、次の発問で生徒の思考を促します。

【発問1】ばねがのびるほど、ばねを引くのに大きな力が必要になるのはなぜだろう。

→弾性力は物体が変形するほど大きくなることと関連付けて説明させます。

【発問2】この実験を応用した道具を考えてみよう。

→力の大きさをはかる「ばねばかり」に應用されていることに気付かせます。また、ばねを使ったおもちゃなどで力の大きさを考えるなど、生徒の自由な発想を促します。

【主体的に学習に取り組む態度 質問別回答状況一覧】

質問番号	質問内容	母集団	肯定群 回答割合 (%)	平均到達スコア			選択肢別回答割合(%)					学力層別 肯定群回答割合(%)				
				肯定群	否定群	肯-否の 差	よくあては まる	ややあて はまる	あまりあ てはまら ない	まったくあ てはまら ない	その他 無回答	A層	B層	C層	D層	A-D層 の差
1	自ら進んで、自然の様子を観察したり実験したりしようとしている。	川崎市	68.0	46.3	42.7	3.6	28.1	39.5	25.1	6.7	0.6	74.3	68.5	66.7	62.4	11.9
2	どうやって問題を解決したらいいかと思通しを持って取り組もうとしている。	川崎市	79.2	46.9	38.5	8.4	25.9	52.7	18.5	2.2	0.7	87.7	83.4	78.7	66.8	20.9
3	学習の成果や今後の課題を振り返って明らかにしている。	川崎市	75.0	47.0	39.6	7.4	26.2	48.3	22.2	2.6	0.7	82.9	79.2	75.2	62.7	20.2
4	今日の学習課題を、できる限り自分で考えて設定しようとしている。	川崎市	71.1	46.5	41.8	4.7	25.3	45.3	24.8	3.8	0.8	76.8	73.9	70.6	63.1	13.7
5	今日の実験や観察の仮説を自分で立ててから実験や観察に取り組むようにしている。	川崎市	79.9	47.2	37.1	10.1	36.7	42.7	17.1	2.9	0.7	90.5	84.0	78.3	66.6	23.9
6	実験や観察、調査の結果をまとめてレポートに書いている。	川崎市	63.1	46.8	42.3	4.5	21.5	41.1	28.4	8.2	0.7	69.9	65.5	62.0	54.9	15.0
7	実験や観察の結果を踏まえて、主体的に仮説の検証をしている。	川崎市	72.9	47.1	40.0	7.1	28.1	44.2	22.4	4.5	0.8	83.3	76.2	69.4	62.6	20.7

「どうやって問題を解決したらいいかと思通しを持って取り組もうとしている」や「今日の実験や観察の仮説を自分で立ててから実験や観察に取り組むようにしている」など、見通しを持って探究する姿勢について、A-D層の差が20ポイント以上見られます。理科においては、見通しを持って科学的に探究することが目標に示されていることから、学習のめあてやねらいを明確にし、生徒が自ら課題を見いだせるように促すためにも、「**不思議！」「何で？知りたい！」**と思えるような導入の工夫や、「**どうなるのだろう？」「きっとこうかもしれない」「どうしたらはっきりするのだろう？」**等の理科の主体的な学びへの意識をもたせるような発問、授業展開を目指したいところです。

【第2学年】

集計項目	川崎市	川崎市学力層別					判定
		A層	B層	C層	D層	A層の差D	
教科総合	51.7	76.9	59.2	44.1	26.6	50.3	I
知識・技能	51.7	75.8	58.6	44.3	28.2	47.6	
思考・判断・表現	51.6	80.1	61.1	43.4	21.9	58.2	III

設問番号		設問内容	基礎 応用	出題 形式	観点1 知識・ 技能	観点2 判断・ 思考・ 表現	川崎市	川崎市学力層別					判定	パター
大問	小問							A層	B層	C層	D層	A層の差		
1	1	スケッチのしかたの説明として正しいものを選ぶ	基礎	選択式	●		84.5	95.2	91.4	85.0	66.6	28.6		
1	2	コケ植物とシダ植物に共通する特徴を選ぶ	基礎	選択式	●		70.2	95.0	82.1	65.0	38.8	56.2	III	
1	3	メスシリンダーの目盛りの正しい読み方を選ぶ	基礎	選択式	●		85.0	94.9	89.2	85.8	70.2	24.7		
1	4	金属の性質として正しくないものを選ぶ	基礎	選択式	●		57.9	94.4	72.6	43.3	21.2	73.2	II	
1	5	大きくて高い音の波形を選ぶ	基礎	選択式	●		65.4	90.1	74.6	58.3	38.7	51.4	III	
1	6	水中から空気中へ屈折して進む光の正しい道筋を選ぶ	基礎	選択式	●		52.6	74.0	58.2	47.6	30.8	43.2		
1	7	断層のでき方として正しい図を選ぶ	基礎	選択式	●		49.8	66.2	50.7	44.1	38.1	28.1		
1	8	マグマが冷え固まってできた粒の名称を答える	基礎	短答式	●		9.1	25.1	7.3	3.2	0.9	24.2		
2	1	ア 胚珠の説明として正しいものを選ぶ	基礎	選択式	●		63.5	92.0	76.5	54.2	31.3	60.7	III	
2	1	イ まつかさになる部分と花粉のうとして正しいものを選ぶ	基礎	選択式	●		24.9	27.6	23.6	22.9	25.6			
2	2	ア なかまわけの観点として正しいものを選ぶ	基礎	選択式	●		86.6	98.1	95.1	88.7	64.4	33.7		
2	2	イ 体に節がある動物の名称を答える	基礎	短答式	●		64.6	96.0	82.0	58.9	21.5	74.5	III	
3	1	ア スクリーンに映った像の名称を答える	基礎	短答式	●		35.0	75.8	43.1	17.5	3.6	72.2	I	
3	1	イ 物体とスクリーンの距離と像の正しい説明を選ぶ	基礎	選択式	●		30.8	53.5	31.3	22.9	15.4	38.1		
3	2	稲妻のあとに雷鳴が聞こえる理由を説明する	応用	記述式		●	72.6	98.1	91.0	73.7	27.7	70.4	III	
4	1	斑状組織をもつ火成岩のでき方として正しいものを選ぶ	基礎	選択式	●		53.1	81.7	58.9	44.0	27.8	53.9	I	
4	2	ア 始めに届く小さなゆれの名称を答える	基礎	短答式	●		45.7	74.9	53.7	38.4	15.9	59.0	III	
4	2	イ S波の速さを答える	応用	短答式	●		23.7	66.1	23.2	4.8	0.5	65.6	I	
5	1	二酸化炭素の説明として正しいものを選ぶ	基礎	選択式	●		50.6	84.8	57.0	35.3	25.2	59.6	I	
5	2	実験からわかることについて正しいものを選ぶ	基礎	選択式		●	69.7	94.8	81.9	63.4	38.7	56.1	III	
6	1	ばねを引く力の大きさとばねののびの関係を作図する	基礎	記述式		●	68.1	97.7	87.2	62.9	24.6	73.1	III	
6	2	ばねを引いた力の大きさとして正しいものを選ぶ	基礎	選択式	●		61.4	90.7	76.2	52.1	26.7	64.0	III	
6	3	月面上ではばねののびが3cmになる物質の質量を選ぶ	基礎	選択式	●		29.4	50.7	29.7	21.8	15.6	35.1		
7	1	ア 飽和水溶液という名称を答える	基礎	短答式	●		45.7	88.0	61.2	28.8	4.6	83.4	II	
7	1	イ 結晶が最も多く出てくる水溶液を選ぶ	基礎	選択式		●	50.4	87.0	56.6	35.5	22.5	64.5	I	
7	2	液体から気体になったときの粒子の正しい説明を選ぶ	応用	選択式		●	65.2	95.7	78.9	55.9	30.2	65.5	III	
8	1	ピカリアの化石についての正しい説明を選ぶ	基礎	選択式	●		30.9	42.7	32.8	25.2	22.9	19.8		
8	2	ある地点の河口からの距離の変化を説明する	応用	記述式		●	18.7	44.1	19.2	8.9	2.6	41.5		
8	3	山の断面の地層のようすとして正しいものを選ぶ	応用	選択式		●	35.7	54.2	35.6	28.7	24.3	29.9		
9	1	ペットボトルの水を凍らせると危険である理由を選ぶ	基礎	選択式	●		47.7	65.6	47.9	42.4	34.8	30.8		
9	2	砂糖水が固体になる温度が一定でない理由を選ぶ	基礎	選択式	●		73.1	97.1	88.4	72.0	35.0	62.1	III	
9	3	ジュースの溶け始めの液体は味が濃い理由を説明する	応用	記述式		●	32.7	68.8	38.5	18.5	4.8	64.0	I	

【観点別分析】

知識・技能について

「スケッチのしかたの説明として正しいものを選ぶ」設問では、A～C層の正答率がそれぞれ 85.0% を超える結果でした。D層においても 66.6% であり、生物分野や地学分野の観察の習得が見られる問題でした。

「斑状組織をもつ火成岩のでき方として正しいものを選ぶ」設問では、A層の正答率は 81.7%、D層は 27.8% であり、A-D層の差は 53.9 ポイントでした。理由としては、A層では模式図を理解し、結晶のでき方を理解しているものの、D層は模式図から結晶が成長しているもしくはしていないことを理解していないことが考えられます。この学習内容は、第1分野のミョウバンや塩化ナトリウム等、水溶液における再結晶のイメージと関連があります。これらのことから、他分野の学習内容と関連付けながら横断的な授業作りをすることが大切であると考えられます。

思考・判断・表現について

「液体から気体になったときの粒子の正しい説明を選ぶ」設問では、A層の正答率は 95.7%、D層は 30.2% であり、A-D層の差は 65.5 ポイントでした。この問題は、目に見えない粒子をイメージして、粒子に関する知識を活用して正答を選ぶ問題です。A層では、粒子の数に関する知識を活用できている一方、D層では粒子の数もしくは液体が気体になったときの粒子モデルのイメージがついていないと考えられます。

「実験からわかることについて正しいものを選ぶ」設問では、A層は 94.8%、D層は 38.7% であり、A-D層の差は 56.1 ポイントでした。この問題は、実験結果や既習事項、実生活での経験と照らし合わせて思考する問題です。授業の中で、既習事項や実生活で生かされている例を関連付けながら、授業づくりをすることが大切です。

【授業づくりのアイデア例】

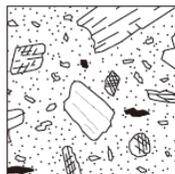
設問内容:斑状組織をもつ火成岩のでき方として正しいものを選ぶ【知識・技能】

4 火山や地震について、次の問いに答えなさい。

(1) 図1は、ある火成岩のつくりを表した模式図です。この火成岩のでき方と種類の説明として、正しいものを次の1～4から1つ選び、解答用紙の番号に○をつけなさい。

- 1 マグマが地表や地表付近で比較的短い時間で冷えて固まってきた、火山岩である。
- 2 マグマが地表や地表付近で比較的短い時間で冷えて固まってきた、深成岩である。
- 3 マグマが地下深くで長い時間をかけて冷えて固まってきた、火山岩である。
- 4 マグマが地下深くで長い時間をかけて冷えて固まってきた、深成岩である。

図1



〈正答率と4層分析データ〉

川崎市	川崎市学力層別					
	A層	B層	C層	D層	A-D層の差	パターン判定
53.1	81.7	58.9	44.0	27.8	53.9	I

〈分析結果〉

A層では80%を超えているものの、D層では30%程度と差が顕著に現れました。本単元は、岩石や露頭の観察など準備が容易ではない単元です。観察したものと、その意味や言葉の結び付きが弱い可能性があります。主体的に意味や理科用語を結び付け概念的な理解を深める授業展開が大切です。

〈実態に応じた授業づくりの工夫〉

【火成岩のでき方】

主体的に意味や理科用語を結び付けるためには、実験や観察に関わり見通しをもって観察、実験を行うことが大切です。例えば、この設問では冷却の仕方と結晶のでき方には違いがあることを明確にする必要があり、準備の段階から生徒が取り組むことが大切です。さらに、観察の場面で、気づいてほしい特徴や現象の名称を伝え、その概念が生徒本人で説明できるように学習を深め

生徒撮影のオクリンカード例
考えられます。

ねばりけが弱い
→下に流れた

ねばりけが強い(強すぎた)
→流れにくく上についたままとった

粘り気の違いに関するカード例

強

両サイドに盛り上がっていき、丸い形になる

弱

両サイドになだらかに広がり、平たい山になる

【例】マグマの性質と火山の形の実験では、見通しを持たせるために粘り気の強さを生徒が調整します。観察の場面では、噴火の様子をミライシードのオクリンカードで撮影、整理、文章記述を行い、生徒自身の気づきや考えを取り上げながら学習内容を理解させる授業例が考えられます。

また、概念的な理解を深めるためにオクリンカードのペイント機能などを活用して、その説明を改めて自分でモデル化しながらすることも授業の展開例として考えられます。

【主体的に学習に取り組む態度 質問別回答状況一覧】

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合 (%)	平均到達スコア			選択肢別回答割合 (%)					学力層別 肯定群回答割合 (%)				
				肯定群	否定群	肯-否の差	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答	A層	B層	C層	D層	A-D層の差
1	自ら進んで、自然の様子を観察したり実験したりしようとしている。	川崎市	58.1	57.2	55.8	1.4	19.3	38.3	31.8	9.9	0.7	61.6	59.1	55.9	55.5	6.1
2	どうやって問題を解決したらいいかと思いをもち取り組もうとしている。	川崎市	72.7	58.6	51.3	7.3	18.4	53.8	23.8	3.3	0.7	85.6	77.4	69.2	58.6	27.0
3	学習の成果や今後の課題を振り返って明らかにしている。	川崎市	71.2	58.6	51.8	6.8	21.8	48.8	24.8	3.8	0.7	82.9	76.6	67.5	57.6	25.3
4	今日の学習課題を、できる限り自分で考えて設定しようとしている。	川崎市	66.4	58.1	53.8	4.3	20.1	45.8	28.2	5.1	0.8	74.1	69.3	66.0	56.1	18.0
5	今日の実験や観察の仮説を自分で立ててから実験や観察に取り組むようにしている。	川崎市	74.3	58.6	51.1	7.5	26.1	47.6	21.6	3.8	0.8	86.6	78.7	71.8	60.1	26.5
6	実験や観察、調査の結果をまとめてレポートに書いている。	川崎市	71.6	58.3	52.5	5.8	27.3	43.7	22.8	5.4	0.8	81.4	75.2	70.6	59.0	22.4
7	実験や観察の結果を踏まえて、主体的に仮説の検証をしている。	川崎市	67.6	58.9	52.0	6.9	20.9	46.1	26.4	5.7	0.9	80.8	72.5	63.7	53.1	27.7

「今日の実験や観察の仮説を自分で立ててから実験や観察に取り組むようにしている」では、A層の回答割合が 86.6%、D層が 60.1%であり、A-D層の差が26.5ポイントでした。D層の生徒は、仮説を立てて実験や観察に取り組む生徒の方が、知識・技能が定着していたり、思考力・判断力・表現力が付いていたりすることがわかります。また、「実験や観察、調査の結果をまとめてレポートに書いている」では、A-C層に属する生徒ほど、実験や観察、調査の結果をレポートにまとめており、レポートを書くことが知識・技能の定着および思考力・判断力・表現力がつくことにつながっていることがわかります。仮説を自分で立てて取り組めない、結果をまとめてレポートを書くことができていない生徒がいることから、何のために観察、実験を行っているか、何を行っているかなどを確認しながら授業を展開することが有効です。観察、実験はさまざまな学力層の生徒が混ざって班を構成して行います。**班のメンバーがお互いに意見交換をしたり、実験操作に関する役割分担をしたりして、レポート等にまとめる授業の充実を図っていく**必要があります。そのためには、理科の授業だけではなく、学級づくりによる良好な人間関係づくりも必要になってきます。

【第3学年】

集計項目	川崎市	川崎市学力層別					判定
		A層	B層	C層	D層	層Aの差D	
教科総合	60.9	85.9	70.1	55.4	32.0	53.9	Ⅲ
知識・技能	62.9	87.7	72.5	57.8	33.6	54.1	Ⅲ
思考・判断・表現	53.7	79.7	61.3	47.1	26.5	53.2	Ⅲ

設問番号		設問内容	基礎 応用	出題 形式	観点1 知識・ 技能	観点2 判断・ 思考	川崎市	川崎市学力層別					判定	パター
大問	小問							A層	B層	C層	D層	層Aの差D		
1	1	弁という名称を答える	基礎	短答式	●		53.8	94.9	72.8	39.0	8.4	86.5	Ⅱ	
1	2	だ液に含まれる消化酵素を選ぶ	基礎	選択式	●		81.3	97.5	90.0	79.7	58.2	39.3		
1	3	分子という名称を答える	基礎	短答式	●		46.1	81.1	56.0	35.8	11.5	69.6	Ⅰ	
1	4	実験で起こる現象を選ぶ	基礎	選択式	●		56.0	75.2	57.5	48.4	43.1	32.1		
1	5	天気図の記号を選ぶ	基礎	選択式	●		37.9	65.6	38.5	25.9	21.5	44.1		
1	6	気圧という名称を答える	基礎	短答式	●		72.9	98.7	90.4	72.8	29.5	69.2	Ⅲ	
1	7	不導体であるものの数を選ぶ	基礎	選択式	●		63.9	83.0	67.7	60.3	44.7	38.3		
1	8	電子線（陰極線）の性質を選ぶ	基礎	選択式	●		58.5	92.4	70.1	44.9	26.6	65.8	Ⅱ	
2	1	細胞のつくりを選ぶ	基礎	選択式	●		85.3	99.6	96.6	89.7	55.3	44.3		
2	2	ア ヨウ素液に反応する物質の名称を答える	基礎	短答式	●		76.3	99.5	93.5	77.1	35.0	64.5	Ⅲ	
2	2	イ 比較する実験結果の組み合わせを選ぶ	応用	選択式		●	75.8	99.1	92.4	75.4	36.5	62.6	Ⅲ	
3	1	炭酸水素ナトリウムを加熱した際に発生する気体を選ぶ	基礎	選択式	●		91.2	99.8	98.7	96.0	70.4	29.4		
3	2	質量保存の法則という名称を答える	基礎	短答式	●		66.1	98.3	88.1	60.1	17.7	80.6	Ⅲ	
3	3	マグネシウムと酸素の質量の関係を表す	応用	記述式		●	66.4	97.2	87.7	62.8	17.8	79.4	Ⅲ	
4	1	ア 電流と抵抗の関係を選ぶ	基礎	選択式	●		70.7	94.8	84.5	67.6	36.0	58.8	Ⅲ	
4	1	イ 電流の関係を選ぶ	基礎	選択式	●		39.1	61.5	37.9	34.3	22.6	38.9		
4	2	電気の力のはたらきを選ぶ	応用	選択式		●	55.1	81.5	61.0	46.6	31.4	50.1	Ⅰ	
5	1	柔毛の毛細血管に吸収される養分を選ぶ	基礎	選択式	●		42.7	70.3	40.6	30.6	29.1	41.2		
5	2	耳のつくりの名称の組み合わせを選ぶ	基礎	選択式	●		87.7	98.9	95.0	90.0	66.9	32.0		
6	1	塩化コバルト紙の色の変化を選ぶ	基礎	選択式	●		66.7	89.5	74.2	63.1	39.9	49.6		
6	2	ア 化学変化の名称の組み合わせを選ぶ	基礎	選択式	●		69.3	97.4	85.0	60.4	34.4	63.0	Ⅲ	
6	2	イ 銅の性質を選ぶ	基礎	選択式		●	71.1	96.1	84.1	68.8	35.4	60.7	Ⅲ	
7	1	磁界の向きを選ぶ	基礎	選択式	●		38.1	64.9	36.4	26.8	24.4	40.5		
7	2	現象と電流の名称の組み合わせを選ぶ	基礎	選択式	●		83.8	98.9	95.4	87.1	54.0	44.9		
7	3	誘導電流を大きくする方法を選ぶ	基礎	選択式	●		80.2	99.3	93.5	80.6	47.6	51.7	Ⅲ	
7	4	誘導電流について選ぶ	応用	選択式		●	41.1	65.4	39.4	32.8	26.7	38.7		
8	1	偏西風という名称を答える	基礎	短答式	●		60.8	86.6	71.7	58.8	26.2	60.4	Ⅲ	
8	2	雲のでき方を記述する	基礎	記述式	●		40.8	85.0	52.0	21.7	4.5	80.5	Ⅰ	
8	3	飛行機雲のようすと天気の関係について答える	応用	選択式		●	46.3	71.4	48.9	36.4	28.4	43.0		
9	1	元素という名称を答える	基礎	短答式	●		28.9	59.8	31.4	18.0	6.3	53.5	Ⅰ	
9	2	実験の条件について答える	基礎	記述式	●		73.9	99.5	95.3	75.3	25.6	73.9	Ⅲ	
9	3	質量の比について選ぶ	応用	選択式		●	19.8	47.2	15.4	6.9	9.5			

【観点別分析】

知識・技能について

全学年における達成率が第1学年や第2学年から伸びており、中学校3年間を見通した指導の改善や充実による成果だと考えられます。

炭酸水素ナトリウムの加熱実験に関する設問や誘導電流に関する設問、細胞のつくりに関する設問における正答率は80%を超える結果でした。今後も、理科の見方・考え方を働かせ、課題を見だし、見通しをもって観察、実験を行い、日常生活における現象と関連付けたりしながら理解を深めることを継続的に行っていくことが大切です。

電流の大きさに関する設問においては、正答率は39.1%で、量的な関係の意味を理解することに課題があると考えられます。また、気象とその変化の領域における正答率は50%程度で、**事実的な知識を既有的知識と関連付けたり、活用したりすることに課題**があると考えられます。

思考・判断・表現について

光合成に関する設問やマグネシウムと酸素の質量の関係を表す設問における正答率は70%程度です。このことから、観察、実験の結果を分析して解釈することや、得られた結果をグラフ化して分析して解釈し、規則性を見いだして表現するなどの力が身につけていると考えられます。一方で、A-D層の差が70ポイントほどあり、個に応じた指導など、より丁寧に行うことが大切だと考えられます。

誘導電流に関する応用問題や飛行機雲のようすと天気の関係に関する設問における正答率は50%未満で、**学習したことを既有的知識と関連付けて思考したり、普段の生活の中で活用し、関連付けて解釈したりすることに課題**があると考えられます。また、質量比に関する設問における正答率は19.8%で、金属と酸素が一定の割合で反応するとともに原子や分子のモデルと関連付けて微視的に事物・現象を捉えて表現することに課題があると考えられます。

【授業づくりのアイデア例】

設問内容:飛行機雲のようすと天気の関係について答える(思考・判断・表現)

8

(9) 健太さんとさくらさんは飛行機雲にまつわる観天望気について調べて次のようにまとめました。文中の□う, □えにあてはまる語句の正しい組み合わせを, あとの1~4から1つ選び, 解答用紙の番号に○をつけなさい。

飛行機雲は, 飛行機の排気ガスに含まれる水蒸気や, 飛行機が通過することで生じる気圧の変化によって, 空気中の水蒸気が水や氷の粒となることができる。仮に, 上空の空気に含まれる水蒸気の量が少ない場合, 飛行機雲は□うと考えられる。したがって, 「飛行機雲が長く残ると□え」といえる。

- | | | |
|---|------------------------|--------------|
| 1 | う: すぐに水蒸気にもどり, 見えなくなる | え: 晴れになりやすい |
| 2 | う: すぐに水蒸気にもどり, 見えなくなる | え: 天気がくずれやすい |
| 3 | う: なかなか水蒸気にもどらず, 見え続ける | え: 晴れになりやすい |
| 4 | う: なかなか水蒸気にもどらず, 見え続ける | え: 天気がくずれやすい |

〈正答率と4層分析データ〉

川崎市	川崎市学力層別					
	A層	B層	C層	D層	A-D層の差	パターン判定
46.3	71.4	48.9	36.4	28.4	43.0	I

〈分析結果〉

正答は2であり, 全体の正答率は 46.3%でした。「気象とその変化」は, 他の領域の単元と比較して正答率に課題が見られます。天気は日常生活に大きく影響する現象ですが, その仕組みと生活の中で見られる現象とを関連付けて考えたり, 表現したりする学びが十分ではないことが考えられます。

「観天望気」は, 生物の行動や自然現象から天気を予想する生活の知恵であり, 科学的な根拠から説明できるものも多くあります。例えば, 自身が手に入れた気象情報や自然現象と学習した気象の仕組みを関連付けながら, 実際に天気を予想し, 日常生活に役立てる力を身に付けられるような授業改善をしていく必要があります。

〈実態に応じた授業づくりの工夫〉

【雲の発生条件】

授業づくりの工夫として, 仕組みを理解するとともに, 実際の日常の気象現象に当てはめ, 関連付けながら思考し, 理解を深めていくことが考えられます。

【導入の工夫】容器の中に雲を作ってみよう

水蒸気と線香の煙を満たした耐圧容器を減圧させることで雲の水滴を発生させる現象を観察し, 気圧, 体積, 気温の関係から概念的な理解を促します。

【発問】雲が発生しやすい条件は何によって決まるのだろうか

日常的にみられる気象条件を想定して, 班ごとに実験条件(空気中の水蒸気量, 気温, 線香の煙の量, 圧力差など)を抽出し, 条件を制御して確かめる実験の計画をします。結果を分析・解釈する中で, 科学的な概念を用いて説明するなどの指導が考えられます。

また, GIGA端末で現在の天気図を提示して, 実際の気象との関係を説明したり, 天気の変化を予想したりして, 事実に知識の習得だけでなく, 実際の現象に当てはめていく等の経験をすることも授業づくりとして考えられます。こうした活動を通して, **気象現象を身近に捉え, 学習内容が日常生活に役立てられるよう指導することが**大切です。

【主体的に学習に取り組む態度 質問別回答状況一覧】

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合 (%)	平均到達スコア			選択肢別回答割合 (%)					学力層別 肯定群回答割合 (%)				
				肯定群	否定群	肯-否の差	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答	A層	B層	C層	D層	A-D層の差
1	自ら進んで、自然の様子を観察したり実験したりしようとしている。	川崎市	57.2	68.3	65.0	3.3	18.2	38.7	32.1	10.4	0.6	63.1	58.9	55.6	51.3	11.8
2	どうやって問題を解決したらいいかと見通しを持って取り組もうとしている。	川崎市	71.8	69.7	59.8	9.9	19.0	52.3	24.3	3.8	0.7	84.3	77.2	68.4	57.0	27.3
3	学習の成果や今後の課題を振り返って明らかにしている。	川崎市	71.1	69.9	59.7	10.2	21.6	49.0	24.9	3.8	0.6	85.5	75.7	66.6	56.3	29.2
4	今日の学習課題を、できる限り自分で考えて設定しようとしている。	川崎市	65.9	68.9	63.1	5.8	20.3	45.1	28.3	5.5	0.7	74.4	68.5	64.3	56.3	18.1
5	今日の実験や観察の仮説を自分で立ててから実験や観察に取り組むようにしている。	川崎市	73.6	69.2	60.6	8.6	25.2	47.9	22.4	3.9	0.7	83.5	78.6	71.1	60.9	22.6
6	実験や観察、調査の結果をまとめてレポートに書いている。	川崎市	75.8	68.9	60.7	8.2	32.6	42.7	18.7	5.3	0.7	84.0	80.3	75.5	63.3	20.7
7	実験や観察の結果を踏まえて、主体的に仮説の検証をしている。	川崎市	69.8	69.7	60.5	9.2	21.5	47.7	24.5	5.5	0.8	82.3	74.8	65.9	55.8	26.5

「実験や観察の仮説を自分で立ててから実験や観察に取り組むようにしている」「実験や観察、調査の結果をまとめてレポートに書いている」では、肯定群回答割合が73.6%と75.8%で、今後も仮説を自分で立ててから観察、実験を行い、結果をレポートに書いたりする活動を継続的に行っていきたいです。また、「実験や観察の結果を踏まえて、主体的に仮説の検証をしている」では、A-D層の差が26.5ポイントでした。**データを図、表、グラフなどの多様な形式で表したり、結果について考察したりする時間を十分に確保すること、レポートを作成して発表、討論などの学習活動の工夫や充実を図る授業展開を目指していきます。**

【質問紙調査から】

97 理科の授業で、実験や調査に取り組む前に、仮説を立てたり結果を予想したりしている。

99 理科の授業で、実験や調査が終わったあとに、気づいたことや新しい疑問などについて、話し合ったりまとめたりしている。

97 <肯定的な回答率と4層分析から>

	川崎	A層	B層	C層	D層	A-Dの差
第1学年	82.0	92.5	88.2	80.2	67.0	25.5
第2学年	82.7	92.4	88.2	82.6	67.6	24.8
第3学年	84.2	90.3	89.8	85.1	71.5	18.8
平均	83.0	91.7	88.7	82.6	68.7	23.0

99 <肯定的な回答率と4層分析から>

	川崎	A層	B層	C層	D層	A-Dの差
第1学年	73.5	82.8	78.8	71.8	60.3	22.5
第2学年	73.6	82.3	77.6	73.7	61.0	21.3
第3学年	75.2	82.7	80.5	74.6	63.2	19.5
平均	74.1	82.6	79.0	73.4	61.5	21.1

質問97と比べて99の肯定的回答の割合が低い傾向が見られます。実験や観察前の活動だけでなく、事後の考察を深め、次の学習活動につながるように、振り返り活動の質をより高めていくことが課題です。また、D層の肯定的回答がA～C層と比べると10ポイント以上低いことも課題です。

<実態に応じた授業づくりの工夫>

理科では、実験や観察などの場面において、グループで話し合ったり、活動したりすることは定着してきていますが、特定の生徒が中心となりがちであると考えられます。一人一人の生徒がより主体的に活動に参加できるように、グループの人数に応じた役割分担やローテーションなど、教師が適切な働きかけを行うことで、特定の生徒が中心とならないように留意していくことが必要です。また、事後の活動においては、分かったことを挙げさせる指導にとどめず、分からなかったことや、それをどのように解決しようとしたか等の振り返りを行い、活動の質を高めていくことが必要です。

グループ活動においても、主体的・対話的で深い学びの質を高めていくことが、一人一人の生徒の「わかる」と自己有用感の高まりに繋がり、かわさき教育プランの基本目標の「共生・協働の精神」の涵養に繋がります。

		R5	R6	R7
97	第1学年	82.0		
	第2学年	82.7		
	第3学年	84.2		
99	第1学年	73.5		
	第2学年	73.6		
	第3学年	75.2		

6 中学校英語

【第1学年】

集計項目	川崎市	川崎市学力層別					層A の差 D	ンパ 判タ 定I
		A層	B層	C層	D層			
教科総合	75.5	91.8	81.4	72.6	56.0	35.8		
知識・技能	78.9	92.0	84.1	77.5	62.0	30.0		
思考・判断・表現	68.7	91.5	76.1	62.8	44.0	47.5		

設問番号		設問内容	基礎 応用	出題 形式	観点1 知識・ 技能	観点2 断思 考・表 現判	川崎市	川崎市学力層別					の層 差A I D	判 定 ン パ ター I
大問	小問							A層	B層	C層	D層			
1	1	「パン屋」を聞き取る	基礎	選択式	●		96.8	100.0	99.8	98.9	88.6	11.4		
1	2	「木曜日」を聞き取る	基礎	選択式	●		60.3	93.5	71.8	49.0	27.0	66.5	II	
1	3	「公園でしたこと」を聞き取る	基礎	選択式	●		83.5	98.7	91.1	83.3	60.9	37.8		
1	4	「トラが好きですか」への答えを聞き取る	基礎	選択式	●		97.5	99.7	99.2	97.8	93.2	6.5		
1	5	「6時50分」を聞き取る	基礎	選択式	●		51.9	76.9	53.4	43.4	34.0	42.9		
1	6	「7月30日」を聞き取る	基礎	選択式	●		50.2	81.8	53.8	39.1	26.0	55.8	I	
2	1	「かばんは机のそば」を聞き取る	基礎	選択式	●		29.2	39.5	26.1	25.3	25.8			
2	2	「1羽のウサギと2匹のイヌ」を聞き取る	基礎	選択式	●		96.6	99.8	99.8	98.1	88.7	11.1		
2	3	「4月11日」を聞き取る	基礎	選択式	●		90.2	99.4	97.9	91.6	71.7	27.7		
2	4	「320円」を聞き取る	基礎	選択式	●		94.7	100.0	99.5	97.3	82.0	18.0		
3	1	「好きなスポーツは何ですか」への答えを聞き取る	基礎	選択式		●	55.1	92.7	61.8	38.8	27.0	65.7	I	
3	2	「彼女は誰ですか」への答えを聞き取る	基礎	選択式		●	82.4	99.9	94.2	79.0	56.3	43.6		
3	3	「昼食に何が食べたいですか」への答えを聞き取る	基礎	選択式		●	81.5	98.7	91.1	78.9	57.2	41.5		
4	1	「サラが見ているもの」を聞き取る	応用	選択式		●	82.9	99.5	95.9	82.8	53.4	46.1		
4	2	「サキがお正月に食べたいもの」を聞き取る	応用	選択式		●	24.4	56.3	20.5	12.1	8.4	47.9		
4	3	「ユウジが朝にしていること」を聞き取る	応用	選択式		●	88.7	99.9	97.8	89.1	68.1	31.8		
4	4	「図書館の場所」を聞き取る	応用	選択式		●	65.6	93.3	71.6	59.2	37.9	55.4	I	
5	1	「ケイタの兄の職業」を選ぶ	応用	選択式	●		95.4	100.0	99.7	98.6	83.1	16.9		
5	2	「ミカコの好きな教科」を選ぶ	応用	選択式	●		94.8	100.0	99.7	99.2	80.4	19.6		
6	1	Rを大文字で書く	基礎	短答式	●		90.3	100.0	98.7	94.3	68.3	31.7		
6	2	rを小文字で書く	基礎	短答式	●		73.2	98.6	86.3	69.4	38.4	60.2	III	

【観点別分析】

知識・技能について

職業を聞き取る問題や、飼っている動物の種類と数を聞き取る問題では、正答率が96%を超えるなど、小学校での英語の指導の成果が見られます。また、大文字の「R」を書く問題でも、正答率が90%を超えており、1年生段階においても特に大文字については書く力が付いていると考えられます。一方で、小文字を書くことについては「j」に課題が見られ、D層の正答率は38.4%に留まっています。大文字と比べて馴染みが薄いことが原因であると考えられます。中学校での継続的な指導が必要であると考えられます。

また、聞くことにおいては ThursDAY と TuesDAY の混同や、時刻の fifty と fifteen の混同が見られました。小学校段階から耳馴染みのある英語を、中学校では音と文字の一致について、何度もくり返し指導する必要があると考えられます。

思考・判断・表現について

全体の平均正答率は68.7%でした。A層の平均正答率は91.5%でしたが、A層とD層の差は47.5ポイントの差がありました。問題によっては平均正答率が90%を超えるものもあり、無回答率はどの問題においても低い結果となりました。

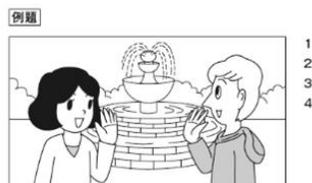
しかし、大問3小問1においては、A層の正答率が92.7%に対し、D層の正答率は27%となりました。質問が聞き取れなかったり、意味が分からなかったりしたことが考えられます。しかしそれだけではなく、適切な答えとなる選択肢が、既習のものとは異なる答え方だったため、戸惑ってしまい、誤答につながってしまったと考えられます。ひとつの質問に対し、決まり切った答え方だけでなく、様々な表現を用いて答える活動も必要であると考えます。また、大問4小問2においては、平均正答率が24.4%と低い結果となりました。答えにつながる部分とは異なる部分を適切だと判断してしまったため、誤答につながってしまったと考えられます。

【授業づくりのアイデア例】

設問内容:「好きなスポーツは何ですか」、「彼女は誰ですか」、「昼食に何が食べたいですか」の答えを聞き取る(思考・判断・表現)

〈実際の設問〉

3 この問題は、(1)~(3)のそれぞれの絵の場面での問いかけに対する答えを選ぶ問題です。それぞれの絵について、まず女の人の問いかけが放送され、続いて男の人の答えが1~4まで4つ放送されます。1~4の英語の文から、絵の場面での問いかけに最も合っている答え方を1つ選び、解答用紙の番号に○をつきなさい。



(3)F:WhAt Do you wAnt for lunCh?

M:1 I' m hungry.

2 It' s 12 o' CloCk.

3 I CAn Cook well.

4 I wAnt spAghetti.

〈正答率と4層分析データ〉

	川 崎 市	川崎市学力層別					
		A 層	B 層	C 層	D 層	A-D層 の差	パター ン判定
(1)	55.1	92.7	61.8	38.8	27.0	65.7	I
(2)	82.4	99.9	94.2	79.0	56.3	43.6	
(3)	81.5	98.7	91.1	78.9	57.2	41.5	

〈分析結果〉

どの問題も平均正答率が 50%以上であるものの、小問1に関しては、A層とB層の差が30.9ポイント、A層とD層の差は65.7ポイントとなりました。fAvorite を使った表現への慣れ親しみが十分でないので質問の意味が理解できていなかったこと、My fAvorite sport is ~.という選択肢が無かったため、質問に対する適切な解答を正しく判断できなかったことが考えられます。典型的な答え方だけを確認するのではなく、**様々な表現を知ったり、活用したりする機会が必要**だと考えられます。

(1)F:WhAt is your fAvorite sport?

M:1 You Are A BADminton plAyer. 2 I like BADminton.

3 You CAn plAy BADminton. 4 ThAnk you.

(2)F:This girl is very Cute. Who is she?

M:1 It is for you. 2 She CAn swim fAst.

3 She is my sister. 4 Here you Are.

<実態に応じた授業づくりの工夫>

中学校学習指導要領解説外国語編では、「関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができるようにする」と述べられています。

質問に対する様々な答え方に触れ、活用する

今回は聞き取りの問題でしたが、質問に対して答えるということは、やり取りを行う場面でも見られます。授業づくりの工夫として、場面に応じた様々な表現の確認をすることができますと考えます。

好きなことを伝える時に、like を使うことがほとんどで、fAvorite を使って表現する機会が少ないと考えられます。My fAvorite sport is ～.も I like ～.も好きなことを伝えるやり取りの中では自然な表現です。設定した場面の中で、一つの典型的な答え方だけを示すのではなく、教師がその他の例を提示したり、生徒から答えを促したりすることで、様々な表現に触れることができます。また、触れるだけでなく、生徒同士でやり取りをする機会を設けることも大切です。その際に、「相手が使用した表現を使わないで答えてみよう」などとあえて条件をつけることで、様々な表現を使用できる機会となります。このような活動を通して、場面に応じた様々な表現を指導することができると考えられます。

【主体的に学習に取り組む態度 質問別回答状況一覧】

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合 (%)	平均到達スコア			選択肢別回答割合 (%)					学力層別 肯定群回答割合 (%)				
				肯定群	否定群	肯-否の差	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答	A層	B層	C層	D層	A-D層の差
1	外国の人々との交流などを通して、外国の異なる文化に対する理解を深めようとしている。	川崎市	75.2	69.4	62.6	6.8	33.1	41.8	20.1	4.5	0.4	84.6	78.7	71.8	65.7	18.9
2	日本と外国との生活や習慣、行事などの違いを知り、外国の文化に対する理解を深めようとしている。	川崎市	84.5	69.1	60.6	8.5	41.0	43.1	12.8	2.6	0.4	91.3	88.6	83.1	74.8	16.5
3	関心のある事柄について、相手からの質問に対し、相手に伝わるよう英語で話すようにしている。	川崎市	76.4	69.8	61.1	8.7	33.3	42.8	19.4	4.1	0.4	87.5	80.7	73.7	63.7	23.8
4	日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどをまとめ、相手に伝わるよう英語で話すようにしている。	川崎市	65.3	70.3	62.9	7.4	25.6	39.4	27.7	6.9	0.4	78.8	68.1	61.2	52.8	26.0
5	趣味や好き嫌いなど、自分に関する基本的な情報を相手が読んでわかりやすいよう英語の文で書くようにしている。	川崎市	84.9	69.2	59.3	9.9	47.3	37.2	12.3	2.7	0.5	93.6	88.7	83.5	73.9	19.7
6	話し手の立場に立って相手の意見や考えを理解するために、英語で聞いたり、質問したり、意見を言ったりしようとしている。	川崎市	84.9	69.1	60.4	8.7	45.8	38.6	12.8	2.3	0.5	92.0	88.1	84.2	75.0	17.0
7	書き手の立場に立って、読んだことについて英語で質問や意見を言ったり、書き手が望む情報を提供するために交流したりしている。	川崎市	65.2	69.5	64.6	4.9	20.5	44.2	28.6	5.9	0.7	72.2	68.9	63.7	55.8	16.4

全質問項目において、肯定群回答割合が60%を超える結果になりました。質問番号3ではA層とD層の差が23.8ポイント、質問番号4では26.0ポイントと、それぞれ開きが見られました。しかし、第2, 第3学年の同質問に比べると肯定的な回答が多く見られたことから、小学校卒業時から中学校入学直後の時期には「話す」ことについて肯定的に捉えている生徒が多くいると考えられます。中学校入学後も、**間違いを恐れずに会話しようとする態度の育成が継続的に必要**であると考えられます。また質問番号5では、中学校での指導が本格的に始まる前であるにもかかわらず、肯定群回答割合が84.9%と高くなっています。このことから、「書く」ことについても肯定的に捉えている生徒が多くいることが分かります。

【第2学年】

集計項目	川崎市	川崎市学力層別					層A Iの差 D	ンパター判定
		A層	B層	C層	D層			
教科総合	64.6	93.0	76.2	55.6	33.6	59.4	Ⅲ	
知識・技能	70.3	94.6	80.6	63.4	42.5	52.1	Ⅲ	
思考・判断・表現	59.9	91.7	72.6	49.1	26.1	65.6	Ⅱ	

設問番号		設問内容	基礎応用	出題形式	観点1 知識・技能	観点2 断・思 考・表 現判	川崎市	川崎市学力層別					層A Iの差 D	ンパター判定
大問	小問							A層	B層	C層	D層			
1	A	1	「テレビを見る」を聞き取る	基礎	選択式	●	95.4	99.9	99.2	96.6	86.0	13.9		
1	A	2	「弾ける楽器と弾けない楽器」を聞き取る	基礎	選択式	●	95.9	99.7	99.0	97.0	87.9	11.8		
1	A	3	「牛乳」と「コーヒー」と「土曜日」を聞き取る	基礎	選択式	●	69.4	90.0	74.8	59.9	52.9	37.1		
1	B	1	「一緒にサッカーをしましょう」への答えを聞き取る	基礎	選択式	●	72.1	99.4	93.3	67.0	28.9	70.5	Ⅲ	
1	B	2	「フランスでは何時ですか」への答えを聞き取る	基礎	選択式	●	83.3	99.0	93.9	83.3	57.1	41.9		
1	B	3	「傘をいくつ持っていますか」への答えを聞き取る	基礎	選択式	●	73.2	97.7	87.9	68.7	38.5	59.2	Ⅲ	
1	C	1	「ユウタはいつテニスを練習するか」を聞き取る	基礎	選択式		84.0	97.5	90.8	84.3	63.4	34.1		
1	C	2	「リサは動物園で何の動物を見たか」を聞き取る	基礎	選択式		89.2	99.1	95.5	90.6	71.6	27.5		
1	D	1	「何人の生徒がその日に朝食を食べたか」を聞き取る	基礎	選択式		42.9	74.2	45.8	28.3	23.2	51.0	I	
1	D	2	「Aには何が入るか」を聞き取る	応用	選択式		68.9	93.1	79.8	63.6	39.1	54.0	Ⅲ	
2	A	1	「4月」を英語で書く	基礎	短答式	●	45.6	89.1	58.7	28.9	5.8	83.3	I	
2	A	2	「野球」を英語で書く	基礎	短答式	●	69.3	98.4	89.7	66.7	22.5	75.9	Ⅲ	
2	B	1	be動詞isを選ぶ	基礎	選択式	●	92.4	99.0	96.2	92.8	81.7	17.3		
2	B	2	beの複数の過去形wereを選ぶ	基礎	選択式	●	59.2	95.8	74.9	40.6	25.4	70.4	Ⅱ	
2	B	3	Doを選ぶ	基礎	選択式	●	29.3	68.2	26.8	12.0	10.1	58.1	I	
3	1		canの疑問文を正しい語順で表す	基礎	短答式	●	84.9	99.5	96.6	85.9	57.6	41.9		
3	2		How manyを使った疑問文を正しい語順で表す	基礎	短答式	●	43.1	93.0	56.1	20.4	2.7	90.3	I	
3	3		Whoseで始まる疑問文を正しい語順で表す	基礎	短答式	●	50.4	90.8	63.4	36.2	11.3	79.5	I	
3	4		Whereで始まる疑問文を正しい語順で表す	基礎	短答式	●	90.2	98.8	98.1	94.4	69.3	29.5		
4	1		対話の文脈に合う、Whoで始まる疑問文を書く	応用	記述式		61.5	94.6	85.8	56.9	8.7	85.9	Ⅲ	
4	2		対話の文脈に合う、Doesで始まる疑問文を書く	応用	記述式		35.0	86.3	43.5	9.7	0.3	86.0	I	
5	1		メッセージのやり取りを読み、質問に合う答えを書く	基礎	記述式		68.9	98.1	94.2	72.0	11.5	86.6	Ⅲ	
5	2		メッセージのやり取りを読み、質問に合う答えを書く	基礎	記述式		47.3	96.5	71.1	20.9	0.7	95.8	Ⅱ	
6	1		ちらしを読み、7/17のスピーチのテーマを選ぶ	応用	選択式	●	74.6	99.3	91.8	68.9	38.5	60.8	Ⅲ	
6	2		ちらしを読み、正しい曜日を選ぶ	応用	選択式	●	48.3	91.9	62.8	24.4	14.0	77.9	Ⅱ	
7			ブログを読み、正しいタイトルを選ぶ	応用	選択式	●	79.9	99.1	94.8	82.5	43.3	55.8	Ⅲ	
8	1		アンケートの結果と会話を読み、空欄に適する語を選ぶ	基礎	選択式	●	58.6	96.4	75.6	41.6	21.0	75.4	Ⅱ	
8	2		アンケートの結果と会話を読み、内容に合う英文を選ぶ	基礎	選択式	●	63.9	98.2	83.0	50.2	24.1	74.1	Ⅱ	
9	1		英文を読み、theyが表すものを選ぶ	応用	選択式	●	39.5	68.0	39.8	30.5	19.9	48.1		
9	2		英文を読み、内容に合う英文を選ぶ	応用	選択式	●	54.1	83.7	58.5	42.0	32.3	51.4	I	
9	3	A	英文を読み、英語の要約文に適する語句を選ぶ	応用	選択式	●	61.6	93.8	78.1	50.5	24.1	69.7	Ⅱ	
9	3	B	英文を読み、英語の要約文に適する語句を選ぶ	応用	選択式	●	69.7	97.9	84.6	62.1	34.2	63.7	Ⅲ	
9	4		英文を読み、質問に対して英文で答える	応用	記述式	●	29.7	82.3	32.0	4.3	0.0	82.3	I	

【観点別分析】

知識・技能について

聞くことにおいて、A層とD層の差が50ポイント以上開いている設問は少なかったですが、その中でも70.5ポイント、59.2ポイントの差となったのは、大問1小問B1、3の身近な内容を聞き取る問題です。視覚的情報がなく、問題、選択肢共に聞き取らなければならないという出題形式も各層間での差を生み出す要因となっていると考えられます。

読むことでは単語の記述に課題が見られ、大問2小問A1で83.3ポイント、小問2で75.9ポイントの差がA層とD層の間に見られました。問題が短答式になっていることも影響していると考えられます。また、大問3の並び替え問題では疑問詞を使った疑問文の定着に課題が見られます。そのため、日頃の授業から

Let's Talk!などのスピーキング活動やリスニング活動にプラスしてライティングの活動を設定し、中間指導を入れながら、語順にも着目させる必要があります。

思考・判断・表現について

全体の平均正答率は59.9%で、A層とD層の差が65.6ポイントと大きな差が生じました。

聞きとりの領域では、大問1小問C1、2の正答率は、A層は90%以上、D層も60%以上と高くなっています。聞き取った情報を表や絵の内容に結び付け、質問を正しく理解できていると考えられます。一方で、大問1小問D1の正答率は42.9%となりました。必要な情報を正しく聞き取れなかったり、聞きとった数字をそのまま選択したりしたことが要因と考えられます。また、選択式、短答式の問題は正答率60%を超えたことに対し、記述式の正答率は50%を下回りました。D層に関しては、記述式の問題はどれも無解答率が60%以上でした。大問9小問4は、C層でも無解答率が50%を超えるなど、記述式の問題では上手に表現できないと解答を避ける傾向が目立ちました。日常的に目的・場面・状況を意識した英語で表現する言語活動を行う必要があると考えられます。

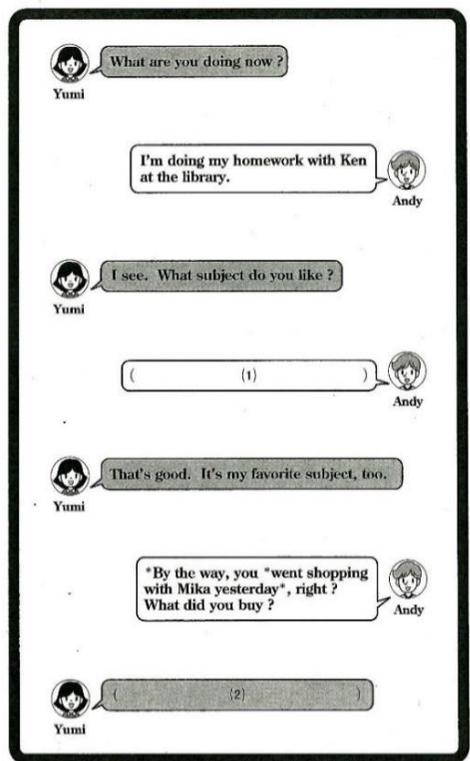
【授業づくりのアイデア例】

設問内容:メッセージのやり取りを読み、質問に合う答えを書く(思考・判断・表現)

〈実際の設問〉

■ ユミ(Yumi)とアンディ(Andy)はスマートフォンでメッセージのやり取りをしています。あなたがユミやアンディなら(1)、(2)の空所にどのような英文を入れますか。次の【条件】に従って書きなさい。

【条件】(1) ユミの質問に対する答えを、主語と動詞を含む3語以上の英語で書く。
 (2) アンディの質問に対する答えを、主語と動詞を含む3語以上の英語で書く。



(注) by the way: ところで went shopping: go shopping(買い物に行く)の過去形 ~, right?: ~だよね。

〈正答率と4層分析データ〉 ■設問別正答率一覧(%)

	川崎市	川崎市学力層別					
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差	パターン判定
(1)	68.9	98.1	94.2	72.0	11.5	86.6	Ⅲ
(2)	47.3	96.5	71.1	20.9	0.7	95.8	Ⅱ

■設問別無解答率一覧(%)

	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
(1)	18.0	0.0	0.4	11.4	60.4	60.4
(2)	27.2	0.0	3.7	29.0	76.1	76.1

〈分析結果〉

小問1, 2で正答率に大きな差が出ました。小問1は小学校からの内容であったのに対し、小問2は中学校で学習する過去形であったので、定着に差があったことが考えられます。また小問2は、C層が20%程度の正答率であることから、会話の流れが読み取れず表現ができなかったと考えられます。無解答率も高いことから、目的・場面・状況を読み取り、それに合わせて表現する機会が必要だと考えられます。

〈実態に応じた授業づくりの工夫〉

〈実態に応じた授業づくりの工夫〉

中学校学習指導要領解説外国語編では、「思考力、判断力、表現力等」の内容として、「日常的な話題や社会的な話題について、伝える内容を整理し、英語で話したり書いたりして互いに事実や自分の考え、気持ちなどを伝え合うこと」と述べられており、これが話すこと(やりとり)、話すこと(発表)や書くことの領域の目標になっています。つまり、**どちらも伝える(発信する)ことが根本にあり、話す力がつくことは書く力にもつながります。**

中学生に馴染み深い内容で、状況に応じたやり取りを考え、表現する

授業づくりの工夫として、イラストの場面・状況に合った人物の台詞を考え、表現する活動が考えられます。中学生に馴染み深い場面設定で人物の気持ちや台詞を考慮することで表現の幅を広げていきたいです。まずは、スピーキング活動から始めることで、抵抗感も少なくライティング活動につながると考えられます。

本問は、メッセージのやりとりであることから、コマや台詞を徐々に増やしていくことで、対話形式につなげていくこともできます。日常的に段階を踏みながら継続的な指導をしていくことが大切であると考えられます。

【主体的に学習に取り組む態度 質問別回答状況一覧】

質問番号	質問内容	母集団	肯定群 回答割合 (%)	平均到達スコア			選択肢別回答割合(%)					学力層別 肯定群回答割合(%)				
				肯定群	否定群	肯-否の 差	よくあて はまる	ややあて はまる	あまりあ てはまら ない	まったくあ てはまら ない	その他 無回答	A層	B層	C層	D層	A-D層 の差
1	外国の人々との交流などを通して、外国の異なる文化に対する理解を深めようとしている。	川崎市	66.8	67.6	59.8	7.8	24.2	41.9	25.9	7.0	0.9	77.0	70.6	63.0	56.3	20.7
2	日本と外国との生活や習慣、行事などの違いを知り、外国の文化に対する理解を深めようとしている。	川崎市	77.4	67.2	57.3	9.9	30.1	46.5	18.7	3.7	0.9	86.3	82.2	75.0	65.9	20.4
3	関心のある事柄について、相手からの質問に対し、相手に伝わるよう英語で話すようにしている。	川崎市	71.5	68.8	55.4	13.4	26.2	44.6	22.9	5.4	1.0	86.5	78.5	67.7	52.9	33.6
4	日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどをまとめ、相手に伝わるよう英語で話すようにしている。	川崎市	61.3	69.3	58.2	11.1	20.9	39.8	29.8	8.5	1.0	75.8	68.3	56.4	44.3	31.5
5	趣味や好き嫌いなど、自分に関する基本的な情報を相手が読んでわかりやすいよう英語の文で書くようにしている。	川崎市	77.1	68.8	52.1	16.7	31.9	44.4	18.7	4.0	1.1	92.3	85.8	73.7	56.1	36.2
6	話し手の立場に立って相手の意見や考えを理解するために、英語で聞いたり、質問したり、意見を言ったりしようとしている。	川崎市	81.1	67.6	54.0	13.6	37.1	43.0	15.7	3.0	1.1	91.6	86.7	79.5	66.2	25.4
7	書き手の立場に立って、読んだことについて英語で質問や意見を言ったり、書き手が望む情報を提供するために交流したりしている。	川崎市	58.9	68.3	60.3	8.0	15.5	42.7	32.5	8.1	1.3	69.2	63.4	57.9	44.9	24.3

全質問項目のうち、質問番号3・4・5の質問内容でA層とD層の間に30ポイント以上の差が見られました。3つの質問内容に共通することは、自分自身のことについて英語で表現するということです。質問番号5の「趣味や好き嫌いなど、自分に関する基本的な情報を相手が読んでわかりやすいよう英語の文で書くようにしている。」においては、A層とD層の間で36.2ポイントと全質問項目のうちで最も大きな差が見られ、D層は肯定群回答割合が50%程度に留まっています。記述式問題の無回答率の高さからも、**D層の生徒を中心に自分自身のことについて英語の文で書くことを困難と感じる生徒が多い**ことが分かります。

【第3学年】

集計項目	川崎市	川崎市学力層別					
		A層	B層	C層	D層	層Aの差D	ンパター
教科総合	63.8	92.6	76.8	55.5	30.2	62.4	Ⅲ
知識・技能	68.9	95.6	83.8	63.8	32.5	63.1	Ⅲ
思考・判断・表現	59.2	89.9	70.5	48.1	28.1	61.8	Ⅱ

設問番号		設問内容	基礎 応用	出題 形式	観点1 知識・ 技能	観点2 断思 考・判 表現	川崎市	川崎市学力層別					
大問	小問							A層	B層	C層	D層	の差 層A D	判 定
1	A	1	絵に合う状態(動作)を表す英文を聞き取る	基礎	選択式	●	84.6	98.6	94.3	85.7	59.9	38.7	
1	A	2	絵に合う状態(表示)を表す英文を聞き取る	基礎	選択式	●	92.9	99.3	97.7	94.9	79.8	19.5	
1	A	3	表に合う状態(人物の予定)を表す英文を聞き取る	基礎	選択式	●	65.6	95.6	79.1	58.7	29.1	66.5	Ⅲ
1	B	1	質問(When will)を聞いて適切な答えを選ぶ	基礎	選択式	●	71.6	98.7	91.0	66.4	30.2	68.5	Ⅲ
1	B	2	質問(Can I)を聞いて適切な答えを選ぶ	基礎	選択式	●	85.5	99.9	98.2	90.8	53.2	46.7	
1	B	3	質問(What kind)を聞いて適切な答えを選ぶ	基礎	選択式	●	64.0	98.2	85.7	51.1	20.8	77.4	Ⅱ
1	C	1	英文と質問を聞いて適切な答えの絵(動作)を選ぶ	基礎	選択式		82.1	98.1	91.7	82.2	56.3	41.8	
1	C	2	英文と質問を聞いて適切な答えの選択肢(時刻)を選ぶ	基礎	選択式		81.3	97.9	92.3	81.7	53.5	44.4	
1	D	1	英文と質問を聞いて適切な答えの選択肢(場所)を選ぶ	基礎	選択式		46.4	70.7	46.2	34.5	34.4	36.3	
1	D	2	英文と質問を聞いて適切な答えの選択肢(物)を選ぶ	基礎	選択式		87.2	98.8	96.8	92.1	60.9	37.9	
2	1		英文に合う単語(morning)を書く	基礎	短答式	●	73.0	98.4	91.6	73.9	28.1	70.3	Ⅲ
2	2		英文に合う単語(Thursday)を書く	基礎	短答式	●	40.6	81.8	50.4	24.7	5.4	76.4	I
2	3		英文に合う単語(difficult)を書く	基礎	短答式	●	59.6	97.1	82.5	51.1	7.9	89.2	Ⅲ
3	1		文脈から判断して適切な動詞の形を選ぶ	基礎	選択式	●	63.4	96.5	78.1	52.4	26.5	70.0	Ⅲ
3	2		文脈から判断して適切な形容詞の形を選ぶ	基礎	選択式	●	84.3	99.6	98.1	89.0	50.7	48.9	
3	3		文脈から判断して適切な助動詞を選ぶ	基礎	選択式	●	53.9	88.7	66.5	41.8	18.5	70.2	Ⅱ
3	4		文脈から判断して適切な接続詞を選ぶ	基礎	選択式	●	65.3	89.4	73.6	58.2	40.1	49.3	
4	1		Are there ~?の疑問文を正しい語順で表す	基礎	短答式	●	55.4	91.1	73.3	44.1	13.1	78.0	Ⅲ
4	2		SVOOの文を正しい語順で表す	基礎	短答式	●	80.1	99.8	97.6	85.4	37.7	62.1	Ⅲ
4	3		最上級を含む文を正しい語順で表す	基礎	短答式	●	63.0	97.6	82.9	52.3	19.0	78.6	Ⅲ
5	A	1	持ち物についての質問に答える英文を書く	応用	記述式		14.1	44.3	10.1	1.7	0.1	44.2	
5	A	2	写真を撮ってもよいかを尋ねる英文を書く	応用	記述式		51.7	96.7	78.5	30.4	1.4	95.3	Ⅱ
5	B	1	自分が将来何になりたいかを述べる英文を書く	応用	記述式		43.8	85.2	60.3	27.5	2.2	83.0	Ⅱ
5	B	2	今していること、理由などを説明する英文を書く	応用	記述式		50.9	90.1	67.3	39.0	7.3	82.8	Ⅲ
6	1		英語の資料を読み、質問の内容に合うものを選ぶ	基礎	選択式		56.3	92.6	68.9	39.2	24.5	68.1	Ⅱ
6	2		英語の資料を読み、質問の内容に合うものを選ぶ	基礎	選択式		53.5	85.5	57.0	39.0	32.5	53.0	I
7	1		英文を読み、代名詞(it)が表すものを選ぶ	基礎	選択式		86.0	99.8	98.0	89.4	56.6	43.2	
7	2		英文を読み、下線部の理由を表しているものを選ぶ	基礎	選択式		69.5	97.3	83.7	60.8	36.3	61.0	Ⅲ
7	3		英文を読み、英文の題名として合うものを選ぶ	応用	選択式		69.5	98.2	88.3	61.5	29.8	68.4	Ⅲ
8	1		英文を読み、文中の空所に入る英文を選ぶ	応用	選択式		54.3	92.8	67.9	34.7	21.6	71.2	Ⅱ
8	2		英文を読み、質問内容に合うものを選ぶ	応用	選択式		53.7	93.5	62.2	33.9	25.2	68.3	I
8	3		英文を読み、内容が一致する英文を選ぶ	応用	選択式		54.4	94.5	63.4	33.6	26.2	68.3	I
9	1		英文をまとめた表の空所に入る英語を選ぶ	応用	選択式		54.2	90.5	63.2	37.9	25.1	65.4	I
9	2		英文を読み、質問に英語で答える	応用	記述式		56.1	92.2	73.9	46.8	11.5	80.7	Ⅲ

【観点別分析】

知識・技能について

大問1小問B3では、D層の正答率は20.8%と低かったです。小問B2では、日頃からよく耳にしたり、会話で用いたりする基本的な英語のフレーズは聞き取ることができていましたが、What kind ~? は日常的に使う頻度がCan I ~? よりも低いため、正答率が下がったと考えられます。日頃から英語を使ったやりとりが、聞き取る力の育成には大切だということが分かります。

基本的な英単語を正確に聞いたり書いたり、英文法の知識を身に付けたりするためには、授業の中で繰り返し英語に触れることが必要です。知識・技能は言語活動をくり返し行うことで、基本的なフレーズや語句の聞き取りや書き取り、英文法の理解、語順の定着につながると考えられます。そのため、英語を使う目的・場面・状況を意識しながら、言語活動に継続的に取り組んでいくことが大切です。

思考・判断・表現について

大問7小問1の代名詞(it)が表すものを選ぶ問題では、D層も56.6%と正答率が高かったです。代名詞の直前の単語に注目して正答を導き出すことができたようです。

大問5では無回答が目立つ結果になりました。

大問6では、C層、D層の正答率が40%を下回りました。絵と英文の情報や質問の内容など、複数の情報を組み合わせながら解答することが求められるため、正答率が低かったと考えられます。

今回出題された問題は、日常的な場面で使う基本的なフレーズや英語表現であるので、リスニング活動やスピーキング活動を十分に行ったうえで、ライティング活動にもつなげていくことを意識したいです。

思考力・判断力・表現力を高めていくために、まとまった英文に多く触れたり、話し手や書き手の立場に立って概要を整理したり、必要な情報を意識して読んだりする活動を多く取り入れることが大切です。

【授業づくりのアイデア例】

設問内容:英語の資料を読み、質問の内容に合うものを選ぶ(思考・判断・表現)

〈実際の設問〉

- 6 次は、ある学校の登山行事の日程表の英語版の一部です。ティム(Tim)とサキ(Saki)はこの登山に参加する予定です。この日程表を参考にして、(1)、(2)の質問に対する答えとして最も適するものを、1~4から1つずつ選び、解答用紙の番号に○をつけなさい。

Summer Climbing

Sunday, July 2, 2023

Students are going to climb *in two *groups. If you are a good *climber, you will take *Route 1. If you are going to climb *for the first time, you will take Route 2. Check the *schedule of the two routes before climbing.

Schedule :

	Route 1	Route 2
*Meeting Time	9:15 (Green Park)	9:15 (Green Park)
*Starting Time	10:00	9:30
*Break Time 1	11:00 - 11:15 (Tree Garden)	10:45 - 11:00 (Flower Garden)
Break Time 2	12:15 - 13:00 (Rest House)	12:00 - 12:45 (Rest House)
Goal	14:00	14:00

Lunch :
There are *benches for lunch at (a), (b) and (c) in the *map. There are no places for lunch at (d).

(注) in: ~の形で group: グループ climber: 登山者 route: ルート for the first time: 初めて
 schedule: 予定表 goal: ゴール rest house: 休憩所 garden: 庭園 meeting: 集合 starting: 出発
 break: 休憩 bench: ベンチ map: 地図

- (1) Tim has no experience of climbing mountains. What time will he start climbing?

1 At 9:15. 2 At 9:30. 3 At 10:00. 4 At 10:45.

- (2) Saki wants to have lunch with the members of the other group. Where can she have lunch with them?

1 (a) 2 (b) 3 (c) 4 (d)

〈正答率と4層分析データ〉

	川崎市	川崎市学力層別					パターン判定
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差	
(1)	56.3	92.6	68.9	39.2	24.5	68.1	II
(2)	53.5	85.5	57.0	39.0	32.5	53.0	I

〈分析結果〉

正答は2番と3番であり、正答率はそれぞれ 56.3%、53.5%でした。大問6小問1では、A層とD層の差は 68.1ポイント、2では、A層とD層の差は 53.0ポイントでした。

1, 2の問題ともに、C層、D層の正答率が 40%を下回っていて、資料の中から必要な情報を読み取ることが難しかったことが伺えます。それぞれの問いに対して必要な情報が資料のどこに書かれているのか、英文が示す内容が図や表とどう結び付いているかに気付かせたいところです。

<実態に応じた授業づくりの工夫>

中学校学習指導要領解説外国語編では、「日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができるようにする。また、日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができるようにする。」と述べられています。

英文を読み取る際に何に注目して読むかを意識させる

授業づくりの工夫として、英語で書かれた物語や資料を読み取る際に、話の概要を理解することに加えて、ある視点に注目させ意識的に読み取る指示を与えたり、読み取った部分に下線を引かせたりして、英文を読ませることが考えられます。

今回の問題の場合では、no experie~~n~~Ce に注目させ、「登山の経験がない人が選ぶルートが分かる部分に下線を引いてみよう」と資料を読む際に、どこに注目するとよいかの指示を与えて読ませる活動が考えられます。また、英文の情報に加え、資料の概要を掴んだり、図や表と照らし合わせたりすることも大切です。英文をただ読むだけでなく、**書き手が伝えたいことや必要な情報に着目して読み取るように指導することが考えられます。**

【主体的に学習に取り組む態度 質問別回答状況一覧】

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合 (%)	平均到達スコア			選択肢別回答割合 (%)					学力層別 肯定群回答割合 (%)				
				肯定群	否定群	肯-否の差	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答	A層	B層	C層	D層	A-D層の差
1	外国の人々との交流などを通して、外国の異なる文化に対する理解を深めようとしている。	川崎市	62.0	64.5	59.1	5.4	23.2	38.3	28.9	8.7	0.8	72.6	66.1	58.3	51.0	21.6
2	日本と外国との生活や習慣、行事などの違いを知り、外国の文化に対する理解を深めようとしている。	川崎市	75.1	64.1	57.7	6.4	29.1	45.5	20.1	4.7	0.8	84.4	78.8	73.4	63.6	20.8
3	関心のある事柄について、相手からの質問に対し、相手に伝わるよう英語で話すようにしている。	川崎市	70.7	65.1	56.2	8.9	25.3	44.9	23.2	5.9	0.8	84.0	78.1	67.9	52.7	31.3
4	日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどをまとめ、相手に伝わるよう英語で話すようにしている。	川崎市	59.2	66.0	57.3	8.7	19.3	39.4	30.5	10.0	0.8	76.3	66.7	52.8	40.8	35.5
5	趣味や好き嫌いなど、自分に関する基本的な情報を相手が読んでわかりやすいよう英語の文で書くようにしている。	川崎市	76.3	65.4	53.1	12.3	30.3	45.3	19.3	4.2	0.8	92.7	84.9	72.6	54.4	38.3
6	話し手の立場に立って相手の意見や考えを理解するために、英語で聞いたり、質問したり、意見を言ったりしようとしている。	川崎市	80.9	64.3	54.7	9.6	35.5	44.6	15.3	3.7	0.9	90.9	87.4	79.6	65.5	25.4
7	書き手の立場に立って、読んだことについて英語で質問や意見を言ったり、書き手が望む情報を提供するために交流したりしている。	川崎市	56.1	65.2	59.1	6.1	14.6	40.9	34.3	9.1	1.0	67.5	62.3	52.3	42.1	25.4

全質問項目のうち、質問番号3・4・5でA層とD層において30ポイント以上の差が見られました。その中でも、質問番号4では肯定群回答割合が59.2%と他の質問と比べて低く、差が大きくなっています。また、学力層別に見てみるとD層の生徒が40.8%と最も低くなっていることだけでなく、A層の生徒が76.3%、B層の生徒が66.7%、C層の生徒が52.8%と質問番号3・5と比べ低くなっています。このことから、**日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどをまとめ、相手に伝わるように英語で話すことを困難と感じている生徒が多い**ことが分かります。

【質問紙調査から】

質問番号【30】新しく習ったことは、何度もくり返して練習している。

<肯定的な回答率と4層分析データ>

	川崎市	A層	B層	C層	D層	A-D の差
第1学年	57.7	66.4	60.4	56.2	47.8	18.6
第2学年	51.6	65.7	55.5	47.6	37.8	27.9
第3学年	55.4	70.6	59.9	52.4	38.9	31.7

<分析結果>

「新しく習ったことは、何度もくり返して練習する」ことは、英語の学習においても大切です。調査結果では、第2, 第3学年がA層とD層の差が大きくなっています。小学生ではくり返しの練習よりも使ってみる活動が多いことから差の開きが小さいと考えられます。学年が上がるにつれて差が大きくなることから、つながりに気が付かず、新しい学びの連続として捉えられている傾向が見られます。このことから既習事項を使っの学習の積み重ねが課題として考えられます。

<実態に応じた授業づくりの工夫>

聞いたり読んだりした話題について、感想や意見を話したり書いたりする活動が設定されているので、学習した内容にくり返し触れ、活用できるよう指導していくことで定着を図っていくことが大切です。コミュニケーションを行うためには、目的や場面、状況の設定が不可欠です。例えば、意見を述べる際、目的や場面、状況に応じて考えを整理して話す内容の構成を考えたり、相手に応じた表現を選択したりします。同様に授業中に行われるコミュニケーション活動にも目的・場面・状況が必要となります。ライティング、スピーキングの活動の中での例として、中間指導の時に、既習事項を提示し以前取り組んだ活動の中で使用した表現を結び付けることができます。また、自分の意見や考えをまとめるときには他教科で学んだ知識を活用しながら資料として提示することもできます。このように**目的・場面・状況を設定した上で、生徒たちの気持ちや考えなどを伝え合うような言語活動に結び付けて**いきたいです。

	R5	R6	R7
第1学年	57.7		
第2学年	51.6		
第3学年	55.4		

7 中学校全般を通して～観点別分析～

【知識・技能について】

各教科の特徴

=国語=

各学年の平均正答率は1学年75.7%、2学年73.9%、3学年73.5%です。また4層分析を見てみると、A層とD層の差が1学年39.3ポイント、2学年33.6ポイント、3学年33.0ポイントです。また、D層の生徒の平均正答率が1学年53.2%、2学年55.5%、3学年56.2%です。平均正答率が70%を超えていることやD層の平均正答率が50%を超えていること、A層とD層の差があまりないことは、日頃から言葉を大切にして、語句についての理解を図る指導の充実を進めてきた成果であると考えられます。しかし漢字の書きに関してはA層とD層の差が1学年59.4ポイント、2学年63.4ポイント、3学年64.9ポイントです。またD層の生徒の平均正答率が1学年27.5%、2学年30.9%、3学年19.6%とD層の生徒へのアプローチをしっかりと行うことが求められます。

=社会=

各学年の平均正答率は1学年55.9%、2学年50.2%、3学年53.1%で、5割を上回る状況でした。4層分析について、A-D層の差を学年別に見ると、1学年48.0%、2学年48.9%、3学年52.2%であり、学年が上がるにつれて差が大きくなる傾向が見られます。このことから、取り上げた社会的事象について、資料から適切に情報を読み取ったり、読み取った情報を整理したりまとめたりする活動を、個に応じてきめ細かく指導する必要があります。

=数学=

各学年の平均正答率は1学年72.5%、2学年59.9%、3学年53.6%ではありますが、4層分析を見てみるとパターン判定においては、全学年ともパターンⅢと示されています。また学年の上がるにつれ、D層の生徒の正答率も下がっていることから、D層の生徒へのアプローチをしっかりと行うことが求められます。小学校での学びを含めた既習である基本的な概念や原理・法則などを確認しながら授業を進めること、それと合わせて、節や単元等のまとまりを

終えたときにD層の生徒を丁寧に見取り、1 つでも多く「これは分かった」と感じられるように確認しながら進めることが大切です。新しい内容を学ぶ際にも、その過程を丁寧に確認し基礎・基本の定着を図っていきながら「個に応じた指導」を進めていくことが必要です。

=理科=

第2学年の「月面上ではねののびが3cmになる物質の質量を選ぶ」設問、第3学年の「雲のでき方を記述する」設問から、学年の進行とともに、概念的な理解や、概念的な理解を伴う技能の習得をしている傾向が見られます。全学年に共通して、理科用語を用いた概念的な理解に課題が見られます。問題解決・探究の過程を通して資質・能力を育成する中で、理科用語を使って議論したり、説明したりする学習活動を充実させることが大切です。

=英語=

各学年の平均正答率は1学年 78.9%、2 学年 70.3%、3 学年 68.9%となっており、第 2、3 学年についてはパターンⅢと示されております。また学年が上がるにつれて、D層の平均正答率が下がっています。また、書くことの領域に関して、第2学年の大問2のAの(1)、第3学年の大問2の(3)での与えられた場面にふさわしい単語を正しく書く設問においては、A層とD層の差が 80 ポイントを超えています。目的・場面・状況設定のあるコミュニケーション活動を行いながら、内容面だけでなく言語の正確さの面でもD層の生徒へのアプローチをしっかりと行うことが求められます。

授業改善の手立てについて

=国語=

- 習得した言語を定着できるように、繰り返し学習に取り組むこと。
- 漢字を読む力を高めながら、書く力を向上させていけるような工夫を日頃から行っていくこと。
- 定着だけでなく、単元の中で得た知識を次の単元で活用するための場面を設定したり、学習した言語を日常生活に生かせるように、身近な教材の中で知識を活用する場面を設定したりすること。

= 社会 =

- 社会的事象について、調査や諸資料から様々な情報を効果的に収集し、読み取り、まとめる学習活動や作業的で具体的な体験を伴う学習活動の充実を図ったりすること。例えば、地図や年表を読んだり作成したりする活動や、学習内容に関連する新聞、読み物、統計その他の資料などを適切に活用する活動。

= 数学 =

- 個別の知識・技能が習得できるようにするために、具体的で生徒に身近な教材や日常につながる教材を工夫したり、GIGA端末のドリルパークなど学習ソフト等に取り組むなど、既習の知識や技能を繰り返し活用したりできるようにすること。
- ルールや決まり、公式などを含めた知識や技能について、ただ覚えるのではなく、その理由や考え方も対話的な活動を含めた活動からも身に付けること。
- 一つ一つの知識や技能が新たな学習内容とつながるように手立てを講じること。

= 理科 =

- 問題解決・探究の過程を通して資質・能力を育成する中で、例えば、理科学用語を使って議論したり、説明したりする学習活動を充実し、科学的な概念としての理解につながるよう手立てを講じること。
- 個人の説明をペアやグループで、学習した理科学用語を入れているか、適切に使っているかの視点から検討し、科学的な概念に更新していく学習活動。

= 英語 =

- 目的・場面・状況に応じて自分の考えや気持ちを伝え合う言語活動を行う際に、「話したことを書く」などのように技能を統合した活動や、適切なタイミングでの言語面の正確さについての指導を充実させること。
- 個別の知識や技能が習得できるようにするために、具体的で身近な教材を工夫したり、既習の知識や技能を繰り返し活用したりできるようにすること。

〈授業改善のポイント〉

- 個別の知識・技能が習得できるようにするために、生徒に身近な教材や日常につながる教材を工夫したり、GIGA端末のドリルパークなど学習ソフト等に取り組むなど、既習の知識や技能を繰り返し活用したりできるようにすることが大切です。
- 概念的な理解につながる知識や技能を形成できるようにするために、言語や数量、図形、事象などの意味を理解できるようにします。そのために、単元や題材など内容や時間のまとまりを見通して授業をデザインすることで、評価場面を明確にすることができます(指導計画と評価計画の明確化)。単元を通して身に付けさせたい資質・能力を具体的な生徒の姿でイメージしておくことが重要です。
- 単元デザインは、身に付けさせたい知識・技能を明確にすること、そのための効果的な教材を準備すること、その教材を通して、生徒たちが主体的に学習する活動を保障することが大切です。
- 全教科を通じて、言語活動の充実を図るとともに、活動のねらいに応じてGIGA端末を効果的に活用できるように計画することが重要です。
- 知識・技能の定着を促すには理解することだけに留めず、学習したことを日常生活や他の学習で活用できるよさや楽しさを実感させることが大切です。

【思考・判断・表現について】

各教科の特徴

=国語=

思考・判断・表現の「話すこと・聞くこと」の領域において、A-D層の差が第1学年36.3ポイント、第2学年28.7ポイント、第3学年29.9ポイントです。また、D層の平均正答率が第1学年60.1%、第2学年67.5%、第3学年64.9%です。いずれの学年も4層の差が少なく、D層の平均正答率が高いことから、日頃の授業でグループワークを通して意見交流を行ったり、発表の場を設けたりしてきた成果と捉えております。課題としては、「書くこと」「読むこと」の領域において、全ての学年でA-D層の差が50ポイントを超えています。「書くこと」の領域において、各学年のD層の平均正答率が30%を下回ります。「書くこと」「読むこと」の授業改善が必要です。

=社会=

各学年の平均正答率は第1学年 42.3%、第2学年 39.3%、第3学年 52.1%であり、3年が一番高い正答率でしたが、A-D層の差を学年別に見ると、第1学年 44.4%、第2学年 51.0%、第3学年 60.5%であり、学年が上がるにつれて差が大きくなる傾向が見られました。このことから、身に付けた知識や技能を比較したり関連付けたりする活動を取り入れ、多面的・多角的に考察、表現する活動を繰り返し行うことが大切になります。

=数学=

数学における思考・判断・表現において、各学年の平均正答率は第1学年 42.3%、第2学年 24.9%、第3学年 31.6%でした。第1学年はパターンⅡ、第2, 第3学年はパターンⅠと示されました。この結果からもD層だけではなく、苦手を感じている生徒が多いことが分かります。また、今回の調査において記述式の正答率をみると、第1学年 38.9%、第2学年 22.9%、第3学年 26.9%となっております。特にD層においては、第1学年 5.9%、第2学年 3.7%、第3学年 11.1%であり、自分の思いや考えを書くこと、伝えることに課題があると考えられます。今後もこの記述式の調査結果を注視していき、各学校のデータについても、授業改善を進めながら、思考・判断・表現のデータや記述式の調査結果を注視しながら授業改善を進めることも考えます。

=理科=

第1学年及び第3学年では、思考・判断・表現の達成率が知識・技能の達成率を上回り、特に第1学年では、応用の設問の達成率が基礎の設問の達成率を上回りました。本市の理科で大切にしている児童・生徒が問題解決・探究する授業づくりの成果が見られます。全学年に共通して、記述式の設問において課題が見られます。記述式の正答率については、D層の平均正答率は第1学年が 15.4%、第2学年が 14.9%、第3学年が 16.0%で、これらのA-D層の平均正答率の差は、第1学年が75ポイント、第2学年が 62.3 ポイント、第3学年が 77.9 ポイントと、いずれも著しい差が見られます。またC層の平均正答率についても 40%台であることから、記述式の設問は、多くの生徒にとって課題であることがわかります。

=英語=

思考・判断・表現において、各学年の平均正答率は第1学年 66.7%、第2学年 59.9%、第3学年 59.2%となりました。また第2、3学年の記述式の設問では平均正答率は第2学年 48.5%、第3学年 43.3%となっており、A層とD層の差も70ポイントを超えております。特にD層においては第2学年 4.2%、第3学年 4.5%となっており、英語でのコミュニケーションの場面において自分の考えや気持ちを書くことに課題があると考えられます。また、第2、3学年の読むことの設問では、平均正答率は第2学年 58.0%、第3学年 60.7%となっています。第2、3学年の、イラストや表、まとまりのある英文など複数の資料から必要な情報を読み取る設問について、平均正答率が低く、またA層とD層の差も大きく開いているので、課題があると考えられます。

授業改善の手立てについて

=国語=

- 資料を読み取り、読み取った情報を整理し、自分の意見に生かすことができるようにしたり、読み取ったことを自分の言葉で表現する活動を行ったりしていくこと。そのために習得した語彙や知識を、活用していくことが重要。
- 「読むこと」の領域では、教材を読み、「なぜ、そう思ったのか」「なぜ、そう感じたのか」などの問いを多く持つこと。本文の叙述を根拠に自分の考えを明確にして読む習慣が付き、多面的な読みにつながると考えられる。

=社会=

- 社会的事象の意味や意義、事象の特色や事象間の関連、社会に見られる課題などについて、考察したことや選択・判断したことを論理的に説明したり、立場や根拠を明確にして議論したりする等の学習を一層充実すること。
- 調査や諸資料から収集した情報を比較したり関連付けたりして、地域や時代の特色を考察し、その結果を報告書にまとめたり発表したりする活動や、現代社会に見られる課題について、様々な立場から根拠を明確にしてペアやグループで話し合ったり合意形成を図ったりする活動。

=数学=

- 1学年(入学当初)からA層とD層の差が50ポイント以上あることから基礎的・基本的な知識及び技能の習得と

あわせて、思考力、判断力、表現力等の育成を図るために、小学校算数科において学習したことを素地として中学校において活用できるようにすること。

- 中学校の3年間は小学校から合わせた9年間という学びの系統性を教員がもつとともに生徒がこと。
- 授業において「自分の考えを記述する活動」や「生徒同士が考えを共有できる活動」を意図的、計画的に単元をデザインし、数学的活動の充実を図ること。

=理科=

- 教科書の探Qシートや記述式のワークシートを活用し、探究の過程に沿って思考を文章で表現させること。その際、スモールステップで思考する手立てを講じたり、個人で考えた文を課題や設問の内容と照らし合わせ、ペアやグループでお互いに練り合う学習活動を充実させたりすること。
- 個に応じた指導の一層の充実を図るため、意図的、計画的な机間指導やGIGA端末の活用等。

=英語=

- 日常的な話題について、できるだけ現実に近い場面を設定するとともに、生徒が必要とする情報を聞き取ったり、読み取ったりする活動の充実を図ること。その際、それぞれの場面において生徒が自分の置かれている状況を把握できているかどうかと、何を聞き取ればよいかを理解しているかどうかを確認すること。
- それらに関連する語句や表現に着目して、必要な情報と不要な情報を整理しながら聞いたり読んだりできるようにすること。
- 言語活動を行う際には、間違いを恐れずに英語で表現する授業づくりを心掛けるとことと合わせて、表現した内容がコミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて適切な内容になっているか、正確に書けているかを丁寧に指導すること。
- 生徒が表現した内容や表現について教師がフィードバックを与えたり、ほかの生徒からコメントをもらったりする活動。

〈授業改善のポイント〉

- 習得した知識・技能を活用して課題解決を図る場を設定することが大切です。その際、生徒たちの「なんでそうなるのだろう」「どうしてなのだろう」という問いを大切にしながら、授業を計画したり、単元をデザインしたりすることも重要です。
- 自分が書いた目的や意図、内容を相手に説明したり、感想や意見を具体的に伝え合ったりできるようにする指導の工夫を図ります。また、よりよくするためにはどうすればよいのかと、その過程を振り返る時間を単元や授業計画などで確保することも大切です。
- 教員が説明・解説して生徒に分からせようとする授業から、分かるようになるために生徒自身が全体やグループ、ペアで「説明する」授業への転換を図ります。
- 生徒自身が自らの学びを振り返って、次の学びに向かうことができるようにする指導の充実を図ることが大切です。単元全体を見通して、振り返りをさせるタイミングや内容について計画的に位置づけることが大切です。また、その振り返りを教員が確認し、次の授業に生かしていくことも有効です。

8 他教科等の分析と手立て

中学校 音楽

【質問紙調査から】

【教科の理解度】＜肯定的な回答率と4層分析データから＞

	A層	B層	C層	D層	A-Dの差	R5	R6	R7
第1学年	78.6	75.5	74.9	67.9	10.7	74.2		
第2学年	77.8	76.0	73.4	66.2	11.6	73.3		
第3学年	75.4	73.1	71.3	65.5	9.9	71.3		

＜分析結果＞

理解度については、A-D層の差が10ポイント程度開いており、特にC層とD層で約7ポイントの差が開いています。このことから特にD層の生徒に対し、音楽科の学習の中で「わかった」と実感するための手立てが必要であることが推測されます。

【教科の好感度】＜肯定的な回答率と4層分析データから＞

	A層	B層	C層	D層	A-Dの差	R5	R6	R7
第1学年	73.7	68.9	68.8	63.4	10.3	68.7		
第2学年	68.8	69.2	68.0	65.9	2.9	67.9		
第3学年	68.4	66.4	68.4	66.8	1.6	67.5		

＜分析結果＞

各層ともに6割以上の生徒が肯定的な回答をしています。特に第2学年及び第3学年では、各層の差が少ないことから、すべての層の生徒が音楽科の目標にある、表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽活動の楽しさを体験できていると推測されます。

【問題解決力】＜肯定的な回答率と4層分析データから＞

自分の意見や考えを相手にわかりやすく伝えることができますか。

	A層	B層	C層	D層	A-Dの差	R5	R6	R7
第1学年	76.7	68.5	64.1	53.2	23.5	65.6		
第2学年	74.8	67.6	60.9	50.0	24.8	63.3		
第3学年	74.6	66.9	59.8	50.8	23.8	63.0		

＜分析結果＞

調査結果では、全学年でA層とD層の差が20ポイント以上あります。このことから「自分の意見や考えを相手にわかりやすく伝えること」に苦手意識があるということが分かります。音楽科においても、音や言葉によるコミュニケーションを図り、音楽科の特質に応じた言語活動を適切に位置付けることが大切です。

＜実態に応じた授業づくりの工夫＞

音楽科において、生徒が音楽的な見方・考え方を働かせ、育成を目指す資質・能力を身に付けるためには、幅広い活動を通して、音楽活動の楽しさを体験することが大切です。さらに、適切な時点での学習の見通しと振り返りを行うことで、生徒が自分の学習状況を把握し、「わかった」と実感することにつながります。また、音楽科の特質に応じた言語活動は、表現及び鑑賞を深めていく際に重要であり、理解度の向上にも資する活動です。特にD層の生徒に向けた手立てとして、生徒の表現でうまくできていることについて積極的に認めて価値付けを行ったり、他者の意見内容などを取り入れたりするなどして、生徒自身が音楽に対する気付きを言葉で表出できるよう促すなど、具体的な働きかけを行うことにより、自分の考えをもったり、それを表出したりする力の向上が期待できます。

中学校 美術

【質問紙調査から】

【教科の理解度】<肯定的な回答率と4層分析データから>

	A層	B層	C層	D層	A-Dの差	R5	R6	R7
第1学年	70.5	70.0	67.4	62.2	8.3	67.5		
第2学年	80.0	78.7	77.9	71.4	8.6	76.9		
第3学年	78.3	75.9	76.1	71.3	7.0	75.4		

<分析結果>

理解度では、肯定的な回答率は第1学年から第2学年で9.4ポイント高くなり、第2学年から第3学年では、同程度となりました。4層分析では、各学年のA-Dの差は、7~8.6ポイントであることがわかります。このことから、中学校の学習に慣れ、概ね「わかる」と感じていると考えられます。

【教科の好感度】<肯定的な回答率と4層分析データから>

	A層	B層	C層	D層	A-Dの差	R5	R6	R7
第1学年	64.9	66.5	64.8	62.5	2.4	64.7		
第2学年	67.3	69.4	72.7	70.9	-3.6	70.0		
第3学年	67.7	67.8	69.9	70.6	-2.9	69.0		

<分析結果>

好感度では、肯定的な回答率が第1学年から第2学年で5.3ポイント高くなり、第2学年から第3学年では、同程度となりました。各学年の4層分析で最も高い層は、第1学年がB層、第2学年がC層、第3学年がD層であることがわかります。このことから、誰もが好感を持ち、より主体的に取り組めるようにしていくことや課題があると考えられます。

【社会的実践力】<肯定的な回答率と4層分析データから>

いつも新しいアイデアを考えたり、工夫したりしている。

	A層	B層	C層	D層	A-Dの差	R5	R6	R7
第1学年	79.8	72.7	68.2	59.3	20.5	70.0		
第2学年	71.2	68.2	65.5	57.5	13.7	65.6		
第3学年	70.4	63.7	63.4	56.2	14.2	63.4		

<分析結果>

肯定的な回答率は、学年が上がるにつれて低くなりました。A-Dの差は第1学年では20.5ポイントあるものの、第2学年では13.7ポイントになり、差が少なくなったことがわかります。美術では、表現する時に、表し方を考えたり工夫して表現することが求められることから、「いつも新しいアイデアを考えたり、工夫したりしている。」ことは重要です。

<実態に応じた授業づくりの工夫>

美術科では、美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養いながら、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにすることを目標としています。

例えば、題材に取り組む必要感を感じながら楽しく主体的に学習に取り組めるよう、題材設定や題材との出会いを工夫することが考えられます。また、安心して自分なりの表現方法を工夫して表すことができるように、やり直すことが容易な題材設定や、何度も試すことができる場面を用意するなどの授業改善が考えられます。

中学校 保健体育

【質問紙調査から】

【教科の理解度】<肯定的な回答率と4層分析データから>

	A層	B層	C層	D層	A-Dの差	R5	R6	R7
第1学年	81.2	81.3	80.3	75.0	6.2	79.5		
第2学年	79.5	76.7	79.1	75.3	4.2	77.6		
第3学年	77.7	77.6	78.4	76.0	1.7	77.4		

<分析結果>

理解度では、肯定的な回答率は全学年で7割を超えています。A-Dの差も小さいため、どのような生徒も「わかる」を実感できる授業が展開されていると推測されます。

【教科の好感度】<肯定的な回答率と4層分析データから>

	A層	B層	C層	D層	A-Dの差	R5	R6	R7
第1学年	68.2	71.2	73.8	70.2	-3.8	71.3		
第2学年	66.2	67.6	75.0	75.1	-8.9	71.0		
第3学年	65.4	70.9	73.5	75.6	-10.2	71.3		

<分析結果>

好感度では、肯定的な回答率がどの学年も7割程度ですので、運動に苦手意識をもっている生徒への一層の配慮が必要と考えられます。A-Dの差は、どの学年においてもA層よりD層の数値が高い、という特徴がみられます。

<実態に応じた授業づくりの工夫>

保健体育科では、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することを目標としています。学習指導要領には「体力や技能の程度、性別や障害の有無等にかかわらず、運動やスポーツの多様な楽しみ方を共有することができるようにすること」つまり共生の視点が示されています。そのためには、競技スポーツのルールにこだわるのではなく、技能や体力の差を包含したルールや場、用具等の工夫を柔軟に行い、誰もが安心して学習に参加し、みんなが(みんな)楽しめる授業を展開することが求められています。運動が苦手と感じている生徒でも安心して楽しめるように、コート広さ、プレイヤーの人数、用具、プレイ上の制限などの工夫や配慮を積極的に行うことが大切です。

また、生徒が各領域の特性に応じた楽しさや喜びを十分に味わいながら課題を発見し、合理的に解決していけるような単元をデザインすることも大切です。特に課題解決に向けては、個々の状況や課題が異なるため、個別最適な学び(指導の個別化・学習の個性化)の一層の充実が求められます。生徒一人ひとりの特性や学習状況に応じて重点的な指導を行ったり、個々の課題に応じて学習課題や活動に取り組む機会を柔軟に提供していったりするなど、きめ細かな指導を大切にします。

中学校 技術・家庭(技術分野)

【質問紙調査から】

【教科の理解度】<4層分析データと肯定的な回答率から>

	A層	B層	C層	D層	A-Dの差	R5	R6	R7
第1学年	65.9	60.5	59.5	51.3	14.6	59.3		
第2学年	78.3	72.7	70.3	61.2	17.1	70.6		
第3学年	74.3	65.2	64.2	55.8	18.5	64.9		

<分析結果>

理解度については、肯定的な回答率は全学年で6割から7割程度です。A-Dの差は学年が上がるにつれて開いており、第2、第3学年では20ポイント程度開いています。D層の生徒に対して、「わかる」授業を実施する必要があると推測されます。

【教科の好感度】<4層分析データと肯定的な回答率から>

	A層	B層	C層	D層	A-Dの差	R5	R6	R7
第1学年	79.8	72.7	68.2	59.3	20.5	70.0		
第2学年	71.2	68.2	65.5	57.5	13.7	65.6		
第3学年	70.4	63.7	63.4	56.2	14.2	63.4		

<分析結果>

好感度については、肯定的な回答率は全学年で6割を超えています。A-Dの差は第1学年で20ポイント程度、第2、第3学年では15ポイント程度開いています。このことから、D層の生徒に対して、授業が楽しいと感じるための手立てが必要であると推測されます。

【学習方略】<4層分析データと肯定的な回答率から>

授業で習ったことをふだんの生活と結びつけて考えている。

	A層	B層	C層	D層	A-Dの差	R5	R6	R7
第1学年	72.6	65.4	63.6	54.9	17.7	64.1		
第2学年	63.9	53.0	50.2	43.6	20.3	52.7		
第3学年	67.5	51.6	46.5	39.7	27.8	51.3		

<分析結果>

肯定的な回答率は全学年で5割から6割程度で、A-Dの差が第3学年では30ポイント近く開いています。このことから、技術・家庭科においても、授業で学んだことが実生活にどのように結び付くのか、D層の生徒に示していく必要があると推測されます。

<実態に応じた授業づくりの工夫>

技術・家庭科では、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築を目指しています。学習内容を生活や社会と関連付け、何のために学習するのか、どんな資質・能力を身に付けることができるのかをあらかじめ示すことで、学習意欲を高めることが大切です。また、実践的・体験的な学習活動を通して成就感や達成感を味あわせることで、授業が楽しいと感じさせることも重要です。

技術分野で「わかる」授業を実現するためには、学年が上がるにつれて学習内容の難易度が上がるように指導計画を工夫したり、授業ではねらいを明確にして学習の流れを示したりすることが必要です。支援が必要な生徒のために、GIGA端末の中に作業の動画や静止画の資料を用意することも効果的です。

中学校 技術・家庭(家庭分野)

【質問紙調査から】

【教科の理解度】<4層分析データと肯定的な回答率から>

	A層	B層	C層	D層	A-Dの差	R5	R6	R7
第1学年	80.2	77.9	75.3	67.8	12.4	75.3		
第2学年	79.9	74.4	71.2	64.0	15.9	72.3		
第3学年	80.4	75.1	75.2	65.3	15.1	74.0		

<分析結果>

理解度では、肯定的な回答率は全学年で7割程度です。各学年ともA層からD層にかけて肯定的な回答率が低くなっています。A-Dの差は第2、第3学年では15ポイント以上開いていることが分かり、D層の生徒への支援が必要となっています。

【教科の好感度】<4層分析データと肯定的な回答率から>

	A層	B層	C層	D層	A-Dの差	R5	R6	R7
第1学年	70.4	67.7	67.0	63.6	6.8	67.2		
第2学年	65.7	64.7	63.7	61.5	4.2	63.9		
第3学年	66.7	65.9	68.2	65.4	1.3	66.6		

<分析結果>

好感度では、肯定的な回答率は全学年で6割を超えています。各学年ともA層からC層に差異はあまりなく、D層が若干低くなっています。このことから、学習活動を通して、成就感や達成感を味合わせることで学びに向かう意欲を高める手立てが必要であることが推測されます。

【学習方略】<4層分析データと肯定的な回答率から>

授業で習ったことをふだんの生活と結びつけて考えている。

	A層	B層	C層	D層	A-Dの差	R5	R6	R7
第1学年	72.6	65.4	63.6	54.9	17.7	64.1		
第2学年	63.9	53.0	50.2	43.6	20.3	52.7		
第3学年	67.5	51.6	46.5	39.7	27.8	51.3		

<分析結果>

肯定的な回答率は、全学年5割から6割程度で、学年が上がるにつれて低くなっています。各学年ともA層からD層にかけて肯定的な回答率が低くなっています。授業で学んだことを実生活で活用することが課題となっていることが分かります。

<実態に応じた授業づくりの工夫>

家庭分野では、生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築を目指しています。そのため、学習内容を生活や社会と関連付け、何のために学習するのか、どんな資質・能力を身に付けることができるかをあらかじめ示すことで、学習する必要感を高めることができます。

また、子どもが衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して実感を伴って理解したり、子ども同士で協働したり、意見を共有して互いの考えを深めたり、家族や身近な人々との会話を通して考えを明確にすることにより、家庭分野で身に付けた力を家庭生活中で生かすことにつながると考えられます。

支援が必要な生徒へは、GIGA端末に動画や静止画の資料を用意することも効果的です。

中学校 道徳

【質問紙調査から】

【教科の好感度】＜肯定的な回答率と4層分析データから＞

	A層	B層	C層	D層	A-Dの差	R5	R6	R7
第1学年	66.8	68.1	70.3	66.3	0.5	67.9		
第2学年	63.8	68.4	70.4	68.9	-5.1	67.9		
第3学年	60.4	64.4	67.2	66.5	-6.1	64.5		

＜分析結果＞

好感度では、6割以上が肯定的な回答をしており、4層分析を見ると、どの学年もC層の生徒の好感度が高い結果となっています。学習の得意不得意に関わらず、全ての生徒が同じ土台で話し合う教科の特徴が表れています。

【社会的実践力】＜肯定的な回答率と4層分析データから＞

52:自分と違う意見も尊重している。

	A層	B層	C層	D層	A-Dの差	R5	R6	R7
第1学年	95.3	93.0	91.4	81.5	13.8	90.3		
第2学年	95.5	94.5	92.7	83.6	11.9	91.6		
第3学年	94.7	93.8	94.0	87.0	7.7	92.4		

＜分析結果＞

9割以上(小学校では8割以上)が肯定的な回答をしています。道徳科では、自分の体験や感じ方、考え方を交えながら話し合いを深める学習活動が多いため、「自分と違う意見を尊重する」態度の育成は重要です。今後も多様な考え方に触れる授業展開を継続していくことが大切です。

＜実態に応じた授業づくりの工夫＞

好感度の結果は、小学校から中学校にかけてだんだん低くなる傾向があります。道徳性を養うことの意義について、生徒自らが考え、理解し、主体的に学習に取り組むことが大切です。また、異なる意見を表出するのが苦手、遠慮してしまう生徒もいます。自分と異なる意見が尊重されるよう、授業の工夫として、いろいろな角度から考えを出せるように教材の登場人物の様々な立場を考えたり、友達の意見をつなげるような話し合いを促したりする工夫をする必要があります。教師が特定の価値観を教えこむのではなく、教師が生徒と共に考える姿勢をもつことが大切です。

＜道徳教育推進の工夫＞

道徳教育の推進にあたっては、「全体計画」をもとに、各学校が重点目標を設定し、実施しています。質問項目の中には道徳教育目標や内容項目に関連するものが多数あります。例えば、「自分の力をできるだけ伸ばしたいと思う」は『向上心、個性の伸長』、『私は友だちの間に上下関係なく、誰とでも平等に接している』は『公正、公平、社会正義』のように関連しています。自校の実態と照らし合わせ、データをもとに経年変化に着目することで、より道徳教育の推進の共通理解・共通実践が可能となります。

中学校 特別活動

【質問紙調査から】

【教科の好感度】<肯定的な回答率と4層分析データから>

	A層	B層	C層	D層	A-Dの差	R5	R6	R7
第1学年	83.6	82.8	78.8	69.9	13.7	78.8		
第2学年	80.8	79.2	77.0	71.8	9.0	77.2		
第3学年	80.6	79.3	79.0	72.8	7.8	77.9		

<分析結果>

好感度では、7割以上の生徒が肯定的な回答をしており、学年による大きな差はありませんでした。このことから、生徒が特別活動(学級活動)に楽しみながら参加していると推測されます。

【学級力】<肯定的な回答率と4層分析データから>

私は、自分たちの学習や生活をよりよくするための話し合いや活動に、進んで取り組んでいる。

	A層	B層	C層	D層	A-Dの差	R5	R6	R7
第1学年	70.9	61.9	57.6	48.0	22.9	59.5		
第2学年	54.2	44.4	40.8	33.9	20.3	43.4		
第3学年	51.9	45.3	39.4	33.1	18.8	42.4		

<分析結果>

全学年でA-D層の差が20ポイント程度あります。特にD層の生徒は、特別活動における主体的な学びを行うことに対する苦手意識が高い傾向が伺えます。

【学級力】<肯定的な回答率と4層分析データから>

私は、友だちの話に賛成・反対・つけたしと、つなげるように発言している。

	A層	B層	C層	D層	A-Dの差	R5	R6	R7
第1学年	76.6	68.0	66.1	57.7	18.9	67.1		
第2学年	63.7	59.8	55.0	51.7	12.0	57.5		
第3学年	64.0	58.8	55.2	52.6	11.4	57.7		

<分析結果>

肯定的な回答率は、全体的に5~6割程度となっており、第1学年と第2,3学年の差が10ポイント程度あります。このことから、学年が上がるにつれて特別活動における対話的な学びを行うことに対する苦手意識が高まる傾向が伺えます。

<実態に応じた授業づくりの工夫>

3つの調査結果から、生徒が特別活動(学級活動)へ肯定的な回答をしていても、話し合いに進んで取り組んだり、意見をつなげるなど対話的に話し合ったりすることに苦手意識があることが分かります。特別活動(学級活動)の方法原理は「なすことによって学ぶ」です。教師は、生徒が学級での生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意したことに実際に取り組めるよう適切な指導をすることが大切です。

例えば、学級に議題箱を設置し、生徒が発見した学級生活に対する諸問題を提案できるようにしたり、話し合いの前に進行を務める司会者等と教師と一緒に活動計画を作成したりして、生徒が自分たちで話し合いを進められるよう支援することが考えられます。

中学校 総合的な学習の時間

【質問紙調査から】

【教科の好感度】<4層分析データと肯定的な回答率から>

	A層	B層	C層	D層	A-Dの差	R5	R6	R7
第1学年	73.5	71.9	71.0	64.5	9.0	70.2		
第2学年	69.5	71.2	70.0	68.7	0.8	69.8		
第3学年	70.4	72.3	74.5	69.2	1.2	71.6		

<分析結果>

好感度では、調査を実施した3学年ともに肯定的な回答が7割程度となっています。また、A—D層の差が10ポイント以内となっています。

【追加項目】<4層分析データと肯定的な回答率から>

社会や地域をよりよくするために、なにをすべきか考えたことがある。

	A層	B層	C層	D層	A-Dの差	R5	R6	R7
第1学年	68.5	63.9	61.5	54.9	13.6	62.2		
第2学年	55.2	53.4	53.0	48.8	6.4	52.6		
第3学年	51.3	48.8	48.7	44.4	6.9	48.3		

<分析結果>

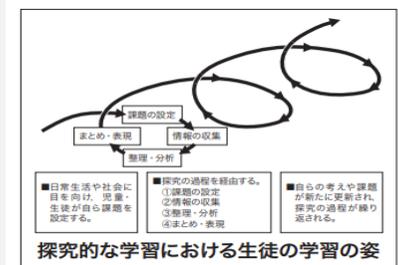
肯定的な回答は、全体的に5～6割近くの数値が出ています。特に、2、3学年では、1学年に比べて10ポイント以上低くなっていることがわかります。また、好感度の結果と比べると、2、3学年では、10ポイント以上低くなっています。

<実態に応じた授業づくりの工夫>

好感度の結果からわかるように、総合的な学習の時間は、A-D層の学習状況に関わらず、みんなが同じ土台で取り組めるというよさがあります。そのよさをさらに生かしていくためには、調べたことを発表するという授業のイメージから、生徒の思いや願いを生かして社会に関わっていく行動につなげる単元のイメージをもつことが大切です。

例えば、「エネルギー問題の解決に向けて」「地域の観光地を外国人観光客に案内するために」「指導と評価の一体化のための評価に関する参考資料」より)または、「地域の安全を守るために」「自分たちのふるさとの魅力を持続可能なものにするために」「今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開」より)といった実生活や実社会から課題を見出し、そのために自分たちができることを考え、実行していくような単元が挙げられます。実際に行動することで、その成果を手応えとして感じ、次の探究活動への意欲となり、徐々に社会に参画しようとする態度が養われていきます。

こうした活動を進めるには、生徒が課題の解決に向かう中でどのように情報を集め、どのように整理・分析し、どのようにまとめ・表現を行っていくかを教師が見通しておくことが必要です。そして、その活動が充実していくように、学習材との出会わせ方、ゲストティーチャーとの関わり、体験活動といった手立てを考え、それらを探究のプロセスの中で適切に位置付けていくことが大切です。



Ⅲ 学習意識調査の結果から大切にしたい視点について

1 学習の理解度

	国語	社会	算数・ 数学	理科	英語
小4	86.3	81.2	84.3	90.4	
小5	86.6	83.5	78.6	89.8	
小6	87.4	85.6	73.7	87.7	
中1	79.7	68.8	69.6	71.4	66.2
中2	81.9	62.9	59.6	63.3	66.3
中3	79.5	68.3	63.9	65.6	60.3

国語の理解度はどの学年も高い。小学校第4学年と中学校第3学年の理解度を比較すると、算数・数学と理科は 20 ポイント以上差が開いている。

2 学習の好感度

	国語	社会	算数・ 数学	理科	英語
小4	67.7	64.3	72.3	84.8	
小5	64.2	63.5	62.5	81.7	
小6	62.3	65.5	57.2	74.4	63.9
中1	54.8	59.0	55.5	60.4	60.5
中2	67.4	59.8	49.8	58.7	61.8
中3	67.2	64.8	54.3	61.1	56.0

小学校第4学年の好感度はどの教科も高い傾向がある。中学校第1学年が低くなる傾向が見られ、アンケートの回答時期を考慮すると、小学校第6学年での学習の好き嫌いが影響していると推測される。

肯定的な回答の経年変化

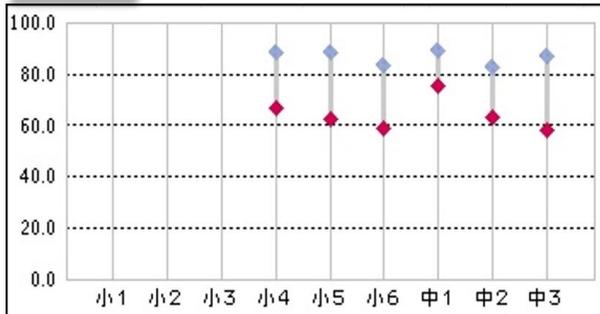
		理解度					
		小4	小5	小6	中1	中2	中3
国	R5	86.3	86.6	87.4	79.7	81.9	79.5
	R6						
	R7						
	R8						
社	R5	81.2	83.5	85.6	68.8	62.9	68.3
	R6						
	R7						
	R8						
算 数	R5	84.3	78.6	73.7	69.6	59.6	63.9
	R6						
	R7						
	R8						
理	R5	90.4	89.8	87.7	71.4	63.3	65.6
	R6						
	R7						
	R8						
英	R5				66.2	66.3	60.3
	R6						
	R7						
	R8						

3 学習への主体性

学習していて、おもしろい、楽しいと思うことがある。

	肯定的な回答	4層分析			
		A層	B層	C層	D層
小4	81.0	88.5	82.5	80.0	73.0
小5	75.8	86.2	79.7	74.4	63.0
小6	73.8	86.9	77.9	70.4	59.9
中1	81.2	88.0	83.3	78.8	74.7
中2	75.3	84.9	80.0	71.5	64.8
中3	75.7	87.5	80.0	74.1	61.3

◆: A層 ◆: D層

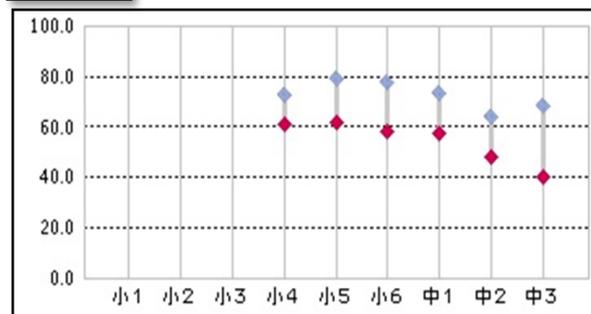


全体的に小学校第4学年と中学校第1学年が高くなっている。A層の児童生徒は、学年に関わらず、80%以上が学習していて、おもしろい、楽しいと思うことがあると回答している。D層の児童生徒は小・中ともに学年が上がるにつれて、下がっている傾向がある。

授業で習ったことをふだんの生活と結びつけて考えている。

	肯定的な回答	4層分析			
		A層	B層	C層	D層
小4	68.2	72.8	69.4	67.4	63.1
小5	69.1	75.8	72.3	68.2	60.1
小6	66.4	75.9	68.5	64.0	57.1
中1	64.1	72.6	65.4	63.6	54.9
中2	52.7	63.9	53.0	50.2	43.6
中3	51.3	67.5	51.6	46.5	39.7

◆: A層 ◆: D層



肯定的な回答が小学校第4学年でも68.2%、中学校第3学年では、51.3%にとどまり、他の質問項目に比べ、肯定的な回答が低い傾向がある。学年が上がるにつれ、D層の数値が低くなっている。

肯定的な回答の経年変化

学習していて、おもしろい、楽しいと思うことがある。

	R5	R6	R7
小4	81.0		
小5	75.8		
小6	73.8		
中1	81.2		
中2	75.3		
中3	75.7		

授業で習ったことをふだんの生活と結びつけて考えている。

	R5	R6	R7
小4	68.2		
小5	69.1		
小6	66.4		
中1	64.1		
中2	52.7		
中3	51.3		

授業改善の手立て

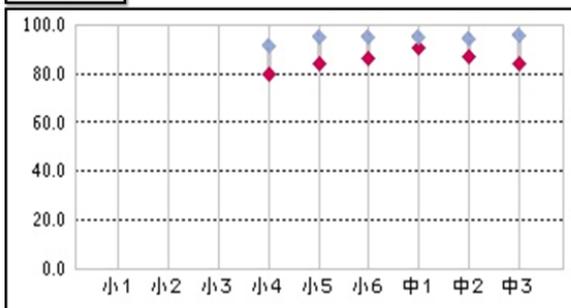
・児童生徒がやってみたいと思うような「問題意識」を工夫したり、その教科等ならではの「学び方」について児童生徒が知る機会を設定したり、各教科等の「見方、考え方」を働かせた学びを意識した授業づくりを意識したりすることが考えられます。

4 学習に対する達成感

ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある。

	肯定的な回答	4層分析			
		A層	B層	C層	D層
小4	90.6	94.6	92.5	90.2	85.3
小5	92.0	95.1	93.9	92.2	86.8
小6	92.4	94.7	93.7	92.4	88.8
中1	92.9	94.7	93.4	93.5	90.0
中2	91.8	93.9	93.2	91.3	88.7
中3	90.8	92.3	91.5	90.7	88.6

◆:A層 ◆:D層

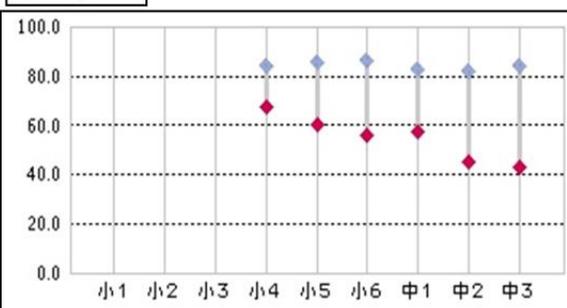


ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがあると回答した児童生徒はどの学年も90%以上いる。4層分析を見ると、A~D層の差は小さく、最後までやり遂げることへの経験が蓄積されていることが推測される。

わからないことはそのままにせず、わかるまで努力している。

	肯定的な回答	4層分析			
		A層	B層	C層	D層
小4	76.0	83.8	78.4	74.6	67.1
小5	73.2	85.4	77.1	69.9	60.3
小6	71.1	86.1	75.8	66.8	55.9
中1	70.6	82.5	74.3	68.1	57.5
中2	61.9	81.3	65.4	55.9	45.0
中3	63.6	84.0	69.4	58.4	42.7

◆:A層 ◆:D層



学年が上がるにつれ、肯定的な回答が低くなっている。4層分析を見ると、A層とD層の差が、大きく開いている。特に中学校第2、第3学年に関しては、学習内容が難しくなるが、わからないことをそのままにしてしまう傾向が見られる。

肯定的な回答の経年変化

ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある。

	R5	R6	R7
小4	90.6		
小5	92.0		
小6	92.4		
中1	92.9		
中2	91.8		
中3	90.8		

わからないことはそのままにせず、わかるまで努力している。

	R5	R6	R7
小4	76.0		
小5	73.2		
小6	71.1		
中1	70.6		
中2	61.9		
中3	63.6		

授業改善の手立て

- ・自分で選択して遂行する経験を積み重ねていけるように、児童生徒が課題を設定できる時間を取り入れた学習計画を立てたり、特にD層の児童生徒の課題設定の際には、その課題設定が適切であるかアドバイスをしたりすることなどが考えられます。

5 学習の理解に関する児童生徒の認識

習った内容の中で、何がまだ理解できていないかわかっている。

授業で習ったことはそのまま覚えるのではなく、その理由や考え方も一緒に理解しようとしている。

わかった点、わからなかった点を見直し、次の学習につなげている。

	肯定的な回答	4層分析			
		A層	B層	C層	D層
小4	79.4	85.2	81.4	78.4	72.6
小5	81.4	87.0	83.8	81.7	73.0
小6	82.2	88.6	84.4	81.8	73.9
中1	82.5	87.4	84.1	81.8	76.6
中2	80.9	87.7	84.1	80.3	71.7
中3	79.1	86.9	80.5	78.4	70.8

	肯定的な回答	4層分析			
		A層	B層	C層	D層
小4	74.9	81.4	76.9	74.0	67.4
小5	71.2	85.7	75.8	67.2	56.3
小6	71.8	88.2	77.6	67.2	54.7
中1	69.4	83.2	75.3	66.3	52.6
中2	62.9	81.5	68.4	57.7	44.1
中3	66.0	85.2	72.4	61.6	44.6

	肯定的な回答	4層分析			
		A層	B層	C層	D層
小4	75.7	82.5	78.2	75.4	66.7
小5	73.5	85.2	77.5	71.3	60.2
小6	71.4	86.2	76.7	67.9	55.3
中1	68.1	80.7	72.4	65.8	53.7
中2	61.1	79.2	67.2	56.1	41.8
中3	62.7	82.2	68.6	57.3	42.9

何がまだ理解できていないのかを自認している児童生徒は 80%前後いる。4層分析を見てみると、A層に比べてD層の児童生徒の多くが「何が理解できていないのか」を自認していないと推測される。

A層からD層にいくにつれ、数値が下がっている。また、学年が上がるにつれ、肯定的な回答が低くなっている。4層分析を見てみると、小学校第4学年のA層とD層の差が14ポイントに対し、小学校第5学年～中学校第3学年は約30～40ポイント以上開いている。内容が難しくなることで、論理的に考えることが難しくなっていく傾向が見られる。

A層からD層にいくにつれ、数値が下がっている。また、学年が上がるにつれ、肯定的な回答が低くなっている。4層分析を見てみると、小学校第6学年と中学校第2、第3学年のA層とD層の差が30ポイント以上開いている。

肯定的な回答の経年変化

	R5	R6	R7
小4	79.4		
小5	81.4		
小6	82.2		
中1	82.5		
中2	80.9		
中3	79.1		

	R5	R6	R7
小4	74.2		
小5	71.2		
小6	71.8		
中1	69.4		
中2	62.9		
中3	66.0		

	R5	R6	R7
小4	75.7		
小5	73.5		
小6	71.4		
中1	68.1		
中2	61.1		
中3	62.7		

授業改善の手立て

・「できた」「できなかった」のみの価値付けだけでなく、どこまでできたのかという過程を見取することを意識し、適切に指導に生かすことや、各教科等の特質を踏まえ、答えが「わかる」だけでなく、「共通点」「相違点」「学び方」「つながり(既習)」を見いだす学習を意識することが大切です。また、児童生徒に「わからない点を見直す」という学び方を学年の初めの段階で丁寧に指導することも考えられます。

6 結果一覧

【小学校 第4学年】

川崎市の欄に記されている数値は、肯定的な回答(「とてもあてはまる」「まああてはまる」)をした児童生徒の割合

質問番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	川崎市	川崎市学力層別						質問の大きい順の順位
				A層	B層	C層	D層	AIDの差		
1	学びの基礎力 豊かな基礎体験 基礎体験	友だちと外で遊んでいる。	84.0	79.8	83.5	86.5	86.2	-6.4	91	
2	学びの基礎力 豊かな基礎体験 基礎体験	ゲーム機やケータイ、スマートフォンでゲームをしている。	82.9	76.3	83.0	84.5	88.0	-11.7	92	
3	学びの基礎力 豊かな基礎体験 基礎体験	本や新聞を読んでいる。	64.4	82.2	68.2	59.6	47.7	34.5	1	
4	学びの基礎力 豊かな基礎体験 基礎体験	パソコンやインターネットを使う。	65.4	68.2	66.4	65.0	62.1	6.1	77	
5	学びの基礎力 豊かな基礎体験 基礎体験	放課後や土曜日などに、学校の活動や集まりがあれば、参加している。	47.4	50.6	48.4	46.4	44.0	6.6	74	
6	学びの基礎力 豊かな基礎体験 基礎体験	ゲーム機やケータイ、スマートフォンでゲームをするときは、家の人と時間についてルールを決めている。(ゲームをしない人は、1番を選んでください。)	79.4	89.2	81.4	78.4	68.9	20.3	6	
7	学びの基礎力 豊かな基礎体験 基礎体験	ケータイやスマートフォンで電話やメールをするときは、家の人と時間を決めている。(ケータイやスマートフォンで電話やメールをしない人は、1番を選んでください。)	73.3	76.0	75.4	74.6	67.4	8.6	60	
8	学びの基礎力 豊かな基礎体験 基礎体験	家の方は自分のことを気にかけてくれていると思う	94.3	96.8	95.4	94.9	90.0	6.8	72	
9	学びの基礎力 豊かな基礎体験 基礎体験	今まで教えてもらった学校の先生は、自分のことを認めてくれていたと思う。	91.0	94.7	93.0	90.9	85.7	9.0	55	
10	学びの基礎力 豊かな基礎体験 基礎体験	勉強やスポーツのことで、家の方が応援してくれる。	89.2	93.1	91.1	89.7	83.2	9.9	44	
11	学びの基礎力 豊かな基礎体験 基礎体験	将来の夢やこれからの進路について家の人と話をする。	63.3	65.1	64.3	63.1	60.9	4.2	86	
12	学びの基礎力 豊かな基礎体験 基礎体験	新聞に書かれていることについて家の人と話をする。	27.5	31.4	25.2	24.3	29.2	2.2	89	
13	学びの基礎力 豊かな基礎体験 基本的生活習慣	朝食は毎日食べている。	93.4	97.5	95.8	93.9	86.3	11.2	32	
14	学びの基礎力 豊かな基礎体験 基本的生活習慣	朝、起こされなくても自分で起きている。	68.5	71.0	69.1	69.6	64.4	6.6	74	
15	学びの基礎力 豊かな基礎体験 基本的生活習慣	夜は決まった時間になている。	59.4	61.5	60.2	59.6	56.2	5.3	80	
16	学びの基礎力 豊かな基礎体験 基本的生活習慣	家の人からたよりにされて、何かの役割をまかされている。	58.4	59.3	59.3	59.0	56.1	3.2	87	
17	学びの基礎力 豊かな基礎体験 基本的生活習慣	食器の後かたづけなど、自分のことは自分でしている。	73.9	76.1	74.5	73.3	71.7	4.4	84	
18	学びの基礎力 学びに向かう力 感じ取る力	ふだんから「不思議だな」「なぜだろう」と感じることもある。	68.2	74.2	68.6	65.1	65.0	9.2	54	
19	学びの基礎力 学びに向かう力 感じ取る力	本やドラマなどを見て、人の生き方に感動することがある。	59.8	65.5	59.9	58.4	55.3	10.2	43	
20	学びの基礎力 学びに向かう力 感じ取る力	学習していて、おもしろい、楽しいと思うことがある。	81.0	88.5	82.5	80.0	73.0	15.5	18	
21	学びの基礎力 学びに向かう力 学習動機	学習して身につけた知識は、いずれ仕事や生活の中で役に立つと思う。	93.9	96.8	96.1	94.4	88.3	8.5	61	
22	学びの基礎力 学びに向かう力 学習動機	学習して、わかったりできたりすることが増えるのは、うれしい。	91.2	94.8	92.0	90.9	87.2	7.6	67	
23	学びの基礎力 学びに向かう力 学習動機	学校に行くのが楽しい。	85.1	88.6	86.4	84.4	81.0	7.6	67	
24	学びの基礎力 学びに向かう力 自己責任	同じ間違いをしないように気をつけている。	89.9	93.4	92.0	90.6	83.8	9.6	49	

質問番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	川崎市	川崎市学力層別						質 差 の 大 き い 順 位
				A層	B層	C層	D層	A の 差 D 層		
25	学びの基礎力	努力をすれば、自分もたいていのことはできと思う。	89.5	93.5	92.2	88.8	83.7	9.8	46	
	学びに向かう力 自己有能感									
	学びの基礎力									
26	学びに向かう力 達成感	ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある。	90.6	94.6	92.5	90.2	85.3	9.3	53	
	学びの基礎力									
	自ら学ぶ力 学習スキル									
27	学びの基礎力 自ら学ぶ力 学習スキル	黒板に書かれていないことでも、大事なことはノートに書きとめている。	66.9	69.3	67.8	66.7	63.7	5.6	79	
	学びの基礎力									
	自ら学ぶ力 学習スキル									
28	学びの基礎力 自ら学ぶ力 学習スキル	テストで間違えた問題は、もう一度やり直している。	77.8	81.8	78.7	77.9	73.0	8.8	58	
	学びの基礎力									
	自ら学ぶ力 学習スキル									
29	学びの基礎力 自ら学ぶ力 学習スキル	授業で学んだことを自分なりにノートにまとめ直している。	58.9	61.6	58.6	59.5	55.9	5.7	78	
	学びの基礎力									
	自ら学ぶ力 学習スキル									
30	学びの基礎力 自ら学ぶ力 学習定着のための方略	新しく習ったことは、何度もくり返して練習している。	62.7	68.4	63.3	61.6	57.6	10.8	40	
	学びの基礎力									
	自ら学ぶ力 学習定着のための方略									
31	学びの基礎力 自ら学ぶ力 学習定着のための方略	授業で習ったことはそのまま覚えるのではなく、その理由や考え方も一緒に理解しようとしている。	74.9	81.4	76.9	74.0	67.4	14.0	21	
	学びの基礎力									
	自ら学ぶ力 学習定着のための方略									
32	学びの基礎力 自ら学ぶ力 学習定着のための方略	授業で習ったことをふだんの生活と結びつけて考えている。	68.2	72.8	69.4	67.4	63.1	9.7	48	
	学びの基礎力									
	自ら学ぶ力 学習定着のための方略									
33	学びの基礎力 自ら学ぶ力 学習計画力	習った内容の中で、何がまだ理解できていないか、わかっている。	79.4	85.2	81.4	78.4	72.6	12.6	26	
	学びの基礎力									
	自ら学ぶ力 学習計画力									
34	学びの基礎力 自ら学ぶ力 学習計画力	その日のめあてを決めて、授業や家で学習に取り組んでいる。	60.5	64.2	60.1	60.6	57.1	7.1	71	
	学びの基礎力									
	自ら学ぶ力 学習計画力									
35	学びの基礎力 自ら学ぶ力 学習計画力	自分で学習の計画を立てている。	59.2	67.4	60.8	57.0	51.7	15.7	16	
	学びの基礎力									
	自ら学ぶ力 学習計画力									
36	学びの基礎力 学びを律する力 学習継続力	目標に向けて、ふだんからこつこつ学習している。	70.6	81.7	74.5	67.0	59.3	22.4	3	
	学びの基礎力									
	学びを律する力 学習継続力									

質問番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	川崎市	川崎市学力層別						質 差 の 大 き い 順 位
				A層	B層	C層	D層	A の 差 D 層		
37	学びの基礎力 学びを律する力 学習継続力	わからないことはそのままにせず、わかるまで努力している。	76.0	83.8	78.4	74.6	67.1	16.7	10	
	学びの基礎力									
	学びを律する力 学習のけじめ									
38	学びの基礎力 学びを律する力 学習のけじめ	学習を始めたら、他のことに気をとられないで、集中している。	90.2	93.6	91.9	91.2	84.1	9.5	50	
	学びの基礎力									
	学びを律する力 学習のけじめ									
39	学びの基礎力 学びを律する力 学習のけじめ	かん違いや思いこみがないか、しっかり見直しをしている。	76.2	80.2	76.6	75.9	72.2	8.0	66	
	学びの基礎力									
	学びを律する力 学習のけじめ									
40	学びの基礎力 学びを律する力 学習環境の整備	正しい姿勢で学習している。	73.3	77.1	74.0	73.9	68.1	9.0	55	
	学びの基礎力									
	学びを律する力 学習環境の整備									
41	学びの基礎力 学びを律する力 学習環境の整備	必要なものをきちんとそろえてから、学習を始めている。	89.0	91.8	91.6	89.0	83.4	8.4	63	
	学びの基礎力									
	学びを律する力 学習環境の整備									
42	学びの基礎力 学びを律する力 授業を受ける姿勢	授業を集中して受けている。	90.5	94.7	92.9	90.8	83.6	11.1	35	
	学びの基礎力									
	学びを律する力 授業を受ける姿勢									
43	社会的実践力 問題解決力	調べてわかったことをもとに、考えをまとめることができる。	73.9	82.3	76.1	72.2	65.0	17.3	9	
	社会的実践力									
	問題解決力									
44	社会的実践力 問題解決力	筋道を立てて、ものごとを考えることができる。	75.9	84.2	78.4	73.2	67.8	16.4	13	
	社会的実践力									
	問題解決力									
45	社会的実践力 問題解決力	自分の意見や考えを相手にわかりやすく伝えることができる。	71.6	79.7	73.5	69.1	64.1	15.6	17	
	社会的実践力									
	問題解決力									
46	社会的実践力 問題解決力	調べたことを、パソコンを使ってまとめたり、発表したりすることができる。	76.4	82.5	79.0	76.1	68.1	14.4	20	
	社会的実践力									
	問題解決力									
47	社会的実践力 社会参画力	テレビのニュースや新聞などで、最近の社会のできごとをよく知っている。	71.2	81.0	73.9	69.5	60.5	20.5	5	
	社会的実践力									
	社会参画力									
48	社会的実践力 社会参画力	社会で問題になっていることについて、どうすればよいか、考えたことがある。	65.5	72.7	66.6	62.2	60.6	12.1	30	
	社会的実践力									
	社会参画力									

質問番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	川崎市	川崎市学力層別					質問の大きさ の順位
				A層	B層	C層	D層	AID層の差	
49	社会的実践力	自分がやらなければならないことは、責任を持ってやりぬくことができる。	82.8	87.7	85.7	82.4	75.4	12.3	28
	豊かな心								
50	社会的実践力	難しいことでも、失敗をおそれないで、取り組んでいる。	78.1	82.7	80.2	78.4	71.0	11.7	31
	豊かな心								
51	社会的実践力	いつも新しいアイデアを考えたり、工夫したりしている。	76.8	84.0	77.9	74.8	70.7	13.3	23
	豊かな心								
52	社会的実践力	自分と違う意見も尊重している。	88.4	93.2	89.7	88.1	82.6	10.6	42
	豊かな心								
53	社会的実践力	自分には、先生や友だちからほめられるような得意なことがある。	81.4	86.0	82.2	82.1	75.3	10.7	41
	自己成長力								
54	社会的実践力	自分の力をできるだけ伸ばしたいと思う。	92.7	96.1	94.2	92.0	88.7	7.4	69
	自己成長力								
95	学級力	私は、みんなで決めた学級目標に力を合わせて取り組んでいる。	85.9	90.0	88.7	85.7	79.0	11.0	38
	やりとげる力								
96	学級力	私は、係や当番の活動に責任を持って取り組んでいる。	90.3	94.7	92.1	90.8	83.5	11.2	32
	やりとげる力								
97	学級力	私は、自分たちの学習や生活をよくするための話し合いや活動に、進んで取り組んでいる。	76.2	79.6	77.5	76.2	71.3	8.3	65
	やりとげる力								
98	学級力	私は、学校や授業で発言している人の話を最後までしっかり聞いている。	89.6	93.8	91.4	90.3	82.6	11.2	32
	対話力								
99	学級力	私は、友だちの話に賛成・反対・つけたしと、つなげるように発言している。	71.5	76.3	71.6	71.2	66.8	9.5	50
	対話力								
100	学級力	私は、話し合いのとき、考えや意見を進んで出している。	72.1	78.9	72.4	70.5	66.5	12.4	27
	対話力								

質問番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	川崎市	川崎市学力層別					質問の大きさ の順位
				A層	B層	C層	D層	AID層の差	
101	学級力	私は、家庭学習や調査前学習などで、教え合いをしている。	85.0	89.5	86.1	84.8	79.6	9.9	44
	支え合う力								
102	学級力	私は、小さなけんかやトラブルは、話し合いで解決している。	88.4	90.1	89.3	89.5	84.8	5.3	80
	支え合う力								
103	学級力	私は、「ありがとう」を伝え合っている。	92.3	93.8	93.2	93.3	88.7	5.1	82
	支え合う力								
104	学級力	私は、友だちをばかにしたりからかったりせず、一人ひとりの心や命を大切にしている。	87.0	91.1	88.4	87.1	81.3	9.8	46
	共生力								
105	学級力	私は、友だちの間に上下関係なく、誰とも平等に接している。	83.3	85.8	84.7	83.0	79.6	6.2	76
	共生力								
106	学級力	私は、友だちのよいところやがんばりを認めて伝え合っている。	79.0	80.8	79.7	79.8	75.9	4.9	83
	共生力								
107	学級力	私は、授業中にむだなおしゃべりをしない。	83.1	86.4	85.0	83.2	77.7	8.7	59
	規律力								
108	学級力	私は、あいさつ、服装、持ち物などについて、学校のまきまりを守っている。	87.3	92.3	89.4	87.2	80.1	12.2	29
	規律力								
109	学級力	私は、校外でも人の迷惑にならないように考えて行動している。	91.1	94.4	93.5	91.6	85.0	9.4	52
	規律力								
110	家庭学習力	家で学習していて、わからないときは教えてくれる人がいる。	90.9	93.5	92.6	91.2	86.2	7.3	70
111	家庭学習力	家で学習するときは、苦手な教科もしっかりと学習している。	83.0	90.8	85.9	80.8	74.2	16.6	11
112	家庭学習力	学校の先生が出した宿題をきちんとやりとげている。	94.1	98.0	96.9	94.3	87.1	10.9	39

質問番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	川崎市	川崎市学力層別						差の大きい順位の
				A層	B層	C層	D層	Aの差D層		
113	家庭学習力	次の日の授業に必要な教科書やノートなどは、前の日に準備している。	88.1	91.7	89.5	88.2	82.8	8.9	57	
114	家庭学習力	自分の得意な分野をさらに伸ばすために、家で自分なりに学んでいることがある。	78.3	83.2	79.7	78.2	72.1	11.1	35	
115	家庭学習力	テレビやラジオをつけずに集中して学習している。	81.4	88.9	83.9	80.0	72.8	16.1	15	
116	家庭学習力	授業で習ったことは、その日のうちに復習している。	55.4	56.8	53.9	55.2	55.6	1.2	90	
79	学習方略 国語	国語の授業で、わからない言葉があれば、国語辞典で調べるようにしている。	57.7	66.5	60.5	54.9	48.7	17.8	7	
80	学習方略 国語	国語の授業で、文章の書き方のよい例を参考にしながら書くことがある。	78.8	88.2	83.7	76.6	66.7	21.5	4	
81	学習方略 国語	国語の授業で、物語を作ったことがある。	90.3	96.6	94.3	90.2	80.0	16.6	11	
82	学習方略 国語	国語の授業で、グループで話し合いや教え合いをしている。	86.1	91.5	88.7	85.7	78.6	12.9	25	
83	学習方略 算数	算数・数学の授業で、グループで協力して問題を解いて発表することがある。	69.0	71.2	70.9	69.6	64.4	6.8	72	
84	学習方略 算数	算数・数学の授業で、文章や式、図や表などを組み合わせて自分の考えを説明したことがある。	71.7	83.9	76.9	69.3	56.6	27.3	2	
85	学習方略 算数	算数・数学の宿題で、文章題を作ったことがある。	62.6	69.9	64.5	61.5	54.5	15.4	19	
86	学習方略 算数	算数・数学の授業で、グループで話し合いや教え合いをしている。	73.7	79.6	76.0	73.6	65.6	14.0	21	

質問番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	川崎市	川崎市学力層別						差の大きい順位の
				A層	B層	C層	D層	Aの差D層		
87	学習方略 社会	社会の授業で、テレビや電子黒板などを使って、写真や地図・グラフなどを見ることがある。	72.2	77.8	72.6	71.4	66.7	11.1	35	
88	学習方略 社会	社会の授業で、調べたことを、新聞形式でまとめたことがある。	57.3	59.2	58.8	56.3	54.9	4.3	85	
89	学習方略 社会	社会の授業で、いま、世の中で起こっていることについて、資料をもとにして考えることがある。	54.8	55.9	55.6	54.6	53.1	2.8	88	
90	学習方略 社会	社会の授業で、グループで話し合いや教え合いをしている。	72.7	76.5	74.2	72.0	68.1	8.4	63	
91	学習方略 理科	理科の授業で、実験や調査に取り組む前に、仮説を立てたり結果を予想したりしている。	89.5	96.1	93.3	88.9	79.7	16.4	13	
92	学習方略 理科	理科の授業で、テレビや電子黒板などを使って、実験や観察のようすや自然のいろいろなようすなどについて、写真や映像などを見ることがある。	80.8	86.4	82.9	80.3	73.4	13.0	24	
93	学習方略 理科	理科の授業で、実験や調査が終わったあとに、気づいたことや新しい疑問などについて、話し合ったりまとめたりしている。	76.9	85.7	79.0	75.0	67.9	17.8	7	
94	学習方略 理科	理科の授業で、グループで話し合いや教え合いをしている。	76.8	80.7	78.1	76.2	72.2	8.5	61	
55	教科について 教科の好き嫌い	国語	67.7	77.8	69.6	64.8	58.5	19.3		
56	教科について 教科の好き嫌い	社会	64.3	72.6	65.8	60.4	58.4	14.2		
57	教科について 教科の好き嫌い	算数・数学	72.3	86.7	79.4	69.3	53.9	32.3		
58	教科について 教科の好き嫌い	理科	84.8	89.5	85.9	83.4	80.5	9.0		

質問番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	川崎市	川崎市学力層別					質問の大きさ の順位
				A層	B層	C層	D層	AID層の差	
59	教科について	音楽	80.3	82.7	81.3	80.1	76.8	5.9	
	教科の好き嫌い								
60	教科について	図画工作・美術	89.5	88.3	89.4	90.2	90.3	-2.0	
	教科の好き嫌い								
61	教科について	保健体育	89.6	87.8	89.4	91.2	90.2	-2.4	
	教科の好き嫌い								
62	教科について	総合的な学習の時間・生活	80.9	84.2	82.6	80.6	76.3	7.9	
	教科の好き嫌い								
63	教科について	道徳	72.7	71.4	72.6	74.2	72.4	-1.0	
	教科の好き嫌い								
64	教科について	学級活動	86.9	91.3	89.5	87.8	79.2	12.1	
	教科の好き嫌い								
65	教科について	国語	86.3	95.2	90.7	86.0	73.4	21.8	
	教科の理解度								
66	教科について	社会	81.2	91.3	85.8	78.7	68.9	22.4	
	教科の理解度								
67	教科について	算数・数学	84.3	96.2	91.5	84.2	65.3	30.9	
	教科の理解度								
68	教科について	理科	90.4	96.2	92.5	90.0	82.8	13.4	
	教科の理解度								
69	教科について	音楽	86.9	91.4	88.3	86.9	80.9	10.5	
	教科の理解度								
70	教科について	図画工作・美術	92.9	94.4	93.7	93.1	90.5	3.9	
	教科の理解度								
71	教科について	保健体育	93.7	94.5	94.2	94.2	91.8	2.7	
	教科の理解度								

質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)							
			ほとんど見ない	30分くらい	1時間くらい	1時間30分くらい	2時間くらい	2時間30分くらい	3時間より長く勉強する	その他無回答
75	要素 学習時間	川崎市	13.0	27.3	19.6	11.7	7.6	6.2	14.1	0.6
	小要素 平日									
	あなたは、学校の授業がある月曜日から金曜日に、学校の授業以外で1日にどれくらい勉強していますか？(じゅくで勉強している時間や、家庭教師の先生にみてもらっている時間もふくみます。)	川崎市 A層	6.1	19.1	16.8	11.9	10.3	9.7	25.8	0.4
		川崎市 B層	9.9	26.4	20.9	12.7	7.9	6.6	15.1	0.5
		川崎市 C層	13.4	30.1	21.8	12.3	7.1	5.4	9.5	0.4
		川崎市 D層	22.8	33.5	18.9	9.8	4.9	3.0	6.0	1.2
76	要素 学習時間	川崎市	21.1	28.6	19.4	10.5	7.1	4.5	8.5	0.4
	小要素 休日									
	あなたは、土曜日や日曜日など、学校が休みの日に、1日にどれくらい勉強していますか。(じゅくで勉強している時間や、家庭教師の先生にみてもらっている時間もふくみます。)	川崎市 A層	11.6	20.9	20.8	11.7	11.6	7.2	16.0	0.2
		川崎市 B層	18.0	28.0	20.9	12.2	7.0	4.9	9.0	0.1
		川崎市 C層	24.2	31.9	19.2	10.4	5.5	3.6	5.2	0.1
		川崎市 D層	30.6	33.7	16.9	7.7	4.1	2.3	3.7	1.1
72	要素 読書冊数	川崎市	16.4	23.9	17.8	11.6	6.5	5.4	17.8	0.6
	小要素									
	あなたは、この1か月の間に本を何冊くらい読みましたか。(教科書や参考書、マンガは数にいません。)	川崎市 A層	7.2	18.2	18.5	14.0	9.0	6.5	26.5	0.3
		川崎市 B層	13.2	24.2	17.6	12.4	7.0	5.8	19.4	0.4
		川崎市 C層	17.4	27.4	19.5	10.8	5.5	5.2	13.8	0.4
		川崎市 D層	28.0	25.9	15.9	9.1	4.3	4.1	11.5	1.2
73	要素 テレビを見る時間	川崎市	11.8	15.2	19.3	13.9	11.6	8.0	19.7	0.5
	小要素 平日									
	あなたは、学校の授業がある月曜日から金曜日に、1日にどれくらいテレビを見ますか。	川崎市 A層	12.0	14.7	22.2	15.1	13.4	7.4	15.0	0.2
		川崎市 B層	9.6	12.8	19.5	14.9	12.9	9.0	20.9	0.4
		川崎市 C層	10.4	15.0	18.1	14.5	10.9	8.8	22.0	0.3
		川崎市 D層	15.2	18.3	17.2	11.1	9.3	6.8	20.9	1.1
74	要素 テレビを見る時間	川崎市	12.6	13.5	15.6	13.5	12.7	9.4	22.1	0.5
	小要素 休日									
	あなたは、土曜日や日曜日など、学校が休みの日に、1日にどれくらいテレビを見ますか。	川崎市 A層	9.3	11.6	17.7	15.6	15.1	10.5	19.9	0.3
		川崎市 B層	9.8	11.4	14.3	14.6	14.5	11.2	23.7	0.4
		川崎市 C層	12.6	14.1	14.6	13.1	12.7	8.9	23.7	0.3
		川崎市 D層	18.8	16.6	15.7	11.0	8.5	7.0	21.2	1.1

川崎市独自調査(質問番号 117～)は、「とてもあてはまる」「まああてはまる」と回答した児童生徒の割合を合わせた値を、肯定的な回答をした児童生徒の割合とする

質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)							その他無回答	
			ほとんどしない	30分くらい	1時間くらい	1時間30分くらい	2時間くらい	2時間30分くらい	3時間より長くゲームをする		
77	要素	川崎市	24.1	17.6	20.3	10.9	9.1	4.8	12.6	0.5	
	小要素										
	あなたは、学校の授業がある月曜日から金曜日に、1日にどれくらいゲームをしますか。	A層	川崎市	33.4	19.0	21.0	9.1	7.4	3.9	6.0	0.3
		B層	川崎市	23.7	18.0	21.4	11.5	8.6	5.0	11.4	0.3
		C層	川崎市	22.3	16.6	20.8	11.5	10.7	4.7	13.1	0.3
D層		川崎市	17.2	16.8	18.0	11.5	9.6	5.6	20.1	1.2	
78	ゲームをする時間	川崎市	19.0	14.3	19.3	11.0	11.4	6.3	18.0	0.5	
78	ゲームをする時間	川崎市	19.0	14.3	19.3	11.0	11.4	6.3	18.0	0.5	
78	要素	川崎市	19.0	14.3	19.3	11.0	11.4	6.3	18.0	0.5	
	小要素										
	あなたは、土曜日や日曜日など、学校が休みの日に、1日にどれくらいゲームをしますか。	A層	川崎市	23.7	15.5	22.3	10.9	11.4	5.1	10.8	0.2
		B層	川崎市	18.3	14.4	20.5	11.2	11.9	6.7	16.7	0.3
		C層	川崎市	18.4	13.7	18.7	11.5	11.4	7.0	19.0	0.3
D層		川崎市	15.7	13.6	16.0	10.6	10.7	6.5	25.7	1.2	
117	追加質問	川崎市	33.2	36.7	18.6	10.4				1.1	
117	追加質問	川崎市	33.2	36.7	18.6	10.4				1.1	
117	要素	川崎市	33.2	36.7	18.6	10.4				1.1	
	小要素										
	勉強は、すきである。	A層	川崎市	45.1	36.3	12.7	5.8				0.1
		B層	川崎市	33.5	38.7	18.6	8.8				0.4
		C層	川崎市	28.8	38.9	20.0	11.5				0.9
D層		川崎市	25.4	33.2	23.0	15.5				2.9	
118	追加質問	川崎市	79.8	14.5	3.3	1.3				1.1	
118	追加質問	川崎市	79.8	14.5	3.3	1.3				1.1	
118	要素	川崎市	79.8	14.5	3.3	1.3				1.1	
	小要素										
	勉強をすることは、大切なことだと思う。	A層	川崎市	87.9	9.8	1.5	0.6				0.1
		B層	川崎市	83.7	12.3	2.9	0.7				0.4
		C層	川崎市	78.9	16.0	3.1	1.2				0.8
D層		川崎市	68.9	19.8	5.8	2.6				2.9	
119	追加質問	川崎市	35.8	39.9	18.4	4.7				1.2	
119	追加質問	川崎市	35.8	39.9	18.4	4.7				1.2	
119	要素	川崎市	35.8	39.9	18.4	4.7				1.2	
	小要素										
	わかった点・わからなかった点を見直し、次の学習に繋げている。	A層	川崎市	42.2	40.3	14.8	2.5				0.1
		B層	川崎市	38.4	39.8	17.3	4.0				0.4
		C層	川崎市	33.6	41.8	18.9	4.7				1.0
D層		川崎市	29.1	37.6	22.6	7.7				3.0	

質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)				その他無回答	
			とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない		
120	要素	川崎市	36.8	29.8	22.0	10.3	1.2	
	小要素							
	家で自分で計画を立てて勉強している。	A層	川崎市	45.5	29.7	17.8	6.9	0.1
		B層	川崎市	37.5	30.6	22.2	9.3	0.4
		C層	川崎市	33.6	30.0	24.4	11.0	0.9
D層		川崎市	30.7	28.7	23.7	13.9	3.0	
121	追加質問	川崎市	70.5	20.6	5.6	2.2	1.2	
121	追加質問	川崎市	70.5	20.6	5.6	2.2	1.2	
121	要素	川崎市	70.5	20.6	5.6	2.2	1.2	
	小要素							
	授業で学んだことは、将来、社会に出たときに、役に立つ。	A層	川崎市	79.8	16.2	3.1	0.8	0.2
		B層	川崎市	76.5	18.2	3.6	1.2	0.5
		C層	川崎市	70.0	21.8	5.4	1.9	0.9
D層		川崎市	55.9	26.1	10.1	4.8	3.0	
122	追加質問	川崎市	67.0	21.9	6.9	3.0	1.2	
122	追加質問	川崎市	67.0	21.9	6.9	3.0	1.2	
122	要素	川崎市	67.0	21.9	6.9	3.0	1.2	
	小要素							
	学級みんなで協力して何かをやりとげ、うれしかったことがある。	A層	川崎市	71.9	20.0	5.7	2.2	0.1
		B層	川崎市	70.8	19.8	6.4	2.5	0.5
		C層	川崎市	67.0	22.7	6.6	2.7	1.0
D層		川崎市	58.3	25.0	9.0	4.7	3.0	
123	追加質問	川崎市	70.6	15.1	7.2	5.8	1.2	
123	追加質問	川崎市	70.6	15.1	7.2	5.8	1.2	
123	要素	川崎市	70.6	15.1	7.2	5.8	1.2	
	小要素							
	将来の夢や目標を持っている。	A層	川崎市	73.3	13.7	7.0	5.9	0.1
		B層	川崎市	73.3	14.0	6.6	5.6	0.5
		C層	川崎市	71.4	15.5	6.9	5.1	1.0
D層		川崎市	64.5	17.3	8.4	6.6	3.1	
124	追加質問	川崎市	76.7	16.6	4.0	1.5	1.2	
124	追加質問	川崎市	76.7	16.6	4.0	1.5	1.2	
124	要素	川崎市	76.7	16.6	4.0	1.5	1.2	
	小要素							
	人の役に立つ人間になりたいと思う。	A層	川崎市	82.2	15.2	2.1	0.4	0.1
		B層	川崎市	81.4	14.5	2.7	1.0	0.5
		C層	川崎市	76.8	17.1	3.6	1.5	1.0
D層		川崎市	66.6	19.6	7.5	3.3	3.1	

質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)					その他無回答
			とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない		
125	要素 追加質問 小要素	川崎市	61.6	29.3	6.1	1.7	1.2	
	人が困っているときは、進んで助けている。	A層 川崎市 B層 C層 D層	62.0 63.3 63.3 58.2	32.2 29.2 28.8 27.1	4.8 6.0 5.6 8.2	0.8 1.1 1.4 3.5	0.2 0.5 0.9 3.0	
126	要素 追加質問 小要素	川崎市	58.6	24.9	9.2	6.1	1.2	
	自分には、よいところがあると思う。	A層 川崎市 B層 C層 D層	65.4 61.5 57.4 50.2	22.0 24.1 26.3 27.3	7.8 8.3 9.1 11.6	4.7 5.6 6.2 7.9	0.1 0.5 0.9 3.1	
127	要素 追加質問 小要素	川崎市	40.0	28.6	17.7	12.5	1.2	
	不安や悩み、ストレスがあるとき、誰かに相談できている。	A層 川崎市 B層 C層 D層	39.8 40.8 40.8 38.5	31.1 28.7 28.0 26.8	18.8 17.1 17.1 17.6	10.1 12.9 13.1 14.0	0.1 0.5 0.9 3.1	
128	要素 追加質問 小要素	川崎市	54.2	27.0	11.6	6.0	1.2	
	困ったとき、悩んだときは、身近な大人が話を聞いてくれる。	A層 川崎市 B層 C層 D層	58.4 56.2 53.2 49.2	27.5 26.7 27.4 26.2	9.2 11.0 12.7 13.5	4.7 5.7 5.7 8.0	0.2 0.5 1.0 3.1	
129	要素 追加質問 小要素	川崎市	54.0	29.3	10.7	4.7	1.3	
	自分のことは自分で決められるよう、身近な大人が助けてくれる。	A層 川崎市 B層 C層 D層	57.6 55.6 53.9 49.2	30.0 29.8 29.1 28.2	8.2 9.9 11.1 13.7	4.0 4.1 4.9 5.7	0.2 0.6 1.0 3.2	
130	要素 追加質問 小要素	川崎市	74.5	16.1	5.6	2.6	1.2	
	自分の住んでいる町がすきである。	A層 川崎市 B層 C層 D層	77.7 76.6 74.9 68.9	15.4 15.6 16.1 17.2	4.5 4.9 5.5 7.3	2.2 2.4 2.4 3.5	0.2 0.5 1.0 3.1	

質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)					その他無回答
			とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない		
131	要素 追加質問 小要素	川崎市	28.4	31.1	23.6	15.5	1.5	
	今、住んでいる地域の行事に参加している。	A層 川崎市 B層 C層 D層	29.2 27.4 25.9 31.1	31.9 31.5 31.7 29.3	24.5 25.1 24.5 20.0	14.2 15.2 16.8 15.9	0.2 0.8 1.1 3.7	
132	要素 追加質問 小要素	川崎市	37.0	31.2	21.4	9.0	1.4	
	地域や社会をよりよくするために、何をすべきか考えたことがある。	A層 川崎市 B層 C層 D層	39.3 37.1 36.2 35.5	31.5 31.5 31.5 30.2	21.2 22.9 21.7 19.9	7.7 8.0 9.6 10.8	0.2 0.5 1.1 3.7	
133	要素 追加質問 小要素	川崎市	69.8	20.3	5.8	2.7	1.4	
	GIGA端末は学習の役に立つと思う。	A層 川崎市 B層 C層 D層	75.1 74.2 70.3 59.7	18.7 18.1 21.2 23.2	4.3 4.8 5.0 9.1	1.6 2.4 2.5 4.2	0.2 0.5 1.1 3.9	
134	要素 追加質問 小要素	川崎市	22.8	30.2	27.8	17.8	1.5	
	前の学年までの授業で、ICT機器をどの程度使いましたか。	A層 川崎市 B層 C層 D層	17.8 21.9 23.8 27.6	28.0 30.1 30.6 32.1	33.2 29.0 26.6 22.3	20.7 18.4 17.8 14.3	0.3 0.6 1.2 3.8	
135	要素 追加質問 小要素	川崎市	22.4	31.8	28.5	15.8	1.5	
	学校の授業がある月曜日から金曜日、一日にどれくらいスマートフォンやGIGA端末などのICT機器を、勉強のために使っていますか。	A層 川崎市 B層 C層 D層	16.2 20.0 23.6 29.6	32.2 32.2 33.8 28.9	35.8 30.2 26.2 22.1	15.5 16.9 15.3 15.5	0.2 0.7 1.1 3.9	
136	要素 追加質問 小要素	川崎市	20.9	25.1	26.6	25.8	1.5	
	土曜日や日曜日など、学校が休みの日に、1日にどれくらいスマートフォンやGIGA端末などのICT機器を、勉強のために使っていますか。	A層 川崎市 B層 C層 D層	14.5 18.7 23.0 27.7	23.8 25.5 26.9 24.0	33.0 27.0 24.0 22.5	28.5 28.1 24.9 22.0	0.3 0.7 1.2 3.9	

【小学校 第5学年】

質問番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	川崎市	川崎市学力層別					A I D の差 層	質 問 の 大 き い 順 位
				A 層	B 層	C 層	D 層	A 層		
1	学びの基礎力	友だちと外で遊んでいる。	81.3	73.3	80.6	86.1	85.4	-12.1	91	
	豊かな基礎体験 基礎体験									
2	学びの基礎力	ゲーム機やケータイ、スマートフォンでゲームをしている。	84.7	76.2	84.2	88.7	89.9	-13.7	92	
	豊かな基礎体験 基礎体験									
3	学びの基礎力	本や新聞を読んでいる。	63.3	81.5	68.7	58.3	44.7	36.8	2	
	豊かな基礎体験 基礎体験									
4	学びの基礎力	パソコンやインターネットを使う。	75.6	79.8	77.6	75.5	69.7	10.1	61	
	豊かな基礎体験 基礎体験									
5	学びの基礎力	放課後や土曜日などに、学校の活動や集まりがあれば、参加している。	47.5	49.2	50.3	47.3	43.2	6.0	83	
	豊かな基礎体験 基礎体験									
6	学びの基礎力	ゲーム機やケータイ、スマートフォンでゲームをするときは、家の人と時間についてルールを決めている。(ゲームをしない人は、1番を選んでください。)	77.7	88.4	82.7	75.5	64.2	24.2	10	
	豊かな基礎体験 基礎体験									
7	学びの基礎力	ケータイやスマートフォンで電話やメールをするときは、家の人と時間を決めている。(ケータイやスマートフォンで電話やメールをしない人は、1番を選んでください。)	69.5	72.7	72.4	69.8	63.2	9.5	65	
	豊かな基礎体験 基礎体験									
8	学びの基礎力	家的人是自分のことを気にかけてくれていると思う	94.3	96.9	95.1	94.7	90.5	6.4	81	
	豊かな基礎体験 基礎体験									
9	学びの基礎力	今まで教えてもらった学校の先生は、自分のことを認めてくれていたと思う。	91.0	94.0	92.7	91.0	86.2	7.8	75	
	豊かな基礎体験 基礎体験									
10	学びの基礎力	勉強やスポーツのことで、家の人に応えんしてくれる。	91.0	95.1	92.5	90.9	85.7	9.4	66	
	豊かな基礎体験 基礎体験									
11	学びの基礎力	将来の夢やこれからの進路について家の人と話を	61.2	67.7	62.5	58.3	56.5	11.2	52	
	豊かな基礎体験 基礎体験									
12	学びの基礎力	新聞に書かれていることについて家の人と話をす	27.3	35.6	27.1	23.3	23.1	12.5	47	
	豊かな基礎体験 基礎体験									

質問番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	川崎市	川崎市学力層別					A I D の差 層	質 問 の 大 き い 順 位
				A 層	B 層	C 層	D 層	A 層		
13	学びの基礎力	朝食は毎日食べている。	92.7	96.5	95.3	93.2	85.9	10.6	55	
	豊かな基礎体験 基本的生活習慣									
14	学びの基礎力	朝、起こされなくても自分で起きている。	68.2	69.9	69.6	69.3	64.1	5.8	85	
	豊かな基礎体験 基本的生活習慣									
15	学びの基礎力	夜は決まった時間になている。	57.1	58.2	58.4	57.2	54.8	3.4	90	
	豊かな基礎体験 基本的生活習慣									
16	学びの基礎力	家の人からたよりにされて、何かの役割をまかされている。	70.1	70.2	70.9	72.8	66.4	3.8	89	
	豊かな基礎体験 基本的生活習慣									
17	学びの基礎力	食器の後かたづけなど、自分のことは自分でしている。	74.4	77.2	75.8	75.0	69.6	7.6	76	
	豊かな基礎体験 基本的生活習慣									
18	学びの基礎力	ふだんから「不思議だな」「なぜだろう」と感じる	71.0	80.2	73.7	68.2	61.9	18.3	24	
	学びに向かう力 感じ取る力									
19	学びの基礎力	本やドラマなどを見て、人の生き方に感動することがある。	63.0	69.1	66.2	61.3	55.4	13.7	40	
	学びに向かう力 感じ取る力									
20	学びの基礎力	学習していて、おもしろい、楽しいと思うことがある。	75.8	86.2	79.7	74.4	63.0	23.2	14	
	学びに向かう力 感じ取る力									
21	学びの基礎力	学習して身につけた知識は、いずれ仕事や生活の中で役に立つと思う。	92.1	96.0	94.3	92.6	85.8	10.2	60	
	学びに向かう力 学習動機									
22	学びの基礎力	学習して、わかったりできたりするが増えるのは、うれしい。	90.2	93.1	90.9	90.6	86.0	7.1	79	
	学びに向かう力 学習動機									
23	学びの基礎力	学校に行くのが楽しい。	82.2	85.9	84.1	81.9	76.9	9.0	69	
	学びに向かう力 学習動機									
24	学びの基礎力	同じ間違いをしないように気をつけている。	90.2	93.2	92.4	90.6	84.6	8.6	72	
	学びに向かう力 自己責任									

質問番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	川崎市	川崎市学力層別					質問の大きさ の順位
				A層	B層	C層	D層	A/Dの差	
25	学びの基礎力	努力をすれば、自分もたいいのことはできと思う。	90.0	92.3	91.3	90.6	85.6	6.7	80
	学びに向かう力								
	自己有能感								
26	学びの基礎力	ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある。	92.0	95.1	93.9	92.2	86.8	8.3	74
	学びに向かう力								
	達成感								
27	学びの基礎力	黒板に書かれていないことでも、大事なことはノートに書きとめている。	69.0	72.1	70.4	70.0	63.5	8.6	72
	自ら学ぶ力								
	学習スキル								
28	学びの基礎力	テストで間違えた問題は、もう一度やり直している。	72.2	80.5	73.2	70.6	64.7	15.8	30
	自ら学ぶ力								
	学習スキル								
29	学びの基礎力	授業で学んだことを自分なりにノートにまとめ直している。	59.2	61.1	61.9	59.9	53.9	7.2	78
	自ら学ぶ力								
	学習スキル								
30	学びの基礎力	新しく習ったことは、何度もくり返して練習している。	58.8	67.9	61.4	56.2	49.8	18.1	25
	自ら学ぶ力								
	学習定着のための方略								
31	学びの基礎力	授業で習ったことはそのまま覚えるのではなく、その理由や考え方も一緒に理解しようとしている。	71.2	85.7	75.8	67.2	56.3	29.4	4
	自ら学ぶ力								
	学習定着のための方略								
32	学びの基礎力	授業で習ったことをふだんの生活と結びつけて考えている。	69.1	75.8	72.3	68.2	60.1	15.7	31
	自ら学ぶ力								
	学習定着のための方略								
33	学びの基礎力	習った内容の中で、何がまだ理解できていないか、わかっている。	81.4	87.0	83.8	81.7	73.0	14.0	39
	自ら学ぶ力								
	学習計画力								
34	学びの基礎力	その日のめあてを決めて、授業や家で学習に取り組んでいる。	57.7	65.6	59.7	54.3	51.3	14.3	38
	自ら学ぶ力								
	学習計画力								
35	学びの基礎力	自分で学習の計画を立てている。	57.9	70.0	62.2	53.1	46.1	23.9	12
	自ら学ぶ力								
	学習計画力								
36	学びの基礎力	目標に向けて、ふだんからこつこつ学習している。	66.4	82.1	71.5	61.4	50.7	31.4	3
	学びを律する力								
	学習継続力								

質問番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	川崎市	川崎市学力層別					質問の大きさ の順位
				A層	B層	C層	D層	A/Dの差	
37	学びの基礎力	わからないことはそのままにせず、わかるまで努力している。	73.2	85.4	77.1	69.9	60.3	25.1	6
	学びを律する力								
	学習継続力								
38	学びの基礎力	学習を始めたら、他のことに気をとられないで、集中している。	66.0	71.1	67.6	65.3	60.1	11.0	54
	学びを律する力								
	学習のけじめ								
39	学びの基礎力	かん違いや思いこみがないか、しっかり見直しをしている。	75.5	81.5	78.1	74.6	68.0	13.5	41
	学びを律する力								
	学習のけじめ								
40	学びの基礎力	正しい姿勢で学習している。	68.8	72.0	71.3	68.9	63.2	8.8	70
	学びを律する力								
	学習環境の整備								
41	学びの基礎力	必要なものをきちんとそろえてから、学習を始めている。	88.8	92.4	90.9	89.4	82.4	10.0	64
	学びを律する力								
	学習環境の整備								
42	学びの基礎力	授業を集中して受けている。	88.9	93.7	91.3	89.9	80.7	13.0	45
	学びを律する力								
	授業を受ける姿勢								
43	社会的実践力	調べてわかったことをもとに、考えをまとめることができる。	74.6	86.5	78.5	72.1	61.4	25.1	6
	問題解決力								
	社会的実践力								
44	社会的実践力	筋道を立てて、ものごとを考えることができる。	70.4	82.2	74.1	67.9	57.3	24.9	8
	問題解決力								
	社会的実践力								
45	社会的実践力	自分の意見や考えを相手にわかりやすく伝えることができる。	68.7	80.0	72.6	65.6	56.8	23.2	14
	問題解決力								
	社会的実践力								
46	社会的実践力	調べたことを、パソコンを使ってまとめたり、発表したりすることができる。	74.5	86.2	80.2	73.2	58.4	27.8	5
	問題解決力								
	社会的実践力								
47	社会的実践力	テレビのニュースや新聞などで、最近の社会のできごとをよく知っている。	73.0	83.4	77.0	72.9	58.6	24.8	9
	社会参画力								
	社会的実践力								
48	社会的実践力	社会で問題になっていることについて、どうすればよいか、考えたことがある。	67.0	77.7	70.2	63.8	56.2	21.5	20
	社会参画力								
	社会的実践力								

質問番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	川崎市	川崎市学力層別					質問の大きさ 順位
				A層	B層	C層	D層	AID層の差	
49	社会的実践力	自分がやらなければならないことは、責任を持ってやりぬくことができる。	85.6	91.3	88.6	85.7	76.9	14.4	37
	豊かな心								
50	社会的実践力	難しいことでも、失敗をおそれないで、取り組んでいる。	74.9	79.0	76.5	74.5	69.7	9.3	67
	豊かな心								
51	社会的実践力	いつも新しいアイデアを考えたり、工夫したりしている。	75.2	82.8	78.8	73.9	65.1	17.7	26
	豊かな心								
52	社会的実践力	自分と違う意見も尊重している。	84.8	93.8	89.0	84.3	72.2	21.6	19
	豊かな心								
53	社会的実践力	自分には、先生や友だちからほめられるような得意なことがある。	79.2	84.5	80.9	78.9	72.3	12.2	48
	自己成長力								
54	社会的実践力	自分の力をできるだけ伸ばしたいと思う。	93.1	96.8	95.2	92.8	87.5	9.3	67
	自己成長力								
95	学級力	私は、みんなで決めた学級目標に力を合わせて取り組んでいる。	87.5	91.4	89.3	89.1	80.2	11.2	52
	やりとげる力								
96	学級力	私は、係や当番の活動に責任を持って取り組んでいる。	92.3	95.9	94.2	93.3	85.8	10.1	61
	やりとげる力								
97	学級力	私は、自分たちの学習や生活をよくするための話し合いや活動に、進んで取り組んでいる。	76.4	81.5	78.2	76.4	69.5	12.0	50
	やりとげる力								
98	学級力	私は、学校や授業で発言している人の話を最後までしっかり聞いている。	90.7	95.4	92.3	91.3	83.8	11.6	51
	対話力								
99	学級力	私は、友だちの話に賛成・反対・つけたしと、つなげるように発言している。	66.2	73.1	68.3	64.8	58.5	14.6	36
	対話力								
100	学級力	私は、話し合いのとき、考えや意見を進んで出している。	66.0	73.0	68.9	64.0	58.0	15.0	34
	対話力								

質問番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	川崎市	川崎市学力層別					質問の大きさ 順位
				A層	B層	C層	D層	AID層の差	
101	学級力	私は、家庭学習や考前学習などで、教え合いをしている。	85.2	89.9	87.5	85.6	77.7	12.2	48
	支え合う力								
102	学級力	私は、小さなけんかやトラブルは、話し合いで解決している。	87.9	89.6	88.8	88.4	84.8	4.8	87
	支え合う力								
103	学級力	私は、「ありがとう」を伝え合っている。	93.6	95.1	94.1	94.4	90.6	4.5	88
	支え合う力								
104	学級力	私は、友だちをばかにしたりからかったりせず、一人ひとりの心や命を大切にしている。	86.3	90.3	87.9	86.7	80.0	10.3	57
	共生力								
105	学級力	私は、友だちの間に上下関係なく、誰とも平等に接している。	80.3	81.8	81.5	81.8	76.0	5.8	85
	共生力								
106	学級力	私は、友だちのよいところやがんばりを認めて伝え合っている。	78.4	80.6	79.8	78.7	74.7	5.9	84
	共生力								
107	学級力	私は、授業中にむだなおしゃべりをしない。	80.6	86.2	82.8	80.7	72.7	13.5	41
	規律力								
108	学級力	私は、あいさつ、服装、持ち物などについて、学校のきまりを守っている。	86.6	90.1	87.8	88.7	80.0	10.1	61
	規律力								
109	学級力	私は、校外でも人の迷惑にならないように考えて行動している。	91.8	94.7	93.1	93.3	85.9	8.8	70
	規律力								
110	家庭学習力	家で学習していて、わからないときは教えてくれる人がいる。	90.1	93.0	91.0	90.8	85.5	7.5	77
111	家庭学習力	家で学習するときは、苦手な教科もしっかりと学習している。	81.1	91.4	85.1	79.5	68.3	23.1	16
112	家庭学習力	学校の先生が出した宿題をきちんとやりとげている。	94.1	97.2	96.7	95.9	86.9	10.3	57

質問番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	川崎市	川崎市学力層別					質問の大きい順位の差
				A層	B層	C層	D層	AID層の差	
113	家庭学習力	次の日の授業に必要な教科書やノートなどは、前の日に準備している。	86.0	87.8	87.6	87.3	81.4	6.4	81
114	家庭学習力	自分の得意な分野をさらに伸ばすために、家で自分なりに学んでいることがある。	76.5	81.7	79.5	75.5	69.0	12.7	46
115	家庭学習力	テレビやラジオをつけずに集中して学習している。	76.9	85.2	79.4	75.3	67.7	17.5	27
116	家庭学習力	授業で習ったことは、その日のうちに復習している。	46.8	53.8	46.7	43.4	43.3	10.5	56
79	学習方略 国語	国語の授業で、わからない言葉があれば、国語辞典で調べるようにしている。	49.4	59.6	51.1	45.9	40.9	18.7	22
80	学習方略 国語	国語の授業で、文章の書き方のよい例を参考にして書くことがある。	80.0	90.1	84.7	79.0	66.0	24.1	11
81	学習方略 国語	国語の授業で、物語を作ったことがある。	80.6	89.7	85.8	79.4	67.5	22.2	17
82	学習方略 国語	国語の授業で、グループで話し合いや教え合いをしている。	83.5	90.3	86.2	83.1	74.4	15.9	28
83	学習方略 算数	算数・数学の授業で、グループで協力して問題を解いて発表することがある。	64.9	70.6	68.1	66.2	54.7	15.9	28
84	学習方略 算数	算数・数学の授業で、文章や式、図や表などを組み合わせて自分の考えを説明したことがある。	69.2	87.1	77.4	65.9	46.6	40.5	1
85	学習方略 算数	算数・数学の宿題で、文章題を作ったことがある。	54.4	65.7	57.9	52.1	41.8	23.9	12
86	学習方略 算数	算数・数学の授業で、グループで話し合いや教え合いをしている。	72.8	82.2	76.9	71.9	60.2	22.0	18

質問番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	川崎市	川崎市学力層別					質問の大きい順位の差
				A層	B層	C層	D層	AID層の差	
87	学習方略 社会	社会の授業で、テレビや電子黒板などを使って、写真や地図・グラフなどを見ることがある。	78.5	87.0	81.1	77.4	68.5	18.5	23
88	学習方略 社会	社会の授業で、調べたことを、新聞形式でまとめたことがある。	72.9	77.2	77.0	73.5	64.1	13.1	44
89	学習方略 社会	社会の授業で、いま、世の中で起こっていることについて、資料をもとにして考えることがある。	63.5	69.2	67.6	62.7	54.4	14.8	35
90	学習方略 社会	社会の授業で、グループで話し合いや教え合いをしている。	74.1	78.8	76.7	75.2	65.6	13.2	43
91	学習方略 理科	理科の授業で、実験や調査に取り組み前に、仮説を立てたり結果を予想したりしている。	91.2	97.2	94.3	91.2	82.1	15.1	33
92	学習方略 理科	理科の授業で、テレビや電子黒板などを使って、実験や観察のようすや自然のいろいろなようすなどについて、写真や映像などを見ることがある。	86.9	92.8	89.8	87.7	77.2	15.6	32
93	学習方略 理科	理科の授業で、実験や調査が終わったあとに、気づいたことや新しい疑問などについて、話し合ったりまとめたりしている。	80.0	88.4	83.3	79.2	69.3	19.1	21
94	学習方略 理科	理科の授業で、グループで話し合いや教え合いをしている。	79.8	83.5	81.6	80.8	73.2	10.3	57
55	教科について 教科の好き嫌い	国語	64.2	76.0	67.2	61.1	52.4	23.6	
56	教科について 教科の好き嫌い	社会	63.5	72.0	63.7	60.4	57.9	14.1	
57	教科について 教科の好き嫌い	算数・数学	62.5	84.0	70.9	58.1	37.3	46.7	
58	教科について 教科の好き嫌い	理科	81.7	84.4	81.1	81.2	80.0	4.4	

質問番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	川崎市	川崎市学力層別					質問の大きさ の順位
				A層	B層	C層	D層	AID層の差	
59	教科について	音楽	76.7	79.4	78.1	76.7	72.6	6.8	
	教科の好き嫌い								
60	教科について	図画工作・美術	87.3	84.8	87.8	88.0	88.3	-3.5	
	教科の好き嫌い								
61	教科について	保健体育	86.1	82.6	86.1	87.1	88.6	-6.0	
	教科の好き嫌い								
62	教科について	総合的な学習の時間・生活	78.5	82.3	80.0	78.8	72.8	9.5	
	教科の好き嫌い								
63	教科について	道徳	74.0	71.5	74.4	76.4	73.7	-2.2	
	教科の好き嫌い								
64	教科について	学級活動	85.9	90.4	87.2	87.2	78.8	11.6	
	教科の好き嫌い								
65	教科について	国語	86.6	96.7	92.1	86.2	71.3	25.4	
	教科の理解度								
66	教科について	社会	83.5	93.6	87.2	82.9	70.5	23.1	
	教科の理解度								
67	教科について	算数・数学	78.6	97.0	89.7	75.9	51.9	45.1	
	教科の理解度								
68	教科について	理科	89.8	94.8	91.2	89.5	83.7	11.1	
	教科の理解度								
69	教科について	音楽	85.8	90.1	87.7	85.9	79.6	10.5	
	教科の理解度								
70	教科について	図画工作・美術	92.5	93.3	93.6	92.9	90.1	3.2	
	教科の理解度								
71	教科について	保健体育	92.6	92.6	93.3	92.9	91.6	1.0	
	教科の理解度								

質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)							
			ほとんどしない	30分くらい	1時間くらい	1時間30分くらい	2時間くらい	2時間30分くらい	3時間より長く勉強する	その他無回答
75	要素 学習時間	川崎市	12.5	23.5	18.1	11.7	8.4	6.3	19.0	0.4
	小要素 平日									
	あなたは、学校の授業がある月曜日から金曜日に、学校の授業以外で1日にどれくらい勉強していますか？(じゅくて勉強している時間や、家庭教師の先生にみてもらっている時間もふくみます。)	川崎市								
	A層	3.8	13.2	12.5	10.2	9.9	9.0	41.2	0.2	
	B層	8.4	22.2	18.4	13.2	9.6	7.9	20.1	0.3	
76	要素 学習時間	川崎市	20.6	25.0	18.6	9.9	7.6	4.6	13.5	0.3
	小要素 休日									
	あなたは、土曜日や日曜日など、学校が休みの日に、1日にどれくらい勉強していますか。(じゅくて勉強している時間や、家庭教師の先生にみてもらっている時間もふくみます。)	川崎市								
	A層	8.7	14.8	15.6	10.1	11.4	8.1	31.3	0.0	
	B層	16.2	24.8	21.5	11.0	8.7	5.0	12.6	0.1	
72	要素 読書冊数	川崎市	18.9	27.1	17.8	11.8	6.1	4.0	13.9	0.4
	小要素									
	あなたは、この1か月の間に本を何冊くらい読みましたか。(教科書や参考書、マンガは数にいません。)	川崎市								
	A層	8.9	20.0	18.8	15.1	9.0	5.9	22.2	0.1	
	B層	14.6	27.0	18.6	12.8	6.6	5.1	15.2	0.2	
73	要素 テレビを見る時間	川崎市	11.3	12.8	18.1	14.2	13.6	8.4	21.4	0.3
	小要素 平日									
	あなたは、学校の授業がある月曜日から金曜日に、1日にどれくらいテレビを見ますか。	川崎市								
	A層	12.3	14.8	20.5	15.9	13.5	7.2	15.7	0.1	
	B層	10.2	12.0	17.2	14.5	15.5	9.1	21.5	0.2	
74	要素 テレビを見る時間	川崎市	12.2	11.2	14.9	13.0	13.8	9.9	24.6	0.3
	小要素 休日									
	あなたは、土曜日や日曜日など、学校が休みの日に、1日にどれくらいテレビを見ますか。	川崎市								
	A層	10.0	10.5	16.8	14.5	16.2	10.1	22.0	0.1	
	B層	10.2	10.4	14.5	13.6	15.1	9.9	26.0	0.2	

質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)							その他無回答
			ほとんどしない	30分くらい	1時間くらい	1時間30分くらい	2時間くらい	2時間30分くらい	3時間より長くゲームをする	
77	要素 ゲームをする時間 小要素 平日	川崎市	21.5	15.2	19.4	11.8	10.8	5.2	15.8	0.2
		A層	31.8	19.4	20.4	10.6	7.0	3.2	7.5	0.0
		B層	22.1	15.4	21.3	12.0	12.1	4.9	12.1	0.1
		C層	16.8	13.6	19.4	13.7	12.5	6.0	17.9	0.1
		D層	15.2	12.5	16.6	11.1	11.5	6.6	25.7	0.7
	あなたは、学校の授業がある月曜日から金曜日に、1日にどれくらいゲームをしますか。	川崎市								
質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)							その他無回答
			ほとんどしない	30分くらい	1時間くらい	1時間30分くらい	2時間くらい	2時間30分くらい	3時間より長くゲームをする	
78	要素 ゲームをする時間 小要素 休日	川崎市	17.6	12.1	17.8	11.2	12.5	6.8	21.7	0.2
		A層	23.7	14.3	21.8	12.0	11.8	5.2	11.3	0.0
		B層	17.1	13.6	19.0	11.6	13.8	6.8	18.1	0.1
		C層	15.3	10.6	16.8	10.8	13.3	7.0	25.9	0.1
		D層	14.3	9.8	13.7	10.4	11.3	8.2	31.4	0.7
	あなたは、土曜日や日曜日など、学校が休みの日に、1日にどれくらいゲームをしますか。	川崎市								
質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)					その他無回答		
			とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない				
117	要素 追加質問 小要素	川崎市	22.6	37.8	24.6	14.4	0.6			
		A層	35.9	38.9	17.8	7.3	0.1			
		B層	24.2	41.0	23.0	11.6	0.2			
		C層	16.8	39.5	28.5	14.6	0.5			
		D層	13.4	31.7	29.2	23.9	1.8			
	勉強は、すぎである。	川崎市								
質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)					その他無回答		
			とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない				
118	要素 追加質問 小要素	川崎市	75.6	18.3	4.1	1.3	0.6			
		A層	84.9	13.0	1.5	0.5	0.0			
		B層	79.6	16.1	3.1	1.0	0.2			
		C層	74.7	19.5	4.3	0.9	0.5			
		D層	63.5	24.5	7.4	2.9	1.8			
	勉強をすることは、大切なことだと思う。	川崎市								
質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)					その他無回答		
			とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない				
119	要素 追加質問 小要素	川崎市	30.5	43.0	21.1	4.7	0.6			
		A層	41.1	44.1	12.7	2.1	0.0			
		B層	33.4	44.1	18.7	3.5	0.2			
		C層	25.9	45.4	24.1	4.1	0.5			
		D層	21.8	38.4	28.9	9.0	1.8			
	わかった点・わからなかった点を見直し、次の学習に繋げている。	川崎市								

質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)					その他無回答
			とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない		
120	要素 追加質問 小要素	川崎市	33.6	30.3	24.2	11.3	0.7	
		A層	44.9	30.6	17.9	6.5	0.0	
		B層	37.5	30.9	21.6	9.7	0.2	
		C層	29.0	31.6	28.3	10.6	0.5	
		D層	23.1	28.0	28.8	18.1	1.9	
	家で自分で計画を立てて勉強している。	川崎市						
質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)					その他無回答
			とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない		
121	要素 追加質問 小要素	川崎市	67.1	23.8	6.6	1.8	0.7	
		A層	77.2	18.3	3.9	0.5	0.0	
		B層	71.9	22.1	4.8	1.0	0.2	
		C層	65.9	25.9	6.3	1.3	0.5	
		D層	53.7	28.8	11.2	4.4	1.9	
	授業で学んだことは、将来、社会に出たときに、役に立つ。	川崎市						
質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)					その他無回答
			とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない		
122	要素 追加質問 小要素	川崎市	66.0	22.7	7.7	3.0	0.7	
		A層	69.8	21.1	7.0	2.0	0.1	
		B層	67.7	22.1	7.4	2.6	0.2	
		C層	67.6	22.7	6.6	2.6	0.5	
		D層	59.0	24.7	9.7	4.6	2.0	
	学級みんなで協力して何かをやりとげ、うれしかったことがある。	川崎市						
質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)					その他無回答
			とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない		
123	要素 追加質問 小要素	川崎市	67.1	15.6	9.1	7.4	0.7	
		A層	66.8	16.0	10.2	6.9	0.1	
		B層	68.1	15.1	9.1	7.4	0.2	
		C層	67.9	14.8	9.4	7.3	0.5	
		D層	65.4	16.6	7.9	8.1	2.0	
	将来の夢や目標を持っている。	川崎市						
質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)					その他無回答
			とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない		
124	要素 追加質問 小要素	川崎市	75.8	18.8	3.6	1.2	0.7	
		A層	81.0	16.3	2.2	0.5	0.1	
		B層	78.2	18.1	2.6	0.7	0.3	
		C層	76.3	19.1	3.3	0.7	0.5	
		D層	67.5	21.8	6.0	2.8	1.9	
	人の役に立つ人間になりたいと思う。	川崎市						

質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)					その他無回答
			とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない		
125	要素 追加質問 小要素	川崎市	57.1	33.8	7.0	1.4		0.7
	人が困っているときは、進んで助けている。	A層	55.4	37.9	5.8	0.8		0.1
		川崎市 B層	57.2	34.7	7.0	0.8		0.2
		C層	59.4	32.5	6.1	1.4		0.5
		D層	56.5	30.0	9.0	2.5		2.0
126	要素 追加質問 小要素	川崎市	50.7	28.8	12.8	7.0		0.7
	自分には、よいところがあると思う。	A層	56.5	27.3	11.1	5.1		0.1
		川崎市 B層	52.9	28.2	11.9	6.8		0.2
		C層	50.2	29.8	12.4	7.1		0.5
		D層	43.4	30.0	15.7	8.9		2.0
127	要素 追加質問 小要素	川崎市	34.8	27.8	22.1	14.5		0.7
	不安や悩み、ストレスがあるとき、誰かに相談できている。	A層	32.6	31.6	23.3	12.4		0.1
		川崎市 B層	36.2	27.7	23.0	12.9		0.2
		C層	36.2	27.3	21.1	14.9		0.5
		D層	34.4	24.8	21.1	17.8		2.0
128	要素 追加質問 小要素	川崎市	51.7	29.4	12.4	5.8		0.7
	困ったとき、悩んだときは、身近な大人が話を聞いてくれる。	A層	54.2	30.1	10.9	4.7		0.1
		川崎市 B層	53.6	29.4	11.7	5.1		0.2
		C層	53.1	28.3	13.0	5.1		0.5
		D層	46.1	29.6	14.0	8.3		2.1
129	要素 追加質問 小要素	川崎市	52.0	32.5	10.8	4.0		0.7
	自分のことは自分で決められるよう、身近な大人が助けてくれる。	A層	57.1	31.9	8.6	2.3		0.1
		川崎市 B層	54.2	32.1	10.3	3.2		0.3
		C層	52.3	32.3	11.1	3.8		0.5
		D層	44.5	33.7	13.2	6.6		2.0
130	要素 追加質問 小要素	川崎市	69.1	20.8	6.7	2.7		0.7
	自分の住んでいる町がすきである。	A層	68.6	22.6	6.4	2.3		0.1
		川崎市 B層	70.1	20.4	6.8	2.5		0.2
		C層	71.1	20.3	5.6	2.4		0.6
		D層	66.5	19.9	8.1	3.5		2.0

質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)					その他無回答
			とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない		
131	要素 追加質問 小要素	川崎市	24.2	32.3	26.7	16.0		0.8
	今、住んでいる地域の行事に参加している。	A層	23.3	34.7	26.6	15.2		0.1
		川崎市 B層	24.4	33.2	27.7	14.4		0.3
		C層	25.2	32.7	26.8	14.8		0.5
		D層	23.8	28.7	25.8	19.5		2.2
132	要素 追加質問 小要素	川崎市	33.6	33.4	23.2	9.0		0.7
	地域や社会をよりよくするために、何をすべきか考えたことがある。	A層	37.4	35.1	20.4	6.9		0.1
		川崎市 B層	35.3	33.5	22.4	8.6		0.2
		C層	32.6	34.3	24.5	8.0		0.5
		D層	29.2	30.7	25.5	12.6		2.1
133	要素 追加質問 小要素	川崎市	69.1	22.2	5.8	2.2		0.7
	GIGA端末は学習の役に立つと思う。	A層	72.4	21.0	4.7	1.8		0.1
		川崎市 B層	72.2	21.2	4.7	1.6		0.2
		C層	70.8	21.8	5.3	1.5		0.6
		D層	61.0	24.6	8.4	3.9		2.0
134	要素 追加質問 小要素	川崎市	27.5	35.4	25.9	10.4		0.8
	前の学年までの授業で、ICT機器をどの程度使いましたか。	A層	26.4	36.3	28.0	9.2		0.1
		川崎市 B層	27.2	36.2	26.2	10.1		0.3
		C層	27.8	35.8	26.2	9.6		0.6
		D層	28.4	33.4	23.2	12.8		2.2
135	要素 追加質問 小要素	川崎市	22.1	35.0	28.8	13.3		0.7
	学校の授業がある月曜日から金曜日、一日にどれくらいスマートフォンやGIGA端末などのICT機器を、勉強のために使っていますか。	A層	17.1	37.2	33.5	12.2		0.1
		川崎市 B層	20.9	36.7	30.0	12.1		0.2
		C層	24.1	35.7	27.1	12.7		0.5
		D層	26.5	30.5	24.4	16.5		2.1
136	要素 追加質問 小要素	川崎市	20.0	24.7	29.5	25.0		0.8
	土曜日や日曜日など、学校が休みの日に、1日にどれくらいスマートフォンやGIGA端末などのICT機器を、勉強のために使っていますか。	A層	15.1	22.1	35.4	27.3		0.1
		川崎市 B層	18.0	25.6	29.8	26.4		0.2
		C層	22.2	25.8	28.6	22.9		0.6
		D層	24.8	25.2	24.3	23.5		2.2

【小学校 第6学年】

質問番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	川崎市	川崎市学力層別					AID層の差	質問の大きい順位
				A層	B層	C層	D層	AID層		
1	学びの基礎力	友だちと外で遊んでいる。	77.3	64.8	78.7	81.3	84.3	-19.5	91	
	豊かな基礎体験 基礎体験									
2	学びの基礎力	ゲーム機やケータイ、スマートフォンでゲームをしている。	85.2	72.8	85.1	90.0	93.1	-20.3	92	
	豊かな基礎体験 基礎体験									
3	学びの基礎力	本や新聞を読んでいる。	60.4	78.6	65.1	55.4	42.6	36.0	3	
	豊かな基礎体験 基礎体験									
4	学びの基礎力	パソコンやインターネットを使う。	83.6	84.3	86.3	83.5	80.6	3.7	84	
	豊かな基礎体験 基礎体験									
5	学びの基礎力	放課後や土曜日などに、学校の活動や集まりがあれば、参加している。	45.6	44.2	47.0	47.3	43.7	0.5	89	
	豊かな基礎体験 基礎体験									
6	学びの基礎力	ゲーム機やケータイ、スマートフォンでゲームをするときは、家の人と時間についてルールを決めている。(ゲームをしない人は、1番を選んでください。)	75.5	86.3	81.0	74.6	60.4	25.9	14	
	豊かな基礎体験 基礎体験									
7	学びの基礎力	ケータイやスマートフォンで電話やメールをするときは、家の人と時間を決めている。(ケータイやスマートフォンで電話やメールをしない人は、1番を選んでください。)	66.5	70.9	70.4	66.3	58.2	12.7	48	
	豊かな基礎体験 基礎体験									
8	学びの基礎力	家の人は自分のことを気にかけてくれていると思う	94.3	95.4	96.0	94.8	91.2	4.2	83	
	豊かな基礎体験 基礎体験									
9	学びの基礎力	今まで教えてもらった学校の先生は、自分のことを認めてくれていたと思う。	89.4	92.2	91.3	89.6	84.5	7.7	74	
	豊かな基礎体験 基礎体験									
10	学びの基礎力	勉強やスポーツのことで、家の人がかえんしてくれる。	90.9	94.1	93.2	91.2	85.1	9.0	68	
	豊かな基礎体験 基礎体験									
11	学びの基礎力	将来の夢やこれからの進路について家の人と話をする。	60.6	69.7	60.9	56.9	54.9	14.8	42	
	豊かな基礎体験 基礎体験									
12	学びの基礎力	新聞に書かれていることについて家の人と話をする。	24.9	35.8	25.4	19.4	19.1	16.7	32	
	豊かな基礎体験 基礎体験									

質問番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	川崎市	川崎市学力層別					AID層の差	質問の大きい順位
				A層	B層	C層	D層	AID層		
13	学びの基礎力	朝食は毎日食べている。	90.4	94.3	94.5	91.0	81.9	12.4	51	
	豊かな基礎体験 基本的生活習慣									
14	学びの基礎力	朝、起こされなくても自分で起きている。	65.6	63.9	67.7	66.4	64.6	-0.7	90	
	豊かな基礎体験 基本的生活習慣									
15	学びの基礎力	夜は決まった時間になている。	54.6	54.9	58.3	55.0	50.5	4.4	81	
	豊かな基礎体験 基本的生活習慣									
16	学びの基礎力	家の人からたよりにされて、何かの役割をまかされている。	68.5	67.4	71.1	69.9	65.6	1.8	88	
	豊かな基礎体験 基本的生活習慣									
17	学びの基礎力	食器の後かたづけなど、自分のことは自分でしている。	71.4	71.6	73.0	72.2	69.2	2.4	87	
	豊かな基礎体験 基本的生活習慣									
18	学びの基礎力	ふだんから「不思議だな」「なぜだろう」と感じることもある。	74.0	80.7	76.2	71.6	67.4	13.3	46	
	学びに向かう力 感じ取る力									
19	学びの基礎力	本やドラマなどを見て、人の生き方に感動することがある。	63.7	68.9	65.6	61.9	58.6	10.3	59	
	学びに向かう力 感じ取る力									
20	学びの基礎力	学習していて、おもしろい、楽しいと思うことがある。	73.8	86.9	77.9	70.4	59.9	27.0	13	
	学びに向かう力 感じ取る力									
21	学びの基礎力	学習して身につけた知識は、いずれ仕事や生活の中で役に立つと思う。	91.4	93.8	94.1	92.2	85.7	8.1	70	
	学びに向かう力 学習動機									
22	学びの基礎力	学習して、わかったりできたりするが増えるのは、うれしい。	88.3	92.6	89.8	87.7	83.3	9.3	63	
	学びに向かう力 学習動機									
23	学びの基礎力	学校に行くのが楽しい。	81.4	85.0	84.1	80.6	75.8	9.2	66	
	学びに向かう力 学習動機									
24	学びの基礎力	同じ間違いをしないように気をつけている。	89.0	93.4	91.1	89.2	82.7	10.7	58	
	学びに向かう力 自己責任									

質問番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	川崎市	川崎市学力層別						質問の大きさ 順位
				A層	B層	C層	D層	Aの差 D層		
25	学びの基礎力	努力をすれば、自分もたいいのことはできると思う。	88.0	89.4	89.1	88.3	85.1	4.3	82	
	学びに向かう力 自己有能感									
26	学びの基礎力	ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある。	92.4	94.7	93.7	92.4	88.8	5.9	77	
	学びに向かう力 達成感									
27	学びの基礎力	黒板に書かれていないことでも、大事なことはノートに書きとめている。	68.0	73.6	69.6	67.7	61.3	12.3	52	
	自ら学ぶ力 学習スキル									
28	学びの基礎力	テストで間違えた問題は、もう一度やり直している。	66.1	77.0	69.7	63.6	54.4	22.6	17	
	自ら学ぶ力 学習スキル									
29	学びの基礎力	授業で学んだことを自分なりにノートにまとめ直している。	57.4	59.2	60.2	58.8	51.4	7.8	73	
	自ら学ぶ力 学習スキル									
30	学びの基礎力	新しく習ったことは、何度もくり返して練習している。	55.6	69.1	58.4	51.2	43.8	25.3	15	
	自ら学ぶ力 学習定着のための方略									
31	学びの基礎力	授業で習ったことはそのまま覚えるのではなく、その理由や考え方も一緒に理解しようとしている。	71.8	88.2	77.6	67.2	54.7	33.5	4	
	自ら学ぶ力 学習定着のための方略									
32	学びの基礎力	授業で習ったことをふだんの生活と結びつけて考えている。	66.4	75.9	68.5	64.0	57.1	18.8	25	
	自ら学ぶ力 学習定着のための方略									
33	学びの基礎力	習った内容の中で、何がまだ理解できていないか、わかっている。	82.2	88.6	84.4	81.8	73.9	14.7	43	
	自ら学ぶ力 学習計画力									
34	学びの基礎力	その日のめあてを決めて、授業や家で学習に取り組んでいる。	53.2	66.3	54.7	47.0	45.1	21.2	20	
	自ら学ぶ力 学習計画力									
35	学びの基礎力	自分で学習の計画を立てている。	57.1	73.6	61.3	51.6	41.9	31.7	5	
	自ら学ぶ力 学習計画力									
36	学びの基礎力	目標に向けて、ふだんからこつこつ学習している。	62.8	83.8	67.5	56.0	44.1	39.7	2	
	学びを律する力 学習継続力									

質問番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	川崎市	川崎市学力層別						質問の大きさ 順位
				A層	B層	C層	D層	Aの差 D層		
37	学びの基礎力	わからないことはそのままにせず、わかるまで努力している。	71.1	86.1	75.8	66.8	55.9	30.2	6	
	学びを律する力 学習継続力									
38	学びの基礎力	学習を始めたら、他のことに気をとられないで、集中している。	64.8	71.3	67.3	62.6	58.2	13.1	47	
	学びを律する力 学習のけじめ									
39	学びの基礎力	かん違いや思いこみがないか、しっかり見直しをしている。	75.9	83.1	76.9	75.0	68.8	14.3	44	
	学びを律する力 学習のけじめ									
40	学びの基礎力	正しい姿勢で学習している。	64.6	69.2	67.9	64.9	56.5	12.7	48	
	学びを律する力 学習環境の整備									
41	学びの基礎力	必要なものをきちんとそろえてから、学習を始めている。	86.7	90.4	88.7	87.6	80.1	10.3	59	
	学びを律する力 学習環境の整備									
42	学びの基礎力	授業を集中して受けている。	87.2	91.6	90.5	87.4	79.6	12.0	53	
	学びを律する力 授業を受ける姿勢									
43	社会的実践力	調べてわかったことをもとに、考えをまとめることができる。	76.9	89.3	80.9	75.4	62.1	27.2	12	
	問題解決力									
44	社会的実践力	筋道を立てて、ものごとを考えることができる。	71.1	85.1	74.7	67.9	56.8	28.3	8	
	問題解決力									
45	社会的実践力	自分の意見や考えを相手にわかりやすく伝えることができる。	66.6	79.9	70.6	63.2	52.6	27.3	11	
	問題解決力									
46	社会的実践力	調べたことを、パソコンを使ってまとめたり、発表したりすることができる。	77.0	88.0	82.3	75.5	62.7	25.3	15	
	問題解決力									
47	社会的実践力	テレビのニュースや新聞などで、最近の社会のできごとをよく知っている。	76.8	85.0	80.5	76.7	65.0	20.0	22	
	社会参画力									
48	社会的実践力	社会で問題になっていることについて、どうすればよいか、考えたことがある。	69.5	79.8	71.6	68.6	57.8	22.0	19	
	社会参画力									

質問番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	川崎市	川崎市学力層別					質問の大きさ の順位
				A層	B層	C層	D層	AID層の差	
49	社会的実践力	自分がやらなければならないことは、責任を持ってやりぬくことができる。	87.0	92.1	90.1	87.4	78.3	13.8	45
	豊かな心								
50	社会的実践力	難しいことでも、失敗をおそれないで、取り組んでいる。	71.7	76.1	73.9	71.5	65.3	10.8	57
	豊かな心								
51	社会的実践力	いつも新しいアイデアを考えたり、工夫したりしている。	72.5	80.4	75.1	72.0	62.8	17.6	28
	豊かな心								
52	社会的実践力	自分と違う意見も尊重している。	86.9	93.0	90.7	87.9	76.1	16.9	30
	豊かな心								
53	社会的実践力	自分には、先生や友だちからほめられるような得意なことがある。	77.1	81.0	78.3	76.6	72.5	8.5	69
	自己成長力								
54	社会的実践力	自分の力をできるだけ伸ばしたいと思う。	93.3	97.5	94.7	92.8	88.3	9.2	66
	自己成長力								
98	学級力	私は、みんなで決めた学級目標に力を合わせて取り組んでいる。	87.9	91.3	90.0	88.4	82.0	9.3	63
	やりとげる力								
99	学級力	私は、係や当番の活動に責任を持って取り組んでいる。	92.7	95.2	94.6	94.0	87.1	8.1	70
	やりとげる力								
100	学級力	私は、自分たちの学習や生活をよくするための話し合いや活動に、進んで取り組んでいる。	76.5	80.9	79.3	75.4	70.6	10.3	59
	やりとげる力								
101	学級力	私は、学校や授業で発言している人の話を最後までしっかり聞いている。	91.2	94.3	93.0	92.4	85.0	9.3	63
	対話力								
102	学級力	私は、友だちの話に賛成・反対・つけたしと、つなげるように発言している。	63.2	71.4	65.2	61.6	54.8	16.6	34
	対話力								
103	学級力	私は、話し合いのとき、考えや意見を進んで出している。	60.2	69.4	63.7	57.5	50.4	19.0	24
	対話力								

質問番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	川崎市	川崎市学力層別					質問の大きさ の順位
				A層	B層	C層	D層	AID層の差	
104	学級力	私は、家庭学習や調査前学習などで、教え合いをしている。	85.3	90.7	87.3	85.1	78.1	12.6	50
	支え合う力								
105	学級力	私は、小さなけんかやトラブルは、話し合いで解決している。	88.1	90.3	90.0	87.2	84.9	5.4	78
	支え合う力								
106	学級力	私は、「ありがとう」を伝え合っている。	94.1	94.9	94.8	95.0	91.8	3.1	85
	支え合う力								
107	学級力	私は、友だちをばかにしたりからかったりせず、一人ひとりの心や命を大切にしている。	84.4	88.4	85.4	85.1	78.8	9.6	62
	共生力								
108	学級力	私は、友だちの間に上下関係なく、誰でも平等に接している。	78.4	80.6	79.1	78.8	75.2	5.4	78
	共生力								
109	学級力	私は、友だちのよいところやがんばりを認めて伝え合っている。	75.9	77.6	77.7	76.1	72.4	5.2	80
	共生力								
110	学級力	私は、授業中にむだなおしゃべりをしない。	75.7	78.0	79.1	75.8	70.0	8.0	72
	規律力								
111	学級力	私は、あいさつ、服装、持ち物などについて、学校のきまりを守っている。	84.8	88.8	87.4	85.5	77.6	11.2	55
	規律力								
112	学級力	私は、校外でも人の迷惑にならないように考えて行動している。	91.5	93.8	92.9	92.7	86.5	7.3	75
	規律力								
113	家庭学習力	家で学習していて、わからないときは教えてくれる人がいる。	87.0	89.2	89.2	87.4	82.4	6.8	76
114	家庭学習力	家で学習するときは、苦手な教科もしっかりと学習している。	77.8	91.6	81.8	74.9	63.0	28.6	7
115	家庭学習力	学校の先生が出した宿題をきちんとやりとげている。	92.4	95.3	96.2	93.8	84.4	10.9	56

質問番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	川崎市	川崎市学力層別					質問の大きさ の順位
				A層	B層	C層	D層	A/Dの差	
116	家庭学習力	次の日の授業に必要な教科書やノートなどは、前の日に準備している。	80.8	80.0	82.6	83.4	77.2	2.8	86
117	家庭学習力	自分の得意な分野をさらに伸ばすために、家で自分なりに学んでいることがある。	74.4	82.1	76.0	72.8	66.8	15.3	39
118	家庭学習力	テレビやラジオをつけずに集中して学習している。	72.5	83.2	76.5	69.5	60.9	22.3	18
119	家庭学習力	授業で習ったことは、その日のうちに復習している。	40.1	51.1	40.6	34.4	34.3	16.8	31
82	学習方略 国語	国語の授業で、わからない言葉があれば、国語辞典で調べるようにしている。	49.2	59.6	50.8	45.8	40.9	18.7	26
83	学習方略 国語	国語の授業で、文章の書き方のよい例を参考にし書くことがある。	79.7	88.5	83.5	79.2	68.0	20.5	21
84	学習方略 国語	国語の授業で、物語を作ったことがある。	69.8	78.6	73.4	67.3	60.0	18.6	27
85	学習方略 国語	国語の授業で、グループで話し合いや教え合いをしている。	82.5	89.2	86.2	81.6	73.2	16.0	36
86	学習方略 算数	算数・数学の授業で、グループで協力して問題を解いて発表することがある。	61.8	68.3	67.0	61.3	50.8	17.5	29
87	学習方略 算数	算数・数学の授業で、文章や式、図や表などを組み合わせて自分の考えを説明したことがある。	67.7	88.5	77.9	62.1	42.4	46.1	1
88	学習方略 算数	算数・数学の宿題で、文章題を作ったことがある。	45.3	58.8	49.7	41.3	31.3	27.5	9
89	学習方略 算数	算数・数学の授業で、グループで話し合いや教え合いをしている。	72.3	83.8	78.2	71.2	56.3	27.5	9

質問番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	川崎市	川崎市学力層別					質問の大きさ の順位
				A層	B層	C層	D層	A/Dの差	
90	学習方略 社会	社会の授業で、テレビや電子黒板などを使って、写真や地図・グラフなどを見ることがある。	83.9	90.8	87.9	83.0	74.1	16.7	32
91	学習方略 社会	社会の授業で、調べたことを、新聞形式でまとめたことがある。	71.3	76.3	75.7	72.2	61.1	15.2	40
92	学習方略 社会	社会の授業で、いま、世の中で起こっていることについて、資料をもとにして考えることがある。	74.2	80.6	77.6	74.8	64.0	16.6	34
93	学習方略 社会	社会の授業で、グループで話し合いや教え合いをしている。	75.2	81.4	78.4	74.8	66.3	15.1	41
94	学習方略 理科	理科の授業で、実験や調査に取り組み前に、仮説を立てたり結果を予想したりしている。	90.5	96.6	94.6	90.1	80.7	15.9	37
95	学習方略 理科	理科の授業で、テレビや電子黒板などを使って、実験や観察のようすや自然のいろいろなようすなどについて、写真や映像などを見ることがある。	88.7	94.9	92.4	88.2	79.3	15.6	38
96	学習方略 理科	理科の授業で、実験や調査が終わったあとに、気づいたことや新しい疑問などについて、話し合ったりまとめたりしている。	80.1	87.9	85.1	79.1	68.4	19.5	23
97	学習方略 理科	理科の授業で、グループで話し合いや教え合いをしている。	81.0	85.3	84.2	81.4	73.4	11.9	54
55	教科について 教科の好き嫌い	国語	62.3	74.6	64.8	58.2	51.6	23.0	
56	教科について 教科の好き嫌い	社会	65.5	74.2	64.6	62.6	60.5	13.7	
57	教科について 教科の好き嫌い	算数・数学	57.2	84.5	68.1	48.0	28.2	56.3	
58	教科について 教科の好き嫌い	理科	74.4	76.5	76.0	73.6	71.7	4.8	

質問番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	川崎市	川崎市学力層別					質問の大きさの順位
				A層	B層	C層	D層	A/D層の差	
59	教科について	音楽	72.5	75.0	73.7	72.3	69.2	5.8	
	教科の好き嫌い								
60	教科について	図画工作・美術	82.8	78.7	82.1	85.0	85.3	-6.6	
	教科の好き嫌い								
61	教科について	保健体育	82.2	78.6	81.9	83.0	85.3	-6.7	
	教科の好き嫌い								
62	教科について	家庭	80.7	80.7	82.5	82.8	76.7	4.0	
	教科の好き嫌い								
63	教科について	英語	63.9	67.8	68.4	64.3	55.3	12.5	
	教科の好き嫌い								
64	教科について	総合的な学習の時間・生活	74.3	77.2	76.6	75.0	68.7	8.5	
	教科の好き嫌い								
65	教科について	道徳	72.5	69.1	73.2	75.2	72.7	-3.6	
	教科の好き嫌い								
66	教科について	学級活動	84.9	88.8	87.1	84.2	79.8	9.0	
	教科の好き嫌い								
67	教科について	国語	87.4	97.6	93.2	86.3	72.8	24.8	
	教科の理解度								
68	教科について	社会	85.6	96.0	88.3	84.4	73.7	22.3	
	教科の理解度								
69	教科について	算数・数学	73.7	98.0	88.8	67.5	40.6	57.4	
	教科の理解度								
70	教科について	理科	87.7	94.1	90.5	86.2	80.5	13.6	
	教科の理解度								

質問番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	川崎市	川崎市学力層別					質問の大きさの順位			
				A層	B層	C層	D層	A/D層の差				
71	教科について	音楽	83.1	86.4	84.5	83.5	78.1	8.3				
	教科の理解度											
72	教科について	図画工作・美術	91.5	91.7	92.0	92.9	89.3	2.4				
	教科の理解度											
73	教科について	保健体育	90.0	89.9	89.7	91.3	89.1	0.8				
	教科の理解度											
74	教科について	家庭	87.2	89.7	89.2	87.9	81.9	7.8				
	教科の理解度											
質問番号	質問内容		母集団	選択肢別回答割合(%)								
78	要素	学習時間	川崎市	ほとんどしない	30分くらい	1時間くらい	1時間30分くらい	2時間くらい	2時間30分くらい	3時間より長く勉強する	その他無回答	
	小要素	平日		11.4	20.3	16.7	12.3	9.9	7.2	22.1	0.1	
		あなたは、学校の授業がある月曜日から金曜日に、学校の授業以外で1日にどれくらい勉強していますか？(じゅくで勉強している時間や、家庭教師の先生にみてもらっている時間もふくみます。)	川崎市	A層	2.9	9.1	9.4	8.4	8.2	8.7	53.4	0.0
				B層	7.8	19.4	17.8	13.7	12.2	8.7	20.3	0.0
				C層	12.7	24.2	20.1	15.8	11.4	6.4	9.4	0.0
			D層	22.2	28.3	19.3	11.5	8.1	4.9	5.5	0.2	
質問番号	質問内容		母集団	選択肢別回答割合(%)								
79	要素	学習時間	川崎市	ほとんどしない	30分くらい	1時間くらい	1時間30分くらい	2時間くらい	2時間30分くらい	3時間より長く勉強する	その他無回答	
	小要素	休日		20.4	23.4	16.7	9.3	6.2	4.1	19.8	0.1	
		あなたは、土曜日や日曜日など、学校が休みの日に、1日にどれくらい勉強していますか。(じゅくで勉強している時間や、家庭教師の先生にみてもらっている時間もふくみます。)	川崎市	A層	6.3	11.4	9.6	7.4	6.9	5.4	53.1	0.0
				B層	15.8	23.1	20.5	10.7	7.4	5.0	17.4	0.0
				C層	24.6	28.6	20.3	11.3	6.2	3.4	5.5	0.1
			D層	34.5	30.5	16.4	8.0	4.3	2.5	3.5	0.2	
質問番号	質問内容		母集団	選択肢別回答割合(%)								
75	要素	読書冊数	川崎市	0さつ	1,2さつ	3,4さつ	5,6さつ	7,8さつ	9,10さつ	11さつ以上	その他無回答	
	小要素			23.4	31.5	16.5	9.5	4.8	3.1	9.5	1.7	
		あなたは、この1か月の間に本を何冊くらい読みましたか。(教科書や参考書、マンガは数にいません。)	川崎市	A層	11.5	28.0	18.3	11.9	7.5	4.9	16.7	1.2
				B層	18.6	32.6	18.0	11.0	5.5	3.2	9.6	1.4
				C層	26.1	33.9	16.2	8.9	3.8	2.8	6.6	1.8
			D層	37.3	31.5	13.6	6.1	2.4	1.7	5.0	2.5	

質問番号	質問内容		母集団	選択肢別回答割合(%)							
				ほとんど見ない	30分くらい	1時間くらい	1時間30分くらい	2時間くらい	2時間30分くらい	3時間より長く見る	その他無回答
76	要素	テレビを見る時間	川崎市	10.9	14.5	18.7	15.6	13.4	8.6	18.1	0.1
	小要素	平日									
		あなたは、学校の授業がある月曜日から金曜日に、1日にどれくらいテレビを見ますか。	A層	13.8	17.6	23.3	17.1	11.8	5.6	10.8	0.1
			B層	7.9	13.1	18.8	16.6	14.3	10.9	18.3	0.0
			C層	8.8	12.6	16.1	15.9	15.5	9.6	21.5	0.0
	D層	13.3	14.6	16.7	12.9	12.1	8.4	21.8	0.2		
77	要素	テレビを見る時間	川崎市	11.3	11.8	15.6	13.5	15.3	9.4	22.9	0.1
	小要素	休日									
		あなたは、土曜日や日曜日など、学校が休みの日に、1日にどれくらいテレビを見ますか。	A層	10.4	14.1	20.4	15.0	16.6	8.1	15.3	0.0
			B層	9.1	9.9	14.1	13.8	17.6	10.5	24.9	0.0
			C層	10.0	10.7	14.4	13.0	16.1	10.5	25.4	0.0
	D層	15.6	12.5	13.7	12.4	10.8	8.7	26.1	0.2		
80	要素	ゲームをする時間	川崎市	20.9	14.2	19.1	11.8	11.2	6.3	16.4	0.1
	小要素	平日									
		あなたは、学校の授業がある月曜日から金曜日に、1日にどれくらいゲームをしますか。	A層	36.3	20.3	18.8	9.4	6.5	3.5	5.3	0.0
			B層	20.8	13.9	22.5	12.9	11.4	6.0	12.4	0.1
			C層	15.0	13.1	19.8	13.1	13.3	7.1	18.6	0.0
	D層	11.6	9.5	15.4	11.7	13.6	8.7	29.3	0.3		
81	要素	ゲームをする時間	川崎市	17.4	12.0	16.7	11.0	12.4	7.3	23.0	0.1
	小要素	休日									
		あなたは、土曜日や日曜日など、学校が休みの日に、1日にどれくらいゲームをしますか。	A層	29.6	17.3	19.0	10.5	10.1	4.2	9.3	0.0
			B層	16.2	12.2	19.4	12.4	12.6	7.1	20.1	0.0
			C層	13.5	10.5	16.2	11.8	14.3	8.5	25.2	0.0
	D層	10.5	8.3	12.1	9.5	12.6	9.2	37.5	0.3		
120	要素	追加質問	川崎市	18.1	35.4	28.5	17.7				0.2
	小要素										
		勉強は、すきである。	A層	33.2	39.7	18.6	8.4				0.0
			B層	19.0	38.8	28.0	14.1				0.1
			C層	11.3	34.9	34.4	19.3				0.1
	D層	8.8	28.4	33.3	28.9				0.6		
121	要素	追加質問	川崎市	74.5	20.1	3.9	1.3				0.2
	小要素										
		勉強をすることは、大切なことだと思う。	A層	84.9	12.9	1.7	0.5				0.0
			B層	78.1	18.4	2.7	0.6				0.2
			C層	72.7	22.2	3.9	1.1				0.1
	D層	62.2	26.8	7.3	3.1				0.6		

質問番号	質問内容		母集団	選択肢別回答割合(%)					その他無回答	
				とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない			
122	要素	追加質問	川崎市	26.5	44.9	23.0	5.3			0.3
	小要素									
		わかった点・わからなかった点を見直し、次の学習に繋げている。	A層	41.5	44.7	12.4	1.4			0.0
			B層	28.4	48.3	20.6	2.6			0.1
			C層	20.2	47.7	26.5	5.5			0.2
	D層	16.2	39.1	32.6	11.5			0.6		
123	要素	追加質問	川崎市	30.7	30.4	25.9	12.7			0.2
	小要素									
		家で自分で計画を立てて勉強している。	A層	46.4	31.3	16.7	5.6			0.0
			B層	32.8	31.9	25.5	9.6			0.1
			C層	24.8	31.4	29.7	14.1			0.1
	D層	19.0	27.3	31.9	21.2			0.7		
124	要素	追加質問	川崎市	67.3	24.2	6.4	1.8			0.3
	小要素									
		授業で学んだことは、将来、社会に出たときに、役に立つ。	A層	74.1	20.1	4.6	1.2			0.0
			B層	71.5	23.0	4.1	1.3			0.1
			C層	67.5	25.3	5.9	1.1			0.2
	D層	56.1	28.6	10.9	3.7			0.7		
125	要素	追加質問	川崎市	61.9	25.8	8.6	3.4			0.3
	小要素									
		学級みんなで協力して何かをやりとげ、うれしかったことがある。	A層	65.5	23.7	8.2	2.5			0.0
			B層	63.5	25.4	8.1	2.8			0.1
			C層	62.3	26.6	8.1	2.8			0.2
	D層	56.3	27.6	9.8	5.6			0.7		
126	要素	追加質問	川崎市	60.3	18.9	11.3	9.3			0.2
	小要素									
		将来の夢や目標を持っている。	A層	58.8	20.1	13.0	8.2			0.0
			B層	58.8	20.1	11.6	9.4			0.1
			C層	62.1	17.5	11.3	9.0			0.1
	D層	61.5	17.7	9.5	10.6			0.7		
127	要素	追加質問	川崎市	73.7	21.2	3.6	1.3			0.2
	小要素									
		人の役に立つ人間になりたいと思う。	A層	77.4	19.0	2.9	0.7			0.0
			B層	76.6	18.9	3.3	1.1			0.1
			C層	74.1	21.4	3.4	1.0			0.1
	D層	66.6	25.4	4.9	2.4			0.7		

質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)					その他無回答
			とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない		
128	要素 追加質問	川崎市	52.3	38.0	7.8	1.6	0.3	
	小要素							
	人が困っているときは、進んで助けている。	A層	51.5	40.7	7.0	0.8	0.0	
		B層	52.3	39.3	7.1	1.2	0.1	
		C層	53.0	37.7	7.7	1.5	0.2	
		D層	52.6	34.5	9.3	3.0	0.7	
質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)					その他無回答
129	要素 追加質問	川崎市	46.2	29.4	15.5	8.7	0.3	
	小要素							
	自分には、よいところがあると思う。	A層	51.0	27.7	14.5	6.7	0.0	
		B層	48.7	29.5	14.6	7.1	0.1	
		C層	45.2	30.1	15.3	9.2	0.2	
		D層	39.9	30.3	17.4	11.8	0.7	
質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)					その他無回答
130	要素 追加質問	川崎市	31.8	30.1	23.0	14.8	0.3	
	小要素							
	不安や悩み、ストレスがあるとき、誰かに相談できている。	A層	30.2	33.3	24.7	11.8	0.0	
		B層	33.5	31.0	22.4	12.9	0.1	
		C層	31.7	28.9	23.4	15.9	0.2	
		D層	32.0	27.3	21.5	18.5	0.7	
質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)					その他無回答
131	要素 追加質問	川崎市	48.3	30.9	13.8	6.8	0.3	
	小要素							
	困ったとき、悩んだときは、身近な大人が話を聞いてくれる。	A層	49.6	30.9	13.8	5.6	0.1	
		B層	50.7	31.5	11.9	5.8	0.2	
		C層	48.9	30.3	14.2	6.5	0.2	
		D層	44.2	30.7	15.3	9.1	0.7	
質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)					その他無回答
132	要素 追加質問	川崎市	49.0	35.5	11.0	4.1	0.3	
	小要素							
	自分のことは自分で決められるよう、身近な大人が助けてくれる。	A層	52.9	34.6	9.7	2.7	0.0	
		B層	51.0	37.2	8.5	3.1	0.2	
		C層	48.3	36.0	11.4	4.0	0.2	
		D層	44.1	34.1	14.4	6.7	0.7	
質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)					その他無回答
133	要素 追加質問	川崎市	59.9	26.9	9.3	3.6	0.3	
	小要素							
	自分の住んでいる町がすきである。	A層	59.4	28.3	9.1	3.1	0.1	
		B層	61.8	27.2	8.0	2.9	0.2	
		C層	60.7	26.0	9.4	3.7	0.2	
		D層	57.6	26.4	10.5	4.8	0.7	

質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)					その他無回答
			とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない		
134	要素 追加質問	川崎市	18.5	28.1	30.5	22.6	0.3	
	小要素							
	今、住んでいる地域の行事に参加している。	A層	15.7	27.5	34.4	22.3	0.1	
		B層	18.8	29.6	31.4	19.9	0.2	
		C層	19.6	29.5	28.3	22.4	0.2	
		D層	19.9	25.8	27.7	25.8	0.8	
質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)					その他無回答
135	要素 追加質問	川崎市	29.7	33.9	25.8	10.3	0.3	
	小要素							
	地域や社会をよりよくするために、何をすべきか考えたことがある。	A層	32.9	33.5	24.8	8.7	0.1	
		B層	30.6	34.9	25.2	9.2	0.1	
		C層	29.0	34.3	27.1	9.3	0.2	
		D層	26.3	32.9	26.0	14.0	0.7	
質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)					その他無回答
136	要素 追加質問	川崎市	66.1	25.1	6.1	2.4	0.3	
	小要素							
	GIGA端末は学習の役に立つと思う。	A層	66.8	24.8	5.7	2.6	0.1	
		B層	68.7	23.7	5.5	1.9	0.1	
		C層	67.4	24.8	5.7	2.0	0.2	
		D層	61.7	27.0	7.4	3.1	0.8	
質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)					その他無回答
137	要素 追加質問	川崎市	31.4	37.4	22.9	8.0	0.3	
	小要素							
	前の学年までの授業で、ICT機器をどの程度使用しましたか。	A層	33.2	38.9	21.7	6.1	0.1	
		B層	31.8	37.8	22.6	7.5	0.2	
		C層	30.7	37.3	23.8	7.9	0.2	
		D層	29.7	35.7	23.3	10.6	0.8	
質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)					その他無回答
138	要素 追加質問	川崎市	21.3	34.1	32.1	12.1	0.3	
	小要素							
	学校の授業がある月曜日から金曜日、一日にどれくらいスマートフォンやGIGA端末などのICT機器を、勉強のために使っていますか。	A層	18.8	35.2	35.0	11.0	0.1	
		B層	20.2	36.3	33.1	10.2	0.1	
		C層	22.5	33.9	31.8	11.5	0.3	
		D層	23.9	31.0	28.6	15.7	0.8	
質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)					その他無回答
139	要素 追加質問	川崎市	18.0	21.7	33.6	26.4	0.4	
	小要素							
	土曜日や日曜日など、学校が休みの日に、1日にどれくらいスマートフォンやGIGA端末などのICT機器を、勉強のために使っていますか。	A層	15.4	20.9	38.2	25.4	0.1	
		B層	15.7	22.0	34.9	27.2	0.2	
		C層	18.3	21.7	33.8	26.1	0.2	
		D層	22.7	22.2	27.6	26.6	0.9	

【中学校 第1学年】

質問番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	川崎市	川崎市学力層別					A/D層の差	質差の大きい順位
				A層	B層	C層	D層	A/D層		
1	学びの基礎力	友だちと外で遊んでいる。	76.3	68.5	76.6	78.4	81.4	-12.9	101	
	豊かな基礎体験 基礎体験									
2	学びの基礎力	ゲーム機やケータイ、スマートフォンでゲームをしている。	90.2	84.9	89.4	92.7	93.7	-8.8	100	
	豊かな基礎体験 基礎体験									
3	学びの基礎力	本や新聞を読んでいる。	53.9	70.3	57.2	48.3	40.0	30.3	3	
	豊かな基礎体験 基礎体験									
4	学びの基礎力	パソコンやインターネットを使う。	88.8	90.2	89.7	88.7	86.5	3.7	96	
	豊かな基礎体験 基礎体験									
5	学びの基礎力	放課後や土曜日などに、学校の活動や集まりがあれば、参加している。	59.5	63.2	60.9	60.6	53.3	9.9	64	
	豊かな基礎体験 基礎体験									
6	学びの基礎力	ゲーム機やケータイ、スマートフォンでゲームをするときは、家の人と時間についてルールを決めている。(ゲームをしない人は、1番を選んでください。)	69.6	82.8	73.6	67.6	54.6	28.2	6	
	豊かな基礎体験 基礎体験									
7	学びの基礎力	ケータイやスマートフォンで電話やメールをするときは、家の人と時間を決めている。(ケータイやスマートフォンで電話やメールをしない人は、1番を選んでください。)	61.4	71.4	64.8	58.9	50.6	20.8	24	
	豊かな基礎体験 基礎体験									
8	学びの基礎力	家の人は自分のことを気にかけてくれていると思う	94.5	96.2	95.1	95.3	91.3	4.9	92	
	豊かな基礎体験 基礎体験									
9	学びの基礎力	今まで教えてもらった学校の先生は、自分のことを認めてくれていたと思う。	90.6	93.7	92.0	90.6	86.1	7.6	70	
	豊かな基礎体験 基礎体験									
10	学びの基礎力	勉強やスポーツのことで、家の人が応えんしてくれる。	92.9	95.0	93.4	93.0	90.0	5.0	91	
	豊かな基礎体験 基礎体験									
11	学びの基礎力	将来の夢やこれからの進路について家の人と話をする。	67.5	70.6	68.3	66.3	64.8	5.8	88	
	豊かな基礎体験 基礎体験									
12	学びの基礎力	新聞に書かれていることについて家の人と話をする。	19.3	25.0	18.7	15.8	18.0	7.0	75	
	豊かな基礎体験 基礎体験									

質問番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	川崎市	川崎市学力層別					A/D層の差	質差の大きい順位
				A層	B層	C層	D層	A/D層		
13	学びの基礎力	朝食は毎日食べている。	90.2	95.9	92.6	90.5	81.8	14.1	41	
	豊かな基礎体験 基本的生活習慣									
14	学びの基礎力	朝、起こされなくても自分で起きている。	68.7	69.9	69.3	68.8	67.0	2.9	98	
	豊かな基礎体験 基本的生活習慣									
15	学びの基礎力	夜は決まった時間になている。	53.9	59.6	55.6	52.9	47.6	12.0	54	
	豊かな基礎体験 基本的生活習慣									
16	学びの基礎力	家の人からたよりにされて、何かの役割をまかされている。	68.4	71.1	69.0	69.4	64.1	7.0	75	
	豊かな基礎体験 基本的生活習慣									
17	学びの基礎力	食器の後かたづけなど、自分のことは自分でしている。	72.2	75.0	74.5	71.5	67.9	7.1	74	
	豊かな基礎体験 基本的生活習慣									
18	学びの基礎力	ふだんから「不思議だな」「なぜだろう」と感じることもある。	74.3	83.4	76.9	70.8	66.0	17.4	39	
	学びに向かう力 感じ取る力									
19	学びの基礎力	本やドラマなどを見て、人の生き方に感動することがある。	66.7	72.9	68.3	66.1	59.7	13.2	51	
	学びに向かう力 感じ取る力									
20	学びの基礎力	学習していて、おもしろい、楽しいと思うことがある。	81.2	88.0	83.3	78.8	74.7	13.3	48	
	学びに向かう力 感じ取る力									
21	学びの基礎力	学習して身につけた知識は、いずれ仕事や生活の中で役に立つと思う。	92.2	94.8	93.1	92.4	88.3	6.5	81	
	学びに向かう力 学習動機									
22	学びの基礎力	学習して、わかったりできたりすることが増えるのは、うれしい。	90.6	93.6	90.9	90.7	87.4	6.2	85	
	学びに向かう力 学習動機									
23	学びの基礎力	学校に行くのが楽しい。	82.9	86.9	85.3	82.5	76.8	10.1	63	
	学びに向かう力 学習動機									
24	学びの基礎力	同じ間違いをしないように気をつけている。	90.1	92.9	90.5	90.6	86.4	6.5	81	
	学びに向かう力 自己責任									

質問番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	川崎市	川崎市学力層別					質問の大きさ の順位
				A層	B層	C層	D層	AID層の差	
25	学びの基礎力	努力をすれば、自分もたいていのことはできと思う。	86.8	87.3	87.2	88.3	84.4	2.9	98
	学びに向かう力								
	自己有能感								
26	学びの基礎力	ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある。	92.9	94.7	93.4	93.5	90.0	4.7	94
	学びに向かう力								
	達成感								
27	学びの基礎力	黒板に書かれていないことでも、大事なことはノートに書きとめている。	74.2	80.3	75.7	74.2	66.8	13.5	47
	自ら学ぶ力								
	学習スキル								
28	学びの基礎力	テストで間違えた問題は、もう一度やり直している。	64.0	75.8	67.2	61.4	51.5	24.3	13
	自ら学ぶ力								
	学習スキル								
29	学びの基礎力	授業で学んだことを自分なりにノートにまとめ直している。	60.0	64.1	61.7	60.4	53.8	10.3	62
	自ら学ぶ力								
	学習スキル								
30	学びの基礎力	新しく習ったことは、何度もくり返して練習している。	57.7	66.4	60.4	56.2	47.8	18.6	35
	自ら学ぶ力								
	学習定着のための方略								
31	学びの基礎力	授業で習ったことはそのまま覚えるのではなく、その理由や考え方も一緒に理解しようとしている。	69.4	83.2	75.3	66.3	52.6	30.6	2
	自ら学ぶ力								
	学習定着のための方略								
32	学びの基礎力	授業で習ったことをふだんの生活と結びつけて考えている。	64.1	72.6	65.4	63.6	54.9	17.7	38
	自ら学ぶ力								
	学習定着のための方略								
33	学びの基礎力	習った内容の中で、何がまだ理解できていないか、わかっている。	82.5	87.4	84.1	81.8	76.6	10.8	60
	自ら学ぶ力								
	学習計画力								
34	学びの基礎力	その日のめあてを決めて、授業や家で学習に取り組んでいる。	48.8	53.8	50.3	48.3	42.8	11.0	59
	自ら学ぶ力								
	学習計画力								
35	学びの基礎力	自分で学習の計画を立てている。	55.0	65.9	57.6	53.0	43.4	22.5	18
	自ら学ぶ力								
	学習計画力								
36	学びの基礎力	目標に向けて、ふだんからこつこつ学習している。	59.5	69.5	62.0	57.0	49.7	19.8	31
	学びを律する力								
	学習継続力								

質問番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	川崎市	川崎市学力層別					質問の大きさ の順位
				A層	B層	C層	D層	AID層の差	
37	学びの基礎力	わからないことはそのままにせず、わかるまで努力している。	70.6	82.5	74.3	68.1	57.5	25.0	12
	学びを律する力								
	学習継続力								
38	学びの基礎力	学習を始めたら、他のことに気をとられないで、集中している。	61.6	67.4	62.9	61.3	54.7	12.7	52
	学びを律する力								
	学習のけじめ								
39	学びの基礎力	かん違いや思いこみがないか、しっかり見直しをしている。	69.2	77.0	69.7	67.8	62.3	14.7	40
	学びを律する力								
	学習のけじめ								
40	学びの基礎力	正しい姿勢で学習している。	65.1	67.8	66.7	65.6	60.5	7.3	72
	学びを律する力								
	学習環境の整備								
41	学びの基礎力	必要なものをきちんとそろえてから、学習を始めている。	90.3	92.4	92.5	90.9	85.4	7.0	75
	学びを律する力								
	学習環境の整備								
42	学びの基礎力	授業を集中して受けている。	89.2	93.5	91.4	89.6	82.1	11.4	57
	学びを律する力								
	授業を受ける姿勢								
43	社会的実践力	調べてわかったことをもとに、考えをまとめることができる。	75.1	88.3	78.3	73.3	60.6	27.7	9
	問題解決力								
	社会的実践力								
44	社会的実践力	筋道を立てて、ものごとを考えることができる。	70.5	83.8	73.2	69.0	56.0	27.8	8
	問題解決力								
	社会的実践力								
45	社会的実践力	自分の意見や考えを相手にわかりやすく伝えることができる。	65.6	76.7	68.5	64.1	53.2	23.5	14
	問題解決力								
	社会的実践力								
46	社会的実践力	調べたことを、パソコンを使ってまとめたり、発表したりすることができる。	74.1	87.1	79.2	72.5	57.4	29.7	4
	問題解決力								
	社会的実践力								
47	社会的実践力	テレビのニュースや新聞などで、最近の社会のできごとをよく知っている。	72.1	80.9	75.6	71.6	60.1	20.8	24
	社会参画力								
	社会的実践力								
48	社会的実践力	社会で問題になっていることについて、どうすればよいか、考えたことがある。	65.2	75.0	69.6	62.3	54.1	20.9	23
	社会参画力								
	社会的実践力								

質問番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	川崎市	川崎市学力層別						質問の大きさ の順位
				A層	B層	C層	D層	Aの差 D層		
49	社会的実践力	自分がやらなければならないことは、責任を持ってやりぬくことができる。	86.4	91.7	88.8	86.5	78.4	13.3	48	
	豊かな心									
50	社会的実践力	難しいことでも、失敗をおそれないで、取り組んでいる。	70.1	72.9	71.1	70.5	65.9	7.0	75	
	豊かな心									
51	社会的実践力	いつも新しいアイデアを考えたり、工夫したりしている。	70.0	79.8	72.7	68.2	59.3	20.5	29	
	豊かな心									
52	社会的実践力	自分と違う意見も尊重している。	90.3	95.3	93.0	91.4	81.5	13.8	44	
	豊かな心									
53	社会的実践力	自分には、先生や友だちからほめられるような得意なことがある。	73.1	75.6	74.2	73.7	68.9	6.7	79	
	自己成長力									
54	社会的実践力	自分の力をできるだけ伸ばしたいと思う。	93.7	96.9	94.6	94.5	88.7	8.2	68	
	自己成長力									
101	学級力	私は、みんなで決めた学級目標に力を合わせて取り組んでいる。	86.9	89.0	88.8	87.5	82.3	6.7	79	
	やりとげる力									
102	学級力	私は、係や当番の活動に責任を持って取り組んでいる。	92.4	95.1	93.9	92.8	87.9	7.2	73	
	やりとげる力									
103	学級力	私は、自分たちの学習や生活をよくするための話し合いや活動に、進んで取り組んでいる。	74.5	79.1	76.6	74.2	67.9	11.2	58	
	やりとげる力									
104	学級力	私は、生徒会で決めた活動や学校行事に、進んで取り組んでいる。	74.2	77.6	76.3	74.5	68.3	9.3	65	
	やりとげる力									
105	学級力	私は、学年や学校のためになる活動を提案して、進んで取り組んでいる。	57.4	61.0	58.0	57.3	53.4	7.6	70	
	自律力									
106	学級力	私は、楽しむときとまじめに集中するときのけじめをつけることができる。	84.0	89.1	87.7	83.8	75.2	13.9	42	
	自律力									

質問番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	川崎市	川崎市学力層別						質問の大きさ の順位
				A層	B層	C層	D層	Aの差 D層		
107	学級力	私は、集合の時間、授業開始の時間、活動終了の時間などを守っている。	91.3	94.3	93.6	91.4	86.1	8.2	68	
	自律力									
108	学級力	私は、学級会で、司会や記録を担当して話し合いを進めたことがある。	59.6	70.9	61.9	57.6	48.0	22.9	16	
	自律力									
109	学級力	私は、学校や授業で発言している人の話を最後までしっかり聞いている。	90.6	95.2	92.7	90.8	83.4	11.8	56	
	対話力									
110	学級力	私は、友だちの話を賛成・反対・つけたしと、つなげるように発言している。	67.1	76.6	68.0	66.1	57.7	18.9	34	
	対話力									
111	学級力	私は、話し合いのとき、考えや意見を進んで出している。	56.0	65.9	57.1	53.8	46.9	19.0	33	
	対話力									
112	学級力	私は、異なる意見や提案をよく聞いて、話し合いをまとめたことがある。	56.3	66.7	59.3	53.5	45.6	21.1	22	
	対話力									
113	学級力	私は、家庭学習や考査前学習などで、教え合いをしている。	47.8	50.4	49.6	46.5	44.6	5.8	88	
	支え合う力									
114	学級力	私は、小さなけんかやトラブルは、話し合いで解決している。	82.6	87.3	84.9	82.9	75.0	12.3	53	
	支え合う力									
115	学級力	私は、「ありがとう」を伝え合っている。	93.5	94.6	94.6	94.1	90.8	3.8	95	
	支え合う力									
116	学級力	私は、授業中、グループ学習やグループ活動によく協力している。	84.5	89.1	86.7	84.8	77.2	11.9	55	
	支え合う力									
117	学級力	私は、友だちをばかにしたりからかったりせず、一人ひとりの心や命を大切にしている。	90.0	92.0	91.1	89.7	86.9	5.1	90	
	共生力									
118	学級力	私は、友だちの間に上下関係なく、誰とも平等に接している。	91.3	93.5	92.5	92.1	87.0	6.5	81	
	共生力									

質問番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	川崎市	川崎市学力層別					質問の大きさ の順位
				A層	B層	C層	D層	AID層の差	
119	学級力 共生力	私は、友だちのよいところやがんばりを認めて伝え合っている。	89.0	90.2	90.3	90.2	85.4	4.8	93
120	学級力 共生力	私は、男女仲よく、共に学んだり活動している。	91.4	94.3	93.2	92.1	85.9	8.4	67
121	学級力 規律力	私は、授業中にむだなおしゃべりをしない。	78.4	85.0	80.3	77.2	71.1	13.9	42
122	学級力 規律力	私は、あいさつ、服装、持ち物などについて、学校のきまりを守っている。	95.2	97.6	96.4	95.1	91.5	6.1	86
123	学級力 規律力	私は、ろうかや教室を進んで整理整頓している。	65.4	66.2	66.6	66.0	62.9	3.3	97
124	学級力 規律力	私は、校外でも人の迷惑にならないように考えて行動している。	91.2	94.5	92.7	91.7	85.9	8.6	66
125	家庭学習力	家で学習していて、わからないときは教えてくれる人がいる。	86.5	89.4	87.4	86.2	83.0	6.4	84
126	家庭学習力	家で学習するときは、苦手な教科もしっかりと学習している。	77.8	88.3	80.9	76.7	65.5	22.8	17
127	家庭学習力	学校の先生が出した宿題をきちんとやりとげている。	92.4	97.0	95.3	93.9	83.4	13.6	46
128	家庭学習力	次の日の授業に必要な教科書やノートなどは、前の日に準備している。	84.9	86.9	85.8	85.8	80.9	6.0	87
129	家庭学習力	自分の得意な分野をさらに伸ばすために、家で自分なりに学んでいることがある。	77.0	82.8	79.5	76.3	69.5	13.3	48
130	家庭学習力	テレビやラジオをつけずに集中して学習している。	68.2	77.6	70.6	67.1	57.4	20.2	30

質問番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	川崎市	川崎市学力層別					質問の大きさ の順位
				A層	B層	C層	D層	AID層の差	
131	家庭学習力	授業で習ったことは、その日のうちに復習している。	41.5	47.5	42.8	39.0	36.8	10.7	61
85	学習方略 国語	国語の授業で、わからない言葉があれば、国語辞典で調べるようにしている。	43.3	54.1	44.0	41.6	33.5	20.6	28
86	学習方略 国語	国語の授業で、文章の書き方のよい例を参考にして書くことがある。	74.2	85.4	79.1	72.5	60.3	25.1	11
87	学習方略 国語	国語の授業で、物語を作ったことがある。	61.8	72.3	66.5	59.2	49.3	23.0	15
88	学習方略 国語	国語の授業で、グループで話し合いや教え合いをしている。	80.3	87.0	85.6	79.9	69.0	18.0	36
89	学習方略 数学	算数・数学の授業で、グループで協力して問題を解いて発表することがある。	58.4	67.6	63.5	55.7	46.9	20.7	26
90	学習方略 数学	算数・数学の授業で、文章や式、図や表などを組み合わせて自分の考えを説明したことがある。	65.6	86.3	75.5	59.6	41.2	45.1	1
91	学習方略 数学	算数・数学の宿題で、文章題を作ったことがある。	48.6	63.1	53.9	43.8	33.5	29.6	5
92	学習方略 数学	算数・数学の授業で、グループで話し合いや教え合いをしている。	67.8	80.5	73.7	64.8	52.4	28.1	7
93	学習方略 社会	社会の授業で、テレビや電子黒板などを使って、写真や地図・グラフなどを見ることがある。	75.6	84.9	79.2	74.2	64.2	20.7	26
94	学習方略 社会	社会の授業で、調べたことを、新聞形式でまとめたことがある。	67.2	76.7	71.1	65.7	55.5	21.2	21
95	学習方略 社会	社会の授業で、いま、世の中で起こっていることについて、資料をもとに考えていることがある。	67.3	77.0	72.2	65.0	54.8	22.2	20

質問番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	川崎市	川崎市学力層別						質問の大きさ の順位
				A層	B層	C層	D層	AID層の差		
96	学習方略 社会	社会の授業で、グループで話し合いや教え合いをしている。	71.1	79.2	73.8	70.1	61.3	17.9	37	
97	学習方略 理科	理科の授業で、実験や調査に取り組む前に、仮説を立てたり結果を予想したりしている。	82.0	92.5	88.2	80.2	67.0	25.5	10	
98	学習方略 理科	理科の授業で、テレビや電子黒板などを使って、実験や観察のようすや自然のいろいろなようすなどについて、写真や映像などを見ることがある。	82.4	90.4	87.5	81.1	70.6	19.8	31	
99	学習方略 理科	理科の授業で、実験や調査が終わったあとに、気づいたことや新しい疑問などについて、話し合ったりまとめたりしている。	73.5	82.8	78.8	71.8	60.3	22.5	18	
100	学習方略 理科	理科の授業で、グループで話し合いや教え合いをしている。	75.7	80.7	79.3	75.9	66.9	13.8	44	
55	教科について 教科の好き嫌い	国語	54.8	68.7	57.8	49.8	42.9	25.8		
56	教科について 教科の好き嫌い	社会	59.0	76.6	61.1	52.7	45.6	31.0		
57	教科について 教科の好き嫌い	算数・数学	55.5	80.1	65.3	47.6	29.2	50.9		
58	教科について 教科の好き嫌い	理科	60.4	76.2	62.1	55.0	48.1	28.1		
59	教科について 教科の好き嫌い	音楽	68.7	73.7	68.9	68.8	63.4	10.3		
60	教科について 教科の好き嫌い	図画工作・美術	64.7	64.9	66.5	64.8	62.5	2.4		
61	教科について 教科の好き嫌い	保健体育	71.3	68.2	71.2	73.8	72.0	-3.8		

質問番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	川崎市	川崎市学力層別						質問の大きさ の順位
				A層	B層	C層	D層	AID層の差		
62	教科について 教科の好き嫌い	技術	66.6	74.5	68.6	64.9	58.3	16.2		
63	教科について 教科の好き嫌い	家庭	67.2	70.4	67.7	67.0	63.6	6.8		
64	教科について 教科の好き嫌い	英語	60.5	81.4	67.0	54.9	38.9	42.5		
65	教科について 教科の好き嫌い	総合的な学習の時間・生活	70.2	73.5	71.9	71.0	64.5	9.0		
66	教科について 教科の好き嫌い	道徳	67.9	66.8	68.1	70.3	66.3	0.5		
67	教科について 教科の好き嫌い	学級活動	78.8	83.6	82.8	78.8	69.9	13.7		
68	教科について 教科の理解度	国語	79.7	93.3	86.3	77.2	62.5	30.8		
69	教科について 教科の理解度	社会	68.8	87.5	72.4	62.1	53.2	34.3		
70	教科について 教科の理解度	算数・数学	69.6	93.7	82.8	63.2	38.8	54.9		
71	教科について 教科の理解度	理科	71.4	87.8	76.0	66.7	55.1	32.7		
72	教科について 教科の理解度	音楽	74.2	78.6	75.5	74.9	67.9	10.7		
73	教科について 教科の理解度	図画工作・美術	67.5	70.5	70.0	67.4	62.2	8.3		

質問番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	川崎市	川崎市学力層別					質問の大きさ の順位
				A層	B層	C層	D層	A/D層の差	
74	教科について	保健体育	79.5	81.2	81.3	80.3	75.0	6.2	
	教科の理解度								
75	教科について	技術	59.3	65.9	60.5	59.5	51.3	14.6	
	教科の理解度								
76	教科について	家庭	75.3	80.2	77.9	75.3	67.8	12.4	
	教科の理解度								
77	教科について	英語	66.2	88.4	75.4	59.9	41.5	46.9	
	教科の理解度								

質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)							
			ほとんど見えない	30分くらい	1時間くらい	1時間30分くらい	2時間くらい	2時間30分くらい	3時間より長く勉強する	その他無回答
81	要素 学習時間	川崎市	15.6	18.8	17.1	13.7	12.4	10.3	11.7	0.3
	小要素 平日									
	あなたは、学校の授業がある月曜日から金曜日に、学校の授業以外で1日にどれくらい勉強していますか？(じゅくで勉強している時間や、家庭教師の先生にみてもらっている時間もふくみます。)	A層	6.6	15.0	18.7	15.6	15.1	13.3	15.6	0.2
		B層	11.9	18.5	16.6	13.7	12.9	12.8	13.5	0.0
		C層	15.8	19.0	18.1	13.2	12.5	10.0	11.3	0.1
		D層	28.0	22.4	15.3	12.4	9.2	5.1	6.5	1.0

質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)							
			ほとんど見えない	30分くらい	1時間くらい	1時間30分くらい	2時間くらい	2時間30分くらい	3時間より長く勉強する	その他無回答
82	要素 学習時間	川崎市	24.8	22.8	21.1	11.0	9.6	4.7	5.7	0.3
	小要素 休日									
	あなたは、土曜日や日曜日など、学校が休みの日に、1日にどれくらい勉強していますか。(じゅくで勉強している時間や、家庭教師の先生にみてもらっている時間もふくみます。)	A層	12.2	18.9	24.2	14.3	14.1	6.3	9.8	0.2
		B層	21.8	22.1	23.1	11.7	10.3	5.2	5.7	0.1
		C層	25.2	25.0	22.4	10.1	8.2	4.3	4.6	0.3
		D層	39.8	25.1	14.8	7.8	5.9	3.0	2.7	0.9

質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)							その他無回答
			0冊	1,2冊	3,4冊	5,6冊	7,8冊	9,10冊	11冊以上	
78	要素 読書冊数	川崎市	26.5	35.6	15.7	8.4	3.8	2.3	7.2	0.5
	小要素									
	あなたは、この1か月の間に本を何冊くらい読みましたか。(教科書や参考書、マンガは数にいません。)	A層	15.0	33.1	19.2	11.1	5.4	3.2	12.6	0.3
		B層	24.5	35.6	17.2	8.6	4.1	2.8	7.1	0.2
		C層	29.9	37.8	14.4	7.7	3.6	1.7	4.6	0.3
		D層	36.6	36.1	12.1	6.0	2.0	1.5	4.5	1.1

質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)							
			ほとんど見えない	30分くらい	1時間くらい	1時間30分くらい	2時間くらい	2時間30分くらい	3時間より長く見る	その他無回答
79	要素 テレビを見る時間	川崎市	11.9	13.5	20.1	15.0	15.3	7.9	15.7	0.6
	小要素 平日									
	あなたは、学校の授業がある月曜日から金曜日に、1日にどれくらいテレビを見ますか。	A層	11.5	14.6	23.8	16.7	15.5	6.2	11.4	0.3
		B層	10.3	13.1	20.9	16.0	16.0	8.1	15.3	0.2
		C層	11.2	13.0	18.6	15.0	15.7	9.1	16.8	0.5
		D層	14.7	13.1	17.0	12.3	14.2	8.1	19.2	1.5

質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)							
			ほとんど見えない	30分くらい	1時間くらい	1時間30分くらい	2時間くらい	2時間30分くらい	3時間より長く見る	その他無回答
80	要素 テレビを見る時間	川崎市	11.6	10.6	14.9	13.2	16.0	10.2	23.1	0.5
	小要素 休日									
	あなたは、土曜日や日曜日など、学校が休みの日に、1日にどれくらいテレビを見ますか。	A層	8.2	9.2	15.3	15.4	19.6	10.8	21.4	0.2
		B層	9.7	10.0	14.4	14.0	16.8	11.2	23.7	0.2
		C層	11.1	11.4	15.2	12.8	15.0	10.4	23.7	0.3
		D層	17.3	11.7	14.8	10.6	12.4	8.5	23.5	1.2

質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)							
			ほとんど見えない	30分くらい	1時間くらい	1時間30分くらい	2時間くらい	2時間30分くらい	3時間より長くゲームをする	その他無回答
83	要素 ゲームをする時間	川崎市	16.7	13.4	17.9	12.8	13.4	6.9	18.6	0.3
	小要素 平日									
	あなたは、学校の授業がある月曜日から金曜日に、1日にどれくらいゲームをしますか。	A層	24.5	17.5	22.2	12.6	11.1	4.4	7.4	0.2
		B層	18.0	14.4	18.6	13.5	13.4	6.8	15.1	0.1
		C層	13.3	12.0	17.5	14.0	15.0	8.1	19.8	0.2
		D層	10.7	9.7	13.1	11.3	14.2	8.3	31.9	0.9

質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)							
			ほとんど見えない	30分くらい	1時間くらい	1時間30分くらい	2時間くらい	2時間30分くらい	3時間より長くゲームをする	その他無回答
84	要素 ゲームをする時間	川崎市	13.4	9.9	13.9	10.9	14.9	8.1	28.5	0.4
	小要素 休日									
	あなたは、土曜日や日曜日など、学校が休みの日に、1日にどれくらいゲームをしますか。	A層	17.1	13.0	17.6	13.2	16.2	6.4	16.3	0.2
		B層	14.8	10.6	14.1	10.6	16.0	8.1	25.8	0.0
		C層	11.5	8.9	13.1	10.7	15.3	9.5	30.5	0.3
		D層	10.2	7.0	10.8	9.2	12.1	8.3	41.4	0.9

質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)						その他無回答
			高校まで	専門学校・各種学校まで	短期大学まで	四年制大学まで	大学院まで	その他	
132	要素 進路意識	川崎市	15.2	23.3	6.6	34.7	13.1	4.7	2.5
	小要素								
	あなたは将来、どの学校まで進みたいですか。下の1~6から一つ選びなさい。	A層	4.6	14.7	4.6	55.0	15.7	3.5	1.9
		B層	9.6	22.9	6.6	39.4	14.4	4.9	2.0
		C層	15.9	28.5	7.2	28.7	13.6	3.8	2.3
		D層	30.4	26.8	8.1	15.9	8.6	6.4	3.8

質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)					その他無回答
			とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない		
133	要素 追加質問	川崎市	12.9	33.2	31.0	20.8		2.1
	小要素							
	勉強は、好きである。	A層	22.8	40.7	24.1	10.7		1.6
		B層	12.7	36.7	31.5	17.3		1.8
		C層	9.4	30.8	35.7	22.3		1.9
		D層	6.8	24.5	32.7	33.0		3.0
134	要素 追加質問	川崎市	68.9	23.6	4.2	1.1		2.2
	小要素							
	勉強をすることは、大切なことだと思う。	A層	78.1	17.3	2.3	0.5		1.7
		B層	72.0	22.7	2.9	0.5		1.9
		C層	67.9	25.3	4.0	0.9		1.9
		D層	57.7	29.0	7.5	2.7		3.2
135	要素 追加質問	川崎市	23.7	44.4	24.8	4.9		2.3
	小要素							
	わかった点・わからなかった点を見直し、次の学習に繋げている。	A層	33.6	47.1	15.7	1.9		1.7
		B層	25.0	47.4	21.7	3.8		2.0
		C層	20.0	45.6	28.5	3.8		2.1
		D層	16.2	37.5	33.2	9.9		3.2
136	要素 追加質問	川崎市	25.6	30.7	28.5	12.9		2.3
	小要素							
	家で自分で計画を立てて勉強している。	A層	34.0	33.6	23.0	7.6		1.9
		B層	26.9	32.3	27.9	10.9		2.0
		C層	23.7	31.1	30.8	12.4		2.0
		D層	17.9	25.9	32.3	20.5		3.4
137	要素 追加質問	川崎市	58.9	29.3	7.7	1.8		2.3
	小要素							
	授業で学んだことは、将来、社会に出たときに、役に立つ。	A層	66.5	25.3	5.3	1.0		1.9
		B層	60.8	30.0	5.8	1.3		2.1
		C層	58.1	31.3	7.3	1.3		1.9
		D層	50.3	30.4	12.4	3.6		3.3

質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)					その他無回答
			とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない		
138	要素 追加質問	川崎市	56.5	28.3	9.3	3.4		2.5
	小要素							
	学級みんなで協力して何かをやりとげ、うれしかったことがある。	A層	60.5	26.7	8.0	2.9		1.9
		B層	58.2	27.5	8.8	3.1		2.4
		C層	57.1	28.5	9.5	2.7		2.2
		D層	50.2	30.4	11.0	4.8		3.5
139	要素 追加質問	川崎市	60.3	17.7	11.5	8.0		2.4
	小要素							
	将来の夢や目標を持っている。	A層	57.2	18.6	15.2	7.0		2.0
		B層	60.8	17.7	10.9	8.3		2.4
		C層	61.8	16.8	11.2	8.0		2.1
		D層	61.6	17.8	8.7	8.6		3.3
140	要素 追加質問	川崎市	71.5	21.2	3.8	1.1		2.4
	小要素							
	人の役に立つ人間になりたいと思う。	A層	76.4	17.8	3.0	0.9		1.9
		B層	72.6	21.3	3.1	0.8		2.2
		C層	71.7	21.9	3.5	0.8		2.1
		D層	65.1	23.7	5.7	2.1		3.4
141	要素 追加質問	川崎市	53.5	35.7	7.1	1.2		2.5
	小要素							
	人が困っているときは、進んで助けている。	A層	50.7	39.6	6.8	1.0		1.9
		B層	52.5	37.1	6.8	1.3		2.3
		C層	55.4	34.9	6.5	1.0		2.2
		D層	55.5	31.0	8.2	1.8		3.5
142	要素 追加質問	川崎市	41.3	32.3	15.8	8.0		2.5
	小要素							
	自分には、よいところがあると思う。	A層	45.2	31.4	14.8	6.6		2.0
		B層	41.1	32.7	15.7	8.2		2.3
		C層	41.2	33.3	15.6	7.8		2.1
		D層	37.9	31.8	17.2	9.6		3.6

質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)					その他無回答
			とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない		
143	要素 追加質問	川崎市	33.4	30.0	21.1	12.9		2.6
	小要素							
	不安や悩み、ストレスがあるとき、誰かに相談できている。	A層	34.2	31.4	23.1	9.3		2.0
		B層	33.0	32.1	20.3	12.1		2.5
		C層	34.0	29.7	20.6	13.3		2.4
D層	32.5	26.7	20.2	16.9		3.6		
144	要素 追加質問	川崎市	46.6	31.0	13.5	6.3		2.6
小要素								
困ったとき、悩んだときは、身近な大人が話を聞いてくれる。	A層	48.5	32.1	12.4	5.0		2.1	
	B層	46.3	31.4	13.3	6.4		2.6	
	C層	47.2	31.1	13.6	5.8		2.3	
	D層	44.5	29.3	14.7	8.0		3.6	
145	要素 追加質問	川崎市	48.4	35.1	10.5	3.3		2.7
小要素								
自分のことは自分で決められるよう、身近な大人が助けてくれる。	A層	52.8	34.7	8.2	2.2		2.1	
	B層	49.1	35.1	9.8	3.3		2.6	
	C層	48.3	36.5	10.2	2.7		2.3	
	D層	43.4	34.2	13.5	5.1		3.8	
146	要素 追加質問	川崎市	53.4	30.9	9.5	3.5		2.7
小要素								
自分の住んでいる町がすきである。	A層	52.7	33.3	8.7	3.2		2.2	
	B層	51.8	32.9	9.0	3.8		2.5	
	C層	56.2	29.1	9.9	2.4		2.4	
	D層	52.7	28.3	10.5	4.8		3.8	
147	要素 追加質問	川崎市	17.1	28.0	32.0	20.1		2.8
小要素								
今、住んでいる地域の行事に参加している。	A層	17.4	30.5	32.0	17.8		2.2	
	B層	16.0	28.7	34.0	18.8		2.5	
	C層	18.7	27.1	32.6	19.1		2.5	
	D層	16.4	25.7	29.3	24.7		3.9	

質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)					その他無回答
			とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない		
148	要素 追加質問	川崎市	26.1	34.3	26.7	9.9		3.0
	小要素							
	地域や社会をよりよくするために、何をすべきか考えたことがある。	A層	30.8	36.1	23.6	7.2		2.3
		B層	26.6	35.6	26.5	8.6		2.8
		C層	24.7	35.1	28.5	9.0		2.7
D層		22.3	30.4	28.4	14.8		4.0	
149	要素 追加質問	川崎市	61.5	27.2	6.3	2.1		2.8
小要素								
GIGA端末は学習の役に立つと思う。	A層	65.5	25.3	4.9	2.1		2.2	
	B層	63.0	27.0	5.9	1.4		2.7	
	C層	62.1	27.6	5.9	1.8		2.6	
	D層	55.4	29.0	8.7	3.1		3.8	
150	要素 追加質問	川崎市	44.4	33.8	14.1	4.8		3.0
小要素								
前の学年までの授業で、ICT機器をどの程度使用しましたか。	A層	47.7	32.9	13.6	3.5		2.3	
	B層	45.7	34.7	13.0	3.9		2.7	
	C層	44.3	34.8	13.8	4.4		2.8	
	D層	40.0	32.7	16.1	7.1		4.0	
151	要素 追加質問	川崎市	26.1	33.6	28.2	9.1		2.9
小要素								
学校の授業がある月曜日から金曜日、一日にどれくらいスマートフォンやGIGA端末などのICT機器を、勉強のために使っていますか。	A層	24.7	36.0	29.5	7.5		2.3	
	B層	26.4	34.0	28.8	8.0		2.7	
	C層	26.6	34.5	27.8	8.4		2.7	
	D層	26.8	29.8	26.9	12.5		4.0	
152	要素 追加質問	川崎市	21.0	24.3	31.9	19.9		2.8
小要素								
土曜日や日曜日など、学校が休みの日に、1日にどれくらいスマートフォンやGIGA端末などのICT機器を、勉強のために使っていますか。	A層	17.6	26.0	36.2	18.0		2.2	
	B層	20.8	24.1	32.4	20.1		2.6	
	C層	21.9	23.9	30.9	20.7		2.6	
	D層	23.9	23.1	28.2	20.8		3.9	

【中学校 第2学年】

質問番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	川崎市	川崎市学力層別					AID層の差	質問の大きい順位
				A層	B層	C層	D層	AID層		
1	学びの基礎力	友だちと外で遊んでいる。	72.7	64.9	69.8	76.0	80.3	-15.4	105	
	豊かな基礎体験									
	基礎体験									
2	学びの基礎力	ゲーム機やケータイ、スマートフォンでゲームをしている。	88.3	83.5	87.4	91.3	91.2	-7.7	104	
	豊かな基礎体験									
	基礎体験									
3	学びの基礎力	本や新聞を読んでいる。	49.6	61.7	52.1	46.3	38.5	23.2	20	
	豊かな基礎体験									
	基礎体験									
4	学びの基礎力	パソコンやインターネットを使う。	93.2	94.4	94.2	94.1	90.2	4.2	97	
	豊かな基礎体験									
	基礎体験									
5	学びの基礎力	放課後や土曜日などに、学校の活動や集まりがあれば、参加している。	82.6	89.3	85.1	81.5	74.7	14.6	50	
	豊かな基礎体験									
	基礎体験									
6	学びの基礎力	ゲーム機やケータイ、スマートフォンでゲームをするときは、家の人と時間についてルールを決めている。(ゲームをしない人は、1番を選んでください。)	60.3	73.1	64.6	57.9	45.5	27.6	14	
	豊かな基礎体験									
	基礎体験									
7	学びの基礎力	ケータイやスマートフォンで電話やメールをするときは、家の人と時間を決めている。(ケータイやスマートフォンで電話やメールをしない人は、1番を選んでください。)	49.7	59.6	52.0	48.2	39.1	20.5	26	
	豊かな基礎体験									
	基礎体験									
8	学びの基礎力	家の人は自分のことを気にかけてくれていると思う	94.0	96.4	95.8	93.3	90.6	5.8	90	
	豊かな基礎体験									
	基礎体験									
9	学びの基礎力	今まで教えてもらった学校の先生は、自分のことを認めてくれていたと思う。	90.3	93.5	93.1	89.0	85.5	8.0	81	
	豊かな基礎体験									
	基礎体験									
10	学びの基礎力	勉強やスポーツのことで、家の人が応援してくれる。	92.9	95.5	94.4	93.0	88.8	6.7	86	
	豊かな基礎体験									
	基礎体験									
11	学びの基礎力	将来の夢やこれからの進路について家の人と話をする。	70.4	75.7	71.4	69.2	65.4	10.3	72	
	豊かな基礎体験									
	基礎体験									
12	学びの基礎力	新聞に書かれていることについて家の人と話をする。	18.4	24.2	18.6	15.9	15.1	9.1	77	
	豊かな基礎体験									
	基礎体験									

質問番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	川崎市	川崎市学力層別					AID層の差	質問の大きい順位
				A層	B層	C層	D層	AID層		
13	学びの基礎力	朝食は毎日食べている。	87.7	94.6	91.5	87.3	77.4	17.2	43	
	豊かな基礎体験									
	基本的生活習慣									
14	学びの基礎力	朝、起こされなくても自分で起きている。	67.7	67.2	66.8	69.1	67.9	-0.7	103	
	豊かな基礎体験									
	基本的生活習慣									
15	学びの基礎力	夜は決まった時間になている。	45.7	50.9	47.5	45.0	39.5	11.4	65	
	豊かな基礎体験									
	基本的生活習慣									
16	学びの基礎力	家の人からたよりにされて、何かの役割をまかされている。	66.2	68.6	66.6	67.3	62.4	6.2	89	
	豊かな基礎体験									
	基本的生活習慣									
17	学びの基礎力	食器の後かたづけなど、自分のことは自分でしている。	73.9	76.1	72.1	74.0	73.6	2.5	102	
	豊かな基礎体験									
	基本的生活習慣									
18	学びの基礎力	ふだんから「不思議だな」「なぜだろう」と感じることもある。	73.6	81.3	74.5	71.9	67.0	14.3	53	
	学びに向かう力									
	感じ取る力									
19	学びの基礎力	本やドラマなどを見て、人の生き方に感動することがある。	68.8	72.7	69.6	70.1	62.8	9.9	73	
	学びに向かう力									
	感じ取る力									
20	学びの基礎力	学習していて、おもしろい、楽しいと思うことがある。	75.3	84.9	80.0	71.5	64.8	20.1	30	
	学びに向かう力									
	感じ取る力									
21	学びの基礎力	学習して身につけた知識は、いずれ仕事や生活の中で役に立つと思う。	86.3	89.0	86.9	85.4	84.0	5.0	94	
	学びに向かう力									
	学習動機									
22	学びの基礎力	学習して、わかったりできたりするが増えるのは、うれしい。	88.7	92.4	90.4	87.5	84.7	7.7	84	
	学びに向かう力									
	学習動機									
23	学びの基礎力	学校に行くのが楽しい。	81.1	85.5	83.5	80.2	75.6	9.9	73	
	学びに向かう力									
	学習動機									
24	学びの基礎力	同じ間違いをしないように気をつけている。	89.2	92.6	90.7	89.6	84.0	8.6	79	
	学びに向かう力									
	自己責任									

質問番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	川崎市	川崎市学力層別						質問の 差の 大きい 順位
				A層	B層	C層	D層	A D 層 の 差		
25	学びの基礎力	努力をすれば、自分もたいいのことはできと思う。	82.7	84.0	83.8	83.0	79.9	4.1	98	
	学びに向かう力									
	自己有能感									
26	学びの基礎力	ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある。	91.8	93.9	93.2	91.3	88.7	5.2	93	
	学びに向かう力									
	達成感									
27	学びの基礎力	黒板に書かれていないことでも、大事なことはノートに書きとめている。	71.9	83.7	76.1	69.9	58.0	25.7	15	
	自ら学ぶ力									
	学習スキル									
28	学びの基礎力	テストで間違えた問題は、もう一度やり直している。	54.3	70.3	56.8	51.3	38.7	31.6	6	
	自ら学ぶ力									
	学習スキル									
29	学びの基礎力	授業で学んだことを自分なりにノートにまとめ直している。	51.1	56.0	53.0	50.9	44.5	11.5	63	
	自ら学ぶ力									
	学習スキル									
30	学びの基礎力	新しく習ったことは、何度もくり返して練習している。	51.6	65.7	55.5	47.6	37.8	27.9	13	
	自ら学ぶ力									
	学習定着のための方略									
31	学びの基礎力	授業で習ったことはそのまま覚えるのではなく、その理由や考え方も一緒に理解しようとしている。	62.9	81.5	68.4	57.7	44.1	37.4	2	
	自ら学ぶ力									
	学習定着のための方略									
32	学びの基礎力	授業で習ったことをふだんの生活と結びつけて考えている。	52.7	63.9	53.0	50.2	43.6	20.3	28	
	自ら学ぶ力									
	学習定着のための方略									
33	学びの基礎力	習った内容の中で、何がまだ理解できていないか、わかっている。	80.9	87.7	84.1	80.3	71.7	16.0	45	
	自ら学ぶ力									
	学習計画力									
34	学びの基礎力	その日のめあてを決めて、授業や家で学習に取り組んでいる。	40.8	46.5	40.7	40.3	35.9	10.6	70	
	自ら学ぶ力									
	学習計画力									
35	学びの基礎力	自分で学習の計画を立てている。	51.5	61.6	55.9	49.2	39.3	22.3	22	
	自ら学ぶ力									
	学習計画力									
36	学びの基礎力	目標に向けて、ふだんからこつこつ学習している。	48.6	60.7	50.5	45.3	37.8	22.9	21	
	学びを律する力									
	学習継続力									

質問番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	川崎市	川崎市学力層別						質問の 差の 大きい 順位
				A層	B層	C層	D層	A D 層 の 差		
37	学びの基礎力	わからないことはそのままにせず、わかるまで努力している。	61.9	81.3	65.4	55.9	45.0	36.3	3	
	学びを律する力									
	学習継続力									
38	学びの基礎力	学習を始めたら、他のことに気をとられないで、集中している。	51.2	59.4	55.1	48.5	41.9	17.5	40	
	学びを律する力									
	学習のけじめ									
39	学びの基礎力	かん違いや思いこみがないか、しっかり見直しをしている。	64.2	75.3	66.9	61.1	53.6	21.7	23	
	学びを律する力									
	学習のけじめ									
40	学びの基礎力	正しい姿勢で学習している。	60.3	63.4	62.7	61.0	54.1	9.3	76	
	学びを律する力									
	学習環境の整備									
41	学びの基礎力	必要なものをきちんとそろえてから、学習を始めている。	86.3	90.4	89.2	86.5	79.2	11.2	67	
	学びを律する力									
	学習環境の整備									
42	学びの基礎力	授業を集中して受けている。	85.2	92.3	89.8	85.2	73.6	18.7	34	
	学びを律する力									
	授業を受ける姿勢									
43	社会的実践力	調べてわかったことをもとに、考えをまとめることができる。	71.1	85.7	76.0	68.5	54.4	31.3	7	
	問題解決力									
	社会的実践力									
44	社会的実践力	筋道を立てて、ものごとを考えることができる。	68.4	83.1	71.6	64.4	54.6	28.5	9	
	問題解決力									
	社会的実践力									
45	社会的実践力	自分の意見や考えを相手にわかりやすく伝えることができる。	63.3	74.8	67.6	60.9	50.0	24.8	16	
	問題解決力									
	社会的実践力									
46	社会的実践力	調べたことを、パソコンを使ってまとめたり、発表したりすることができる。	68.4	81.1	73.5	66.8	52.3	28.8	8	
	問題解決力									
	社会的実践力									
47	社会的実践力	テレビのニュースや新聞などで、最近の社会のできごとをよく知っている。	68.6	74.4	71.2	68.8	59.9	14.5	51	
	社会参画力									
	社会的実践力									
48	社会的実践力	社会で問題になっていることについて、どうすればよいか、考えたことがある。	60.5	69.1	63.3	58.9	50.9	18.2	36	
	社会参画力									
	社会的実践力									

質問番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	川崎市	川崎市学力層別						質問の大きさの順位
				A層	B層	C層	D層	Aの差 D層		
49	社会的実践力	自分がやらなければならないことは、責任を持ってやりぬくことができる。	85.7	90.7	89.6	85.3	77.2	13.5	58	
	豊かな心									
50	社会的実践力	難しいことでも、失敗をおそれないで、取り組んでいる。	65.6	70.4	66.1	66.3	59.6	10.8	68	
	豊かな心									
51	社会的実践力	いつも新しいアイデアを考えたり、工夫したりしている。	65.6	71.2	68.2	65.5	57.5	13.7	56	
	豊かな心									
52	社会的実践力	自分と違う意見も尊重している。	91.6	95.5	94.5	92.7	83.6	11.9	62	
	豊かな心									
53	社会的実践力	自分には、先生や友だちからほめられるような得意なことがある。	68.0	72.0	69.4	66.8	64.0	8.0	81	
	自己成長力									
54	社会的実践力	自分の力をできるだけ伸ばしたいと思う。	92.9	96.0	95.0	92.5	88.1	7.9	83	
	自己成長力									
105	学級力	私は、みんなで決めた学級目標に力を合わせて取り組んでいる。	85.9	87.9	87.8	86.5	81.3	6.6	87	
	やりとげる力									
106	学級力	私は、係や当番の活動に責任を持って取り組んでいる。	93.3	96.4	95.2	93.8	88.0	8.4	80	
	やりとげる力									
107	学級力	私は、自分たちの学習や生活をよくするための話し合いや活動に、進んで取り組んでいる。	75.6	80.4	77.4	75.6	69.0	11.4	65	
	やりとげる力									
108	学級力	私は、生徒会で決めた活動や学校行事に、進んで取り組んでいる。	77.9	82.3	80.1	79.2	70.1	12.2	60	
	やりとげる力									
109	学級力	私は、学年や学校のためになる活動を提案して、進んで取り組んでいる。	52.4	55.1	53.0	52.4	49.3	5.8	90	
	自律力									
110	学級力	私は、楽しむときとまじめに集中するときのけじめをつけることができる。	83.1	89.1	87.3	82.3	73.8	15.3	48	
	自律力									

質問番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	川崎市	川崎市学力層別						質問の大きさの順位
				A層	B層	C層	D層	Aの差 D層		
111	学級力	私は、集合の時間、授業開始の時間、活動終了の時間などを守っている。	89.0	94.1	91.0	89.3	81.6	12.5	59	
	自律力									
112	学級力	私は、学級会で、司会や記録を担当して話し合いを進めたことがある。	43.4	54.2	44.4	40.8	33.9	20.3	28	
	自律力									
113	学級力	私は、学校や授業で発言している人の話を最後までしっかり聞いている。	89.4	94.7	92.6	89.3	80.9	13.8	55	
	対話力									
114	学級力	私は、友だちの話を賛成・反対・つけたしと、つなげるように発言している。	57.5	63.7	59.8	55.0	51.7	12.0	61	
	対話力									
115	学級力	私は、話し合いのとき、考えや意見を進んで出している。	53.5	62.9	56.4	50.2	44.6	18.3	35	
	対話力									
116	学級力	私は、異なる意見や提案をよく聞いて、話し合いをまとめたことがある。	51.1	60.4	53.6	48.8	41.4	19.0	31	
	対話力									
117	学級力	私は、家庭学習や調査前学習などで、教え合いをしている。	42.9	48.7	44.1	41.4	37.2	11.5	63	
	支え合う力									
118	学級力	私は、小さなけんかやトラブルは、話し合いで解決している。	83.0	88.9	86.0	82.7	74.6	14.3	53	
	支え合う力									
119	学級力	私は、「ありがとう」を伝え合っている。	93.8	95.3	94.9	94.7	90.3	5.0	94	
	支え合う力									
120	学級力	私は、授業中、グループ学習やグループ活動によく協力している。	83.8	89.3	87.9	82.3	75.6	13.7	56	
	支え合う力									
121	学級力	私は、友だちをばかにしたりからかったりせず、一人ひとりの心や命を大切にしている。	89.9	92.6	90.7	89.5	86.8	5.8	90	
	共生力									
122	学級力	私は、友だちの間に上下関係なく、誰とも平等に接している。	91.2	92.4	92.0	91.6	88.9	3.5	100	
	共生力									

質問番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	川崎市	川崎市学力層別					質問の大きさ の順位
				A層	B層	C層	D層	AID層の差	
123	学級力	私は、友だちのよいところやがんばりを認めて伝え合っている。	89.7	90.7	91.6	90.0	86.6	4.1	98
	共生力								
124	学級力	私は、男女仲よく、共に学んだり活動している。	90.4	93.9	92.9	90.3	84.4	9.5	75
	共生力								
125	学級力	私は、授業中にむだなおしゃべりをしない。	72.4	80.2	75.5	71.1	62.9	17.3	41
	規律力								
126	学級力	私は、あいさつ、服装、持ち物などについて、学校のきまりを守っている。	91.9	96.2	93.8	92.2	85.5	10.7	69
	規律力								
127	学級力	私は、ろうかや教室を進んで整理整頓している。	60.1	62.6	60.9	60.6	56.3	6.3	88
	規律力								
128	学級力	私は、校外でも人の迷惑にならないように考えて行動している。	91.3	94.6	93.3	91.3	85.8	8.8	78
	規律力								
129	家庭学習力	家で学習していて、わからないときは教えてくれる人がいる。	78.0	82.2	79.6	78.4	71.6	10.6	70
	家庭学習力								
130	家庭学習力	家で学習するときは、苦手な教科もしっかりと学習している。	74.0	86.8	78.1	72.4	58.6	28.2	10
	家庭学習力								
131	家庭学習力	学校の先生が出した宿題をきちんとやりとげている。	84.7	94.2	90.1	84.6	69.8	24.4	18
	家庭学習力								
132	家庭学習力	次の日の授業に必要な教科書やノートなどは、前の日に準備している。	74.1	75.4	75.5	74.7	70.8	4.6	96
	家庭学習力								
133	家庭学習力	自分の得意な分野をさらに伸ばすために、家で自分なりに学んでいることがある。	70.4	77.7	73.7	69.1	61.1	16.6	44
	家庭学習力								
134	家庭学習力	テレビやラジオをつけずに集中して学習している。	63.2	70.7	67.8	61.6	52.6	18.1	37
	家庭学習力								

質問番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	川崎市	川崎市学力層別					質問の大きさ の順位
				A層	B層	C層	D層	AID層の差	
135	家庭学習力	授業で習ったことは、その日のうちに復習している。	26.8	28.7	26.4	26.6	25.7	3.0	101
	家庭学習力								
85	学習方略 国語	国語の授業で、わからない言葉があれば、国語辞典で調べるようにしている。	32.3	40.9	33.1	28.9	26.5	14.4	52
	学習方略 国語								
86	学習方略 国語	国語の授業で、文章の書き方のよい例を参考にして書くことがある。	71.3	81.5	76.9	69.6	57.7	23.8	19
	学習方略 国語								
87	学習方略 国語	国語の授業で、物語を作ったことがある。	59.4	66.5	64.7	59.3	47.5	19.0	31
	学習方略 国語								
88	学習方略 国語	国語の授業で、グループで話し合いや教え合いをしている。	77.7	83.4	81.8	77.9	68.4	15.0	49
	学習方略 国語								
89	学習方略 数学	算数・数学の授業で、グループで協力して問題を解いて発表することがある。	61.6	68.0	65.1	61.6	52.2	15.8	46
	学習方略 数学								
90	学習方略 数学	算数・数学の授業で、文章や式、図や表などを組み合わせて自分の考えを説明したことがある。	53.8	77.5	61.5	45.7	30.6	46.9	1
	学習方略 数学								
91	学習方略 数学	算数・数学の宿題で、文章題を作ったことがある。	39.7	48.6	44.7	37.5	28.1	20.5	26
	学習方略 数学								
92	学習方略 数学	算数・数学の授業で、グループで話し合いや教え合いをしている。	69.6	80.8	76.9	68.3	52.8	28.0	12
	学習方略 数学								
101	学習方略 英語	英語の宿題で、日常的な出来事について、短い英作文を書いたことがある。	68.2	81.5	74.8	68.2	48.6	32.9	4
	学習方略 英語								
102	学習方略 英語	英語の授業で、買い物や旅行などの場面を通して、自分で会話文を作ってコミュニケーションしている。	59.8	75.1	64.1	58.0	42.2	32.9	4
	学習方略 英語								
103	学習方略 英語	英語の授業で、テレビや電子黒板などを使って、映像やアニメーションを見ながら会話練習をしている。	73.2	84.7	79.9	72.1	56.5	28.2	10
	学習方略 英語								

質問番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	川崎市	川崎市学力層別					A の 差 D 層	差の 大きい 順位
				A層	B層	C層	D層			
104	学習方略	英語の授業で、グループで話し合いや教え合いをしている。	69.0	77.1	73.4	70.2	55.9	21.2	25	
	英語									
93	学習方略	社会の授業で、テレビや電子黒板などを使って、写真や地図・グラフなどを見ることがある。	80.5	87.4	83.7	80.9	70.1	17.3	41	
	社会									
94	学習方略	社会の授業で、調べたことを、新聞形式でまとめたことがある。	45.5	48.6	47.0	45.3	41.0	7.6	85	
	社会									
95	学習方略	社会の授業で、いま、世の中で起こっていることについて、資料をもとにして考えることがある。	60.0	67.2	64.6	60.0	48.3	18.9	33	
	社会									
96	学習方略	社会の授業で、グループで話し合いや教え合いをしている。	74.1	81.1	77.6	74.5	63.5	17.6	39	
	社会									
97	学習方略	理科の授業で、実験や調査に取り組む前に、仮説を立てたり結果を予想したりしている。	82.7	92.4	88.2	82.6	67.6	24.8	16	
	理科									
98	学習方略	理科の授業で、テレビや電子黒板などを使って、実験や観察のようすや自然のいろいろなようすなどについて、写真や映像などを見ることがある。	85.0	91.5	89.4	85.8	73.4	18.1	37	
	理科									
99	学習方略	理科の授業で、実験や調査が終わったあとに、気づいたことや新しい疑問などについて、話し合ったりまとめたりしている。	73.6	82.3	77.6	73.7	61.0	21.3	24	
	理科									
100	学習方略	理科の授業で、グループで話し合いや教え合いをしている。	76.9	82.7	80.6	77.4	67.2	15.5	47	
	理科									
55	教科について	国語	67.4	76.9	71.3	65.3	56.4	20.5		
	教科の好き嫌い									
56	教科について	社会	59.8	77.3	63.1	54.8	44.0	33.3		
	教科の好き嫌い									
57	教科について	算数・数学	49.8	75.5	61.7	39.5	22.5	53.0		
	教科の好き嫌い									

質問番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	川崎市	川崎市学力層別					A の 差 D 層	差の 大きい 順位
				A層	B層	C層	D層			
58	教科について	理科	58.7	76.3	60.4	52.8	45.3	31.0		
	教科の好き嫌い									
59	教科について	音楽	67.9	68.8	69.2	68.0	65.9	2.9		
	教科の好き嫌い									
60	教科について	図画工作・美術	70.0	67.3	69.4	72.7	70.9	-3.6		
	教科の好き嫌い									
61	教科について	保健体育	71.0	66.2	67.6	75.0	75.1	-8.9		
	教科の好き嫌い									
62	教科について	技術	64.8	67.7	64.4	65.6	61.4	6.3		
	教科の好き嫌い									
63	教科について	家庭	63.9	65.7	64.7	63.7	61.5	4.2		
	教科の好き嫌い									
64	教科について	英語	61.8	86.5	73.2	54.5	33.3	53.2		
	教科の好き嫌い									
65	教科について	総合的な学習の時間・生活	69.8	69.5	71.2	70.0	68.7	0.8		
	教科の好き嫌い									
66	教科について	道徳	67.9	63.8	68.4	70.4	68.9	-5.1		
	教科の好き嫌い									
67	教科について	学級活動	77.2	80.8	79.2	77.0	71.8	9.0		
	教科の好き嫌い									
68	教科について	国語	81.9	95.0	90.1	80.0	63.1	31.9		
	教科の理解度									
69	教科について	社会	62.9	86.2	69.6	55.3	40.4	45.8		
	教科の理解度									

質問番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	川崎市	川崎市学力層別					質問の差の大きい順位の
				A層	B層	C層	D層	A/D層の差	
70	教科について	算数・数学	59.6	91.0	74.3	49.5	23.6	67.4	
	教科の理解度								
71	教科について	理科	63.3	85.5	68.5	55.5	43.8	41.7	
	教科の理解度								
72	教科について	音楽	73.3	77.8	76.0	73.4	66.2	11.6	
	教科の理解度								
73	教科について	図画工作・美術	76.9	80.0	78.7	77.9	71.4	8.6	
	教科の理解度								
74	教科について	保健体育	77.6	79.5	76.7	79.1	75.3	4.2	
	教科の理解度								
75	教科について	技術	70.6	78.3	72.7	70.3	61.2	17.1	
	教科の理解度								
76	教科について	家庭	72.3	79.9	74.4	71.2	64.0	15.9	
	教科の理解度								
77	教科について	英語	66.3	95.0	81.3	59.0	30.5	64.5	
	教科の理解度								

質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)							その他無回答
			ほとんどしない	30分くらい	1時間くらい	1時間30分くらい	2時間くらい	2時間30分くらい	3時間より長く勉強する	
81	要素 学習時間	川崎市	15.7	13.3	14.5	14.5	15.5	12.1	14.2	0.2
	小要素 平日									
	あなたは、学校の授業がある月曜日から金曜日に、学校の授業以外で1日にどれくらい勉強していますか？(じゅくで勉強している時間や、家庭教師の先生にみてもらっている時間もふくみます。)	A層	6.3	10.3	12.7	13.0	18.7	18.3	20.7	0.0
		B層	10.1	11.6	15.0	16.1	17.3	13.9	15.9	0.1
		C層	17.1	14.0	15.3	14.4	16.0	10.3	12.7	0.2
		D層	29.0	17.4	15.1	14.3	10.2	6.1	7.6	0.4
82	要素 学習時間	川崎市	24.6	16.6	17.1	11.3	12.1	8.0	10.1	0.2
	小要素 休日									
	あなたは、土曜日や日曜日など、学校が休みの日に、1日にどれくらい勉強していますか。(じゅくで勉強している時間や、家庭教師の先生にみてもらっている時間もふくみます。)	A層	11.2	10.9	16.3	13.1	17.4	11.8	19.3	0.1
		B層	18.8	16.7	18.7	12.1	13.9	9.9	9.7	0.1
		C層	27.2	18.9	18.4	10.8	10.8	6.7	7.0	0.2
		D層	41.0	19.8	15.0	9.1	6.4	3.7	4.5	0.5

質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)							
			0冊	1,2冊	3,4冊	5,6冊	7,8冊	9,10冊	11冊以上	その他無回答
78	要素 読書冊数	川崎市	34.4	38.2	12.7	6.1	2.5	1.6	4.3	0.3
	小要素									
	あなたは、この1か月の間に本を何冊くらい読みましたか。(教科書や参考書、マンガは数にしません。)	A層	23.3	41.3	15.8	8.2	3.6	2.2	5.6	0.1
		B層	30.8	40.7	14.1	6.5	2.1	1.5	4.1	0.3
		C層	38.8	36.9	11.2	5.5	2.3	1.3	3.7	0.3
		D層	44.5	33.9	9.6	4.4	2.0	1.4	3.6	0.6

質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)							その他無回答
			ほとんど見ない	30分くらい	1時間くらい	1時間30分くらい	2時間くらい	2時間30分くらい	3時間より長く見る	
79	要素 テレビを見る時間	川崎市	16.0	16.6	20.9	13.3	13.9	6.3	12.7	0.4
	小要素 平日									
	あなたは、学校の授業がある月曜日から金曜日に、1日にどれくらいテレビを見ますか。	A層	16.6	19.5	25.5	14.5	12.7	4.0	7.0	0.2
		B層	14.6	16.9	22.4	12.9	15.8	5.7	11.4	0.2
		C層	13.8	15.5	20.3	13.3	14.6	7.2	15.0	0.3
		D層	19.0	14.6	15.3	12.3	12.5	8.2	17.4	0.7

質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)							その他無回答
			ほとんど見ない	30分くらい	1時間くらい	1時間30分くらい	2時間くらい	2時間30分くらい	3時間より長く見る	
80	要素 テレビを見る時間	川崎市	14.1	11.8	15.9	12.5	15.8	9.0	20.6	0.3
	小要素 休日									
	あなたは、土曜日や日曜日など、学校が休みの日に、1日にどれくらいテレビを見ますか。	A層	11.2	11.7	17.8	14.9	18.3	9.2	16.9	0.1
		B層	12.7	11.2	16.0	12.4	17.5	9.7	20.3	0.2
		C層	13.9	10.6	15.4	12.2	15.1	9.5	23.0	0.3
		D層	18.7	13.6	14.3	10.7	12.4	7.6	22.1	0.6

質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)							その他無回答
			ほとんどしない	30分くらい	1時間くらい	1時間30分くらい	2時間くらい	2時間30分くらい	3時間より長くゲームをする	
83	要素 ゲームをする時間	川崎市	21.7	12.4	16.3	11.9	12.9	6.7	17.8	0.2
	小要素 平日									
	あなたは、学校の授業がある月曜日から金曜日に、1日にどれくらいゲームをしますか。	A層	28.6	15.9	20.5	13.3	10.3	3.8	7.7	0.0
		B層	24.0	13.3	17.7	12.2	13.3	6.7	12.7	0.2
		C層	18.7	11.2	15.9	11.4	14.0	8.0	20.6	0.2
		D層	15.7	9.4	11.2	10.7	14.2	8.4	29.9	0.5

質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)							その他無回答
			ほとんどしない	30分くらい	1時間くらい	1時間30分くらい	2時間くらい	2時間30分くらい	3時間より長くゲームをする	
84	要素 ゲームをする時間	川崎市	16.9	9.7	11.9	8.9	13.4	7.6	31.4	0.2
	小要素 休日									
	あなたは、土曜日や日曜日など、学校が休みの日に、1日にどれくらいゲームをしますか。	A層	20.6	12.0	15.8	10.2	14.0	7.0	20.1	0.1
		B層	18.9	10.0	11.8	9.7	14.7	7.3	27.6	0.1
		C層	14.6	8.7	11.1	8.6	13.4	7.6	35.8	0.2
		D層	13.5	8.2	9.1	7.2	11.2	8.4	41.9	0.5

質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)						
			高校まで	専門学校・各種学校まで	短期大学まで	四年制大学まで	大学院まで	その他	その他無回答
137	要素 進路意識	川崎市	13.9	19.2	6.0	42.9	11.7	4.6	1.7
	小要素								
	あなたは将来、どの学校まで進みたいですか。下の1~6から一つ選びなさい。	川崎市	A層 3.3 B層 7.6 C層 14.6 D層 30.1	8.9 15.7 24.6 27.6	3.0 5.3 7.9 7.8	65.2 52.3 36.4 17.7	15.8 13.5 10.2 7.4	2.9 4.7 4.7 5.9	0.7 1.0 1.6 3.4
質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)					その他無回答	
			部活動に参加し、熱心に活動している	部活動には参加しているが、あまり熱心には活動していない	以前は参加していたが、今は参加していない	今まで参加したことは無い			
136	要素 部活動	川崎市	68.4	17.3	6.6	6.1		1.5	
	小要素								
	あなたは現在、部活動に参加していますか。下の1~4から一つ選びなさい。	川崎市	A層 77.4 B層 71.3 C層 68.5 D層 56.7	14.7 17.5 17.2 19.7	3.3 4.9 6.4 11.8	3.9 5.6 6.5 8.6		0.7 0.7 1.4 3.3	
質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)					その他無回答	
			とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない			
138	要素 追加質問	川崎市	8.3	26.4	33.2	30.7		1.5	
	小要素								
	勉強は、すきである。	川崎市	A層 15.9 B層 8.2 C層 5.3 D層 4.0	38.3 30.6 21.6 14.9	28.8 35.3 37.6 31.0	16.1 25.0 34.3 47.2		1.0 0.9 1.2 2.9	
質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)					その他無回答	
			とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない			
139	要素 追加質問	川崎市	60.7	29.7	6.1	2.0		1.5	
	小要素								
	勉強をすることは、大切なことだと思う。	川崎市	A層 71.1 B層 63.4 C層 59.0 D層 49.4	23.8 29.9 32.1 33.1	3.5 4.5 5.7 10.5	0.7 1.3 1.9 4.1		0.9 0.9 1.3 3.0	
質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)					その他無回答	
			とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない			
140	要素 追加質問	川崎市	18.2	42.9	29.8	7.6		1.6	
	小要素								
	わかった点・わからなかった点を見直し、次の学習に繋げている。	川崎市	A層 30.4 B層 18.3 C層 13.6 D層 10.5	48.8 48.9 42.5 31.3	17.2 27.2 35.1 39.6	2.6 4.7 7.4 15.6		1.0 0.9 1.3 3.0	

質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)					その他無回答
			とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない		
141	要素 追加質問	川崎市	18.4	30.3	32.0	17.6		1.7
	小要素							
	家で自分で計画を立てて勉強している。	川崎市	A層 27.5 B層 18.9 C層 15.6 D層 11.9	33.2 34.7 30.9 22.4	27.5 29.9 34.8 36.0	10.7 15.4 17.5 26.6		1.1 1.1 1.3 3.1
質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)					その他無回答
			とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない		
142	要素 追加質問	川崎市	43.8	38.2	13.0	3.3		1.8
	小要素							
	授業で学んだことは、将来、社会に出たときに、役に立つ。	川崎市	A層 52.2 B層 45.1 C層 42.1 D層 35.6	34.1 38.9 40.3 39.5	10.3 12.3 12.9 16.5	2.3 2.5 3.3 5.0		1.0 1.2 1.4 3.4
質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)					その他無回答
			とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない		
143	要素 追加質問	川崎市	53.0	30.9	10.4	4.0		1.8
	小要素							
	学級みんなで協力して何かをやりとげ、うれしかったことがある。	川崎市	A層 58.8 B層 54.3 C層 52.8 D層 46.0	28.3 31.7 30.6 33.0	9.0 9.3 10.9 12.1	2.7 3.4 4.3 5.6		1.1 1.2 1.5 3.3
質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)					その他無回答
			とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない		
144	要素 追加質問	川崎市	43.2	23.3	17.7	13.9		1.9
	小要素							
	将来の夢や目標を持っている。	川崎市	A層 39.2 B層 42.4 C層 44.8 D層 46.5	25.2 24.6 22.5 20.9	20.9 18.2 16.8 15.1	13.5 13.5 14.4 14.2		1.2 1.3 1.6 3.4
質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)					その他無回答
			とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない		
145	要素 追加質問	川崎市	65.1	25.8	5.5	1.6		1.9
	小要素							
	人の役に立つ人間になりたいと思う。	川崎市	A層 70.6 B層 67.8 C層 64.3 D層 57.9	22.6 25.2 27.0 28.4	4.3 4.5 5.5 7.9	1.2 1.3 1.7 2.5		1.3 1.3 1.6 3.3

質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)					その他無回答
			とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない		
146	要素 追加質問	川崎市	47.1	40.8	8.8	1.5		1.9
	小要素							
	人が困っているときは、進んで助けている。	A層	46.1	42.7	8.9	1.0		1.2
		B層	46.5	42.8	8.2	1.2		1.3
C層		48.0	41.2	7.7	1.4		1.7	
D層	48.0	36.3	10.3	2.2		3.2		
質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)					その他無回答
	要素 追加質問	川崎市	35.0	35.1	18.8	9.2		
147	要素 追加質問	川崎市	35.0	35.1	18.8	9.2		1.9
	小要素							
	自分には、よいところがあると思う。	A層	38.0	36.9	16.3	7.7		1.2
		B層	35.1	37.4	18.7	7.6		1.3
C層		34.3	33.9	20.6	9.4		1.7	
D層		32.6	32.3	19.5	12.3		3.3	
質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)					その他無回答
	要素 追加質問	川崎市	31.5	32.1	22.1	12.4		
148	要素 追加質問	川崎市	31.5	32.1	22.1	12.4		1.9
	小要素							
	不安や悩み、ストレスがあるとき、誰かに相談できている。	A層	33.6	34.8	22.3	8.1		1.3
		B層	31.6	32.4	24.2	10.6		1.3
C層		30.2	31.6	22.3	14.1		1.7	
D層		30.9	29.6	19.5	16.8		3.3	
質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)					その他無回答
	要素 追加質問	川崎市	40.5	34.4	15.5	7.7		
149	要素 追加質問	川崎市	40.5	34.4	15.5	7.7		1.9
	小要素							
	困ったとき、悩んだときは、身近な大人が話を聞いてくれる。	A層	44.9	33.7	14.3	5.8		1.3
		B層	41.1	36.7	14.7	6.0		1.5
C層		39.5	34.9	15.6	8.4		1.7	
D層		36.4	32.3	17.3	10.6		3.3	
質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)					その他無回答
	要素 追加質問	川崎市	43.6	37.9	12.1	4.3		
150	要素 追加質問	川崎市	43.6	37.9	12.1	4.3		2.1
	小要素							
	自分のことは自分で決められるよう、身近な大人が助けてくれる。	A層	48.8	37.2	9.9	2.7		1.4
		B層	43.1	41.4	10.8	3.2		1.5
C層		44.0	36.9	12.6	4.7		1.8	
D層		38.5	36.2	15.2	6.6		3.6	
質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)					その他無回答
	要素 追加質問	川崎市	45.5	36.3	11.4	4.7		
151	要素 追加質問	川崎市	45.5	36.3	11.4	4.7		2.1
	小要素							
	自分の住んでいる町がすきである。	A層	45.9	38.0	10.9	3.9		1.3
		B層	44.6	38.3	11.4	4.1		1.6
C層		47.2	35.1	11.0	4.7		1.9	
D層		44.3	34.0	12.1	6.2		3.4	

質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)					その他無回答
			とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない		
152	要素 追加質問	川崎市	13.2	26.0	34.0	24.6		2.2
	小要素							
	今、住んでいる地域の行事に参加している。	A層	12.8	25.8	37.5	22.4		1.5
		B層	12.3	28.0	34.1	24.0		1.6
C層		13.7	27.7	33.1	23.4		2.0	
D層		14.1	22.6	31.2	28.4		3.7	
質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)					その他無回答
	要素 追加質問	川崎市	19.3	32.1	31.2	15.2		
153	要素 追加質問	川崎市	19.3	32.1	31.2	15.2		2.2
	小要素							
	地域や社会をよりよくするために、何をすべきか考えたことがある。	A層	20.1	34.3	31.5	12.7		1.4
		B層	18.3	34.2	30.9	15.0		1.6
C層		19.7	32.2	31.6	14.5		2.0	
D層		19.3	27.7	31.0	18.4		3.7	
質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)					その他無回答
	要素 追加質問	川崎市	52.7	33.6	8.3	3.2		
154	要素 追加質問	川崎市	52.7	33.6	8.3	3.2		2.1
	小要素							
	GIGA端末は学習の役に立つと思う。	A層	54.1	33.6	7.9	3.0		1.5
		B層	52.8	35.9	6.6	3.1		1.6
C層		54.0	33.0	8.4	2.7		2.0	
D層		49.7	32.0	10.5	4.2		3.6	
質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)					その他無回答
	要素 追加質問	川崎市	32.7	39.4	19.5	6.0		
155	要素 追加質問	川崎市	32.7	39.4	19.5	6.0		2.3
	小要素							
	前の学年までの授業で、ICT機器をどの程度使用しましたか。	A層	36.3	39.9	17.3	4.9		1.6
		B層	32.5	41.4	19.2	5.3		1.7
C層		32.3	39.9	20.3	5.3		2.1	
D層		29.8	36.5	21.3	8.6		3.9	
質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)					その他無回答
	要素 追加質問	川崎市	24.0	31.9	30.9	10.8		
156	要素 追加質問	川崎市	24.0	31.9	30.9	10.8		2.3
	小要素							
	学校の授業がある月曜日から金曜日、一日にどれくらいスマートフォンやGIGA端末などのICT機器を、勉強のために使っていますか。	A層	23.1	34.1	32.6	8.6		1.7
		B層	22.5	34.0	32.4	9.3		1.8
C層		26.6	31.2	29.4	10.6		2.2	
D層		23.8	28.4	29.4	14.7		3.7	
質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)					その他無回答
	要素 追加質問	川崎市	19.2	22.3	32.6	23.7		
157	要素 追加質問	川崎市	19.2	22.3	32.6	23.7		2.2
	小要素							
	土曜日や日曜日など、学校が休みの日に、1日にどれくらいスマートフォンやGIGA端末などのICT機器を、勉強のために使っていますか。	A層	18.3	22.9	36.4	20.8		1.6
		B層	17.8	22.7	35.1	22.9		1.6
C層		21.1	21.1	31.8	23.9		2.0	
D層		19.7	22.3	27.4	27.0		3.6	

【中学校 第3学年】

質問番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	川崎市	川崎市学力層別					質問の大きい順位
				A層	B層	C層	D層	AID層の差	
1	学びの基礎力	友だちと外で遊んでいる。	68.7	58.3	68.0	71.3	77.0	-18.7	105
	豊かな基礎体験 基礎体験								
2	学びの基礎力	ゲーム機やケータイ、スマートフォンでゲームをしている。	84.5	76.8	83.4	87.8	89.9	-13.1	104
	豊かな基礎体験 基礎体験								
3	学びの基礎力	本や新聞を読んでいる。	48.8	57.8	51.1	46.1	40.2	17.6	35
	豊かな基礎体験 基礎体験								
4	学びの基礎力	パソコンやインターネットを使う。	94.0	95.3	95.0	94.4	91.1	4.2	90
	豊かな基礎体験 基礎体験								
5	学びの基礎力	放課後や土曜日などに、学校の活動や集まりがあれば、参加している。	79.9	85.9	83.6	79.7	70.4	15.5	42
	豊かな基礎体験 基礎体験								
6	学びの基礎力	ゲーム機やケータイ、スマートフォンでゲームをするときは、家の人と時間についてルールを決めている。(ゲームをしない人は、1番を選んでください。)	54.3	65.4	59.2	50.7	42.0	23.4	16
	豊かな基礎体験 基礎体験								
7	学びの基礎力	ケータイやスマートフォンで電話やメールをするときは、家の人と時間を決めている。(ケータイやスマートフォンで電話やメールをしない人は、1番を選んでください。)	43.7	52.6	47.0	41.6	33.7	18.9	29
	豊かな基礎体験 基礎体験								
8	学びの基礎力	家の方は自分のことを気にかけてくれていると思う	93.3	96.4	94.4	92.8	89.8	6.6	83
	豊かな基礎体験 基礎体験								
9	学びの基礎力	今まで教えてもらった学校の先生は、自分のことを認めてくれていたと思う。	88.1	92.6	88.9	88.3	82.6	10.0	70
	豊かな基礎体験 基礎体験								
10	学びの基礎力	勉強やスポーツのことで、家の人が応援してくれる。	93.2	96.6	94.2	93.2	88.8	7.8	75
	豊かな基礎体験 基礎体験								
11	学びの基礎力	将来の夢やこれからの進路について家の人と話をする。	83.4	88.9	84.3	82.3	78.3	10.6	61
	豊かな基礎体験 基礎体験								
12	学びの基礎力	新聞に書かれていることについて家の人と話をする。	19.5	26.0	19.0	18.2	14.6	11.4	56
	豊かな基礎体験 基礎体験								

質問番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	川崎市	川崎市学力層別					質問の大きい順位
				A層	B層	C層	D層	AID層の差	
13	学びの基礎力	朝食は毎日食べている。	87.0	93.3	91.3	86.7	76.9	16.4	40
	豊かな基礎体験 基本的生活習慣								
14	学びの基礎力	朝、起こされなくても自分で起きている。	67.7	63.7	67.3	69.0	70.9	-7.2	103
	豊かな基礎体験 基本的生活習慣								
15	学びの基礎力	夜は決まった時間になている。	41.0	44.7	41.6	40.7	37.1	7.6	80
	豊かな基礎体験 基本的生活習慣								
16	学びの基礎力	家の人からたよりにされて、何かの役割をまかされている。	63.6	63.6	64.9	64.7	61.1	2.5	96
	豊かな基礎体験 基本的生活習慣								
17	学びの基礎力	食器の後かたづけなど、自分のことは自分でしている。	73.4	71.8	75.3	73.5	73.1	-1.3	102
	豊かな基礎体験 基本的生活習慣								
18	学びの基礎力	ふだんから「不思議だな」「なぜだろう」と感じることもある。	74.8	80.8	76.4	72.7	69.3	11.5	55
	学びに向かう力 感じ取る力								
19	学びの基礎力	本やドラマなどを見て、人の生き方に感動することがある。	71.9	76.0	72.9	72.6	66.3	9.7	72
	学びに向かう力 感じ取る力								
20	学びの基礎力	学習していて、おもしろい、楽しいと思うことがある。	75.7	87.5	80.0	74.1	61.3	26.2	14
	学びに向かう力 感じ取る力								
21	学びの基礎力	学習して身につけた知識は、いずれ仕事や生活の中で役に立つと思う。	83.0	88.0	84.0	81.0	79.0	9.0	73
	学びに向かう力 学習動機								
22	学びの基礎力	学習して、わかったりできたりすることが増えるのは、うれしい。	89.3	94.9	91.0	88.3	83.3	11.6	53
	学びに向かう力 学習動機								
23	学びの基礎力	学校に行くのが楽しい。	79.1	83.5	81.2	79.4	72.5	11.0	59
	学びに向かう力 学習動機								
24	学びの基礎力	同じ間違いをしないように気をつけている。	89.6	92.8	90.8	89.6	85.0	7.8	75
	学びに向かう力 自己責任								

質問番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	川崎市	川崎市学力層別					Aの差 D層	質問の 大きい 順位
				A層	B層	C層	D層			
25	学びの基礎力	努力をすれば、自分もたいいのことはできと思う。	80.4	81.4	81.6	80.1	78.7	2.7	94	
	学びに向かう力									
	自己有能感									
26	学びの基礎力	ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある。	90.8	92.3	91.5	90.7	88.6	3.7	91	
	学びに向かう力									
	達成感									
27	学びの基礎力	黒板に書かれていないことでも、大事なことはノートに書きとめている。	73.5	82.2	78.6	72.1	61.1	21.1	22	
	自ら学ぶ力									
	学習スキル									
28	学びの基礎力	テストで間違えた問題は、もう一度やり直している。	54.3	71.0	58.1	50.5	37.5	33.5	4	
	自ら学ぶ力									
	学習スキル									
29	学びの基礎力	授業で学んだことを自分なりにノートにまとめ直している。	45.6	47.8	47.8	46.4	40.5	7.3	82	
	自ら学ぶ力									
	学習スキル									
30	学びの基礎力	新しく習ったことは、何度もくり返して練習している。	55.4	70.6	59.9	52.4	38.9	31.7	5	
	自ら学ぶ力									
	学習定着のための方略									
31	学びの基礎力	授業で習ったことはそのまま覚えるのではなく、その理由や考え方も一緒に理解しようとしている。	66.0	85.2	72.4	61.6	44.6	40.6	3	
	自ら学ぶ力									
	学習定着のための方略									
32	学びの基礎力	授業で習ったことをふだんの生活と結びつけて考えている。	51.3	67.5	51.6	46.5	39.7	27.8	12	
	自ら学ぶ力									
	学習定着のための方略									
33	学びの基礎力	習った内容の中で、何がまだ理解できていないか、わかっている。	79.1	86.9	80.5	78.4	70.8	16.1	41	
	自ら学ぶ力									
	学習計画力									
34	学びの基礎力	その日のめあてを決めて、授業や家で学習に取り組んでいる。	38.6	44.7	39.9	36.7	33.1	11.6	53	
	自ら学ぶ力									
	学習計画力									
35	学びの基礎力	自分で学習の計画を立てている。	49.8	59.5	52.8	48.4	38.5	21.0	23	
	自ら学ぶ力									
	学習計画力									
36	学びの基礎力	目標に向けて、ふだんからこつこつ学習している。	49.5	61.1	51.9	46.7	38.3	22.8	17	
	学びを律する力									
	学習継続力									

質問番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	川崎市	川崎市学力層別					Aの差 D層	質問の 大きい 順位
				A層	B層	C層	D層			
37	学びの基礎力	わからないことはそのままにせず、わかるまで努力している。	63.6	84.0	69.4	58.4	42.7	41.3	2	
	学びを律する力									
	学習継続力									
38	学びの基礎力	学習を始めたら、他のことに気をとられないで、集中している。	50.8	60.7	53.0	48.2	41.3	19.4	28	
	学びを律する力									
	学習のけじめ									
39	学びの基礎力	かん違いや思いこみがないか、しっかり見直しをしている。	62.9	73.8	64.0	61.7	52.0	21.8	20	
	学びを律する力									
	学習のけじめ									
40	学びの基礎力	正しい姿勢で学習している。	59.0	60.3	60.6	59.8	55.3	5.0	89	
	学びを律する力									
	学習環境の整備									
41	学びの基礎力	必要なものをきちんとそろえてから、学習を始めている。	85.9	88.0	87.1	87.0	81.6	6.4	85	
	学びを律する力									
	学習環境の整備									
42	学びの基礎力	授業を集中して受けている。	86.4	91.9	90.3	86.3	77.2	14.7	45	
	学びを律する力									
	授業を受ける姿勢									
43	社会的実践力	調べてわかったことをもとに、考えをまとめることができる。	72.8	86.5	77.1	70.6	56.9	29.6	10	
	問題解決力									
44	社会的実践力	筋道を立てて、ものごとを考えることができる。	69.0	83.7	72.4	66.8	53.1	30.6	9	
	問題解決力									
45	社会的実践力	自分の意見や考えを相手にわかりやすく伝えることができる。	63.0	74.6	66.9	59.8	50.8	23.8	15	
	問題解決力									
46	社会的実践力	調べたことを、パソコンを使ってまとめたり、発表したりすることができる。	69.7	81.0	75.0	68.6	54.2	26.8	13	
	問題解決力									
47	社会的実践力	テレビのニュースや新聞などで、最近の社会のできごとをよく知っている。	67.1	70.8	70.0	67.0	60.5	10.3	64	
	社会参画力									
48	社会的実践力	社会で問題になっていることについて、どうすればよいか、考えたことがある。	59.6	68.6	62.3	56.9	50.7	17.9	34	
	社会参画力									

質問番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	川崎市	川崎市学力層別					質問の大きさ の順位
				A層	B層	C層	D層	AID層の差	
49	社会的実践力	自分がやらなければならないことは、責任を持ってやりぬくことができる。	86.0	90.8	87.9	86.4	79.1	11.7	52
	豊かな心								
50	社会的実践力	難しいことでも、失敗をおそれないで、取り組んでいる。	64.4	69.6	65.5	62.8	59.8	9.8	71
	豊かな心								
51	社会的実践力	いつも新しいアイデアを考えたり、工夫したりしている。	63.4	70.4	63.7	63.4	56.2	14.2	46
	豊かな心								
52	社会的実践力	自分と違う意見も尊重している。	92.4	94.7	93.8	94.0	87.0	7.7	78
	豊かな心								
53	社会的実践力	自分には、先生や友だちからほめられるような得意なことがある。	66.7	71.7	68.6	65.0	61.6	10.1	68
	自己成長力								
54	社会的実践力	自分の力をできるだけ伸ばしたいと思う。	93.8	97.3	95.1	93.0	89.8	7.5	81
	自己成長力								
105	学級力	私は、みんなで決めた学級目標に力を合わせて取り組んでいる。	85.5	86.2	85.2	88.0	82.8	3.4	92
	やりとげ力								
106	学級力	私は、係や当番の活動に責任を持って取り組んでいる。	93.4	95.2	94.1	94.8	89.7	5.5	88
	やりとげ力								
107	学級力	私は、自分たちの学習や生活をよくするための話し合いや活動に、進んで取り組んでいる。	75.6	79.8	76.7	76.1	69.6	10.2	67
	やりとげ力								
108	学級力	私は、生徒会で決めた活動や学校行事に、進んで取り組んでいる。	78.8	82.6	80.1	80.3	72.2	10.4	63
	やりとげ力								
109	学級力	私は、学年や学校のためになる活動を提案して、進んで取り組んでいる。	52.2	54.4	54.1	52.0	48.5	5.9	87
	自律力								
110	学級力	私は、楽しむときとまじめに集中するときのけじめをつけることができる。	84.1	88.4	86.0	84.5	77.5	10.9	60
	自律力								

質問番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	川崎市	川崎市学力層別					質問の大きさ の順位
				A層	B層	C層	D層	AID層の差	
111	学級力	私は、集合の時間、授業開始の時間、活動終了の時間などを守っている。	90.1	93.7	91.0	90.3	85.6	8.1	74
	自律力								
112	学級力	私は、学級会で、司会や記録を担当して話し合いを進めたことがある。	42.4	51.9	45.3	39.4	33.1	18.8	30
	自律力								
113	学級力	私は、学校や授業で発言している人の話を最後までしっかり聞いている。	90.4	94.8	91.3	91.3	84.2	10.6	61
	対話力								
114	学級力	私は、友だちの話に賛成・反対・つけたしと、つなげるように発言している。	57.7	64.0	58.8	55.2	52.6	11.4	56
	対話力								
115	学級力	私は、話し合いのとき、考えや意見を進んで出している。	52.9	62.6	54.1	49.6	45.2	17.4	36
	対話力								
116	学級力	私は、異なる意見や提案をよく聞いて、話し合いをまとめたことがある。	50.1	60.2	52.6	46.9	40.6	19.6	26
	対話力								
117	学級力	私は、家庭学習や調査前学習などで、教え合いをしている。	42.9	52.1	43.9	39.1	36.6	15.5	42
	支え合う力								
118	学級力	私は、小さなけんかやトラブルは、話し合いで解決している。	84.5	88.4	86.4	85.2	78.1	10.3	64
	支え合う力								
119	学級力	私は、「ありがとう」を伝え合っている。	93.9	94.5	94.6	94.5	91.9	2.6	95
	支え合う力								
120	学級力	私は、授業中、グループ学習やグループ活動によく協力している。	84.3	88.6	86.5	84.6	77.5	11.1	58
	支え合う力								
121	学級力	私は、友だちをばかにしたりからかったりせず、一人ひとりの心や命を大切にしている。	89.4	89.9	89.6	90.1	87.9	2.0	98
	共生力								
122	学級力	私は、友だちの間に上下関係なく、誰とも平等に接している。	91.2	91.5	90.5	92.2	90.5	1.0	100
	共生力								

質問番号	カテゴリ 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	川崎市	川崎市学力層別						質問の大きい順の順位
				A層	B層	C層	D層	Aの差D層		
123	学級力 共生力	私は、友だちのよいところやがんばりを認めて伝え合っている。	90.2	91.0	90.7	90.4	88.7	2.3	97	
124	学級力 共生力	私は、男女仲よく、共に学んだり活動している。	90.6	92.6	92.7	90.7	86.4	6.2	86	
125	学級力 規律力	私は、授業中にむだなおしゃべりをしない。	73.9	79.7	76.0	73.8	66.1	13.6	51	
126	学級力 規律力	私は、あいさつ、服装、持ち物などについて、学校のきまりを守っている。	92.2	95.3	93.5	92.5	87.5	7.8	75	
127	学級力 規律力	私は、ろうかや教室を進んで整理整頓している。	59.3	60.9	58.8	60.0	57.8	3.1	93	
128	学級力 規律力	私は、校外でも人の迷惑にならないように考えて行動している。	91.5	94.5	91.9	92.7	86.8	7.7	78	
129	家庭学習力	家で学習していて、わからないときは教えてくれる人がいる。	70.5	75.2	71.2	70.4	65.1	10.1	68	
130	家庭学習力	家で学習するときは、苦手な教科もしっかりと学習している。	75.1	88.1	78.9	74.4	59.1	29.0	11	
131	家庭学習力	学校の先生が出した宿題をきちんとやりとげている。	84.9	93.1	89.3	85.7	71.8	21.3	21	
132	家庭学習力	次の日の授業に必要な教科書やノートなどは、前の日に準備している。	69.6	68.6	69.7	71.0	69.2	-0.6	101	
133	家庭学習力	自分の得意な分野をさらに伸ばすために、家で自分なりに学んでいることがある。	70.0	76.2	72.0	69.7	62.0	14.2	46	
134	家庭学習力	テレビやラジオをつけずに集中して学習している。	63.2	70.6	64.9	63.6	53.8	16.8	38	

質問番号	カテゴリ 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	川崎市	川崎市学力層別						質問の大きい順の順位
				A層	B層	C層	D層	Aの差D層		
135	家庭学習力	授業で習ったことは、その日のうちに復習している。	25.5	27.2	24.9	24.8	25.2	2.0	98	
85	学習方略 国語	国語の授業で、わからない言葉があれば、国語辞典で調べるようにしている。	31.4	37.9	32.1	28.4	27.6	10.3	64	
86	学習方略 国語	国語の授業で、文章の書き方のよい例を参考にして書くことがある。	70.0	77.0	72.9	69.0	61.8	15.2	44	
87	学習方略 国語	国語の授業で、物語を作ったことがある。	54.8	61.2	57.4	53.8	47.4	13.8	50	
88	学習方略 国語	国語の授業で、グループで話し合いや教え合いをしている。	75.1	80.9	78.1	75.1	67.0	13.9	48	
89	学習方略 数学	算数・数学の授業で、グループで協力して問題を解いて発表することがある。	54.1	61.9	57.4	53.5	43.8	18.1	33	
90	学習方略 数学	算数・数学の授業で、文章や式、図や表などを組み合わせて自分の考えを説明したことがある。	55.7	78.9	63.3	48.6	32.2	46.7	1	
91	学習方略 数学	算数・数学の宿題で、文章題を作ったことがある。	37.2	48.4	41.0	34.1	25.6	22.8	17	
92	学習方略 数学	算数・数学の授業で、グループで話し合いや教え合いをしている。	67.3	81.0	73.0	65.6	49.9	31.1	7	
101	学習方略 英語	英語の宿題で、日常的な出来事について、短い英作文を書いたことがある。	72.8	84.6	80.1	73.1	53.5	31.1	7	
102	学習方略 英語	英語の授業で、買い物や旅行などの場面を通して、自分で会話文を作ってコミュニケーションしている。	58.5	72.4	64.9	56.5	40.8	31.6	6	
103	学習方略 英語	英語の授業で、テレビや電子黒板などを使って、映像やアニメーションを見ながら会話練習をしている。	72.5	80.9	78.4	72.9	58.1	22.8	17	

質問番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	川崎市	川崎市学力層別						質問の大きい順位
				A層	B層	C層	D層	Aの差 D層		
104	学習方略	英語の授業で、グループで話し合いや教え合いをしている。	70.6	77.3	75.2	71.5	58.9	18.4	32	
	英語									
93	学習方略	社会の授業で、テレビや電子黒板などを使って、写真や地図・グラフなどを見ることがある。	84.1	92.4	88.2	84.4	71.7	20.7	24	
	社会									
94	学習方略	社会の授業で、調べたことを、新聞形式でまとめたことがある。	43.6	45.6	46.0	43.9	39.1	6.5	84	
	社会									
95	学習方略	社会の授業で、いま、世の中で起きていることについて、資料をもとにして考えることがある。	56.0	61.9	57.8	56.5	48.0	13.9	48	
	社会									
96	学習方略	社会の授業で、グループで話し合いや教え合いをしている。	71.6	80.1	76.5	71.0	59.4	20.7	24	
	社会									
97	学習方略	理科の授業で、実験や調査に取り組む前に、仮説を立てたり結果を予想したりしている。	84.2	90.3	89.8	85.1	71.5	18.8	30	
	理科									
98	学習方略	理科の授業で、テレビや電子黒板などを使って、実験や観察のようすや自然のいろいろなようすなどについて、写真や映像などを見ることがある。	86.8	92.8	92.1	86.8	75.6	17.2	37	
	理科									
99	学習方略	理科の授業で、実験や調査が終わったあとに、気づいたことや新しい疑問などについて、話し合ったりまとめたりしている。	75.2	82.7	80.5	74.6	63.2	19.5	27	
	理科									
100	学習方略	理科の授業で、グループで話し合いや教え合いをしている。	76.7	82.5	81.7	76.8	66.0	16.5	39	
	理科									
55	教科について	国語	67.2	75.1	70.6	66.9	56.4	18.7		
	教科の好き嫌い									
56	教科について	社会	64.8	81.4	70.2	60.8	46.7	34.7		
	教科の好き嫌い									
57	教科について	算数・数学	54.3	80.9	62.8	48.1	25.6	55.3		
	教科の好き嫌い									

質問番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	川崎市	川崎市学力層別						質問の大きい順位
				A層	B層	C層	D層	Aの差 D層		
58	教科について	理科	61.1	79.1	66.2	55.1	43.9	35.2		
	教科の好き嫌い									
59	教科について	音楽	67.5	68.4	66.4	68.4	66.8	1.6		
	教科の好き嫌い									
60	教科について	図画工作・美術	69.0	67.7	67.8	69.9	70.6	-2.9		
	教科の好き嫌い									
61	教科について	保健体育	71.3	65.4	70.9	73.5	75.6	-10.2		
	教科の好き嫌い									
62	教科について	技術	60.9	65.0	59.9	60.0	58.6	6.4		
	教科の好き嫌い									
63	教科について	家庭	66.6	66.7	65.9	68.2	65.4	1.3		
	教科の好き嫌い									
64	教科について	英語	56.0	83.1	66.8	47.0	27.1	56.0		
	教科の好き嫌い									
65	教科について	総合的な学習の時間・生活	71.6	70.4	72.3	74.5	69.2	1.2		
	教科の好き嫌い									
66	教科について	道徳	64.5	60.4	64.0	67.2	66.5	-6.1		
	教科の好き嫌い									
67	教科について	学級活動	77.9	80.6	79.3	79.0	72.8	7.8		
	教科の好き嫌い									
68	教科について	国語	79.5	92.0	85.5	78.6	62.3	29.7		
	教科の理解度									
69	教科について	社会	68.3	90.5	74.9	62.9	45.2	45.3		
	教科の理解度									

質問番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	川崎市	川崎市学力層別					AのD層の差	質問の順位
				A層	B層	C層	D層	AのD層の差		
70	教科について	算数・数学	63.9	92.4	76.8	57.4	29.5	62.9		
	教科の理解度									
71	教科について	理科	65.6	89.1	74.4	59.3	39.9	49.2		
	教科の理解度									
72	教科について	音楽	71.3	75.4	73.1	71.3	65.5	9.9		
	教科の理解度									
73	教科について	図画工作・美術	75.4	78.3	75.9	76.1	71.3	7.0		
	教科の理解度									
74	教科について	保健体育	77.4	77.7	77.6	78.4	76.0	1.7		
	教科の理解度									
75	教科について	技術	64.9	74.3	65.2	64.2	55.8	18.5		
	教科の理解度									
76	教科について	家庭	74.0	80.4	75.1	75.2	65.3	15.1		
	教科の理解度									
77	教科について	英語	60.3	92.7	76.2	49.3	23.1	69.6		
	教科の理解度									

質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)							その他無回答
			ほとんどしない	30分くらい	1時間くらい	1時間30分くらい	2時間くらい	2時間30分くらい	3時間より長く勉強する	
81	要素 学習時間	川崎市	12.8	9.4	12.1	15.5	18.3	14.4	17.2	0.1
	小要素 平日									
	あなたは、学校の授業がある月曜日から金曜日に、学校の授業以外で1日にどれくらい勉強していますか？(じゅくで勉強している時間や、家庭教師の先生にみてもらっている時間もふくみます。)	A層	4.0	5.3	9.4	12.1	19.0	20.8	29.3	0.0
		B層	8.5	8.5	12.4	15.6	19.0	17.4	18.6	0.0
		C層	12.2	11.2	13.8	18.3	19.9	11.8	12.8	0.0
		D層	26.4	12.8	12.9	16.1	15.6	7.6	8.2	0.4

質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)							その他無回答
			ほとんどしない	30分くらい	1時間くらい	1時間30分くらい	2時間くらい	2時間30分くらい	3時間より長く勉強する	
82	要素 学習時間	川崎市	21.2	12.3	14.0	10.7	13.7	10.6	17.3	0.1
	小要素 休日									
	あなたは、土曜日や日曜日など、学校が休みの日に、1日にどれくらい勉強していますか。(じゅくで勉強している時間や、家庭教師の先生にみてもらっている時間もふくみます。)	A層	6.5	7.3	9.3	9.3	15.7	17.8	34.1	0.0
		B層	15.1	10.9	15.0	12.4	15.8	12.0	18.7	0.0
		C層	23.3	15.4	16.3	11.5	14.4	8.3	10.7	0.1
		D層	39.8	15.6	15.4	9.7	8.8	4.5	5.8	0.3

質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)							その他無回答
			0冊	1,2冊	3,4冊	5,6冊	7,8冊	9,10冊	11冊以上	
78	要素 読書冊数	川崎市	39.5	39.1	11.3	4.7	1.8	0.8	2.7	0.2
	小要素									
	あなたは、この1か月の間に本を何冊くらい読みましたか。(教科書や参考書、マンガは数にしません。)	A層	32.4	42.5	12.9	5.7	2.4	0.9	3.2	0.0
		B層	37.2	39.8	12.5	4.9	2.0	0.7	2.7	0.2
		C層	42.1	39.3	10.1	3.9	1.4	0.8	2.3	0.1
		D層	46.1	34.7	9.7	4.2	1.2	0.8	2.7	0.5

質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)							その他無回答
			ほとんど見ない	30分くらい	1時間くらい	1時間30分くらい	2時間くらい	2時間30分くらい	3時間より長く見る	
79	要素 テレビを見る時間	川崎市	19.9	18.6	21.4	13.5	12.9	5.0	8.5	0.2
	小要素 平日									
	あなたは、学校の授業がある月曜日から金曜日に、1日にどれくらいテレビを見ますか。	A層	22.1	22.0	24.0	13.3	11.3	3.1	4.2	0.0
		B層	18.0	19.4	23.3	14.1	13.4	4.3	7.3	0.2
		C層	18.1	17.5	20.6	14.5	14.6	5.7	8.9	0.2
		D層	21.2	15.6	18.0	12.0	12.3	6.7	13.6	0.6

質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)							その他無回答
			ほとんど見ない	30分くらい	1時間くらい	1時間30分くらい	2時間くらい	2時間30分くらい	3時間より長く見る	
80	要素 テレビを見る時間	川崎市	17.4	13.1	17.1	12.0	16.0	7.9	16.3	0.2
	小要素 休日									
	あなたは、土曜日や日曜日など、学校が休みの日に、1日にどれくらいテレビを見ますか。	A層	16.1	13.9	19.7	12.8	17.6	7.6	12.3	0.0
		B層	15.0	12.9	17.5	13.8	16.9	8.2	15.5	0.2
		C層	16.1	12.9	17.1	11.7	16.2	8.5	17.4	0.1
		D層	22.3	12.8	14.1	9.8	13.2	7.2	20.2	0.4

質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)							その他無回答
			ほとんどしない	30分くらい	1時間くらい	1時間30分くらい	2時間くらい	2時間30分くらい	3時間より長くゲームをする	
83	要素 ゲームをする時間	川崎市	25.2	12.0	16.3	10.7	13.3	5.6	16.7	0.1
	小要素 平日									
	あなたは、学校の授業がある月曜日から金曜日に、1日にどれくらいゲームをしますか。	A層	32.8	15.8	18.7	10.1	11.9	3.5	7.2	0.0
		B層	27.8	11.7	17.0	12.0	13.3	4.6	13.5	0.0
		C層	21.8	10.5	16.9	10.5	15.3	7.3	17.5	0.1
		D層	18.4	9.8	12.6	10.3	12.8	7.1	28.7	0.4

質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)							その他無回答
			ほとんどしない	30分くらい	1時間くらい	1時間30分くらい	2時間くらい	2時間30分くらい	3時間より長くゲームをする	
84	要素 ゲームをする時間	川崎市	21.3	9.0	11.4	8.7	12.9	7.5	28.9	0.1
	小要素 休日									
	あなたは、土曜日や日曜日など、学校が休みの日に、1日にどれくらいゲームをしますか。	A層	27.0	10.6	13.7	9.1	14.3	7.5	17.8	0.0
		B層	22.9	8.9	11.9	10.0	13.4	7.1	25.7	0.1
		C層	19.0	8.0	11.4	7.9	13.3	9.0	31.4	0.0
		D層	16.5	8.5	8.7	8.0	10.5	6.6	40.9	0.4

質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)						
			高校まで	専門学校・各種学校まで	短期大学まで	四年制大学まで	大学院まで	その他	その他無回答
137	要素 進路意識	川崎市	12.2	16.2	4.6	52.7	10.4	3.0	0.9
	小要素								
	あなたは将来、どの学校まで進みたいですか。下の1~6から一つ選びなさい。	川崎市	A層 1.6 B層 4.7 C層 10.9 D層 31.4	5.4 11.9 21.2 26.4	1.5 3.6 6.4 6.8	73.9 66.4 47.4 23.1	14.3 10.6 10.2 6.5	2.6 2.2 3.2 4.1	0.6 0.6 0.8 1.6
質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)						
			部活動に参加し、熱心に活動している	部活動には参加しているが、あまり熱心には活動していない	以前は参加していたが、今は参加していない	今まで参加したことはない			その他無回答
136	要素 部活動	川崎市	61.4	21.8	10.0	5.8			0.9
	小要素								
	あなたは現在、部活動に参加していますか。下の1~4から一つ選びなさい。	川崎市	A層 68.4 B層 64.0 C層 62.0 D層 51.5	20.4 21.6 21.9 23.3	6.3 8.3 9.8 15.7	4.5 5.5 5.5 7.8			0.5 0.5 0.8 1.6
質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)						
			とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない			その他無回答
138	要素 追加質問	川崎市	9.7	25.9	33.7	30.0			0.7
	小要素								
	勉強は、すきである。	川崎市	A層 19.6 B層 9.3 C層 6.0 D層 3.8	39.7 30.2 20.7 13.2	26.2 37.9 37.9 32.9	14.2 22.2 34.7 48.8			0.3 0.5 0.7 1.3
質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)						
			とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない			その他無回答
139	要素 追加質問	川崎市	60.5	31.3	5.5	2.0			0.8
	小要素								
	勉強をすることは、大切なことだと思う。	川崎市	A層 71.8 B層 62.3 C層 57.4 D層 50.4	24.4 31.6 34.4 34.8	2.6 4.1 5.8 9.3	0.8 1.6 1.6 4.0			0.4 0.5 0.7 1.5
質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)						
			とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない			その他無回答
140	要素 追加質問	川崎市	17.8	44.9	29.4	7.0			0.8
	小要素								
	わかった点・わからなかった点を見直し、次の学習に繋げている。	川崎市	A層 30.4 B層 18.7 C層 12.8 D層 9.6	51.8 49.9 44.5 33.3	15.0 26.7 34.9 40.9	2.4 4.0 7.0 14.5			0.4 0.6 0.8 1.6

質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)						
			とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない			その他無回答
141	要素 追加質問	川崎市	17.6	30.5	33.0	18.2			0.8
	小要素								
	家で自分で計画を立てて勉強している。	川崎市	A層 27.1 B層 18.2 C層 14.6 D層 10.5	32.4 33.3 31.3 24.9	26.8 32.1 35.8 37.0	13.3 15.8 17.4 26.1			0.4 0.6 0.8 1.5
質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)						
			とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない			その他無回答
142	要素 追加質問	川崎市	37.7	41.3	15.8	4.3			0.9
	小要素								
	授業で学んだことは、将来、社会に出たときに、役に立つ。	川崎市	A層 45.5 B層 37.1 C層 35.6 D層 32.8	39.9 43.7 41.8 39.7	11.3 14.7 17.6 19.6	2.9 3.8 4.1 6.5			0.4 0.6 1.0 1.5
質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)						
			とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない			その他無回答
143	要素 追加質問	川崎市	52.2	32.0	10.7	4.2			0.9
	小要素								
	学級みんなで協力して何かをやりとげ、うれしかったことがある。	川崎市	A層 56.2 B層 54.5 C層 53.0 D層 45.2	31.2 30.7 31.8 34.4	9.3 10.6 10.5 12.4	2.8 3.6 3.7 6.6			0.4 0.7 1.0 1.5
質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)						
			とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない			その他無回答
144	要素 追加質問	川崎市	40.0	26.8	18.6	13.7			0.9
	小要素								
	将来の夢や目標を持っている。	川崎市	A層 38.6 B層 39.7 C層 38.9 D層 42.7	27.0 27.1 26.9 26.1	21.8 18.7 19.0 14.8	12.2 13.8 14.2 14.7			0.4 0.7 1.0 1.6
質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)						
			とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない			その他無回答
145	要素 追加質問	川崎市	62.7	28.8	5.6	2.0			0.9
	小要素								
	人の役に立つ人間になりたいと思う。	川崎市	A層 66.5 B層 65.0 C層 62.7 D層 56.6	27.0 27.6 29.7 30.8	4.5 5.1 4.8 7.8	1.5 1.7 1.8 3.2			0.5 0.6 1.0 1.6

質問番号	質問内容		母集団	選択肢別回答割合(%)					その他無回答
				とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない		
146	要素	追加質問	川崎市	46.0	42.3	9.1	1.7		0.9
	小要素								
		人が困っているときは、進んで助けている。	A層	43.0	46.0	9.5	1.1		0.4
			B層	45.2	44.2	8.7	1.2		0.6
			C層	47.2	41.5	8.9	1.4		1.1
			D層	48.5	37.6	9.3	3.0		1.6
147	要素	追加質問	川崎市	34.9	35.8	18.8	9.5		1.0
	小要素								
		自分には、よいところがあると思う。	A層	37.2	38.3	17.6	6.5		0.5
			B層	34.5	37.7	19.0	8.0		0.8
			C層	34.5	35.3	18.5	10.6		1.0
			D層	33.3	31.8	20.3	13.0		1.6
148	要素	追加質問	川崎市	30.8	34.2	22.2	11.8		1.0
	小要素								
		不安や悩み、ストレスがあるとき、誰かに相談できている。	A層	32.0	36.0	22.7	8.9		0.4
			B層	30.0	36.2	22.5	10.6		0.7
			C層	31.3	33.9	22.1	11.7		1.0
			D層	29.7	30.8	21.4	16.2		1.8
149	要素	追加質問	川崎市	36.8	37.4	16.1	8.8		1.0
	小要素								
		困ったとき、悩んだときは、身近な大人が話を聞いてくれる。	A層	39.9	38.3	15.0	6.5		0.4
			B層	36.9	38.8	15.5	8.2		0.6
			C層	36.3	37.9	15.6	9.2		1.0
			D層	34.2	34.5	18.2	11.2		1.9
150	要素	追加質問	川崎市	39.5	41.9	12.8	4.8		1.0
	小要素								
		自分のことは自分で決められるよう、身近な大人が助けてくれる。	A層	43.6	42.6	10.8	2.5		0.5
			B層	40.0	43.2	12.2	3.9		0.7
			C層	38.6	43.0	12.8	4.8		0.9
			D層	36.0	38.8	15.4	7.9		1.9
151	要素	追加質問	川崎市	39.1	41.1	13.2	5.6		1.0
	小要素								
		自分の住んでいる町がすきである。	A層	38.9	43.5	11.6	5.5		0.5
			B層	38.1	42.5	14.2	4.7		0.7
			C層	39.8	41.2	13.1	5.0		1.0
			D層	40.0	37.0	13.9	7.4		1.8

質問番号	質問内容		母集団	選択肢別回答割合(%)					その他無回答
				とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない		
152	要素	追加質問	川崎市	10.8	22.0	35.1	31.0		1.0
	小要素								
		今、住んでいる地域の行事に参加している。	A層	10.3	21.6	37.3	30.3		0.5
			B層	10.2	23.7	37.0	28.3		0.7
			C層	10.5	23.0	35.1	30.4		1.0
			D層	12.4	19.9	30.8	35.0		2.0
153	要素	追加質問	川崎市	16.1	31.7	33.9	17.3		1.1
	小要素								
		地域や社会をよりよくするために、何をすべきか考えたことがある。	A層	17.8	33.2	34.6	13.8		0.6
			B層	14.9	33.6	33.9	17.0		0.8
			C層	16.5	31.7	34.4	16.4		1.0
			D層	15.1	28.5	32.6	21.9		2.0
154	要素	追加質問	川崎市	50.8	36.4	8.5	3.2		1.1
	小要素								
		GIGA端末は学習の役に立つと思う。	A層	53.6	34.5	8.0	3.3		0.6
			B層	51.2	36.8	8.4	2.7		0.8
			C層	51.6	37.1	7.5	2.9		0.9
			D層	47.1	37.1	10.2	3.8		1.9
155	要素	追加質問	川崎市	37.6	40.5	16.8	4.0		1.1
	小要素								
		前の学年までの授業で、ICT機器をどの程度使用しましたか。	A層	44.6	38.8	13.4	2.5		0.6
			B層	40.6	39.3	15.9	3.3		0.9
			C層	34.6	42.6	18.3	3.4		1.2
			D層	30.7	41.3	19.4	6.8		1.8
156	要素	追加質問	川崎市	25.9	33.8	30.5	8.7		1.2
	小要素								
		学校の授業がある月曜日から金曜日、一日にどれくらいスマートフォンやGIGA端末などのICT機器を、勉強のために使っていますか。	A層	26.0	35.7	32.0	5.6		0.7
			B層	24.8	35.2	30.9	8.1		1.0
			C層	26.5	33.1	30.7	8.6		1.1
			D層	26.2	31.3	28.1	12.3		2.0
157	要素	追加質問	川崎市	20.6	23.4	33.3	21.6		1.1
	小要素								
		土曜日や日曜日など、学校が休みの日に、1日にどれくらいスマートフォンやGIGA端末などのICT機器を、勉強のために使っていますか。	A層	20.1	25.2	36.6	17.5		0.5
			B層	20.0	23.6	35.3	20.2		0.8
			C層	20.2	23.1	32.6	22.9		1.1
			D層	22.1	21.7	28.7	25.6		1.9

IV 今後の各種事業の取組について

1 研究会・研究部会の各事業

(1)川崎市立小学校国語教育研究会

国語研究会の**研究主題「生きてはたらくことばの力を育てる国語教室」**は、国語科での学びが他の教科等でも生かせるようにすることが大切になります。例えばそれは、人とのかかわりをつくり出す力であったり、必要な情報を探し出したり活用したりする力とも言えます。

国語研究会では、国語の学習を「ことばの教育」として捉え、豊かなことばの使い手を育成することを大切にしてきました。「ことばの教育」を通して川崎の子供の心を育てることを第一に考えてきました。そう考えると「生きてはたらくことばの力」の意味には、「確かさ」と合わせて、「豊かさ」や「しなやかさ」といったその子らしい表現も含まれます。

【調査結果を踏まえた取組】

- 年数回開催の常任委員授業では、「目の前の子供の実態に応じた単元づくり」「資質・能力を明確にした授業」「日常的な言語活動」を手立てとして、研究主題につながる実践の提案をします。
- 学習状況調査の結果を基に、授業改善につながる実践の提案もしていきます。
- 国語科教育研修では、子どもが資質・能力を身に付けることと、言葉の見方・考え方を働かせながら主体的な学びを実現することをどのように両立させることができるのか、また、学習状況調査の結果をどのように授業改善につなげていけるのかについて考えていける研修を実施します。

(2)川崎市立小学校算数教育研究会

今年度、川崎市小学校算数教育研究会の**研究テーマは、「考える力が伸びる算数の学びを目指して～数学的な見方・考え方を働かせて、試行錯誤^{しちやう}する子～」**です。また、その研究テーマを達成するために、特に力を入れている重点目標は、「子供の思考を生かした柔軟な学習展開」です。その時間、その単元でのねらいや、単元を通した目指

す子供の姿に迫る子供の思考を生かして、柔軟な学習展開を目指すということです。この「柔軟な学習展開」を目指すうえで、大切になってくるのが「見取り」と「問い返し」です。子供主体の学びをするために、子供の学習状況や表現を見取り、適切に問い返していく必要があるためです。

【調査結果を踏まえた取組】

- 4月の教科総会においては R5年度の結果を受けて、算数研究会から選出された分析委員会の調査・分析結果から、R6年度に取り組む重点的な授業改善の手立てやアイデア等を報告することが考えられます。
- 年数回開催の常任委員授業では、教員が川崎市の子供たちが苦手としている学習等において思考を生かした柔軟な学習展開ができるよう「子供の表現をどのようにつなぐか」などを意識した「見取り」と子供同士の学びを充実させるため「問い返し」を手立てとして、研究主題につながる実践の提案をします。
- 実践事例集や夏季研修会等において、学習状況調査の結果を踏まえた授業改善への提案を行います。

(3)川崎市立中学校教育研究会国語科部会

令和5年度の国語科部会の研究主題は、「社会生活に生きる国語力の育成～主体的・対話的で深い学びの実現を目指して～」であり、これは学習指導要領の目標を土台としたものです。社会生活を送るにあたっては、確かな国語力を身につけていくことが求められています。そのために、言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、言葉の特徴や使い方などを理解し、自分の思いや考えを深めていくことを目指したいものです。

【調査結果を踏まえた取組】

- 4月の教科総会においては R5年度の結果を受けて、国語科部会から選出された分析委員会の調査・分析結果から、R6年度に取り組む重点的な授業改善の手立てやアイデア等を報告することが考えられます。
- 年2回開催の教科主任会においては、部会事業についての理解を図ったり、市学習状況調査における国語科としての分析を報告したりする予定です。
- 授業研究会の開催については、本研究部会では、北部地区と南部地区に分かれ、「社会生活に生きる国語力の育成～主体的・対話的で深い学びの実現を目指して～」という共通テーマのもと、授業研究会に取り組んでいます。学習状況調査の結果を基に、授業改善につながる実践の提案をしていきます。

(4)川崎市立中学校教育研究会社会科部会

今年度の社会科部会の重点は、「生きる力を育む社会科の研究～社会的な見方・考え方を働かせ、社会に参画する態度の育成をめざして～」です。重点目標を達成するために、各事業を通じた交流の中で、「知識・技能の習得」「思考力・判断力・表現力の育成」のために授業の工夫が行われ、全市の先生方の授業に生かしています。

今回の質問紙調査の結果を見ると、「社会の授業で、グループで話し合いや教え合いをしている。」の質問項目では、A層の肯定群の回答割合はどの学年も 80%前後であるのに対し、D層の肯定群の回答割合は 60%前後でした。社会科が得意な一部の生徒のみならず、苦手な生徒も資質・能力が高まるようにするために、話し合い活動中の声掛けなど教師の働きかけを改善していくことが必要であると分かります。調査の結果を分析することで、授業改善の手立ての一つとしてフィードバックしていくことができると考えます。

【調査結果を踏まえた取組】

- 4月の教科総会で、調査結果を踏まえた授業の進め方について講演を行ったり、6月の教科主任会で、授業改善に関する研修を行ったりすることが考えられます。
- 年4回開催する地区授業研究会においては、研究部会としてGIGA端末を効果的に活用した授業や話し合い活動を取り入れた授業について研究している取組を生かしながら、学習状況調査の結果を踏まえた授業提案を行っていくことも考えられます。このような取組によって、4人班などの小グループによる話し合い活動を取り入れた授業が多くみられるようになりましたが、より一層、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善につながる実践を提案していきます。

(5)川崎市中学校教育研究会数学科部会

令和 5 年度の部会重点目標は、「数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、次の3点を重視した指導法の工夫・改善に努めること」です。①概念や原理・法則の理解に裏付けられて生きて働く知識及び技能を習得する(知識及び技能)②既習の内容を基にして、数量や図形などの性質を見だし、統合的・発展的に考察する力を育てる(思考力,判断力,表現力等)③問題解決において粘り強く考える態度、問題解決の過程を振り返り評価・改善する態度、多様な考えを認め、よりよく問題を解決する態度を養う(学びに向かう力,人間性等)。

また、生徒が数学の学習に主体的に取り組むことができるように、数学的活動の楽しさや数学のよさを実感することが大切です。その実感は、数学が生活や他教科等の学習において生かされることなどを通して実感されます。生涯にわたって必要となる数学的な素養を広く身に付けることを目指しています。

【調査結果を踏まえた取組】

- 4月の教科総会、6月と8月に教育委員会と協力し教育課程研究会、2月に教科主任会を予定しています。
- 教科総会においては R5年度の結果を受けて、数学科部会から選出された分析委員会の調査・分析結果から、R6年度に取り組む重点的な授業改善の手立てやアイデア等を報告することも考えられます。
- 調査・分析結果を生かした授業づくりとして、現在数学科部に位置づけられているチームの研究としてもその研究の一助として活用することも考えられます。
- 8月の教育課程研究会、2月の教科主任会において、市学習状況調査の数学科の分析を報告する予定です。

(6)川崎市立中学校教育研究会理科部会

中学校教育研究会理科部会では、「科学的な探究の過程を通して、個別最適な学び・協働的な学びを目指し、一人一人の子供の資質・能力を育む理科教育」を目標に研究を進めています。昨年度までの調査では、探究の過程を通して資質・能力を育む授業改善につながる作問の工夫及び分析結果の報告を重ね、探究の過程を通して、概念的な理解や、思考力、判断力、表現力等の育成を重視してきました。今後もこれらを継続・発展させていくために、未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力等を育成するとともに、実社会で生きて働く知識及び技能の習得を図る場面では、理科用語を使いながら、日常生活や身近な事象とのつながりを意識した概念的な理解を図り、学びを人生や社会に生かそうとする授業改善を行っていくことが大切であると考えます。

【調査結果を踏まえた取組】

- 教科部会総会では、川崎市学習状況調査報告書を基にした報告及び授業改善例を紹介するとともに、実践指導事例集の内容を紹介する中でも、課題や重点を踏まえた授業づくりや事例等を紹介します。
- 理科部会では、4つの研究推進委員会で研究を推進しており、毎年4地区の地区授業研究会とタイアップをしながら研究の充実と波及に取り組んでいます。これらの機会では、学習状況調査の結果も参考にしながら、川崎の生徒が科学的に探究する理科教育の研究を推進していきます。

(7)川崎市立中学校教育研究会英語科部会

今年度の川崎市中学校英語科教育研究部会の研究主題は「自らの学びを通して、表現豊かに考えや気持ちを伝え他者とのつながりを大切にする生徒の育成～学びの連続性を生かした授業の実践～」です。コミュニケーションを行う目的・場面・状況に応じて見通しをもって粘り強く取り組み、外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせて思考・判断・表現する力の育成を目指します。一人一人の学びの小学校からのつながり、単元内でのつながりなどの学びの継続性と言語活動の意識的な関連付けが生徒の学びを深めることができると考えます。

【調査結果を踏まえた取組】

- 教科部会総会では、川崎市学習状況調査報告書を基にした報告及び授業改善例を紹介することや、実践指導事例集の内容を紹介する中でも、課題や重点を踏まえた授業づくりや事例等を紹介していくことが考えられます。
- 教育課程研究会ではそれぞれ市学習状況調査における英語科の分析を報告します。
- 教科主任会、常任委員会、地区別授業研究会等を通して、学習状況調査の結果を共有したり、授業実践に活用したりして、主題の達成に向けて取り組んでいきます。

2 教育委員会の各事業

今年度の結果から、かわさき教育プランで示された資質・能力の育成に向け、以下の事業において取り組んでまいります。

【学習状況踏査の結果を生かした授業改善の視点】

1 「何がわかっていて、何がわかっていないか」について、児童生徒が自覚できるようにする。

- ① 既習を活用する(見通し)。
・「わからない」、「困った」を大切に
- ② 理由や考え方に着目させる。
・「どうして」「なぜ」を大切に
- ③ 振り返りの充実
・「そうか」「なるほど」を大切に

2 わからないことに対して諦めず、粘り強く取り組むために、ねらいを明確にしたペア学習やグループ学習を取り入れる。

- ① 題材、課題に向き合う。
・見る視点を持たせる。
- ② 自分の考えを持つ。
・解決するための手段や方法を持たせる。
- ③ 友達と解決する。
・「わかった」という実感を持たせる。

3 いつでもGIGA端末等を活用して、学習に取り組める環境を整備する。

- ① 児童生徒の自発的な取組
・自分自身の課題把握と学習意欲の醸成
- ② 保護者、家庭との共有
・家庭学習の改善、充実
- ③ GIGA 端末の活用
・学校や家庭でドリルパークなど学習ソフトの取組

(1)「拡大要請訪問」

- 調査結果を踏まえ、各学校が学習指導の課題を把握・分析し、カリキュラム・マネジメントの推進や教育課程の改善に取り組む中で、さらなる授業の改善・充実に向けて指導・助言します。
- 学校教育目標の実現に向けて、各教科等において児童生徒の資質・能力の育成に向けた「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を一層推進します。
- 授業後の分科会においては、学習指導要領に基づいた授業計画(学習指導案作成)から、各学校の児童生徒の状況に即した授業実践と、各学校の調査結果を合わせ、授業者等とともに、授業改善の手立てについて考えます。
- 全体会においては、校内研修などを通して、調査結果の分析にて明らかになった課題等について着目し、授業改善の手立てについて具体的に助言します。また、単元や題材のまとまりを通して資質・能力をバランスよく育てていくために、児童生徒の状況に即した単元や題材をデザインする際の具体的なポイント等を伝えていきます。

(2)「各種要請訪問」

- 調査結果の成果と課題を踏まえ、各学校が指導改善に取り組む中、各教科等の目標達成に向けた授業改善や学校が個別に求める支援ニーズを捉え、それに対応した指導・助言をしていきます。
- 「様々な知識や技能を関連付け、目的や場面に応じた判断をすること」が課題として見受けられた場合、その手立てとして、「教える教師から、授業をファシリテートする教師への転換」を促し、児童生徒が各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせ、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう場面を設定することを助言します。

(3)「実践事例集の作成」

- 調査結果を踏まえ、確かな学力の育成を目指し、学習指導要領に示す内容が児童生徒一人一人に確実に身に付いているかどうかを適切に把握・分析し、その後の学習指導の改善に生かしていくよう研究(部)会の協力のもと研究し、年度末発行に向けて編集します。

- 調査結果で見られた「階層別の平均正答率の差が大きい」ことを踏まえ、児童生徒一人一人の特性や学習進度、学習到達度、児童生徒の興味・関心・キャリア形成の方向性等に応じて、適切な学習活動や学習課題に取り組む機会を提供することで、児童生徒自身の学習が最適となるよう調整していく具体的な実践事例を示していきます。
- 基礎的・基本的な学習内容はおおむね身に付いておりますが、資料から情報を読み取り、それらを関連付けて考えたり説明したりすることには課題が見られるため、児童生徒一人一人の学びを深めたり主体性を引き出したりといった工夫を重ねながら、確実な習得を図ることができる実践事例を示していきます。

(4)「ライフステージ研修」

- 今回の調査結果からの成果と課題を捉え、校長のリーダーシップのもと、学校運営の状況や課題を全教職員で共有し、各種データ等を効果的に活用するなど、RPDCAサイクルを機能させた検証改善の質をさらに高めるような内容となる研修を実施していきます。
- ライフステージに応じた役割を明確にして、互いに高め合う意識を共有し人材育成に全教職員が関わることができるようにします。
- ステージⅠ・Ⅱの学習指導の研修等で、実際の指導を参観して指導の意図を共有することにより、指導方法や知識だけでなく、教師としての志や姿勢も共有できるようにします。

(5)「教育課程研究会」

- 夏季休業中に各教科等で開催する第2回教育課程研究会では、今回の結果を踏まえ、学習指導等の改善のポイントについて伝達し、課題解決へ向けた具体的な方策について助言します。
- 各学校においては、分析で見られた課題について検証し、課題解決に向けて、児童生徒の学びの過程を質的に高めていくとともに、「主体的・対話的で深い学び」を軸としながら、実態に即した授業改善の工夫をすることで、各学校における児童生徒の資質・能力の育成につなげます。

第3章 教育委員会事務局各部署による分析

I 政策推進

【質問紙調査から】（質問番号は第4学年を参照にしています。）

「キャリア在り方生き方教育」の3つの視点に係る代表的な質問

【123】:将来の夢や目標を持っている。

【126】:自分には、よいところがあると思う。

【122】:学級みんなで協力して何かをやりとげ、うれしかったことがある。

【125】:人が困っているときは、進んで助けている。

【130】:自分の住んでいる町がすきである。

【131】:今、住んでいる地域の行事に参加している。

<キャリア在り方生き方教育の3つの視点に係る肯定的な回答率>

		自分をつくる		みんな一緒に生きている		わたしたちのまち川崎	
質問番号		【123】	【126】	【122】	【125】	【130】	【131】
小学校	第4学年	86.8	84.5	89.9	92.1	91.7	60.3
	第5学年	83.3	80.1	89.3	91.5	90.5	56.9
	第6学年	79.3	75.8	87.9	90.6	87.1	46.8
中学校	第1学年	80.0	75.5	87.0	91.5	86.6	46.4
	第2学年	67.8	71.4	85.4	89.6	83.6	40.1
	第3学年	67.4	71.3	85.0	89.1	81.0	33.2

<分析結果>

「自分をつくる」に関する調査結果では、学年が上がるにつれてポイントが低下していることがわかります。中学2年生で大きな変化が見られていることから、進路選択が目前に迫り、現実的な問題になると「夢や目標＝職業」と限定的に捉え、将来を描きにくくなっていることが、課題として考えられます。

「みんな一緒に生きている」に関する調査結果では、肯定的な回答が全学年で85%以上となっています。このことから、先生方が集団

で活動することの良さを感じることができるよう、学級経営等の充実を図り、共生・協働の精神を育てていることがわかります。

「わたしたちのまち川崎」に関する調査結果では、自分の住む町が好きであるという回答が全学年で80%以上であるのに対して、地域の行事への参加率は低いことから、地域に対して好感はもっているが、参加・参画につながっていないことが課題として考えられます。

<実態に応じた授業づくりの工夫>

「キャリア在り方生き方ノート」「キャリア・パスポート」の活用

●「キャリア在り方生き方ノート」

「自分をつくる」では、友達からの意見も聞いて自分のよさに気付くページや自分の個性を見つめながら将来を考えるページ等があります。

将来の夢や目標を職業で描くのではなく、自分の好きなことや得意なことを踏まえて、なりたい自分の姿で描くことができるようにキャリア形成を支援することが大切です。



●「キャリア・パスポート」

学校段階を越えて、夢や希望をもち、個性、持ち味を最大限に発揮しながら生きていくための能力や態度を育てることができるように意識して取り組むことが大切です。児童生徒一人一人が自らの学習状況やキャリア形成を見通したり振り返ったりしながら、自分の変容や成長を自己評価できるように活用しましょう。

「社会に開かれた教育課程」の実現に向けたカリキュラム・マネジメント

地域の行事への参加や社会参画の意識を高めていくためには、自分の力で現実の社会問題を解決できるという主権者としての意識を育てることが大切です。川崎市制100周年を契機にした「わたしたちのまち川崎」の学びを充実させ、コミュニティ・スクールを活用した地域連携を推進することで、児童生徒が社会や世界とつながり、よりよい社会と幸福な人生を自ら創り出していけるようにカリキュラム・マネジメントの充実を図りましょう。

II 人権・多文化共生教育

【質問紙調査から】

「人権尊重教育を通じて育てたい資質・能力」^(※1)、
川崎市子どもの権利に関する条例に係る質問内容から
質問番号【52】 質問内容:自分と違う意見も尊重している。
質問番号【65】 質問内容:私は話し合いのとき、考えや意見を
進んで出している。

<【52】と【65】の肯定的平均回答率の比較>

	質問番号	52	65
小学校	第4学年	88.4	72.1
	第5学年	84.8	66.0
	第6学年	86.9	60.2
中学校	第1学年	90.3	56.0
	第2学年	91.6	53.5
	第3学年	92.4	52.9

<分析結果>

「自分と違う意見も尊重している」「考えや意見を進んで出している」ことは、「子どもの意見表明権」の保障(こども基本法、川崎市子どもの権利に関する条例)の観点から大切です。質問番号【52】の結果から、概ね学年が上がるにつれて、自分とは違う意見を尊重できるようになっていることが分かります。このことから、すべての教育活動を通じて、他者の意見に耳を傾け、自分と異なる意見でもあっても認めることの大切さを認識できるようになっていると捉えることができます。

一方で、質問番号【65】の結果は、肯定的回答が多いものの、学年が上がるにつれ、自分の考えや意見が出しにくくなっていることがみとれます。これは、思春期特有の仲間同士の評価を強く意識する傾向や、他者との交流に消極的な傾向も見られること^(※2)、また質問番号【52】の結果から他者に配慮するあまり、意見を出しにくくなって

いるのではないかと考えられます。

これらのことから、学校生活においては、多様な他者との関わり合いや学び合いの機会を意識的に設け、自分と相手の意見は何が違うのか比べたり、違いを楽しんだり、認めたりして、よいと思う考えは取り入れながら、自分の意見を再構築し、対立を恐れず相手に伝えるというコミュニケーション技能(人権尊重教育の資質・能力)を育成することが求められます。

児童生徒が意見表明しやすいようにするためには主体的な学びになっていること、考える時間が保障されていること、間違いや少数派の意見を否定されないこと、教員が児童生徒の話に耳を傾けていることなど、安心・安全な学級、学校づくりが大切です。

<実態に応じた授業づくりの工夫>

・児童生徒の意見や思いを受けとめるための環境整備
「考えや意見を出す」ことには、「話すこと」に加えて「書くこと」も含まれます。また「考えや意見を出さない」ことも意見表明権の現れだとされています。「考えや意見を出さない」児童生徒の背景を教員が想像しましょう。

- ・児童生徒の発達の状態、生活背景を考慮
- ・考えを見直したり深めたりする時間の保障
- ・「子どもの権利学習」の実施



「川崎市子どもの権利に関する条例」に示されている「**参加する権利**」について学ぶ機会を設けることで、エンパワメントされ権利の実現に向かうきっかけになります。

※参考 1. 人権教育の指導方法等の在り方について(第三次とりまとめ)2008年 文部科学省
2. 子どもの徳育に関する懇談会「審議の概要」2009年 文部科学省

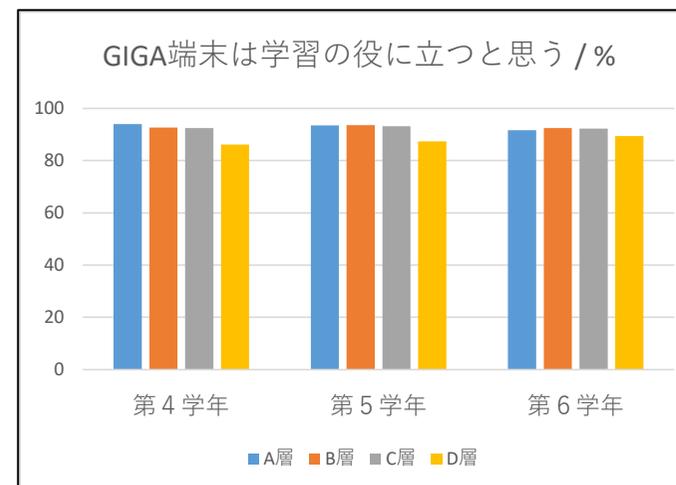
Ⅲ 情報・視聴覚センター

質問番号:【133】(小学校)

質問内容:GIGA端末は学習の役に立つと思う

<肯定的な回答率と4層分析データ / %>

	川崎	A層	B層	C層	D層	A-D
第4学年	91.4	94.0	92.7	92.5	86.2	7.8
第5学年	91.9	93.5	93.6	93.2	87.4	6.1
第6学年	91.5	91.7	92.5	92.3	89.4	2.3
平均	91.6	93.1	92.9	92.7	87.7	5.4



<分析結果>

4層分析の結果から、どの層に置いてもGIGA端末は学習の役に立つツールとして、児童生徒が認識していることがうかがえます。

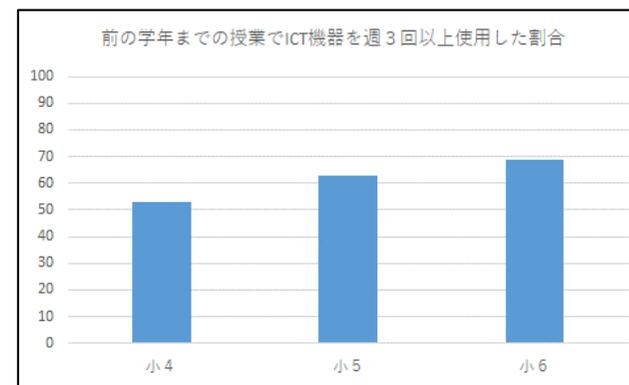
A層とD層の差も4年生は、7.8ポイント。5年生は、6.1ポイント。6年生は、2.3ポイント。と高学年になるにしたがって差が縮まっています。これは発達段階に応じた指導の結果、端末活用頻度は学年が進むにつれて上昇することに起因しており、また、GIGA端末は、教科調査の結果によらず、学習する際に欠かすことのできない道具として位置づけられており、学年が進むにしたがって、その意識が強くなっていることがわかります。

質問番号:【155】

質問内容:前の学年までの授業で、ICT 機器をどの程度使用しましたか

<選択肢別回答割合%>

	ほぼ毎日	週3回以上	週1回以上	週1回より少ない	その他無回答
第4学年	22.8	30.2	27.8	17.8	1.4
第5学年	27.5	35.4	25.9	10.4	0.8
第6学年	31.4	37.4	22.9	8	0.3



<分析結果>

令和4年度は、GIGAスクール構想推進がはじまって2年目の年でした。各学校では、STEP2の実現をめざして取り組んできました。

結果から、授業でICT機器を活用した授業の割合は、学年が上がるにしたがって増えており、授業で週3回以上ICT機器を活用している児童生徒は、第4学年は50%程度であった数値が、第6学年では、70%程度まで増加しています。

令和5年度からは、ステップ3の取組です。「個別最適な学び」と「協働的な学び」が一体的に充実する「一人一人の子どもが主語の端末活用」をめざします。そのためには、探究的な学習の過程である「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」「振り返り活動」を入れて、日常的に毎時間取り組んでいくことが必要となります。授業形態を「子どもが主語」に置き換えることで、自ずとGIGA端末の活用率も向上していくものと考えられます。

児童生徒に情報活用能力を育成するためには、GIGA端末を活用した探究的な学習を、どの教科でも日常的に活用することが求められています。

質問番号:【149】(中学校)

質問内容:GIGA端末は学習の役に立つと思う

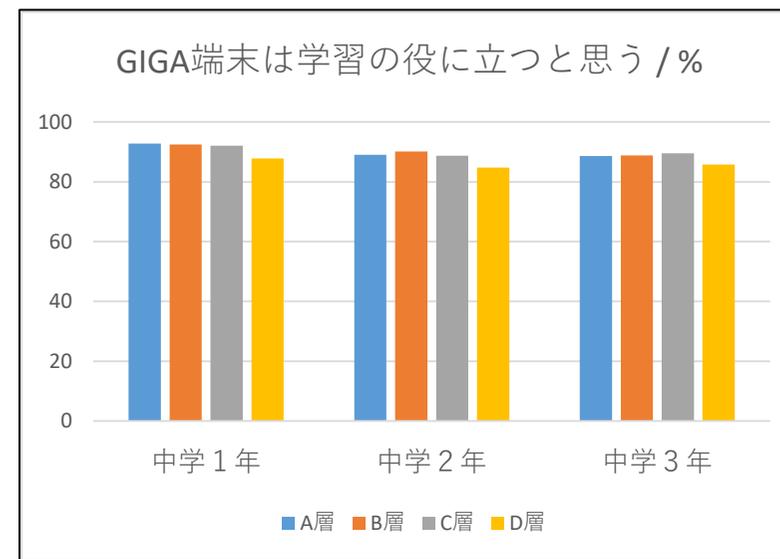
<肯定的な回答率と4層分析データ>

	川崎	A層	B層	C層	D層	A-D
中学1年	91.3	92.8	92.5	92.1	87.8	5.0
中学2年	88.2	89.0	90.2	88.7	84.8	4.2
中学3年	88.2	88.6	88.8	89.5	85.8	2.8
平均	89.2	90.1	90.5	90.1	86.1	4.0

<分析結果>

4層分析の結果から、どの層に置いてもGIGA端末は学習の役に立つツールとして、生徒が認識していることがうかがえます。学年では、すべての学年において、どの層においても肯定的な回答率が9割前後の高い結果となり、A層ほどその割合がわずかに高いことが分かりました。

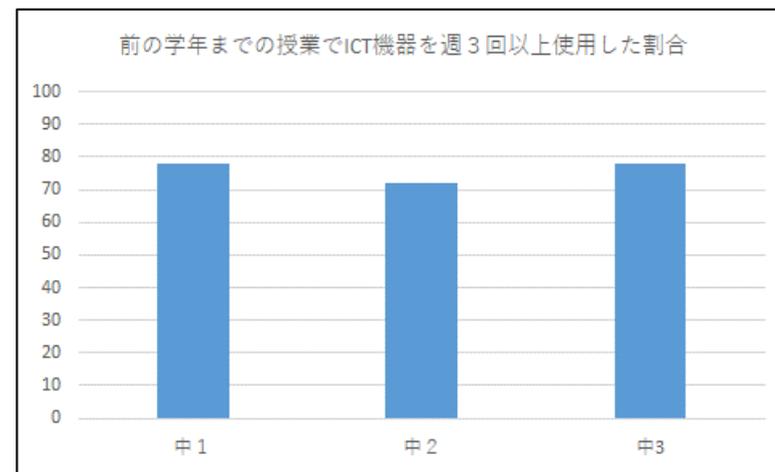
A層とD層の差では、どの学年でも4%前後となっており、その数値は小学校第4、第5学年の値よりも小さく、第6学年の数値と同程度となっています。このことから、継続的な活用により、教科調査の値によらず、多くの生徒が学習上のGIGA端末の有用感を感じられることが分かります。今後も継続的かつ効果的な活用推進を図ってまいります。



質問番号:【154】(中学校)

質問内容:前の学年までの授業で、ICT 機器をどの程度使用しましたか

	ほぼ毎日	週3回以上	週1回以上	週1回より少ない	その他無回答
中学1年	44.4	33.8	14.1	4.8	3.0
中学2年	32.7	39.4	19.5	6.0	2.3
中学3年	37.6	40.5	16.8	4.0	1.1



<分析結果>

令和4年度は、GIGAスクール構想推進がはじまって2年目の年でした。各学校では、STEP2の実現をめざして取り組んできました。

結果から、授業でICT機器を活用した授業の割合は、どの学年でも同じような傾向が見られました。また、授業で週3回以上ICT機器を活用している児童生徒は、中学校第1学年は78.2%。中学校第2学年は72.1%。中学校第3学年は、78.1%という結果です。生徒の7割が日常的に使用していました。

令和5年度からは、ステップ3の取組です。「個別最適な学び」と「協働的な学びが一体的に充実する「一人一人の子どもが主語の端末活用」をめざします。そのためには、探究的な学習の過程である「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」「振り返り活動」を入れて、日常的に毎時間取り組んでいくことが必要となります。授業形態を「子どもが主語」に置き換えることで、さらにGIGA端末の活用率も向上していくものと考えられます。

児童生徒に情報活用能力を育成するためには、GIGA端末を活用した探究的な学習を、どの教科でも日常的に活用することが求められています。

第4章 9月29日担当者説明会より

I 事前アンケートより

次の内容は、各学校の調査実施に関する工夫です。

年度末の準備について

職員会議等で調査の目的、変更点等について説明



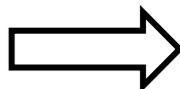
調査について、全教職員で共通理解を図った

実施日について

【中学校】…4月13日 一日で実施

【小学校】…59校 すべて同日に実施

56校 数日に分けて実施



実施学年を別日設定で実施した
意識調査だけ別日設定で実施した

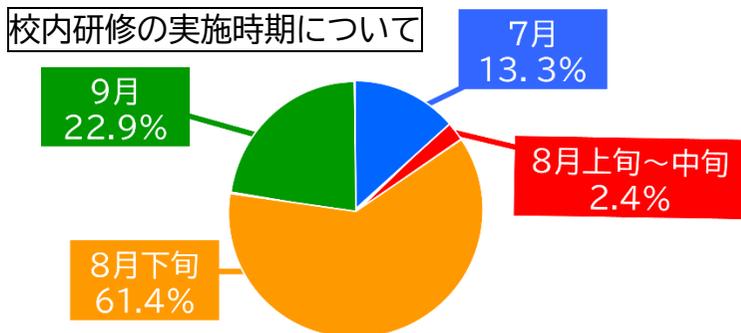
当日の工夫について

【小学校】

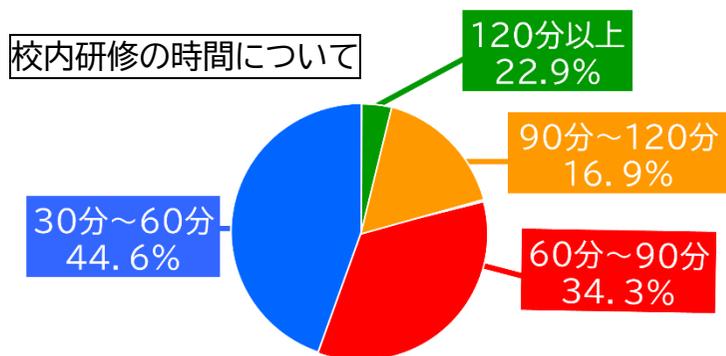
- ・実施学年とその他の学年の休み時間をそろえた。
- ・全校で取り組む体制づくりに努めた。
- ・流れのスライドを示し、そろって動けるようにした。 など

【中学校】

- ・英語のみ、学年間で時程を入れ替えて対応した。
- ・問題用紙の配布、解答用紙の回収など、各学年から担当者を一人ずつ出した。
- ・放送によるミスを避けるために、事前に研修を行った。 など

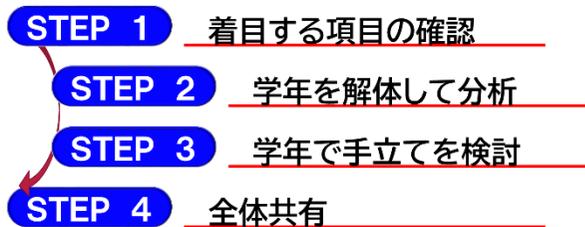


各校の調査結果を活用した分析及び授業改善の手立てを明らかにする研修会は、77.1%の学校が8月中に実施し、夏季休業明けから授業改善に取り組めるようにしていました。

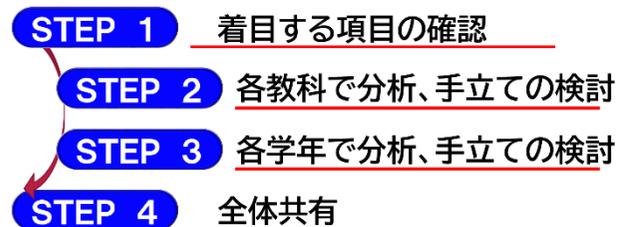


半数の学校が60分以上の時間を使って「教科に関する調査」「意識調査」の結果を学年や教科担当で分析する研修を実施しました。また、7月下旬にデータの見方について研修を行い、8月中旬までに各自分析をし、全体研修として意見を交換したなど、数日間に分けて実施した学校もありました。研修の流れや共通点は、次のとおりです。

【小学校の研修の流れ】



【中学校の研修の流れ】



【研修の共通点】

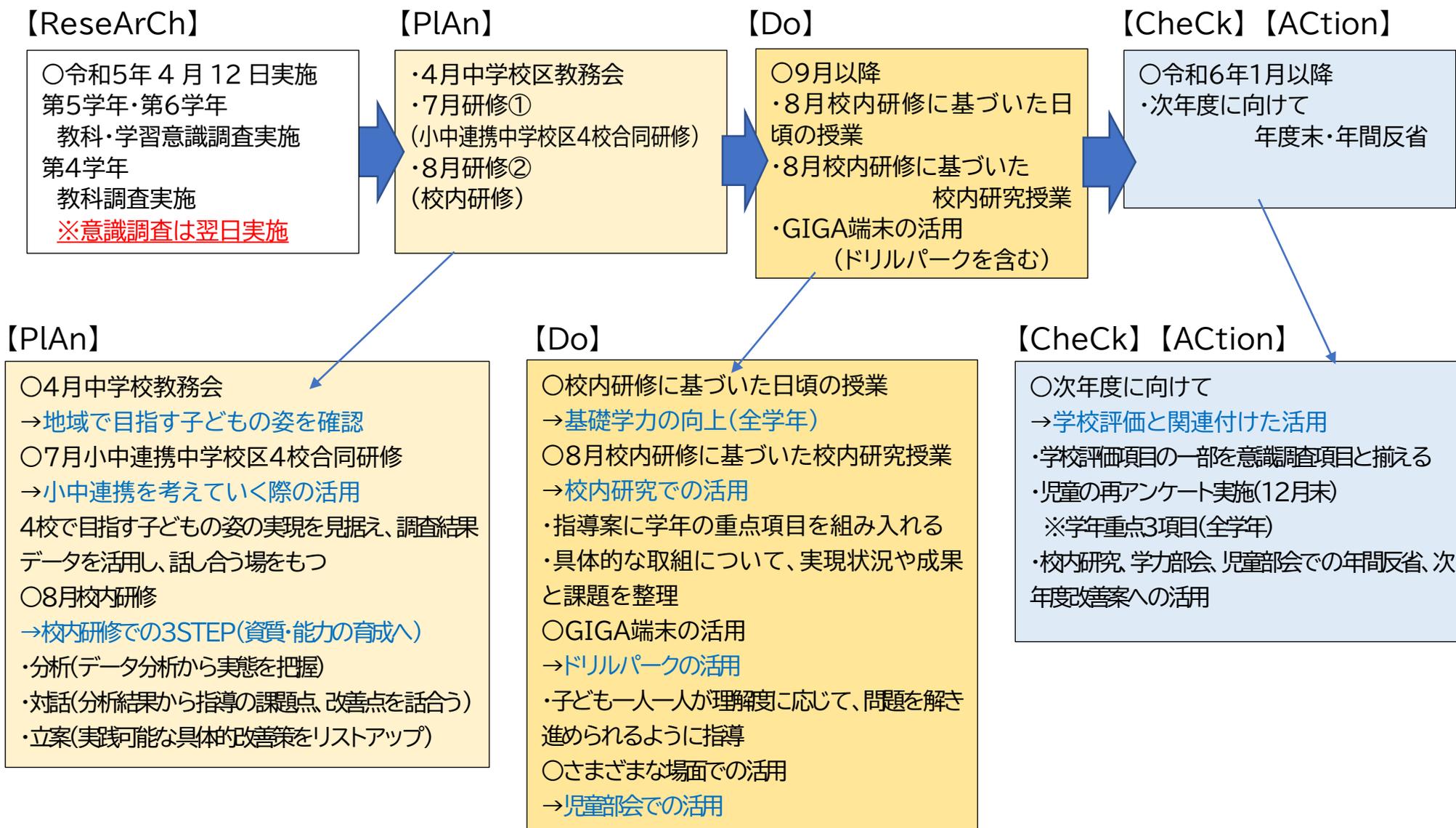
- ・実施学年、実施教科のみの分析にとどまっていない
- ・意識調査の活用場面について検討



学校全体で取り組む工夫・幅広くデータを利活用

II モデル校の事例

1 小学校（学校として1年間の流れ）



2 中学校(学年での取組)

【校内研修】

調査結果を基に…
 ・教科分析(教科ごと)

 ・意識調査(学年ごと)

【学年で着目した質問項目】

普段感じていることについてデータを根拠に
 ・応力不足
 ・自分の考えや意見
 ・リーダー不足
 ・日常のつながり
 ・話すこと
 ・自己肯定感

【具体的な授業改善の手立て】

・資質・能力の育成
 ・社会で「輝ける」生徒の育成
 ・自己肯定感
 ・話すこと
 →少人数グループで授業を展開

【実践の一例】

すべての教科で…
 少人数グループで授業を展開
 →話し合いマニュアルを作成し、汎用的に活用

【取組に対する確かな成長】

同一母集団で比較すると…
 (意識調査より)
 Q グループでの話し合いや教え合いをしている
 肯定的な回答割合(%)

	国語	数学	英語	社会	理科
R4	79.2	55.7	74.3	62.9	75.2
R5	78.9	80.8	77.4	83.1	76.6

生徒の意識の変化
 Q 自分には先生や友達からほめられる、得意なことがある
 肯定的な回答割合(%)

	肯定的な回答割合
R4	67.5
R5	72.9

【生徒の主体性を大切に活動の結果】

Q 私は、男女仲良く、共に学んだり活動したりしている。
 肯定的な回答割合(%)

	肯定的な回答割合
R4	78.5
R5	92.9

Q 自分たちの学習や生活をよくするための話し合いや活動に、進んで取り組んでいる。

	肯定的な回答割合
R4	75.1
R5	80.1

Ⅲ グループ協議から

各グループで話題にあがった内容について

調査日当日の実施方法に関する工夫について

- 小学校は、調査を実施していない学年があるので、休み時間等をそろえた。
- 小学校第4学年にとっては初めて実施する調査だったので、意識調査実施時に設問を読み上げる等の手立てを行った。
- 児童生徒の負担を考慮して実施日を数日確保して実施した。
- 音源を流す際は、GIGA端末や校内放送を活用して実施した。

など

夏の研修に関する工夫について

- まず、各自で分析できるように事前に意識調査の質問項目から学校教育目標、重点目標に合ったものを管理職とともに抽出し、職員に共有した。
- 小学校では、調査実施学年だけでなく全教職員で取り組めるよう、初めに学年を解体して協議を行った。その後、学年で授業改善の手立てを話し合った。
- 中学校では、調査実施教科だけでなく全教職員で取り組めるよう、初めに教科担当で協議を行った。その後、教科以外の点等について学年で協議を行った。
- 調査結果を基に協議を実施したので、実際の児童生徒の様子と比較しながら分析することができ、より具体的な手立てを考えることができた。

など

ドリルパークの活用に関する工夫について

- 児童の苦手な課題が自動生成されるドリルパークを夏季休業中の宿題にした。
- 児童生徒のドリルパークの活用度合いがわかるので、確認して価値づけている。

など

本年度末までの取り組みに関する工夫について

- 12月に再度、意識調査の抽出項目へのアンケート調査実施し、手立ての有効性について協議を行う予定。
- 学校評価との連携、授業改善だけでなく児童生徒指導等、様々な場面で活用していく予定。

など

小中連携、地域連携に関する工夫について

- 中学校区の間で調査結果の確認を行うことで、地域の特色が見えてくる。さらに、中学校区で子どもたちに身に付けさせたい資質・能力が見えてきた。共通事項については、学校報告書や学校だより等で保護者、地域に発信。
- 学校運営協議会で報告し、地域で子どもたちを育てる意識を確認したい。

など

IV 経年比較の事例

★令和4・5年度モデル校(小学校)の取組

○令和4年度の結果と第4学年(小4)の分析

【学びに向かう力】

・私は、友だちの話に賛成・反対・つけたしと、つなげるように発言している。

	○○小	○○小学力層別				
		A層	B層	C層	D層	のD A 差層 ↓
小4	65.4	65	52.6	68.4	75	-10
小5	62.1	77.3	63.6	61.9	45.5	31.8
小6	67.3	78.6	78.6	53.8	57.1	21.5

・ふだんから「不思議だな」「なぜだろう」と感じることもある。

	○○小	○○小学力層別				
		A層	B層	C層	D層	のD A 差層 ↓
小4	48.7	55	63.2	36.8	40	15
小5	64.4	81.8	72.7	47.6	54.5	27.3
小6	72.7	71.4	92.9	61.5	64.3	7.1

●第4学年の授業改善

校内研修を通して学校全体で「伝える力の育成」を重視することとなり、第4学年としては、「つなげる発言」「不思議だな」「なぜだろう」の質問項目に着目した。分析を経て、表現することに着目し、意図的・計画的な少人数グループ活動を行ったり、GIGA端末を活用したりすること、児童が「なぜだろう」などと「問い」が持てるように、問い返したり、次の学習に対する見通しを立てさせたりすることを手立てとして取り組んだ。

○「つなげる発言」はD層が高い。

友だちの話をつなげる発言は、小4のD層の児童に着目すると75%と学年の中で最も高い。

●「つなげる発言」は、B層が約50%

小4のB層に着目すると、52.6%と他の層に比べて低く、D層との差は20ポイント以上開いている。

●「不思議だな」「なぜだろう」と感じる第4学年は50%以下

小4の全体に着目すると、肯定的な回答は48.7%と他の学年と比較すると最も低い。

○令和5年度の結果と第5学年(小5)の分析

【学びに向かう力】

・私は、友だちの話に賛成・反対・つけたしと、つなげるように発言している。

	○○小	○○小学力層別					のD A 差層 ↓
		A層	B層	C層	D層		
小4	82.9	94.4	77.8	88.9	68.8	25.6	
小5	67.1	63.2	78.9	73.7	52.6	10.6	
小6	62.8	63.6	61.9	81	45.5	18.1	

・ふだんから「不思議だな」「なぜだろう」と感じることがある。

	○○小	○○小学力層別					のD A 差層 ↓
		A層	B層	C層	D層		
小4	70.8	88.9	72.2	72.2	50	38.9	
小5	59.2	73.7	78.9	57.9	26.3	47.4	
小6	75.6	77.3	76.2	76.2	72.7	4.6	

●第5学年の授業改善

伝える力の育成に関連して、「つなげる発言」の質問については、前年度と同程度の結果となっており、昨年度の取組を継続していく。また、「なぜだろう」と感じることにについては、成果が出ているが、**小4、小6より低いこと、D層が26.3%であることから、さらに、学習課題や教材を工夫する。**

○同一母集団による経年比較

・私は、友だちの話に賛成・反対・つけたしと、つなげるように発言している。

	○○小	○○小学力層別					層A ↓ の差D
		A層	B層	C層	D層		
令和4年度小4	65.4	65	52.6	68.4	75	-10	
令和5年度小5	67.1	63.2	78.9	73.7	52.6	10.6	
令和6年度小6							

・ふだんから「不思議だな」「なぜだろう」と感じることがある。

	○○小	○○小学力層別					層A ↓ の差D
		A層	B層	C層	D層		
令和4年度小4	48.7	55	63.2	36.8	40	15	
令和5年度小5	59.2	73.7	78.9	57.9	26.3	47.4	
令和6年度小6							

○「なぜだろう」の増加

小4が小5に上がり、「なぜだろう」と感じる児童は約10%増加している。

●「なぜだろう」のD層30%を下回る。

「なぜだろう」と感じる令和5年度のD層の児童は26.3%であり、他の学年と比較すると10ポイント以上低い結果となった。